

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

WW789166

このヘルプガイドは日本国内向けです。

ヘルプガイドのおすすめページ

[ヘルプガイドの使いかた](#)

本ヘルプガイドの使いかたです。

[画面の切り替えかた](#)

ボタン操作でLCDモニターに表示する画面を切り替えます。

[基本動作の設定](#)

撮影を始める前に、基本動作の設定を行います。

[推奨メモリーカードについて](#)

推奨するメモリーカードの情報です。

[クリップ記録・再生時間](#)

ソニー製CFexpress Type AメモリーカードVPG400 960GBを使用した場合の記録・再生時間の情報です。

[フルメニュー一覧から機能を探す](#)

カメラのメニュー項目の一覧を確認できます。メニュー名から説明ページに移動することもできます。

サポート情報

[ILME-FX5 : サポート情報](#)

カメラ本体の基本情報やアクセサリーの情報、困ったときのQ&Aなどを説明しています。

はじめにお読みください

[ヘルプガイドの使いかた](#)

[本体と付属品を確認する](#)

[安全のために](#)

[使用上のご注意](#)

[カメラやカードを貸借/譲渡/廃棄する（個人情報保護に関するご注意）](#)

[バッテリー/充電についてのご注意](#)

[メモリーカードについてのご注意](#)

[イメージセンサーをクリーニングする（\[センサークリーニング\]）](#)

[お手入れについて](#)

各部の名称

[システム構成例](#)

[左側面部/前面部](#)

[右側面部](#)

[背面部](#)

[上面部](#)

[底面部](#)

[XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）](#)

[タッチパネルの使いかた](#)

[画面の切り替えかた](#)

[撮影画面/再生画面](#)

[ホーム画面](#)

[ユーザー機能画面](#)

[メニュー画面](#)

準備する

電源を準備する

- [バッテリーをカメラに入れる/取り出す](#)
- [付属のチャージャーでバッテリーを充電する](#)
- [USB PD対応機器でバッテリーを充電する](#)
- [USB給電でカメラを使う](#)
- [電源を入れる/切る](#)
- [バッテリーの使用時間](#)

基本的な設定をする

- [日付/時刻](#)
- [アクセシビリティ機能の概要](#)
- [基本動作の設定](#)

[自動電源オフ機能を設定する](#)

[撮影モード](#)

[記録フォーマット](#)

機器を取り付ける

[レンズを取り付ける/取りはずす](#)

[XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）を取り付ける](#)

[ビューファインダー（別売）を取り付ける](#)

[マイク（別売）を取り付ける](#)

LCDモニター/ビューファインダーを調節する

[LCDモニターの角度を調節する](#)

[LCDモニターの明るさを調節する](#)

[LCDモニターの画面表示を拡大する](#)

[ビューファインダー（別売）の角度を調節する](#)

[ビューファインダー（別売）の明るさを調節する](#)

[LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える](#)

メモリーカードを使う

[メモリーカードについて](#)

[推奨メモリーカードについて](#)

[クリップ記録・再生時間](#)

[メモリーカードを入れる](#)

[メモリーカードを取り出す](#)

[メモリーカードを初期化する](#)

[残りの記録可能時間を確認する](#)

[メモリーカードを修復する](#)

撮影する

[基本的な撮影手順](#)

ズームを調節する

[ズームの種類を選ぶ](#)

[ズームリングの回転方向を設定する](#)

[ズームレバーでズームする](#)

[Bluetoothリモコンのズームスピードを設定する](#)

フォーカスを調節する

- [フォーカスを手動調節する](#)
- [タッチ操作でフォーカスを合わせる](#)
- [一時的に自動でフォーカスを合わせる](#)
- [迅速に自動でフォーカスをあわせる（シングルAF（AF-S））](#)
- [拡大表示をしてフォーカスを合わせる](#)
- [フォーカスを自動調節する](#)
- [オートフォーカスの対象領域/位置を設定する](#)
- [フォーカスエリアをすばやく変更する](#)
- [フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する](#)
- [オートフォーカスの動作の調節をする（AFトランジション速度、AF乗り移り感度）](#)
- [手動でフォーカス対象を変更する](#)
- [一時的に手動でフォーカスを合わせる](#)
- [被写体を検出して追尾する](#)
- [被写体を指定して追尾する](#)
- [リアルタイムトラッキングAFを開始する](#)
- [リアルタイムトラッキングAFを終了する](#)
- [フォーカスマップ](#)
- [撮影時のご注意](#)

明るさを調節する

- [基準感度を選択する](#)
- [アイリスを調節する](#)
- [ゲインを調節する](#)
- [デュアルゲイン](#)
- [シャッターを調節する](#)

ホワイトバランスを調節する

- [ホワイトバランスを自動で調節する](#)
- [ホワイトバランスを手動で調節する](#)

手ブレ補正を設定する

- [手ブレ補正を使う](#)

音声を設定する

- [XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）で収録する音声を設定する](#)
- [XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）の音声入力機器を選ぶ](#)

- [XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）のLOW CUT機能を使用して雑音を低減する](#)
- [XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）で録音レベルを調整する](#)
- [カメラの各チャンネルに出力する入力音声をXLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）で選択する](#)
- [XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）の入力とマルチインターフェースシューの出力チャンネルについて](#)
- [本機で収録する音声を設定する](#)
- [本機の音声入力機器を選ぶ](#)
- [フィルター機能を使って雑音を低減する](#)
- [本機で録音レベルを調整する](#)
- [音声WAVファイルを別で保存する（XLRハンドルユニット取付時）](#)

撮影機能を活用する

- [ダイレクトメニュー](#)
- [アサインブルボタン](#)
- [アサインブルダイヤル](#)
- [マルチファンクションダイヤル](#)
- [固定/可変選択（スロー＆クイックモーション）](#)
- [間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）](#)
- [フォルスカラー](#)
- [メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する](#)
- [映像信号モニター](#)
- [ガンマ表示アシスト機能](#)
- [クリップフラグ](#)
- [ブリージング補正](#)
- [歪曲収差補正](#)
- [デスクイーズ表示設定](#)
- [自動的に時計を合わせる](#)
- [位置情報を記録する](#)

プロキシ記録をする

- [プロキシ記録](#)

好みのルックで撮影する

- [ルックを選ぶ](#)
- [好みの基本ルックをインポートする](#)
- [基本ルックを削除する](#)

- ルックをカスタマイズする
- ルックをSceneファイルとして保存する
- Sceneファイルの名称を編集する
- ルックをほかのカメラと共有する
- 内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する
- メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む

ポストプロダクションでルックを調整する前提で撮影する

- 出力映像にLUTを適用する
- LUTを変更する
- 記録する映像情報の暗部・明部の配分を変える
- 3D LUTファイルをメタデータとして記録する

RAW動画を撮影する

- HDMI出力映像を記録する
- 記録状態表示

ネットワークにつなぐ

ネットワーク機能でできること

Monitor & Controlを使う

- 「Monitor & Control」と接続する

インターネットに接続する

- 無線LANでインターネットに接続する
- USBテザリングでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する

Creators' App for Enterpriseを使う

- 「C3 Portal」へファイルを転送する

ファイルを転送する

ファイルを転送するための準備をする

クリップを選んで転送する

クリップを自動転送する

セキュアなFTP転送を行うには

ストリーミングする

クリップを再生する

[クリップ一覧画面の構成](#)

[再生操作画面](#)

[クリップを再生する](#)

[クリップを操作する](#)

設定を変更する

[フルメニュー一覧から機能を探す](#)

[フルメニューの操作方法](#)

[文字列を入力する](#)

[画面を音声で読み上げる](#)

[画面を拡大表示する](#)

フルメニューから設定する

— [\[Shooting\] メニュー](#)

— [\[Project\] メニュー](#)

— [\[Paint/Look\] メニュー](#)

— [\[TC/Media\] メニュー](#)

— [\[Monitoring\] メニュー](#)

— [\[Audio\] メニュー](#)

— [\[Clip Operations\] メニュー](#)

— [\[Technical\] メニュー](#)

— [\[Network\] メニュー](#)

— [\[Maintenance\] メニュー](#)

— [\[ISO/ゲイン\] メニューの設定値と初期設定値](#)

— [\[AGCリミット\] の設定値と初期設定値](#)

— [\[ビデオフォーマット\] / \[画質\] / \[ビットレート\] の設定値](#)

— [撮影モードごとの画質に関する設定状態の保存について](#)

— [設定内容をファイルに保存する](#)

外部機器を使う

モニターや記録装置を使う

— [HDMI出力の外部機器と接続する](#)

— [タイムコードを外部機器と合わせる](#)

リモートコントローラーを使う

[モバイル機器を使う](#)

[Bluetoothリモコンを使う](#)

[USB通信でリモートコントロールする](#)

コンピューターを使う

└ [コンピューターでクリップを管理/編集する](#)

出力フォーマット

[HDMI出力端子の出力フォーマット](#)

付録

[トラブル時の対処](#)

[エラー/警告表示](#)

[ファイルに保存される項目](#)

[ブロックダイアグラム](#)

[Eマウントレンズのソフトウェアをアップデートする](#)

[ライセンスについて](#)

[主な仕様](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ヘルプガイドの使いかた

このヘルプガイドは、本機の機能や使いかたなどを説明している「Web取扱説明書」です。ヘルプガイドで知りたい情報を探して、本機をご活用ください。

(このページのヘルプガイドの画面はイメージです。お使いの機種種のヘルプガイドと異なる場合があります。)



1. 目次

[目次](#) (目次) から目次を表示できます。

2. 検索窓

任意のワードを入力して知りたい情報を検索できます。

3. トップページに戻る

最上部の機種名をクリックするとトップページに移動します。

4. フルメニュー一覧

トップページの「[フルメニュー一覧から機能を探す](#)」から各メニューの説明ページに移動できます。

5. ヘルプガイド全体をPDF版でダウンロードする

トップページ左下の「[PDFダウンロード](#)」からダウンロード可能です。

ヒント

- 本機に付属のスタートガイドには、本機を使う際の注意点を記載しています。あわせてご覧ください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

本体と付属品を確認する

本ヘルプガイドは付属品が異なる機種をまとめて記載しています。付属品の違いは以下のとおりです。

機種名	XLRハンドルユニット、ハンドルシューキャップ
ILME-FX5	付属している XLRハンドルユニットについては、「 XLRハンドルユニット (ILME-FX5のみ) を取り付ける 」をご覧ください。
ILME-FX5B	付属していない

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
() 内の数字は個数です。

- カメラ (1)
- バッテリーチャージャー BC-SAD1 (1)
- リチャージャブルバッテリーパック NP-SA100 (1)
- ボディキャップ (1) (本機に装着)
- シューキャップ (1) (本機に装着)
- VF端子保護キャップ (1) (本機に装着)
- XLRハンドルユニット XLR-H2 (ILME-FX5のみ) (1)
- アクセサリーシューキット (1)、(アクセサリシュー (1)、シューパネ (1)、ネジ (4)) (ILME-FX5のみ)
- ハンドルシューキャップ (XLRハンドルユニットに付属) (ILME-FX5のみ) (1)
- スタートガイド (1)
- 保証書 (1)

ご注意

- XLRハンドルユニットXLR-H1 (別売) は本機に装着できません。
- 国や地域によって付属品が異なることがあります。付属品の詳細はスタートガイドでご確認ください。

TP1002308043

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

安全のために

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

⚠ 危険

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

リチャージャブルバッテリーパック同梱モデル

バッテリー

- **バッテリーを誤って取り扱うと、バッテリーが破裂して火災や化学的な火傷が発生することがあります。以下の注意を守ってください。**
 - － 分解や改造をしない。
 - － ハンマーなどで叩いたり、踏みつけたり、落下させるなどの衝撃や力を加えない。
 - － ショートさせたり、クリップなどの金属をバッテリー端子に接触させない。
 - － 直射日光下の車中など、60℃以上の高温の場所にさらさない。
 - － 焼却したり、火の中に入れたりしない。
 - － 液漏れや、破損したリチウムイオン電池を取り扱わない。
 - － バッテリーは指定された方法以外で充電しない。
 - － 乳幼児、子供の手の届く場所に置かない。
 - － むらさない。
 - － バッテリーはソニー純正品を使う。
 - － 使用済みのバッテリーはリサイクルする。
 - － -20℃以下の過度の低温や11.6 kPa以下の極端な低圧にさらさない。

コイン/ボタン電池

- **電池を飲み込まないでください。化学やけどの原因となります。**
 - － 本機には、コイン/ボタン電池が内蔵または同梱されています。コイン/ボタン電池を飲み込むと、2時間程度で重度の内臓のやけどを引き起こし、死亡に至ることがあります。
 - － 新しい電池や使用済みの電池は子供の手の届かないところに保管してください。電池カバーがしっかりと閉じない場合は、使用をやめ、子供の手の届かないところに保管してください。
 - － 電池を飲み込んだり体のどこかに入れたりしたと思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- **コイン/ボタン電池は充電しないでください。**
- **万一、電池の液漏れが起きたら**
 - － すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
 - － 液が目に入った場合は、こすらず、すぐ水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
 - － 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐ水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
 - － 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 警告

下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

- **分解や改造をしない**
 - － 火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。
- **内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない**

- － 火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。
- **運転中に使用しない**
 - － 自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- **撮影時は周囲の状況に注意をはらう**
 - － 周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。
- **通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない**
 - － 使用中に本機や付属品が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態していると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。
- **ケーブル類を傷つけない**
 - － 熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。
- **ぬれた手で使用しない**
 - － 感電の原因になることがあります。
- **電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける**
 - － 正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。ショルダーベルト（別売）やストラップ（別売）の取扱説明書に従い、正しく取り付けてください。

注意

下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

- **水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない**
 - － 火災や感電の原因になることがあります。
- **不安定な場所に置かない**
 - － ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- **通風孔をふさがない**
 - － 通風孔をふさいだまま使用すると、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- **使用中は機器を布で覆ったりしない**
 - － 熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。
- **レンズやモニターに衝撃を与えない**
 - － レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。
- **ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない**
 - － 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- **レンズが直射日光にあたる場所に放置しない**

- － 光がレンズを通して焦点を結び、火災の原因となります。
- **ブラケット等を介し、他のアクセサリも取り付けられた状態で使用する場合、取扱いに注意する**
 - － 落下等により、不慮の事故の原因となります。
- **長期間使用しないときは、電源を外す**
 - － 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。

TP1002271853

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

使用上のご注意

スタートガイド（付属）の「本機について/使用上のご注意」もあわせてお読みください。

環境に配慮した包装材を使用しています

カメラや付属品に使用している包装材は環境に配慮したものを使用しています。包装材の特性上次の点にご注意ください。

- カメラや付属品に包装材の粉などが付着することがあります。その場合は、市販のブロアーやクリーニングペーパーなどで取り除いてからお使いください。
- 包装材は連続使用することで劣化します。製品の持ち運びに使用される場合はご注意ください。

数値について

- 性能、仕様に関するデータは特に記載のある場合を除き、すべて常温（25℃）下でのものです。
- バッテリーについては、充電ランプ消灯まで充電した状態のバッテリーを使用したときのものです。

動作温度についてのご注意

- 動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

長時間撮影/高負荷撮影についてのご注意

- ご使用中に本体およびバッテリーが温かくなりますが故障ではありません。
- 以下の撮影設定や記録方式、接続アクセサリなどの条件により、低温環境下において撮影時間が短くなる場合があります。バッテリーを温めるか新しいバッテリーをお使いください。
 - 4Kなどの高ビットレート動画撮影
 - 複数のメモリーカードの使用
 - Wi-FiやLANなど、ネットワーク機能の使用
 - 本体から電源を供給するマウントアダプター、マルチインターフェースシュー対応オーディオアクセサリなどの使用

他機での動画再生に際してのご注意

- XAVC HS、XAVC S、X-OCNの動画は、対応機器以外では再生できません。
- 本機を使用して96 kHzまたは32bit float記録を行った動画ファイルをカメラで再生する場合は、96 kHzまたは32bit float記録に対応したカメラをご使用ください。対応していないカメラで再生すると、正しく再生できない場合があります。

撮影・再生に際してのご注意

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。
- 撮影待機画面に表示される画像は、実際の撮影結果と異なることがあります。
- 本機で撮影した画像や動画の他機での再生、他機で撮影/修正した画像や動画の本機での再生は保証いたしません。あらかじめご了承ください。

- 万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。
- フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 落下防止のためにショルダーストラップを取り付けてお使いください。
- 本機を三脚やグリップと共に使用する際は、確実にカメラを取り付けてお使いください。
- 他社のアクセサリを取り付けた場合の動作は保証できません。

三脚をお使いになる時のご注意

三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm以下の三脚をお使いください。5.5 mmより長いネジを使用すると、本機を三脚にしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

メモリーカードの取り扱いについて

- 記録終了後はメモリーカードが熱くなっていることがあります。故障ではありません。
- モニターに「記録メディア温度異常」が表示されたときは、カメラからメモリーカードをすぐに取り出さず、しばらくカメラの電源を切るなどして時間をおいてからメモリーカードを取り出してください。熱くなっているメモリーカードを触ってしまうと、メモリーカードを落下させるなどしてメモリーカードが破損してしまうことがあります。メモリーカードを取り出すときは充分ご注意ください。

メモリーカードのバックアップについて

以下の場合など、データが破壊されることがあります。データ保護のために必ずバックアップをお取りください。

- 読み込み中または書き込み中にメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたり、本機の電源を切った場合
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

管理ファイルエラーについて

- 管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。
- 管理ファイルエラーが発生したときは、すべてのデータをパソコンなどに取り込み保存してから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。
- 湿度の高い場所
レンズにカビが発生することがあります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所
正しく撮影・再生ができないことがあります。

結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。
- 結露を起こりにくくするために本機を寒い所から急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。
- 結露が起きたときは、電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

持ち運び時のご注意

- 次の機構を搭載している機種は、その部分を持ったり、ぶつけたり、無理な力を加えないでください。

- － レンズ部
- － 可動式モニター部

- 本機に三脚を取り付けたまま、持ち運ばないでください。三脚取り付け部が破損するおそれがあります。
- ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

本機の取り扱いについてのご注意

- 本機（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本機をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本機のご使用前に担当医師にご相談ください。
- 本機や付属品、メモリーカードなどは乳幼児の手の届く場所に置かないでください。飲みこむ恐れがあります。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- ボリュームは徐々に上げてください。突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。
- 長時間撮影／長時間ストリーミング中、本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態していると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。

- － 気温の高い環境でご使用になる場合
- － 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合
- － 「自動電源Off温度」を「高」に設定してご使用になる場合

- 長時間撮影/長時間ストリーミング中、排気口周辺に長時間触れて使用しないでください。低温やけどの原因となる可能性があります。
- 本機は防じん・防滴に配慮した構造となっておりますが、ほこりや水滴の浸入を完全に防ぐものではありません。
- 端子にケーブルを接続する際は、必ず端子の向きを確認してから、ケーブルをまっすぐに差し込んでください。無理に抜き差しすると、端子部の破損の原因になります。
- 本機は磁石など磁気がある部品を使用しています。本機にクレジットカードやフロッピーディスクなど磁気の影響を受ける物を近づけないでください。

保管方法

- 使用しないときは、必ずレンズフロントキャップまたはボディキャップを付けてください。ボディキャップを付ける際には、本機内部にほこりが入るのを防ぐため、ボディキャップのほこりを落としてから付けてください。
- 使用後に汚れた場合は、本機を清掃してください。水、砂、ほこり、塩分などが本機に残っていると、故障の原因になります。

レンズについてのご注意

- 取りはずしたレンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。
- レンズを交換する際は、モニターの画面を見ながら正しく動作することを確認してください。
- 電動ズーム使用時に物や指を引き込まれないように注意してください。（電動ズーム機構搭載機種またはレンズ交換式カメラのみ）
- レンズを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。レンズの集光作用により、発煙、火災、ボディやレンズ内部の故障の原因になります。
- やむを得ず太陽光などの光源下におく場合は、レンズキャップを取り付けてください。
- 太陽光や強い光源がレンズからカメラに入ると、カメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となることがあります。本機の保管時はレンズキャップを取り付けて保管してください。また逆光での撮影時は、太陽を画角から充分にずらしてください。光源を画角からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがありますのでご注意ください。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 被写体までの距離が短い場合、レンズに付着したごみや指紋が写り込むことがあります。柔らかい布などを使って、レンズを拭いてください。

マルチインターフェースシューについてのご注意

- アクセサリーを本機のマルチインターフェースシューに取り付け/取りはずしする場合は、アクセサリーとカメラ両方の電源をオフにしてから行ってください。また取り付けの際は、本機にしっかり固定されていることを確認してください。

モニターについてのご注意

- 万一モニターが破損した場合は直ちに使用を中止してください。破損した箇所では手や顔等を切る等の怪我をする恐れがあります。
- モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- モニターを強く押さないでください。モニターにムラが出たり、モニターの故障の原因になります。
- モニターに水滴などがついてぬれてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置するとモニターの表面が変質したり劣化して故障の原因になります。
- 寒いところで使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- カメラの端子にケーブルを接続していると、モニターの回転範囲が制限されることがあります。

イメージセンサーについてのご注意

- 低感度での撮影時、極端に強い光源にカメラを向けると、画面内の高輝度部分が黒っぽく撮影されることがあります。
- 撮影時、極端に強い光源にカメラを向けると、画面内の高輝度部分が黒っぽく撮影されることがあります。
- 撮影画面に出る下記の現象は、イメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

白点

イメージセンサーは非常に精密な技術で作られています。宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これはイメージセンサーの原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- － 高温の環境で使用する時
- － ゲイン（感度）を上げた時

フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯、LEDによる照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色に変化したように見ることがあります。

冷却ファンについてのご注意

- 開口部をふさがないでください。モニターは閉じていても通気は確保される構造になっています。
- 開口部は熱くなることがあります。
- 砂塵が舞う場所での使用はお控えください。
- 冷却ファン回転中は、冷却ファン内部への異物吸い込みにご注意ください。
- 万が一、冷却ファンから異音が聞こえる場合は、ご使用をお控えのうえ相談窓口へ連絡してください。

XLRハンドルユニットについてのご注意（XLRハンドルユニット付属モデルのみ）

- INPUT1端子/INPUT2端子に外部マイクや外部機器を取り付けたり、取り外したりするときは、必ずINPUT1（LINE/MIC/MIC+48V）/INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチをMIC+48Vの位置以外に切り替えてください。MIC+48Vの位置のままケーブルの抜き差しを行うと、大きなノイズが出たり、外部マイクや外部機器が故障したりする可能性があります。
- 録音中はカメラやレンズの作動音、操作音などが記録されてしまうことがあります。録音中にハンドルに触れると、ノイズとして録音されてしまいます。
- 録音中は、INPUT1スイッチ、INPUT2スイッチの設定を変更しないでください。
- 使用中、マイクロホンをスピーカーに近づけると「ピー」という音が発生することがあります（ハウリング現象）。その場合は、マイクロホンとスピーカーの距離をできるだけ離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- マイクにほこりや水滴などが付着していると、正しく録音されないことがあります。取り除いてから使用してください。
- 取り付け/取り外しの際には、カメラの電源をオフにしてください。
- XLRハンドルユニットを取り付けるときは、ハンドル取り付けネジ2本を確実に締めてください。
ハンドル取り付けネジを締めずに使用すると、マルチインターフェースシュー端子の破損やカメラが落下するおそれがあります。

スマートフォン用/パソコン用アプリケーションについて

アプリの仕様は予告なく変更されることがあります。

他社のサービス/ソフトウェアについて

本製品に搭載され、又は本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェア（オペレーションシステム含む）には、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更されたり、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

インターネット接続時のご注意

- 本機の無線LAN機能は、脆弱性が懸念されるセキュリティ方式であるWEPまたはWPAのみを使用するアクセスポイントとは接続できません。
- 本機はネットワーク機器（例えばルーター、スイッチング・ハブ）ではありません。DoS攻撃（サービス妨害攻撃）などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。
- 本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理されたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合（例えばFree Wi-Fiなど）、問題が生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をすることにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。

セキュリティに関するご注意

- 本機の無線LANの設定で「セキュリティ」を「無し」にしてアクセスポイントと接続すると、カメラとアクセスポイント間の無線通信が暗号化されないため、電波の届く範囲にいる第三者に内容を盗み取られる可能性があります。より安全なセキュリティ方式であるWPA3またはWPA2を使用してください。
- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- 本製品のネットワークへの接続には、ルーターやファイアウォールなどの保護機能を通して接続をしてください。このような接続をしない場合、問題が生じる可能性があります。

別売りのアクセサリーについて

- ソニー純正アクセサリーの使用をおすすめします。
- 国や地域によっては発売されていないものもあります。
- アクセサリーを取り付ける際は、ネジ穴の深さに適したネジを使用してください。ネジが長すぎると外装部品を破損するおそれがあります。

取扱いモデルやキットについて

国や地域によっては発売されていないものもあります。

TP1002215098

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

カメラやカードを貸借/譲渡/廃棄する（個人情報保護に関するご注意）

お使いの機能やカメラの設定状態によっては、カメラやカードに大切な情報が記録されます。
カメラやカードを貸借/譲渡/廃棄するときは必ず下記をご一読いただき、対応済みであることをご確認ください。

本機の貸借/譲渡/廃棄についてのご注意

個人情報保護のため、本機を貸借・譲渡・廃棄するときには以下の操作を行ってください。

- フルメニューの [Maintenance] - [オールリセット] - [工場出荷状態に戻す]

初期化を行うと、以下の情報が削除されます。

- ルート証明書 (RTMP)
- ルート証明書 (FTP)
- アクセスポイント情報
- アクセス認証情報
- FTPサーバー設定
- ネットワークストリーミング接続情報
- 電子署名用の証明書類
- ユーザー基本ルック/LUT
- Sceneファイル

メモリーカードを貸借/譲渡/廃棄するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。
メモリーカードを貸借/譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。
また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

ネットワーク機能についてのご注意

ネットワーク機能を使用する際、使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から本機にアクセスされる可能性があります。
例として、ネットワーク機器が無許可でネットワークに接続されている、あるいは接続することができるネットワーク環境では、本機に不正なアクセスをされる可能性があります。こうした環境への接続によって損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

位置情報についてのご注意

「Creators' App for Enterprise」アプリケーションを使って位置情報が関係された状態で、本機で撮影した動画をインターネットに公開、共有すると、意図せずに第三者に撮影場所が知られる場合があります。それを回避するには、本機のフルメニューの [Technical] - [GPS] - [モバイルアプリから位置情報] を [Off] にして撮影してください。

著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

TP1002271855

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

バッテリー/充電についてのご注意

バッテリー使用上のご注意

- 必ずソニー製純正のバッテリーをお使いください。
- 使用状況や環境によっては、残量表示は正しく表示されません。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

バッテリーの充電についてのご注意

- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。
- 本機指定外のバッテリーを充電しないでください。バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをすることがあります。
- お買い上げ直後や長期間バッテリーを放置した場合、一度目の充電では充電ランプ（CHARGEランプ）が速い点滅になる場合があります。その場合は一度バッテリーやUSBケーブルを脱着し、再度充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、正常に充電できないことがあります。
- すべての外部電源との動作を保証するものではありません。
- 充電終了後は、チャージャーで充電している場合はチャージャーに給電しているUSB ACアダプターなどの外部電源をコンセントからはずしてください。バッテリーを本体に入れて充電している場合は本体からUSBケーブルを抜いてください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。
- 充電終了直後またはそれに近い状態のバッテリーを未使用のまま、何度も充電を繰り返さないでください。バッテリーの性能に影響します。
- 充電中に本機の充電ランプが点滅した場合はバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。再びランプが点滅した場合はバッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入されている可能性があります。指定のバッテリーかどうか確認してください。
指定のバッテリーを入れている場合は、バッテリーを取りはずし、新品のバッテリーなど別のバッテリーを挿入して充電が正常に行われるか確認してください。充電が正常に行われる場合は、バッテリーの異常が考えられます。
- 本体内充電中に充電ランプが点滅する場合は、充電に適した温度範囲外にあるため、充電の一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電を再開しランプも点灯します。
- 充電ランプが点灯しない場合はUSBケーブルやバッテリーを抜き差ししてください。

バッテリーの残量について

- モニター上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。ポケットの中に鍵などの金属物が入っている場合は、ショートしないようにご注意ください。
- 連続撮影や電源の切り切りなどを頻繁にしたり、モニターを明るく設定すると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長持ちさせるためには、長時間使用しない場合でも、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- バッテリーを長く安全にお使いいただくため、保管中にバッテリーが自動的に少しずつ残量を調整（放電）することがあります。しばらく使用していない場合は、使用前の充電をおすすめします。

バッテリー情報

本機に挿入されたバッテリーの型番や劣化状態などの情報は、メニューの [Info] カテゴリの [バッテリー] ページで確認してください。

- バッテリーは、使用回数を重ねたり時間が経過するにつれ少しずつ劣化します。[バッテリー] ページではバッテリーの状態が [良好] / [少し劣化] / [劣化(交換推奨)] の3段階で表示されます。[劣化(交換推奨)] が表示された場合は、新しいバッテリーのご購入をおすすめします。
- バッテリーを長く安全にお使いいただくため、保管中にバッテリーが自動的に少しずつ残量を調整（放電）することがあります。しばらく使用していない場合は、使用前の充電をおすすめします。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命とされますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。内蔵の充電式電池は、本機の電源の入/切に関わらず、ACアダプターでコンセントにつながっているか、充電されたバッテリーを本機に装着した状態で24時間経過すれば充電されます。ACアダプターで電源につながない、またはバッテリーを入れないままで2か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

TP1002271856

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

メモリーカードについてのご注意

- モニターに「記録メディア温度異常」が表示されたときは、カメラからメモリーカードをすぐに取り出さず、しばらくカメラの電源を切るなどして時間をおいてからメモリーカードを取り出してください。熱くなっているメモリーカードを触ってしまうと、メモリーカードを落下させるなどしてメモリーカードが破損してしまうことがあります。メモリーカードを取り出すときは十分ご注意ください。
 - 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、本機で、メニューの「TC/Media」－「メディア初期化」で「フルフォーマット」または「クイックフォーマット」を行ってください。
 - アクセスランプ点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたり、バッテリーを取りはずしたり、電源を切らないでください。メモリーカードのデータが壊れることがあります。
 - データ保護のため必ずバックアップをお取りください。
 - すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
 - SDXCメモリーカード、CFexpress Type Aメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。
- 対応していない機器に接続した場合、フォーマット（初期化）を促す表示が出る場合がありますが、決して実行しないでください。内容がすべて失われます。
- （exFATは、SDXCメモリーカード、CFexpress Type Aメモリーカードで使用されているファイルシステムです。）
- 水にぬらさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
 - 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。

- － 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
- － 直射日光のあたる場所
- － 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

- 強い磁気のそばにメモリーカードを近づけたり、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、データが壊れることがあります。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 長時間使用した直後のメモリーカードは熱くなっています。ご注意ください。
- パソコンでフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。必ず本機でフォーマットしてください。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどを貼らないでください。メモリーカードが取り出せなくなることがあります。
- SDカードの書き込み禁止スイッチや誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると画像の記録や消去などができなくなります。この場合はロックを解除してください。

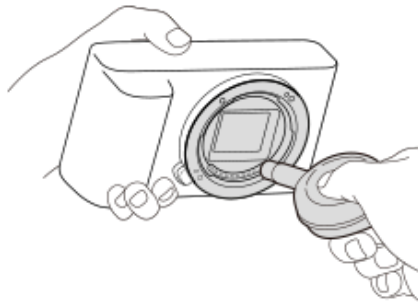
TP1002271857

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

イメージセンサーをクリーニングする（［センサークリーニング］）

本機内にゴミやほこりが入ってイメージセンサー（光を電気信号に変える部分）に付着すると、撮影条件によっては、ゴミやほこりが画像に写り込むことがあります。付着した場合は、以下の手順でイメージセンサーの清掃をすみやかに行ってください。

- 1 バッテリー容量が充分にあることを確認する。
- 2 フルメニューの［Technical］－［センサークリーニング］－［センサークリーニング］－［実行］を選ぶ。
イメージセンサーが短時間振動して、ゴミをふるい落とします。
- 3 レンズをはずす。
- 4 市販のブロアーでイメージセンサー表面と、その周辺のほこりを吹き飛ばす。
 - ほこりが下に落ちやすいよう、本機をやや下向きにしてください。



- 5 本機の電源を切る。
- 6 レンズを取り付ける。

ヒント

- イメージセンサーの汚れ具合のチェック方法と、さらに詳しいクリーニング方法は、以下のURLをご覧ください。
<https://support.d-imaging.sony.co.jp/www/support/ilc/sensor/index.php>

ご注意

- クリーニングモードを実行する際は、カメラの電源を入れた状態でレンズの取り外しを行ってください。
- 清掃中はカメラの電源を切らないでください。
- バッテリー残量が少ない時はセンサークリーニングを実行できません。
- スプレー式のブロアーは、水滴が本機内部に飛び散るので使用しないでください。
- ブロアーの先端がイメージセンサーに当たらないように、マウントより中に入れないでください。
- 適度な風量でクリーニングしてください。風量が強すぎると内部を傷めることがあります。
- この手順でクリーニングを行ってもほこりが取れない場合は、相談窓口にお問い合わせください。
- クリーニング中はイメージセンサーの振動音がしますが、故障ではありません。

- 電源を切ったときに、自動的にクリーニングが行われる場合があります。

関連項目

- [レンズを取り付ける/取りはずす](#)

TP1002271867

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

お手入れについて

レンズの清掃

- シンナーやベンジンなどの有機溶剤を含むクリーナーは絶対に使用しないでください。
- レンズ面を清掃するときは、市販のプロアーでほこりなどを取り除いてください。汚れがひどい場合は、柔らかい布やレンズティッシュにレンズクリーナーを染み込ませ、レンズの中央から円を描くように軽く拭いてください。レンズクリーナーを直接レンズ面にかけないでください。

本体をきれいにする

レンズ信号接点などマウントの内側にある本機の内部の部品には触れないでください。マウント内側のほこりは市販のプロアー*で吹き飛ばしてください。

* スプレー式のプロアーは故障の原因となりますので使用しないでください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下のことは行わないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類の使用
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

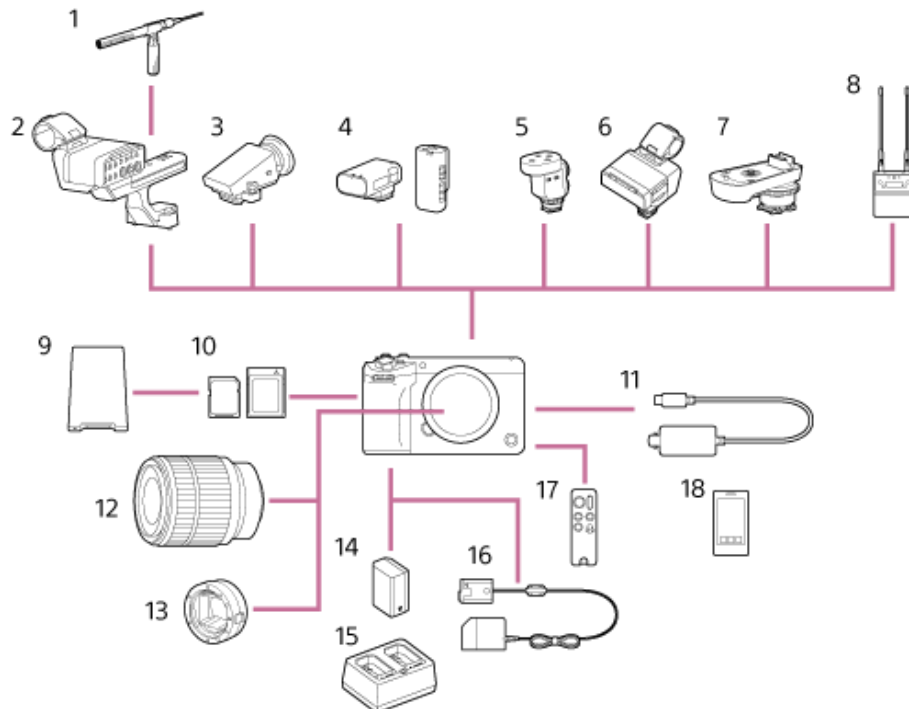
モニターをきれいにする

- ティッシュペーパーなどで強く拭くとモニターに傷がつくことがあります。
- モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のゴミなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

TP1002271859

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

システム構成例

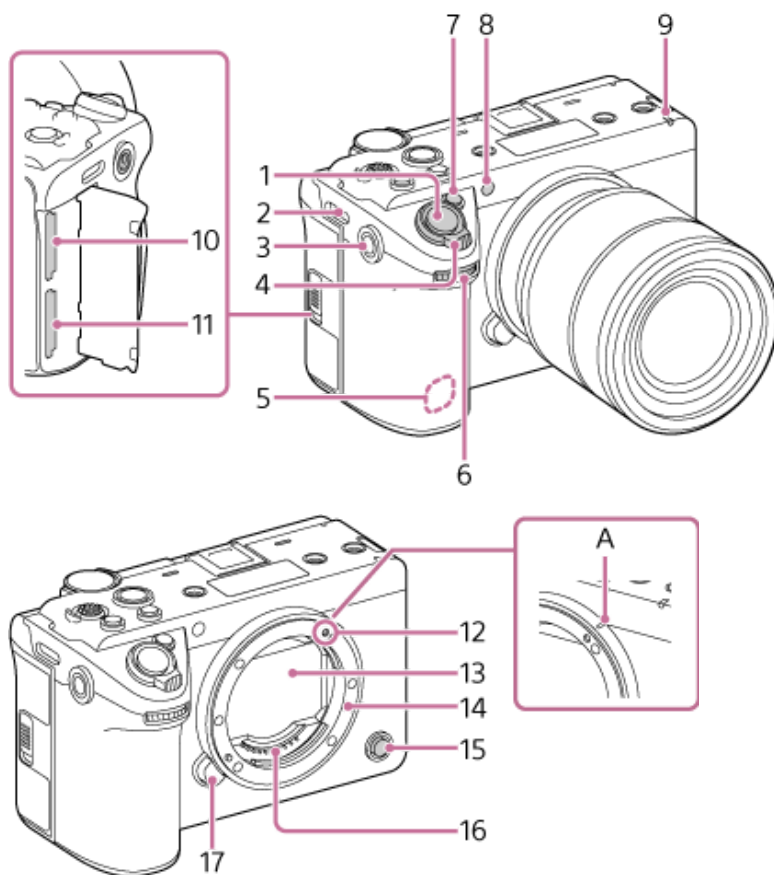


1. ショットガンマイクロホン ECM-778
2. XLRハンドルユニット XLR-H2 (ILME-FX5のみ付属)
3. OLEDビューファインダー DVF-EL1
4. ワイヤレスマイクロホン ECM-W3/ECM-W3S
5. ショットガンマイクロホン ECM-M1
6. XLRアダプター XLR-A4
7. マルチインターフェースシューアダプター SMAD-P5
8. ポータブルダイバーシティチューナー URX-P41D
9. CFexpress Type Aカードリーダー/SDXCカードリーダー
10. CFexpress Type Aメモリーカード/SDXCメモリーカード
11. タイムコードアダプターケーブル VMC-BNCU1
12. Eマウントレンズ
13. マウントアダプター LA-EA5
14. リチャージャブルバッテリーパック NP-SA100 (付属)
15. バッテリーチャージャー BC-SAD1 (付属)
16. DCカプラー DC-C2
17. リモートコマンダー RMT-VP2
18. スマートフォン

TP1002215099

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

左側面部/前面部



1. グラブボタン

特定の機能を割り当てることができます。

2. ショルダーストラップ（別売）の取り付け部

3. アクセサリー用ネジ穴

1/4-20 UNCのネジに対応

アクセサリを取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm以下のものを使います。5.5 mmより長いネジを使用すると、本機にアクセサリをしっかりと固定できず、本機を傷つけることがあります。

4. ズームレバー

5. 無線LANアンテナ（内蔵）

この部分を手などで覆うと、Wi-Fi通信が遮断されることがあります。

6. アサイナブルダイヤル

アイリスやゲイン値を調整します。

7. アサイナブルボタン1

8. 可視光+IRセンサー

ご注意

- 撮影時は手でふさがないようにしてください。

9. 記録/タリーランプ（フロント）

記録が始まると点灯します。メモリーカードの残量が少なくなると点滅します。

10. CFexpress Type A/SDカードスロット（ SLOT A）

11. CFexpress Type A/SDカードスロット (SLOT B)

12. マウント標点

レンズマウントの側面にバー状の突起 (A) が付いています。レンズ取り付け時の目印としてお使いください。
マウントアダプターLA-EA3/LA-EA4/LA-EA5 (別売) を使うと、Aマウントレンズ (別売) も本機に取り付けられます。

ご注意

- マニュアルフォーカスのみに対応しています。
- ボディ内手ブレ補正が使用できます。

13. イメージセンサー

ご注意

- 直接手で触れないでください。

14. マウント

15. アサイナブルボタン6

16. レンズ信号接点

ご注意

- 直接手で触れないでください。

17. レンズ取り外しボタン

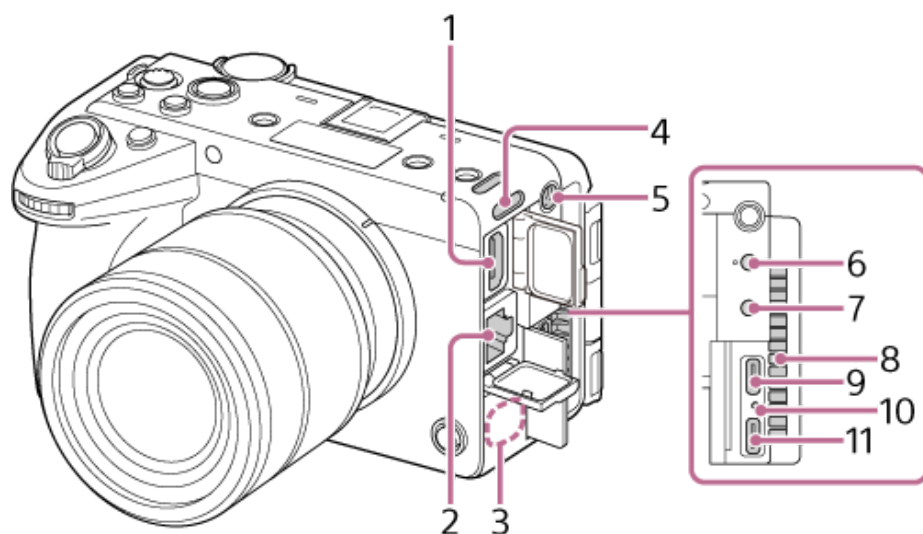
関連項目

- [ビューファインダー \(別売\) の角度を調節する](#)
- [タイムコードを外部機器と合わせる](#)
- [モバイル機器を使う](#)
- [XLRハンドルユニット \(ILME-FX5のみ\) で収録する音声を設定する](#)
- [基本的な撮影手順](#)

TP1002215100

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

右側面部



1. HDMI端子

HDMI信号を出力する端子です。

2. LAN端子

有線LAN用端子です。

3. 無線LANアンテナ（内蔵）

この部分を手などで覆うと、Wi-Fi通信が遮断されることがあります。

4. ショルダーストラップ（別売）の取り付け部

5. アクセサリー用ネジ穴

1/4-20 UNCのネジに対応

アクセサリを取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm以下のものを使います。5.5 mmより長いネジを使用すると、本機にアクセサリをしっかりと固定できず、本機を傷つけることがあります。

6. マイク端子

φ3.5 mmステレオミニジャック（3極）のマイクを接続する端子です。

マイク端子の横に突起が付いています。ヘッドホン端子と見分ける目印としてお使いください。

7. ヘッドホン端子

8. 排気口

ご注意

- 排気口をふさがないでください。
- 排気口付近は高温になるためご注意ください。

9. USB Type-C™端子（USB PORT 1）

マストレージ、USBデザリング、リモート操作にお使いいただけます。

10. 充電ランプ

11. USB Type-C端子（USB PORT 2）

タイムコードアダプターケーブル、リモート操作にお使いいただけます。

USB端子について

- USB PORT 1のUSB Type-C端子のみSuperSpeed USB 10Gbps (USB 3.2) に対応しています。カメラとパソコンなどを接続するときは、USB PORT 1を使用することをおすすめします。
- USB PORT 2でもカメラとパソコンなどを接続できますが、Hi-Speed USB 480Mbps (USB 2.0) でのUSB通信になります。
- USB PORT 1とUSB PORT 2のどちらのUSB Type-C端子を使っても給電や充電ができます。また、どちらの端子を使っても充電にかかる時間は同じです。
- 2つのUSB Type-C端子を使って、USB通信と給電を同時に行うことができます。その場合は、USB PORT 1でUSB通信を、USB PORT 2で給電を行ってください。
- 別売のタイムコードアダプターケーブルVMC-BNCU1はUSB PORT 2専用です。タイムコードアダプターケーブルを使う場合は、USB PORT 1でUSB通信または給電を行い、USB PORT 2にタイムコードアダプターケーブルを接続してご利用ください。

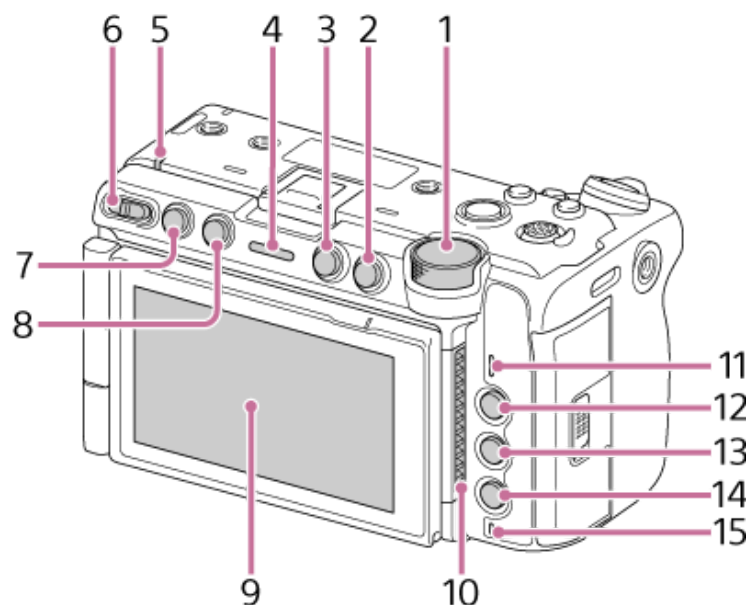
関連項目

- [アサイナブルボタン](#)
- [一時的に自動でフォーカスを合わせる](#)
- [フォーカスを手動調節する](#)
- [フォーカスを自動調節する](#)
- [基本的な撮影手順](#)
- [LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える](#)
- [アイリスを調節する](#)
- [ゲインを調節する](#)
- [ホワイトバランスを手動で調節する](#)
- [シャッターを調節する](#)
- [メモリーカードを入れる](#)
- [固定/可変選択 \(スロー&クイックモーション\)](#)
- [ネットワーク機能でできること](#)
- [無線LANでインターネットに接続する](#)
- [有線LANでインターネットに接続する](#)
- [XLRハンドルユニット \(ILME-FX5のみ\) で収録する音声を設定する](#)
- [撮影画面/再生画面](#)
- [フルメニュー一覧から機能を探す](#)
- [ダイレクトメニュー](#)
- [電源を入れる/切る](#)

TP1002215101

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

背面部



1. マルチファンクションダイヤル

LCDモニターに映像が表示されているときに押すと、ダイレクトメニューが表示されます。

また、LCDモニターに各種メニューが表示されているときに回すと、カーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。押すと選択している項目を確定します。

メニューを表示していないときは、アサインابلダイヤルとして機能します。

2. BACK (戻る) ボタン

押すと一つ前の階層に戻ります。設定を変更している場合は、確定前の設定値がキャンセルされます。

3. MENU (メニュー) ボタン

短く押すと、メニュー画面が表示されます。長押しすると、フルメニュー画面が表示されます。

4. 記録/タリーランプ (リア)

記録が始まると点灯します。

5. 電源ランプ

6. 電源スイッチ

7. CLIPS (クリップ) ボタン

押すと再生アクティブなメディアのクリップがクリップ一覧画面に表示され、再生操作を有効にします。クリップ一覧画面のときに押すと撮影画面に戻ります。

8. アサインابلボタン4

9. LCDモニター/タッチパネル

10. 吸気口

ご注意

- 吸気口をふさがないでください。

11. スピーカー

12. アサインابلボタン5

13. HOME (ホーム) ボタン

押すとLCDモニターにホーム画面が表示されます。HDMI出力映像には表示されません。

14. USER (ユーザー) ボタン

押すとユーザー機能画面の表示/非表示を切り替えます。

15. アクセスランプ

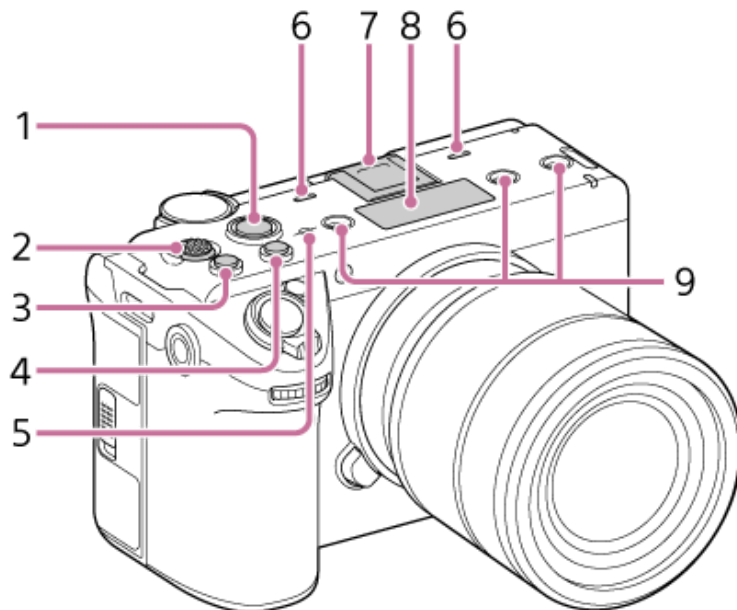
関連項目

- [電源を入れる/切る](#)
- [LCDモニターの角度を調節する](#)
- [タッチパネルの使いかた](#)
- [ビューファインダー（別売）の角度を調節する](#)
- [ビューファインダー（別売）の明るさを調節する](#)
- [LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える](#)
- [撮影画面/再生画面](#)
- [ダイレクトメニュー](#)
- [「C3 Portal」へファイルを転送する](#)
- [コンピューターでクリップを管理/編集する](#)
- [HDMI出力の外部機器と接続する](#)
- [HDMI出力端子の出力フォーマット](#)
- [タイムコードを外部機器と合わせる](#)
- [有線LANでインターネットに接続する](#)
- [基本的な撮影手順](#)
- [メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する](#)
- [メモリーカードを入れる](#)

TP1002215102

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

上面部



1. 録画START/STOP (開始/停止) ボタン

録画START/STOPボタンを押すとランプが点灯し記録が開始されます。もう一度押すとランプが消灯し記録が停止します。

2. マルチセレクトー

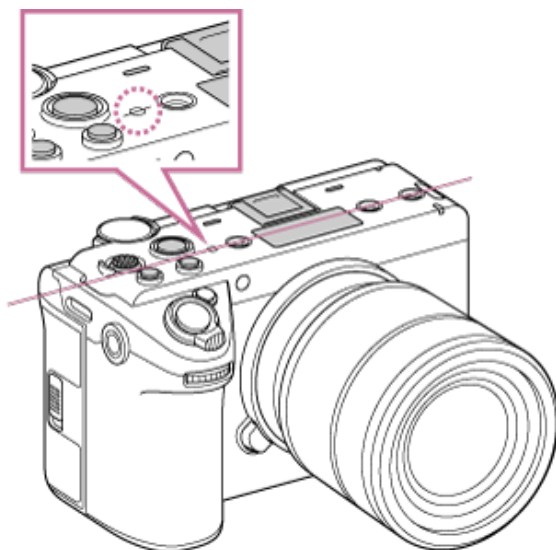
オートフォーカス操作やメニュー操作時等に使用します。8方向にカーソルを移動したり、押すと値の選択や決定ができます。

3. アサインブルボタン3

4. アサインブルボタン2

5. イメージセンサー位置表示

イメージセンサーとは、光を電気信号に変えるためのセンサーです。センサー面の位置は  (イメージセンサー位置表示) で示されています。被写体までの距離を正確に測るには、この線の位置を参考にしてください。



6. 本体内蔵マイク

環境音収録用のマイクです。

7. マルチインターフェースシュー

XLRハンドルユニットや別売のアクセサリを装着します。

マルチインターフェースシュー対応アクセサリについて、詳しくは販売店にお問い合わせください。

8. VF端子

別売のビューファインダー DVF-EL1を接続する端子です。

9. アクセサリ用ネジ穴

1/4-20 UNCのネジに対応

アクセサリを取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm以下のものを使います。5.5 mmより長いネジを使用すると、本機にアクセサリをしっかりと固定できず、本機を傷つけることがあります。

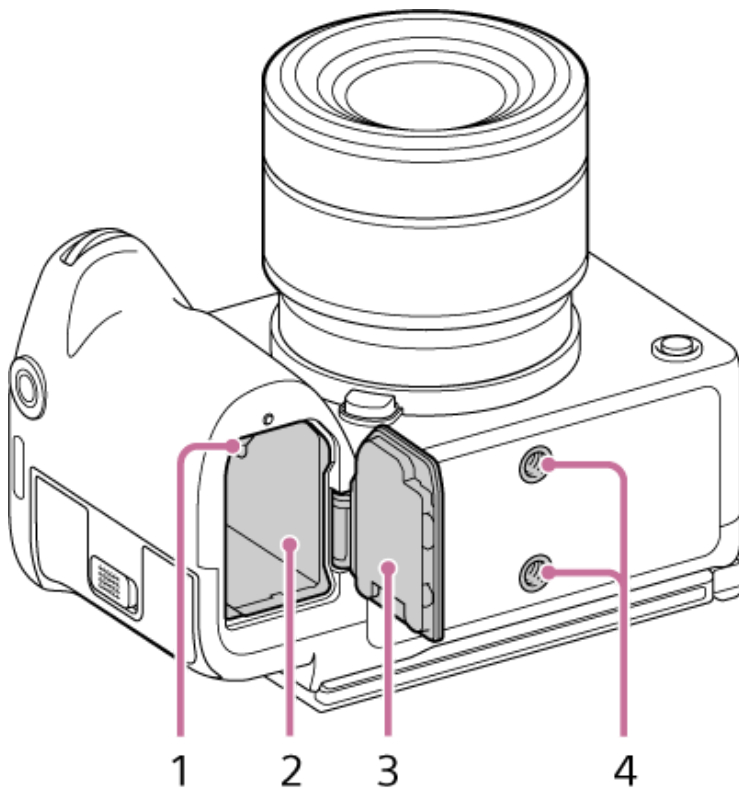
関連項目

- [XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）で収録する音声を設定する](#)
- [XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）の音声入力機器を選ぶ](#)
- [基本的な撮影手順](#)
- [左側面部/前面部](#)
- [ズームレバーでズームする](#)
- [アサインブルボタン](#)
- [背面部](#)
- [拡大表示をしてフォーカスを合わせる](#)
- [クリップを再生する](#)

TP1002215103

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

底面部



1. ロックレバー
2. バッテリー挿入口
3. バッテリーカバー
4. 三脚用ネジ穴

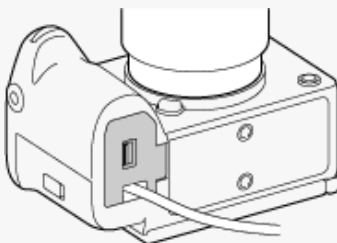
1/4-20 UNCのネジに対応

三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm以下の三脚を使います。5.5 mmより長いネジを使用すると、本機を三脚にしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

ヒント

● バッテリーカバー有償サービス部品について

ソニー相談窓口で取り扱いのバッテリーカバーを使うと、バッテリーカバーを閉じた状態でDCカプラー（別売）を使うことができます。



在庫の確認やご購入についてはソニー相談窓口にお問い合わせください。ご購入されるときは、品名、番号をご連絡ください。
取り扱いについては国や地域によって異なる場合があります。

ソニー相談窓口

<https://www.sony.net/support-contact>

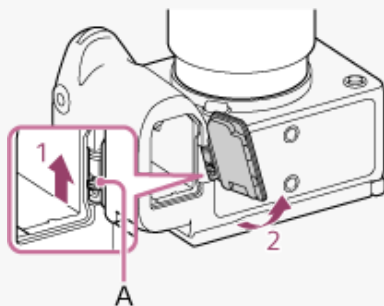
品名：バッテリーカバー（DCカプラー対応）（別売）

番号：X-5005-359-1

このバッテリーカバーを屋外雨天時などで使用すると、水滴や水分がカメラ本体に浸入する可能性があります。

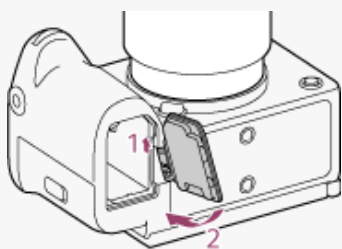
取りはずしかた

バッテリーカバー取りはずしレバー（A）を矢印の方向に動かして、バッテリーカバーを取りはずす。



取り付けかた

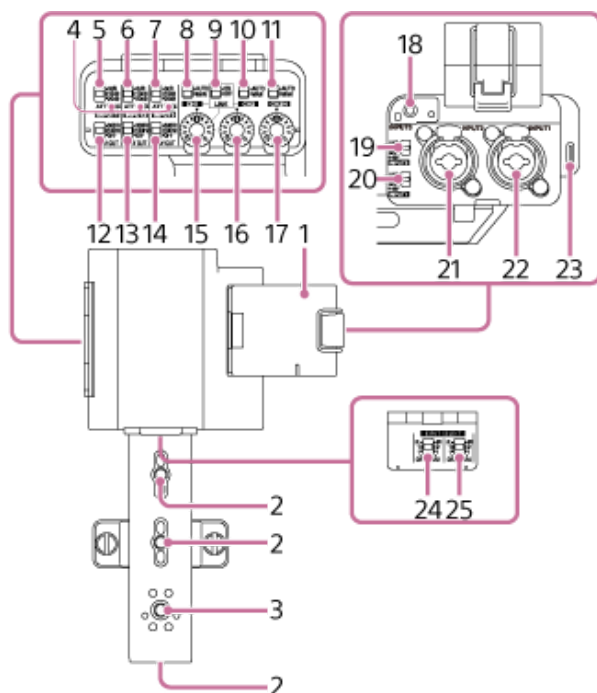
バッテリーカバーの軸を取り付け部の穴に差し込んでから、バッテリーカバーを押し込むようにしてもう一方の軸を取り付ける。



TP1002215104

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

XLRハンドルユニット (ILME-FX5のみ)



1. マイクホルダー

2. アクセサリー取り付け用ネジ穴

1/4-20UNCのネジ (長さ8.0 mm以下) に対応しています。

3. アクセサリーシュー取り付け部/アクセサリー取り付け用ネジ穴

1/4-20UNCのネジ (長さ7.5 mm以下) に対応しています。

4. OL (オーバーロード) ランプ

アナログクリッピングするような大きな入力音声の場合に点灯します。接続している機器や本機のATTスイッチで入力レベルを調節し、ランプが点灯しない範囲でお使いください。

5. ATT (INPUT1) スイッチ

INPUT1端子の基準入力レベルを設定します。INPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されているときに有効です。

6. ATT (INPUT2) スイッチ

INPUT2端子の基準入力レベルを設定します。INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されているときに有効です。

7. ATT (INPUT3) スイッチ

INPUT3端子の基準入力レベルを設定します。

8. AUTO/MAN (CH1) スイッチ

CH1に出力する音声レベルの調節方法 (自動/手動) を選択します。

9. LINKスイッチ

LINKスイッチが「ON」かつAUTO/MAN (CH1) スイッチが「MAN」の場合、AUDIO LEVEL (CH1) ダイアルでCH1/CH2の録音レベルを連動して調整できます。

AUTO/MAN (CH1) スイッチを「AUTO」にすると、CH2も「AUTO」に設定されますが、この操作だけではCH1/CH2の録音レベル自動調整は連動しません。連動させるには、フルメニューの [Audio] - [音声入力] - [CH1&2音量自動調整モード] または [CH3&4音量自動調整モード] で [ステレオ] を選択してください。

- 10. AUTO/MAN (CH2) スイッチ**
CH2に出力する音声レベルの調節方法（自動／手動）を選択します。
- 11. AUTO/MAN (CH3/4) スイッチ**
CH3、CH4に出力する音声レベルの調節方法（自動／手動）を選択します。
- 12. LOW CUT (INPUT1) スイッチ**
INPUT1端子から入力する音声の低周波成分を減衰させて、不要な雑音を低減します。
INPUT1（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されているときに有効です。
- 13. LOW CUT (INPUT2) スイッチ**
INPUT2端子から入力する音声の低周波成分を減衰させて、不要な雑音を低減します。
INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されているときに有効です。
- 14. LOW CUT (INPUT3) スイッチ**
INPUT3端子から入力する音声の低周波成分を減衰させて、不要な雑音を低減します。
- 15. AUDIO LEVEL (CH1) ダイアル**
CH1に出力する音声の録音レベルを調節します。
- 16. AUDIO LEVEL (CH2) ダイアル**
CH2に出力する音声の録音レベルを調節します。
- 17. AUDIO LEVEL (CH3/4) ダイアル**
CH3、CH4に出力する音声の録音レベルを調節します。
- 18. INPUT3端子（φ3.5 mmステレオミニジャック、プラグインパワー対応）**
- 19. INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ**
INPUT2端子に接続する機器に応じて切り替えます。
- 20. INPUT1（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ**
INPUT1端子に接続する機器に応じて切り替えます。
- 21. INPUT2端子（XLR/TRS*型3ピン、凹型、+48 Vファンタム電源対応）**
* 3極ジャック（TIP : HOT、RING : COLD、SLEEVE : GND）
- 22. INPUT1端子（XLR/TRS*型3ピン、凹型、+48 Vファンタム電源対応）**
* 3極ジャック（TIP : HOT、RING : COLD、SLEEVE : GND）
- 23. USB Type-C端子**
XLRハンドルユニットのファームウェアのアップデート時に使用する端子です。

ご注意

- USBオーディオ出力には対応していません。USB電源(USB PD電源含む)などによる給電には対応していません。

- 24. INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチ**
MIシューへの入力チャンネル（CH1/CH2）を設定します。
- 25. INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチ**
MIシューへの入力チャンネル（CH3/CH4）を設定します。

TP1002271860

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

タッチパネルの使いかた

タッチパネル利用上のご注意

本製品のLCDモニターはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作を行います。
タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪/ボールペン/ピンなど）を押し付けたりしないでください。
次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

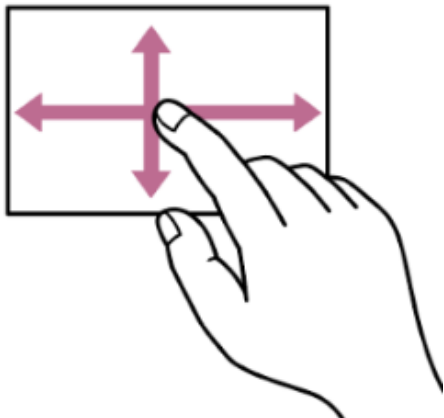
タッチパネル上の操作

タップ

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。



フリック/スワイプ

画面に触れて上下または左右にはらうように操作します。



ヒント

- 表示内容が画面の外へ続く場合は、表示内容をドラッグしたりフリックしたりしてスクロールさせることができます。

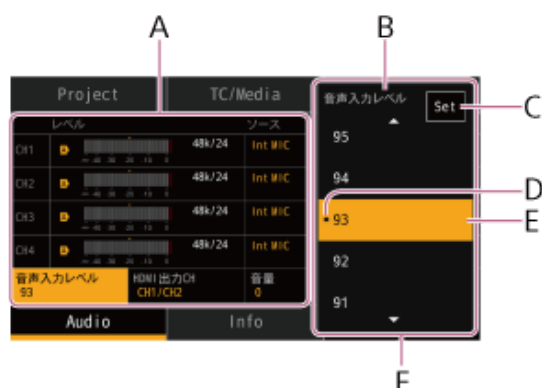
タッチパネルの設定

タッチパネルを利用するかどうかは、フルメニューの [Technical] - [タッチ操作] で設定できます。

タッチ操作対応設定画面の使いかた

メニュー画面での操作を例に、タッチ操作での設定方法を説明します。

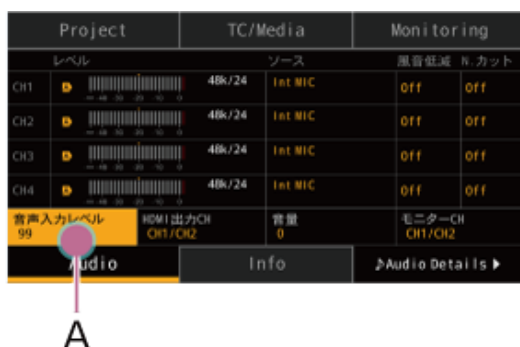
画面構成



- A: 設定項目
- B: 設定項目名
- C: [Set] (決定) ボタン
- D: 直前の設定値を示す印
- E: 設定値選択カーソル (橙色枠)
- F: 設定値の選択肢

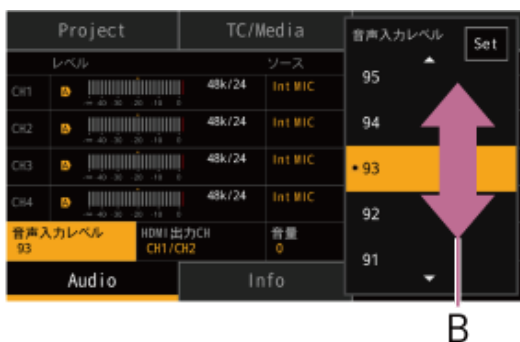
操作方法

1. 設定項目をタップ (A) する。



設定値の選択肢が表示されます。

2. 設定値をドラッグまたはフリック (B) して選択する。



3. [Set] または設定値選択カーソルをタップする。
設定値を確定し元の画面に戻ります。

ヒント

- BACKボタンを押すと直前の設定値に戻ります。
- マルチファンクションダイヤルやマルチセクターでも操作できます。

- タッチ操作を無効にすることもできます。

TP1002215107

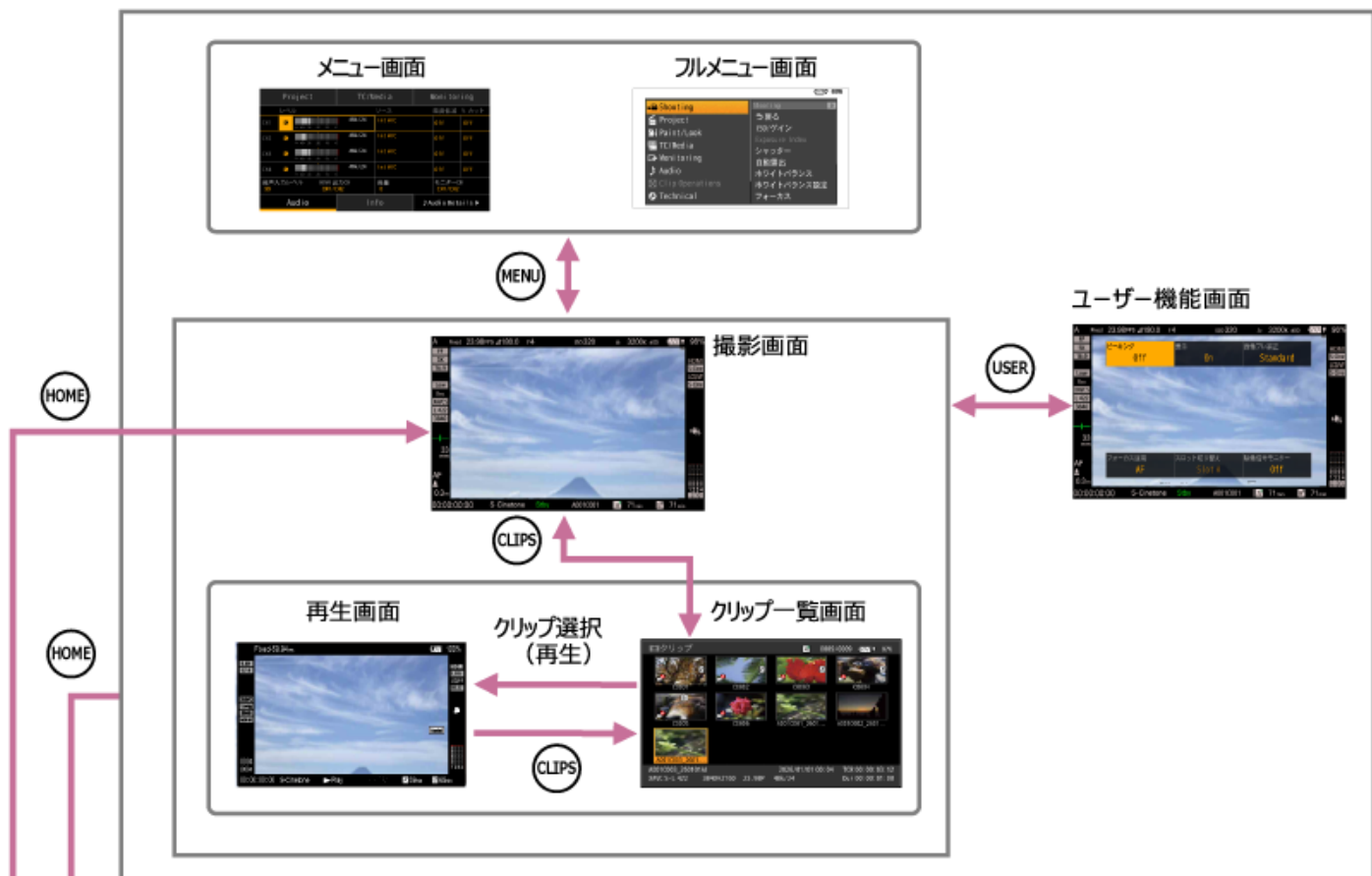
5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

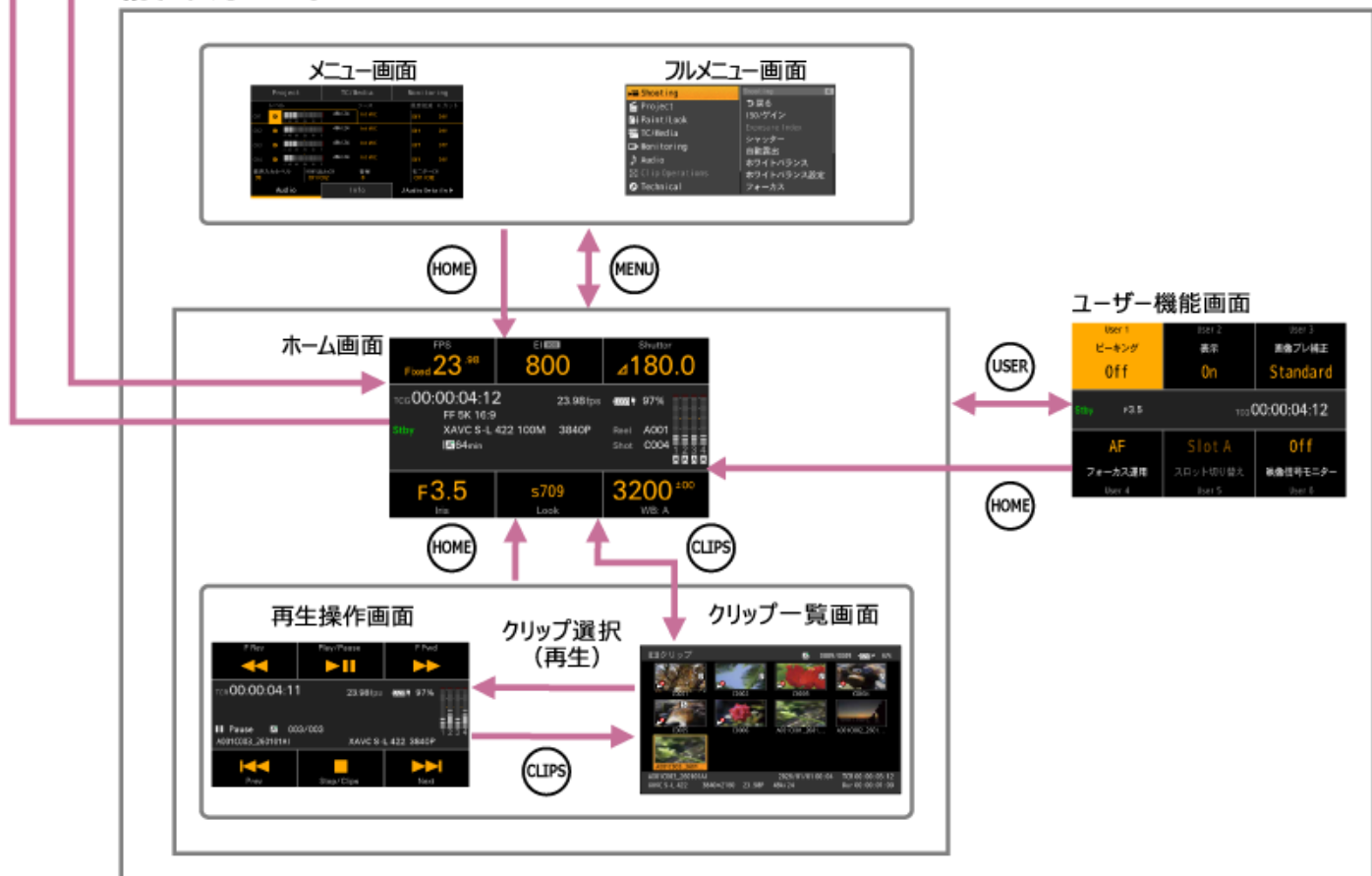
画面の切り替えかた

LCDモニターには、撮影画面を中心に映像を確認しながら設定などを確認する映像監視モードと、各種情報や設定値等を確認・変更するための専用のディスプレイとする情報表示モードの2つがあり、HOMEボタンによって切り替えることができます。また、それぞれのモードの中でユーザー機能画面、メニュー画面、フルメニュー画面、再生画面、クリップ一覧画面が表示されます。HOMEボタン、MENUボタン、CLIPSボタン、USERボタンを操作してLCDモニターに表示される画面が下図のように遷移します。

映像監視モード



情報表示モード



ヒント

- 映像監視モードでは、外部モニターにLCDモニターと同じ画面表示を出力させることができます。

- 情報表示モードは、HDMI出力に外部モニターを接続してLCDモニターと併用するよう設計されています。外部モニターは映像の監視用に上部などに配置し、LCDモニターは設定操作用として、撮影スタイルに応じて使用してください。
- LCDモニターに表示された機能の操作はタッチ操作で行いますが、オレンジ色のカーソルの操作はマルチファンクションダイヤルやマルチセクターでも行えます。また映像監視モードと同様に撮影画面上でダイレクトメニュー操作を行いたい場合は、フルメニューの [Technical] - [メニュー設定] の [情報表示モードの操作] を [ダイレクトメニュー優先] に設定してください。
- ホーム画面・ユーザー機能画面・メニュー画面・フルメニュー画面・再生操作画面は、外部モニターには表示されません。LCDモニターにホーム画面・ユーザー機能画面・メニュー画面・フルメニュー画面が表示されているとき、外部モニターには撮影画面が表示され、再生操作画面が表示されているときは再生画面が表示されます。ただし、LCDモニターにユーザー機能画面・メニュー画面・フルメニュー画面が表示されているときには外部モニターの撮影画面に表示される情報の一部は表示されません。

関連項目

- [ホーム画面](#)
- [ユーザー機能画面](#)
- [メニュー画面](#)
- [フルメニューの操作方法](#)
- [クリップ一覧画面の構成](#)
- [再生操作画面](#)

TP1002274847

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

撮影画面/再生画面

映像監視モードのとき、撮影中（記録中／記録待機中）および再生中は、映像の周囲に本機の状態や設定を表示する撮影画面・再生画面がLCDモニターおよび外部モニターに表示されます。

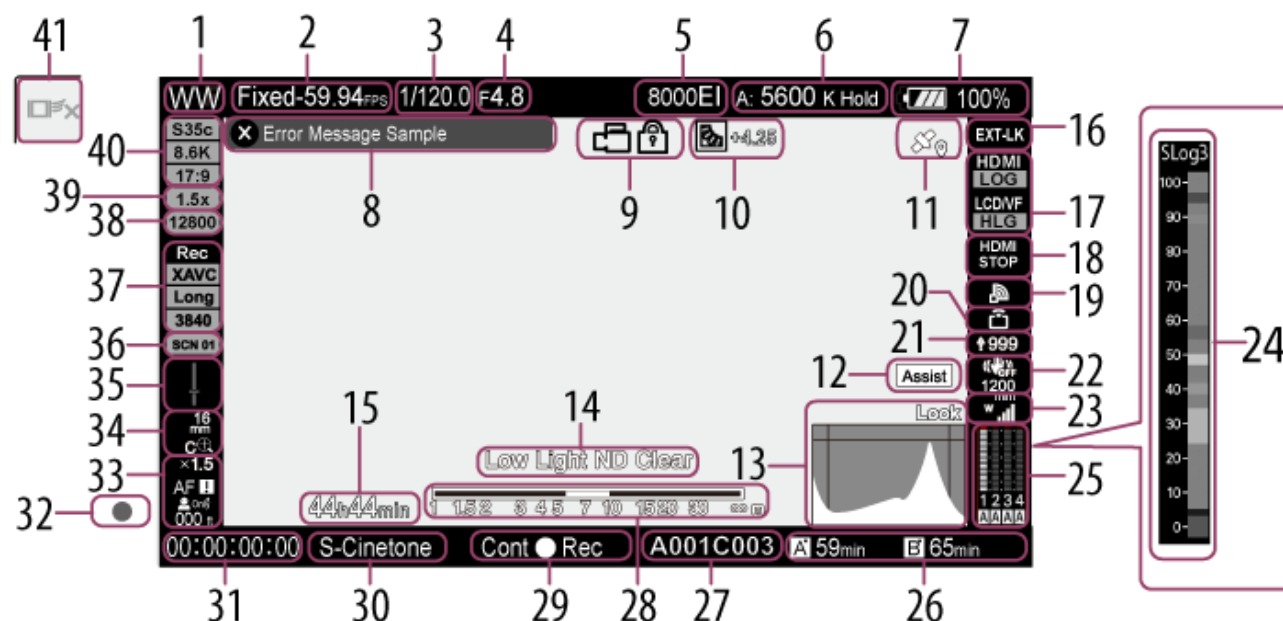
情報表示モードのときはLCDモニターに各種情報や設定値などを表示すると同時に、撮影画面・再生画面が外部モニターに表示されます。撮影画面・再生画面に設定表示をする場合は、あらかじめメニューの[Monitoring] - [情報表示] を[On] に設定してください。

ご注意

- 項目ごとに表示/非表示を選択できます。記録モード/スロットA/B/動作状態表示、インターバルレック記録間隔時間表示を常時表示させたい場合は、フルメニューの[Monitoring] - [画面表示On/Off設定] の[記録/再生状態] を[常にOn] または[On] に設定してください。

* 印が付いている項目は、情報表示モードのとき外部モニターに表示できない項目です。

撮影中の画面に表示される情報



1. カメラID表示

2. 記録フォーマット表示（フレームレートとプロジェクトフレームレート）

フルメニューの[Shooting] - [FPS] - [固定/可変 選択] が[固定] に設定されている場合[Fixed]が表示されます。

3. シャッター表示

4. アイリス表示

アイリスの位置（F値）が表示されます。

5. ゲイン表示

カスタム撮影モードのときはゲイン値またはISO値、[Flexible ISO] のときはISO値を表示します。
[Cine EI] / [Cine EI Quick] のときは、EI値を表示します。

表示	意味
A	自動モード
	一時調節モード

6. ホワイトバランスモード表示

表示	意味
	自動モード
ATW Hold	自動モード一時停止
A:	メモリーAモード
B:	メモリーBモード
C:	メモリーCモード
D:	メモリーDモード
E:	メモリーEモード
F:	メモリーFモード
G:	メモリーGモード
H:	メモリーHモード

7. 電源状態表示

バッテリー残量が表示されます。

USB給電をしているときは、バッテリー表示の横にUSB給電を表すアイコン（）が表示されます。

表示	意味
	100%～81%
	80%～51%
	50%～21%
	20%～1%
	0%

8. 警告とエラーメッセージ表示

9. キーロック状態表示

10. 自動露出調整の動作モード/レベル表示

表示	意味
	逆光補正モード
	標準モード
	スポットライトモード

11. GPS状態表示

表示	意味
	位置情報が有効期限内
	位置情報が有効期限外
	設定不備で位置情報連係ができていない状態

12. ガンマ表示アシスト表示*

ガンマ表示アシストの状態を表示します。ガンマ表示アシストの表示/非表示は、[ガンマ表示アシスト] が割り当てられたアサインボタンで切り替えることができます。

13. 映像信号モニター表示

ウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムを表示します。
オレンジの線はゼブラレベルの設定値を表示します。

撮影モードがログ撮影のときは、表示の上にモニター対象としているLUTの適用状態を表示します。[LUT Off] 時は、色域設定が表示されます。[LUT On] 時は、適用されているLUTの種類に関わらず「Look」が表示されます。

14. 映像レベル注意表示*

15. インターバルレック記録間隔時間表示

16. タイムコード外部ロック表示

他機のタイムコードにロックさせると「EXT-LK」と表示されます。

17. 出力ルック表示

ルックの出力先とルック名を表示します。

18. HDMIリモート記録モード表示

HDMIリモート記録モードでの動作状態を表示します。

19. ネットワーク状態表示

ネットワーク接続の状態がアイコンで表示されます。

20. アップロード中表示/転送ファイル残数表示

21. ストリーミング状態表示

表示	意味
	ストリーミング送信している状態
	ストリーミング送信への移行中状態
	エラーが発生してストリーミング送信していない状態

22. 手ブレ補正モード表示

23. UWP-Dシリーズの状態表示

UWP-DシリーズをMIシューにデジタルオーディオ伝送の設定で接続したとき、電波強度を示すRFレベルなどがアイコンで表示されます。

24. 露出アシスト色見本表示

露出アシスト表示の色見本が表示されます。

フルメニューの[Technical] - [露出アシスト] - [カラースケール] を[有効] に設定します。

25. オーディオレベルメーター表示

CH1～CH4のオーディオレベルを表示します。

26. メモリーカード残量表示

表示	意味
A	マウント処理中/マウント状態（[メディア(A)]）
B	マウント処理中/マウント状態（[メディア(B)]）
I	記録アクティブ状態表示
●	再生アクティブ状態表示（メディアアイコン右上の"●"表示）
Px	Proxy記録表示

メモリーカードがプロテクトされている場合は、（プロテクト）マークが表示されます。

27. クリップ名表示

記録中または次に記録するクリップの名前が表示されます。

28. 被写界深度表示

29. 記録モード/スロットA/B/動作状態表示

表示	意味
Stby	記録待機中
●Rec	記録中

30. ルック名表示

選択したルックを表示します。

31. タイムデータ表示

32. フォーカスインジケータ表示

33. フォーカスモード表示

表示	意味
Focus Hold	[Focus Hold] モード
MF	MFモード
AF	AFモード
Full MF	Full MFモード
	リアルタイムトラッキングAFモード
被写体認識AF (AF//Only//////!)	
	人物検出アイコン
Only	人物限定AFアイコン
	人物限定AFアイコン（保存された追尾顔あり）
	動物検出アイコン
	鳥検出アイコン
	動物/鳥検出アイコン
	保存された追尾顔ありアイコン
	AF一時停止アイコン ¹⁾

1) オートフォーカス動作中にオートフォーカス動作が継続できず、一時的にオートフォーカス動作が停止したときに表示されます。オートフォーカス動作を停止する原因が解消し、オートフォーカス動作を再開すると、非表示になります。

34. ズームポジション表示

ズームの位置が0（広角端）～ 99（望遠端）の範囲で表示されます。（ズーム設定表示対応レンズ装着時のみ）

バー表示または焦点距離表示に変えることもできます。

全画素超解像ズームを有効にすると、以下の表示が追加されます。

表示	意味
	全画素超解像ズーム機能が有効
倍率数値	全画素超解像ズーム中

35. 水準器表示

本機の水平方向の傾きが±1°刻みで、横位置の表示の場合は±15°まで、縦位置の表示の場合は±10°まで表示されます。

36. ルック名表示

37. 記録フォーマット（画サイズ/コーデック）表示

メモリーカードに記録されるフォーマット名称および画サイズを表示します。

38. 基準感度表示/Base ISO表示

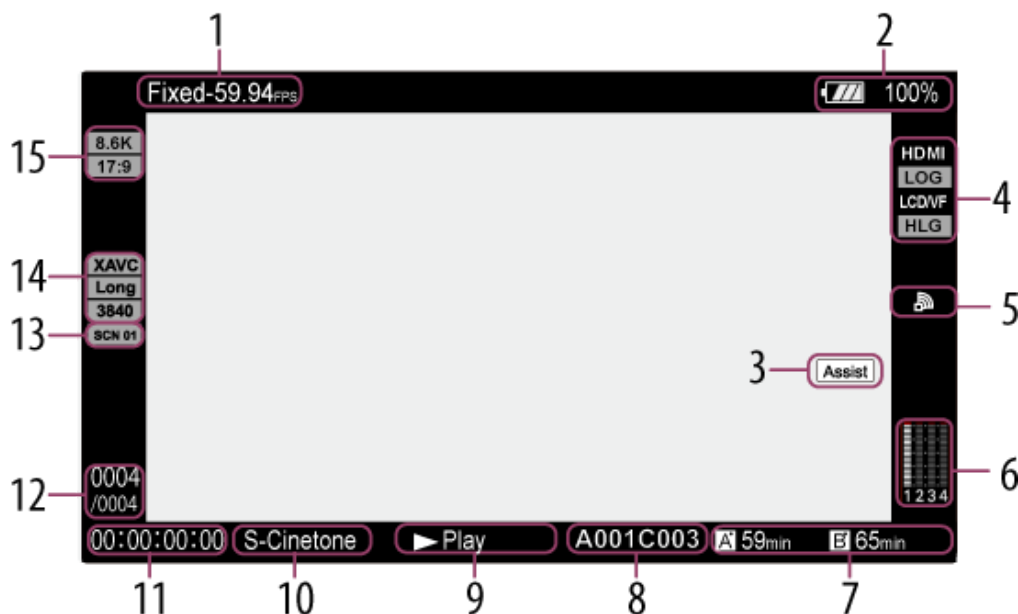
39. アナモデスクイーズ倍率表示

40. イメージャーモード表示

41. リアルタイムトラッキングAF終了ボタン

再生中の画面に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. 再生フォーマット表示（フレームレートとプロジェクトフレームレート）

2. 電源状態表示

3. ガンマ表示アシスト表示*

4. 出力ルック表示

5. ネットワーク状態表示

6. オーディオレベルメーター表示

7. メモリーカード表示

8. クリップ名表示

9. 再生動作状態表示

10. ルック名表示

11. タイムデータ表示

12. クリップ番号/クリップ総数表示

13. ルック名表示

14. 再生フォーマット（画サイズ）表示

15. X-OCN 画像サイズ表示

アイコンについて

ネットワーク接続のアイコン

ネットワークモード	接続状態	アイコン
アクセスポイントモード	アクセスポイントとして動作中	AP
	アクセスポイント動作エラー	AP (アイコン点滅)
ステーションモード	Wi-Fi接続中 電波強度によりアイコンが変化（4段階）	📶 📶 📶 📶
	Wi-Fi接続切断（準備中含む）	📶 (アイコン点滅)
	Wi-Fi接続エラー	📶 (アイコン点滅)

ネットワークモード	接続状態	アイコン
有線LAN	有線LAN接続中	
	有線LAN切断	 (アイコン点滅)
	有線LANエラー	 (アイコン点滅)
USBテザリング	USBテザリング接続中	
	USBテザリング切断	 (アイコン点滅)
	USBテザリングエラー	 (アイコン点滅)
Bluetooth	Bluetooth機能がオン	

UWP-Dシリーズのアイコン

送信機の状態	受信状態	アイコン
電源オフ	未受信	
通常送信状態	受信中	 (受信レベルを4段階で表示)
ミュート状態	受信中 (ミュート中)	
バッテリー残量警告状態	受信中	 (アイコン点滅)
ミュート、かつバッテリー残量警告状態	受信中	 (アイコン点滅)

関連項目

- [「Monitor & Control」と接続する](#)
- [無線LANでインターネットに接続する](#)
- [USBテザリングでインターネットに接続する](#)
- [有線LANでインターネットに接続する](#)
- [基本的な撮影手順](#)
- [ゲインを調節する](#)
- [ストリーミングする](#)
- [固定/可変選択 \(スロー&クイックモーション\)](#)
- [手ブレ補正を使う](#)
- [残りの記録可能時間を確認する](#)
- [ホワイトバランスを手動で調節する](#)
- [タイムコードを外部機器と合わせる](#)
- [ルックを選ぶ](#)
- [ルックをSceneファイルとして保存する](#)
- [ファイルに保存される項目](#)
- [クリップ一覧画面の構成](#)
- [映像信号モニター](#)
- [ガンマ表示アシスト機能](#)
- [プロキシ記録](#)
- [リアルタイムトラッキングAFを終了する](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ホーム画面

HOMEボタンを押すと、LCDモニターにホーム画面が表示されます。ホーム画面では本機の状態の確認や基本的な項目の設定ができます。



A：項目名／設定値／機能表示部

B：ステータス表示部

ヒント

- 工場出荷時は、情報表示モードでマルチファンクションダイヤル、または「ダイレクトメニュー」が割り当てられたアサインボタンを押すと、ホーム画面にカーソルが現れ、各項目の設定値変更が可能になります。外部モニターでダイレクトメニュー操作を行いたい場合は、フルメニューの「Technical」 - 「メニュー設定」の「情報表示モードの操作」を「ダイレクトメニュー優先」に設定してください。

項目名／設定値／機能表示部



1～6に表示される各項目を選択すると、対応する項目の操作ができます。

1. [FPS]

撮像フレームレートの表示／設定

2. [Exposure Index] / [Base ISO]

[Exposure Index] および [Base ISO] の表示／設定

ヒント

- [Flexible ISO] 時は [ISO] / [Base ISO]、[カスタム] 時は [ISO] / [基準感度]、または [ゲイン] / [基準感度] の表示／設定となります。

3. [Shutter]

電子シャッターの表示／設定

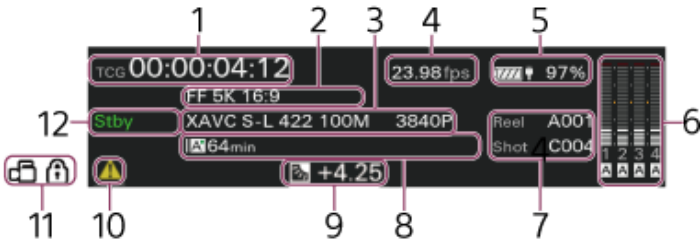
- 4. [Iris]
アイリスの表示／設定
- 5. [Look]
ルックの表示／設定

ヒント

- [カスタム] 時はSceneファイルの表示／設定となります。

- 6. [WB]（[ホワイトバランス]）
ホワイトバランスの表示／設定

ステータス表示部



- 1. **タイムデータ表示**
フルメニューの [TC/Media] - [TCディスプレイ] の設定に従って、デュレーション、ユーザービットまたはタイムコードが表示されます。
タイムデータに現在表示しているデータの種類の、次のように表示されます。
TCG：記録タイムコード
EXT-LK併記：外部ロック中
UBG：記録ユーザービット
TCR：再生タイムコード
UBR：再生ユーザービット
Clk：クロック
Dur：デュレーション
- 2. **イメージャーモード／アナモフィックレンズ倍率表示**
メニューの [Project] - [イメージャーモード] / [アナモデスクイーズ] の設定値が表示されます。
- 3. **記録フォーマット（コーデック）／画像解像度表示**
メモリーカードに記録されるフォーマット名称および画像解像度が表示されます。
- 4. **プロジェクトフレームレート表示**
メニューの [Project] - [Projectフレームレート] の設定値が表示されます。
- 5. **電源状態表示**
バッテリー残量が表示されます。
- 6. **オーディオレベルメーター**
CH1～CH4のオーディオレベルを表示します。
- 7. **クリップ名表示**
[オートネーミング] が [Cam ID + Reel#] のとき：
「Reel：カメラID + リールナンバー」と「Shot：カメラポジション + ショットナンバー」が表示されます。
[オートネーミング] が [タイトル] のとき：
「Title：[タイトルプレフィックス] で設定した任意文字列」と「No.：クリップ番号」が表示されます。
- 8. **メディア残量表示**
各記録メディアの状態と残時間（現在の記録フォーマットで記録できる時間）が表示されます。
- 9. **自動露出調整の動作モード/レベル表示**

表示	意味
	逆光補正モード

表示	意味
	標準モード
	スポットライトモード

10. 警告／エラーアイコン

警告またはエラーがあるときに表示されます。

メニューを表示させると、警告またはエラーの内容が確認できます。外部モニターに画面表示を重畳している場合は外部モニターでも確認できます。

11. キーロック状態表示

12. 記録動作状態表示

本機の記録動作状態が次のように表示されます。

表示	意味
Stby	記録待機中
●Rec	記録中
Int Stby	インターバルレックのインターバルのスタンバイ中
●Int Rec	インターバルレックで記録中（画像取り込み期間）
●Int Stby	インターバルレックで記録中（画像取り込みしていない）

ホーム画面の基本操作

1. HOMEボタンを押す。

LCDモニターにホーム画面が表示されます。

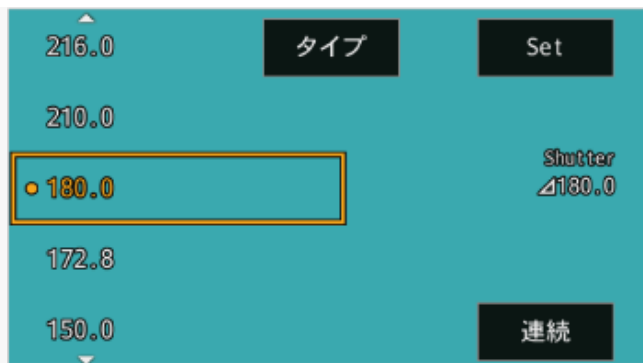


2. 1～6の各項目から設定したい項目を選択する。

項目の選択はタッチ操作のほか、フルメニューの［Technical］－［メニュー設定］－［情報表示モードの操作］が［Home画面優先］に設定されている場合は、マルチファンクションダイヤルやマルチセクターで操作することもできます。始めにマルチファンクションダイヤル、または［ダイレクトメニュー］が割り当てられたアサインボタンを押してカーソルを表示させ、マルチファンクションダイヤルやマルチセクターでカーソル操作を行います。何も操作しないで3秒経過すると、カーソルは非表示になります。

ご注意

- フルメニューの［Technical］－［メニュー設定］－［情報表示モードの操作］が［ダイレクトメニュー優先］に設定されている場合は、マルチファンクションダイヤルを押しても操作することはできません。いずれかの項目をタッチしてください。



設定値の変更画面が表示されます。上図は3の項目を選択した場合の表示例です。

3. カーソルを操作し、選択項目または設定値にカーソルを合わせる。

4. [Set] ボタンを選択し決定する。

ヒント

- 設定値の変更画面ではカーソル操作をマルチファンクションダイヤルやマルチセクターで行うこともできます。カーソルを合わせて、マルチファンクションダイヤルやマルチセクターを押し込んだあと、[Set] ボタンを選択することで決定します。

ホーム画面設定項目一覧

各項目で設定できる内容は次のとおりです。フルメニューに同じ設定がある項目については、フルメニューをあわせて参照してください。

項目	内容
[FPS]	撮像フレームレートをプロジェクトフレームレートに固定するか、プロジェクトフレームレートと異なる値にするかを設定する。 ● [固定] 設定画面で [Fixed] を選択すると、撮像フレームレートをプロジェクトフレームレートに合わせて [Fixed] とプロジェクトフレームレートを表示します。 ● [可変] 設定画面で [Variable] を選択すると、撮像フレームレートをプロジェクトフレームレートと異なる値に設定できます。 1～60 / 66 / 72 / 75 / 88 / 90 / 96 / 100 / 110 / 120 / 150 / 180 / 200 / 240 FPS ご注意 ● 設定値の範囲は、選択されているプロジェクトフレームレートやコーデック、ビデオフォーマットによって異なります。 ヒント ● この設定は、フルメニューの [Shooting] - [FPS] に相当します。

項目	内容
[ISO/ゲイン] / [基準感度] ([カスタム] 時)	[ISO/ゲイン] を設定する。 [基準感度] を押すと基準感度を設定できます。 [AGC] を押すと、オートゲインコントロール機能を設定できます。 ヒント ● [ISO/ゲイン] はフルメニューの [Shooting] - [ISO/ゲイン] の [ISO/ゲイン選択]、[基準感度] はフルメニューの [Shooting] - [ISO/ゲイン] の [基準感度] に相当します。 ● [AGC] はフルメニューの [Shooting] - [自動露出] の [AGC] に相当します。
[ISO] / [Base ISO] ([Flexible ISO] 時)	[ISO] を設定する。 [Base ISO] を押すと基準ISO感度を設定できます。 [AGC] を押すと、オートゲインコントロール機能を設定できます。 ヒント ● [ISO] はフルメニューの [Shooting] - [ISO/ゲイン] の [ISO/ゲイン選択]、[Base ISO] はフルメニューの [Shooting] - [ISO/ゲイン] の [Base ISO] に相当します。 ● [AGC] はフルメニューの [Shooting] - [自動露出] の [AGC] に相当します。
[Exposure Index] / [Base ISO] ([Cine EI] / [Cine EI Quick] 時)	[Exposure Index] を設定する。 [Base ISO] を押すと基準ISO感度を設定できます。 ヒント ● [Cine EI Quick] 時は [Exposure Index] のみ設定します。 ● [Exposure Index] はフルメニューの [Shooting] - [Exposure Index]、[Base ISO] はフルメニューの [Shooting] - [ISO/ゲイン] の [Base ISO] に相当します。
[Shutter]	電子シャッターを設定する。 ● フルメニューの [Shooting] - [シャッター] - [モード] が [角度] の場合 電子シャッターの開角度を設定する。 [ステップ] または [連続] を押すと、プリセットされた開角度または細かい開角度の設定に切り替わります。 ● フルメニューの [Shooting] - [シャッター] - [モード] が [スピード] の場合 電子シャッターのシャッタースピードを設定する。 [ステップ] または [連続] を押すと、プリセットされた時間または細かい時間の設定に切り替わります。 [タイプ] を押すと、オートシャッターコントロール機能を設定できます。 ヒント ● [角度] の [ステップ] / [連続] はフルメニューの [Shooting] - [シャッター] の [角度 (ステップ)] / [角度 (連続)] に相当します。 ● [スピード] の [ステップ] / [連続] はフルメニューの [Shooting] - [シャッター] の [スピード (ステップ)] / [スピード (連続)] に相当します。 ● [オートシャッター] はフルメニューの [Shooting] - [自動露出] の [オートシャッター] に相当します。

項目	内容
[Iris]	アイリスを設定する。 [オート] を押すと、オートアイリス機能を設定できます。
[Scene File] （[カスタム] 時）	あらかじめ用意された画質設定を切り替える。 プリインストールされた画質設定のほか、お好みの画質設定を保存して切り替えることができます。 ヒント この設定は、フルメニューの [Paint/Look] - [Sceneファイル] の [内蔵メモリーから呼出] に相当します。
[Look] （Log撮影時）	ルックを設定する。[Edit Look] ボタン（項目4）を押してルックを選択します。項目1、6で各出力系統にルックを適用するかどうかを設定します。 状態により、設定不可または設定が連動となる組み合わせがあります。 ヒント この設定はフルメニューの [Paint/Look] - [基本Look] の [選択] と、フルメニューの [Shooting] - [LUT On/Off] 以下の各項目に相当します。
[WB] （[ホワイトバランス]）	ホワイトバランスを設定する。 A/B/C/D/E/F/G/H、8つのホワイトメモリーポジションが用意されています。 それぞれ次の方法で値を設定できます。 - 色温度・ティント値をそれぞれ設定 - オートホワイトバランスで設定 - 特定のプリセット値を選択 - ATWを設定 ヒント - この設定は、フルメニューの [Shooting] - [ホワイトバランス] 以下の各項目に相当します。 - ホーム画面からのホワイトバランスの設定は、色温度値の設定粒度を [Coarse] / [Fine] から選択できます。 [Coarse] : 100K単位 [Fine] : 1K単位

関連項目

- [マルチファンクションダイヤル](#)
- [ダイレクトメニュー](#)
- [アサイナブルボタン](#)

TP1002274848

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ユーザー機能画面

ユーザー機能画面は、撮影前および撮影中に素早く実行・設定したい機能呼び出すための画面です。頻繁に使用する機能や、ルーティンとして必ず使う機能を割り当てることで、ホーム画面・撮影画面・フルメニュー画面・再生画面・クリップ一覧画面のままソフトボタンの操作できます。

USERボタンを押すと、LCDモニターにユーザー機能画面が表示されます。

フルメニューの【Project】 - 【アサインابلボタン】 - [<User 1>] ~ [<User 6>] で、ユーザー機能画面の【User 1】 ~ 【User 6】に機能を割り当てるができます。

映像監視モード時



情報表示モード時



関連項目

- [アサインابلボタン](#)

TP1002274849

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

メニュー画面

メニュー画面では、本機の設定や状態を確認することができます。

メニューを表示させるには

- MENUボタンを押す

メニュー画面を切り替えるには

1～6に表示される各項目を選択すると、対応する画面が表示されます。

項目を選択した状態で、マルチセクターまたはマルチファンクションダイヤルを左右に操作すると画面を切り替えることもできます。

選択しているカテゴリーの画面で項目6を押すと、選択しているカテゴリーのフルメニューが表示されます。



メニューを消すには

- MENUボタンを押す

設定を変更するには

メニュー画面の表示中にマルチファンクションダイヤルやマルチセクターを押すと、画面内の設定項目を選べるようになります。

なお、タッチ操作で直接選ぶこともできます。

【Project】カテゴリー

基本設定、記録フォーマットの設定や確認をします。

表示項目	説明	フルメニューのメニュー項目
【映像規格】	【カスタム】時の記録/出力の映像規格を設定する。	【基本設定】－【映像規格】
【入力カラースペース】	色域を設定する。	【基本設定】－【Cine EI/Flexible ISO設定】－【入力カラースペース】
【Projectフレームレート】	プロジェクトフレームレートを選択する。	【記録フォーマット】－【Projectフレームレート】
【イメージャーモード】	有効画サイズを設定する。	【記録フォーマット】－【イメージャーモード】

表示項目	説明	フルメニューのメニュー項目
〔コーデック〕	コーデックを設定する。	〔記録フォーマット〕 - 〔コーデック〕
〔ビデオフォーマット〕	録画フォーマットを設定する。	〔記録フォーマット〕 - 〔ビデオフォーマット〕
〔アナモデスクイーズ〕	アナモフィックレンズでの撮影時に、指定した出力系統に表示する映像のデスクイーズ倍率を設定する。	〔アナモデスクイーズ〕 - 〔レシオ〕

【TC/Media】 カテゴリー

タイムコードの値やTCフォーマットの設定や確認をします。

表示項目	説明	フルメニューのメニュー項目
〔TC モード/Run〕	タイムコードの歩進モードを設定する。	〔タイムコード〕 - 〔モード〕 / 〔Run〕
〔TCディスプレイ〕	タイムデータの表示を切り替える。	〔TCディスプレイ〕 - 〔タイムデータ表示〕
〔TC設定〕	タイムコードを任意の値に設定する。タイムコードを00:00:00:00にリセットする。タイムコードのフォーマットを設定する。	〔タイムコード〕 - 〔マニュアル設定〕 / 〔リセット〕 / 〔TCフォーマット〕
〔カメラID〕	クリップ名の生成時のカメラIDを設定する。	〔クリップ名設定〕 - 〔カメラID〕
〔リールナンバー〕	クリップ名の生成時の〔リールナンバー〕の数字部分を設定する。	〔クリップ名設定〕 - 〔リールナンバー〕
〔カメラポジション〕	クリップ名の生成時のショットナンバーの先頭文字部分を設定する。	〔クリップ名設定〕 - 〔カメラポジション〕
〔クリップネーム〕	〔オートネーミング〕が〔タイトル〕のとき、クリップ名のタイトル部分を表示する。	〔クリップ名設定〕 - 〔タイトル名設定〕
〔メディア初期化〕	カードスロットA/Bのメモリーカードを初期化する。	〔メディア初期化〕 - 〔メディア(A)〕 / 〔メディア(B)〕

【Monitoring】 カテゴリー

HDMI、LCDモニター、ビューファインダーの各外部出力の信号フォーマットやOSDやマーカの重畳状態の設定や確認をします。

表示項目	説明	フルメニューのメニュー項目
〔LCD/VF〕	〔フレームライン〕 LCDモニターまたはビューファインダーの映像に重畳して表示するフレームラインを選択する。	〔フレームライン〕
〔HDMI〕	〔出力フォーマット〕 HDMI出力の解像度設定をする。	〔出力フォーマット〕
	〔情報表示〕 HDMIの画面表示出力をオン/オフする。	〔画面表示出力〕
	〔フレームライン〕 HDMI出力に重畳して表示する情報を選択する。	〔フレームライン〕

表示項目		説明	フルメニューのメニュー項目
[IP]	[出力フォーマット]	ストリーミングの解像度を表示する。	[ストリーミング] - [RTMP/RTMPS 1] ~ [RTMP/RTMPS 3] - [解像度] [ストリーミング] - [SRT-Caller 1] ~ [SRT-Caller 3] - [解像度]
	[情報表示]	ストリーミングの画面表示出力状態を表示する。 ([Off] 固定)	-
	[フレームライン]	ストリーミングに重畳して表示する情報の状態を表示する。([Off] 固定)	-

【Audio】 カテゴリー

オーディオのソースやレベルなどの設定や確認をします。

表示項目		説明	フルメニューのメニュー項目
入力	[CH1レベル調整] ~ [CH4レベル調整]	自動調節をオン/オフする。	[音声入力] - [CH1レベル調整] ~ [CH4レベル調整]
	[CH1入力レベル] ~ [CH4入力レベル]	記録チャンネルの入力レベルを調整する。	[音声入力] - [CH1入力レベル] ~ [CH4入力レベル]
	[音声記録フォーマット] (CH1~CH4)	音声記録フォーマットを表示する。	[音声記録フォーマット] - [音声記録フォーマット]
	[32bit float WAV記録] (CH1~CH4)	32bit Floatの音声データの記録状態を表示する。	[32bit float WAV記録] - [設定]
	[CH1入力選択] ~ [CH4入力選択]	入力ソースを切り替える。	[音声入力] - [CH1入力選択] ~ [CH4入力選択]
	[CH1風音低減] ~ [CH4風音低減]	マイクの風音低減フィルターを設定する。	[音声入力] - [CH1 フィルター] ~ [CH4 フィルター] - [風音低減]
	[ノイズカットフィルター] (CH1~CH4)	ノイズ除去設定をする。	[音声入力] - [CH1 フィルター] ~ [CH4 フィルター] - [ノイズカットフィルター]
	[音声入力レベル]	音声入力レベルを設定する。	[音声入力] - [音声入力レベル]
出力	[HDMI出力CH]	HDMIのみ、またはHDMIとストリームに出力される音声チャンネルの組み合わせを設定する。	[音声出力] - [HDMI出力CH]
	[音量]	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーのモニター音声レベルを設定する。	[音声出力] - [音量]
	[モニターチャンネル]	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する音声チャンネルを設定する。	[音声出力] - [モニターチャンネル]

【Info】 カテゴリー

本機やメディア、バッテリーなどの状態を確認します。

No	ページ	説明
1	[カメラ状態]	警告メッセージとエラーメッセージが表示されます。何もメッセージがないときは、一番上の表示エリアに「全てのシステムは正常です」が表示されます。
2	[ファームウェア]	本機のシリアルナンバーやファームウェアバージョンが表示されます。

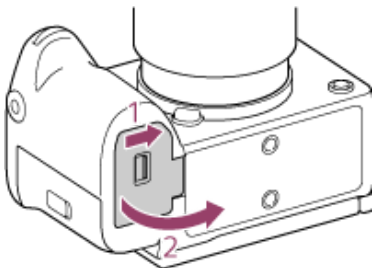
No	ページ	説明
3	[システム]	次のシステム情報が表示されます。 ● 設定日時 ● センサー検出温度 ● アワーズメーター
4	[バッテリー]	次のバッテリー情報が表示されます。 ● バッテリー種別 ● バッテリー残量 ● バッテリー状態 ● バッテリーバージョン ● 製造年月日 ● USB給電可能なポート ● 電源種別
5	[メディア]	メモリーカードの残量と記録可能時間、寿命データが表示されます。
6	[レンズ]	本機に装着されている次のレンズ情報が表示されます。 ● レンズの型名 ● レンズシリアルナンバー ● アイリスのF値 ● 焦点距離 ● フォーカス距離 ● 被写界深度 ご注意 ● 画面に表示されるフォーカス距離は目安です。

TP1002274850

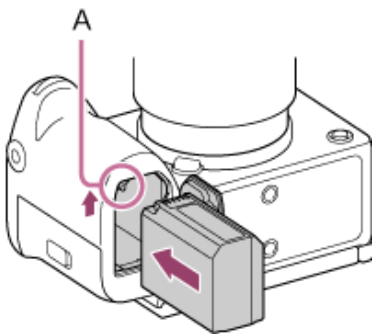
レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

バッテリーをカメラに入れる/取り出す

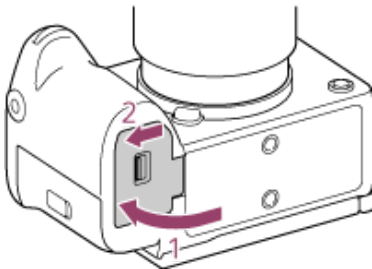
- ① バッテリーカバーのスイッチをスライドさせてカバーを開ける。



- ② バッテリーの端でロックレバー (A) を押しながら入れ、バッテリーがロックされるまで押し込む。

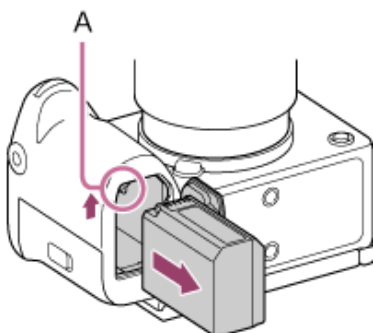


- ③ カバーを閉じて、スイッチをLOCK側にスライドさせる。



バッテリーを取り出すには

アクセラランプが点灯していないことを確認してから電源を切り、ロックレバー (A) をずらしてバッテリーを引き出します。このとき、バッテリーが落下しないよう、注意してください。



レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

付属のチャージャーでバッテリーを充電する

USB PD (USB Power Delivery) 対応の以下の市販品をご準備ください。

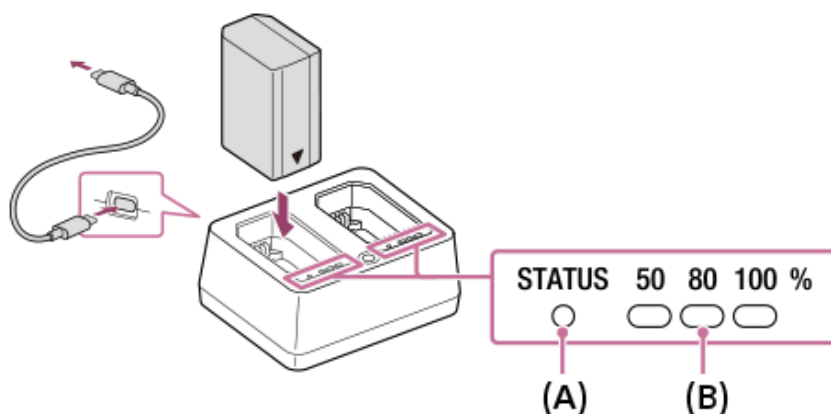
- 45 W以上対応のUSB Type-Cケーブル (USB-C™ — USB-C)
- 出力45 W以上の外部電源

USB Type-Cケーブルや外部電源の対応出力について、詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。

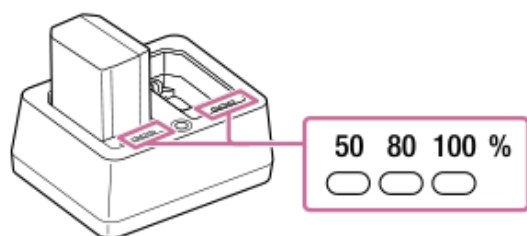
https://www.sony.net/di-power_reqmts/

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに入れ、市販のUSB Type-Cケーブル (USB PD対応) を使って、バッテリーチャージャーと外部電源 (USB PD対応) をつなぐ。

- 充電が行われる前にSTATUSランプ (A) が点灯し、消灯後に充電が始まります。STATUSランプが点灯せず充電が始まらない場合は、バッテリーがしっかりと取り付けられているか確認してください。
- バッテリーを2個同時に充電するとき、出力18 W以上45 W未満の外部電源でも充電が可能ですが、充電時間が長くなる場合があります。
- 上記以外の外部電源またはUSB Type-Cケーブルをご使用の場合、正しく充電できない場合があります。
- バッテリーを2個取り付けた場合、2個同時に充電されます。
- お使いの外部電源によっては、充電が始まる前にSTATUSランプが点滅を繰り返す場合がありますが、STATUSランプが消灯し、充電状況確認ランプ (B) が点灯または点滅に変われば、充電動作には問題ありません。



充電状況確認ランプ



充電状況確認ランプで、以下の表のとおり、おおよその充電の状況を確認することができます (オレンジ色が点灯を表しています)。

充電の状況	充電状況確認ランプ
0%～50%	🔴 ○ ○
50%～80%	🟡 🔴 ○
80%～満充電	🟡 🟡 🔴

充電の状況	充電状況確認ランプ
充電完了	● ● ●

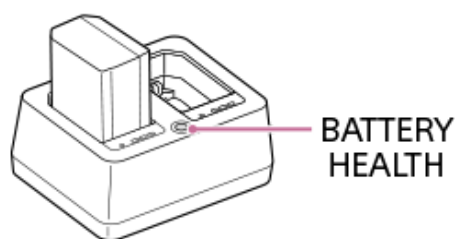
充電状況確認ランプによる充電量表示や、上記の数値は目安です。

充電時間の目安（満充電）

充電するバッテリーの数	満充電時間 (使用するケーブルおよび外部電源の出力)
1個	約85分（27 W以上の場合）
2個	約115分（45 W以上の場合）

- 本機に付属のチャージャーを使用し、使い切ったバッテリーを25℃の室温で充電したときの時間です。
- 周囲温度やバッテリーの状態、およびお使いのUSB Type-Cケーブルや外部電源によっては、上記の充電時間と異なる場合があります。
- 長期間使用していないバッテリーを充電する場合は、充電時間が長くなることがあります。

バッテリーの状態を確認する



BATTERY HEALTHボタンを押している間、STATUSランプが点灯し、充電状況確認ランプでバッテリーの状態を確認できます。

バッテリーの状態	充電状況確認ランプ
良好	● ● ●
少し劣化	● ● ○
劣化（交換推奨）	● ○ ○

ヒント

- バッテリーの状態は、メニューの [Info] カテゴリーの [バッテリー] ページで確認できます。バッテリーをカメラに入れて確認してください。

ご注意

- 外部電源は、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電する前に、必ず「[バッテリー/充電についてのご注意](#)」もご確認ください。

関連項目

- [メニュー画面](#)
- [バッテリーをカメラに入れる/取り出す](#)
- [バッテリー/充電についてのご注意](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

USB PD対応機器でバッテリーを充電する

USB PD (USB Power Delivery) 対応の以下の市販品をご準備ください。

- 27 W以上対応のUSB Type-Cケーブル (USB-C — USB-C)
- 出力27 W (9 V/3 A) 以上の外部電源

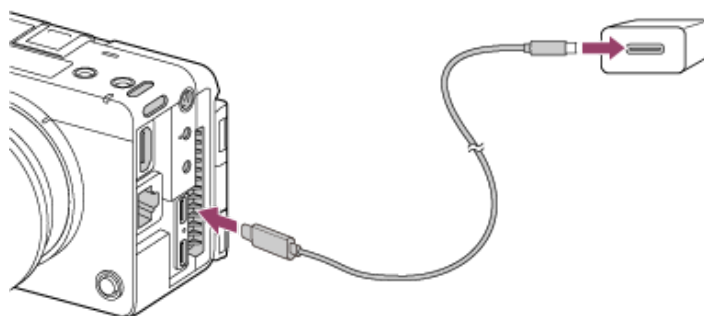
USB Type-Cケーブルや外部電源の対応出力について、詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。

https://www.sony.net/di-power_reqmts/

1 カメラの電源を切る。

2 市販のUSB Type-Cケーブル (USB PD対応) を使って、カメラのUSB Type-C端子と外部電源 (USB PD対応) のUSB Type-C端子をつなぐ。

USB PORT 1とUSB PORT 2のどちらのUSB Type-C端子を使っても充電ができます。また、どちらの端子を使っても充電にかかる時間は同じです。



カメラの充電ランプ (オレンジ色)

点灯：充電中

消灯：充電終了

点滅：充電エラー、または温度が適切な範囲にないための充電一時待機

- 充電が完了すると、充電ランプが消えます。
- 充電ランプが点灯後すぐに消える場合は満充電です。

ヒント

- 出力27 W未満のUSB PD対応機器でも充電が可能ですが、充電時間が長くなることがあります。
- USB PD非対応機器を使って充電することもできます。USB Type-Cケーブル (USB-A — USB-C) (市販) をお使いください。ACアダプターを使用する場合は、定格出力電流が1.5 A以上のACアダプターをお使いください。充電にかかる時間は、USB PD対応機器よりも長くなります。
- バッテリーの状態は、メニューの [Info] カテゴリーの [バッテリー] ページで確認できます。バッテリーをカメラに入れて確認してください。

ご注意

- ACアダプターを使用する場合は、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。
- 充電中に本機の電源を入れると、コンセントから給電され本機を使用できますが、充電はされません。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間放置しないでください。

- 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本機が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
- 自作のパソコンや改造したパソコン、ハブ経由での充電は保証できません。
- 同時に使うUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 充電する前に、必ず「[バッテリー/充電についてのご注意](#)」もご確認ください。

関連項目

- [メニュー画面](#)
- [バッテリーをカメラに入れる/取り出す](#)
- [バッテリー/充電についてのご注意](#)

TP1002271863

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

USB給電でカメラを使う

外部電源からカメラにUSB給電を行うことで、撮影/再生時もバッテリーの消費を抑えてカメラに電力を供給しながら使用できます。

USB PD (USB Power Delivery) 対応の以下の市販品をご準備ください。

- 27 W以上対応のUSB Type-Cケーブル (USB-C — USB-C)
- 出力27 W (9 V/3 A) 以上の外部電源

USB Type-Cケーブルや外部電源の対応出力について、詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。

https://www.sony.net/di-power_reqmts/

1 十分に充電されたバッテリーをカメラに入れる。

バッテリーの残量がないと動作しません。十分に充電されたバッテリーをご準備ください。

2 市販のUSB Type-Cケーブル (USB PD対応) を使って、カメラのUSB Type-C端子と外部電源 (USB PD対応) をつなぐ。

USB PORT 1とUSB PORT 2のどちらのUSB Type-C端子を使っても給電ができます。フルメニューの [Technical] - [電源設定] - [USB給電] を [オート] または [PORT1] / [PORT2] に設定してください。

3 カメラの電源を入れる。

モニターのバッテリー表示の横にUSB給電を表すアイコン (🔌) が表示され、給電が開始される。

ヒント

- 出力27 W未満のUSB PD対応機器でも給電が可能ですが、給電時にバッテリーの消費が大きくなる場合があります。
- USB PD非対応機器を使って給電することもできます。USB Type-Cケーブル (USB-A - USB-C) (市販) をお使いください。ACアダプターを使用する場合は、定格出力電流が1.5 A以上のACアダプターをお使いください。

ご注意

- 電源を入れて使用している間は、外部電源と接続していてもバッテリーへの充電はされません。
- 外部電源と接続して使用していても、ご使用の条件によっては、補助的にバッテリーの電源を使用する場合があります。
- 給電しながらのご使用中は、カメラからバッテリーを取りはずさないでください。バッテリーを取りはずすとカメラの電源が切れます。
- USBケーブルの抜き差しは、カメラの電源を切った状態で行ってください。
- USB給電中は、本体内の温度上昇により連続動画撮影時間が短くなることがあります。また、端子付近が熱くなりますのでご注意ください。
- 外部電源としてモバイルチャージャーをご使用する際には、満充電であることを確認してからお使いください。また、ご使用中はモバイルチャージャーの残量にご注意ください。
- すべての外部電源との動作を保証するものではありません。
- フルメニューの [Technical] - [USB] - [USB接続モード (PORT1)] / [USB接続モード (PORT2)] が、[USBテザリング] または [USBタイムコード] の場合、USB給電ができません。USB給電をしたいポートの設定を確認してください。

関連項目

- [バッテリーをカメラに入れる/取り出す](#)
- [\[Technical\] メニュー](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

電源を入れる/切る

電源を入れるときは （オン）の位置にします。電源を切るときは （オフ）の位置にします。

ご注意

- 本機は、電源スイッチを （オフ）にした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやACアダプターは、電源スイッチを （オフ）にして電源ランプが消えてから取り外してください。電源スイッチが （オン）のまま取り外すと、本機やメモリーカードの故障の原因となることがあります。

TP1002215113

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

バッテリーの使用時間

実動画撮影時の使用時間

LCDモニター使用時	約105分
------------	-------

連続動画撮影時の使用時間

LCDモニター使用時	約170分
------------	-------

- 使用時間は満充電された状態での目安です。使用方法によって時間は減少する場合があります。
- 使用時間は、お買い上げ時の設定で、以下の条件にて撮影した場合です。
 - － 温度が25℃
 - － 当社製のCFexpress Type Aメモリーカード（別売）使用時
 - － FE 28-70mm F3.5-5.6 OSS IIレンズ（別売）使用時
- 動画撮影時の数値はCIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
 - － 動画画質：XAVC S-L 422 FF 5K 16:9 23.98p
 - － 実動画撮影：撮影、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返す。
 - － 連続動画撮影：撮影開始と終了以外の操作はしない。

TP1002495055

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

日付/時刻

本機を初めて使用するときやバックアップ電池が放電してしまった後に、初めて本機の電源を入れるとLCDモニターに初期設定画面が表示されます。

この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

【タイムゾーン】について

UTC（協定世界時）からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

マルチセクターまたはマルチファンクションダイヤルで項目や数値を選び、マルチセクターまたはマルチファンクションダイヤルを押して決定すると、時計が動き始めます。

設定画面が消えた後は、フルメニューの [Maintenance] - [日時あわせ] で [タイムゾーン] および日時の設定を変更することができます。

ご注意

- 電源が供給されていない（バッテリーパックもACアダプターも接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初期設定画面が表示されます。
- 初期設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。
- 本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。

TP1002215114

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

アクセシビリティ機能の概要

本機には、視覚を補助するためのアクセシビリティ機能が搭載されています。画面上のテキストなどの情報を音声で読み上げる機能と、拡大して表示する機能があります。

アクセシビリティ機能は、初期設定画面またはフルメニューの [Maintenance] - [🗎 アクセシビリティ] から設定できます。

音声読み上げ機能

フルメニューの [Maintenance] - [🗎 アクセシビリティ] - [音声読み上げ] で、音声読み上げ機能のオン/オフや読み上げ速度などの詳細な設定ができます。

画面拡大機能

フルメニューの [Maintenance] - [🗎 アクセシビリティ] - [画面拡大] で、画面拡大機能のオン/オフや拡大倍率などの詳細な設定ができます。

ヒント

- 記録映像、再生映像のほか、一部の表示物は拡大しません。

関連項目

- [画面を音声で読み上げる](#)
- [画面を拡大表示する](#)

TP1002215115

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

基本動作の設定

撮影を始める前に、運用形態に合わせて、メニューの [Project] 画面で基本動作の設定を行います。

Project	TC/Media	Monitoring
映像規格 SDR(BT.709)		
Projectフレームレート	23.98	
イメージャーモード	FF 5K 16:9	
コーデック	XAVC S-L 422	
ビデオフォーマット	3840×2160P(100M)	
デスクイーズレシオ	Off(1.0x)	
Audio	Info	Project Details ▶

イメージャーモードと記録フォーマットについて

[Projectフレームレート] と [イメージャーモード] の組み合わせによって、選択できる記録フォーマット（コーデック/画サイズ/フレームレート）や 撮像フレームレートが以下のように異なります。

XAVC HS-L 422/XAVC HS-L 420/XAVC S-L 422

		XAVC HS-L 422	XAVC HS-L 420	XAVC S-L 422	
[Projectフレームレート]	[イメージャーモード]	3840×2160P	3840×2160P	3840×2160P	1920×1080P
119.88/100	FF 5K 16:9	固定	固定	固定	—
	FFc 4.5K 16:9	固定	固定	固定	—
59.94/50	FF 5K 16:9	～120fps ～60fps ¹⁾	～120fps ～60fps ¹⁾	～120fps ～60fps ¹⁾	～240fps
	FFc 4.5K 16:9	～120fps	～120fps	～120fps	—
	S35 3.2K 16:9	—	—	—	～240fps
29.97/25	FF 5K 16:9	—	—	～120fps ～60fps ¹⁾	～240fps
	FFc 4.5K 16:9	—	—	～120fps	—
	S35 3.2K 16:9	—	—	—	～240fps
23.98	FF 5K 16:9	～120fps ～60fps ¹⁾	～120fps ～60fps ¹⁾	～120fps ～60fps ¹⁾	～240fps
	FFc 4.5K 16:9	～120fps	～120fps	～120fps	—
	S35 3.2K 16:9	—	—	—	～240fps

¹⁾ デュアルゲイン有効時

XAVC S-L 420/XAVC S-I

		XAVC S-L 420		XAVC S-I		
[Projectフレームレート]	[イメージャーモード]	3840×2160P	1920×1080P	4096×2160P	3840×2160P	1920×1080P
119.88/100	FF 5K 16:9	固定	固定	－	－	－
	FFc 4.5K 16:9	固定	－	－	－	－
	S35 3.2K 16:9	－	固定	－	－	－
59.94/50	FF 5K 17:9	－	－	～120fps ～60fps ¹⁾	－	－
	FF 5K 16:9	～120fps ～60fps ¹⁾	～240fps	－	～120fps ～60fps ¹⁾	～240fps
	FFc 4.5K 17:9	－	－	～120fps	－	－
	FFc 4.5K 16:9	～120fps	－	－	～120fps	－
	S35 3.2K 16:9	－	～240fps	－	－	～240fps
29.97/25	FF 5K 17:9	－	－	～120fps ～60fps ¹⁾	－	－
	FF 5K 16:9	～120fps ～60fps ¹⁾	～240fps	－	～120fps ～60fps ¹⁾	～240fps
	FFc 4.5K 17:9	－	－	～120fps	－	－
	FFc 4.5K 16:9	～120fps	－	－	～120fps	－
	S35 3.2K 16:9	－	～240fps	－	－	～240fps
23.98	FF 5K 17:9	－	－	～120fps ～60fps ¹⁾	－	－
	FF 5K 16:9	～120fps ～60fps ¹⁾	～240fps	－	～120fps ～60fps ¹⁾	～240fps
	FFc 4.5K 17:9	－	－	～120fps	－	－
	FFc 4.5K 16:9	～120fps	－	－	～120fps	－
	S35 3.2K 16:9	－	～240fps	－	－	～240fps
24	FF 5K 17:9	－	－	～120fps ～60fps ¹⁾	－	－
	FFc 4.5K 17:9	－	－	～120fps	－	－

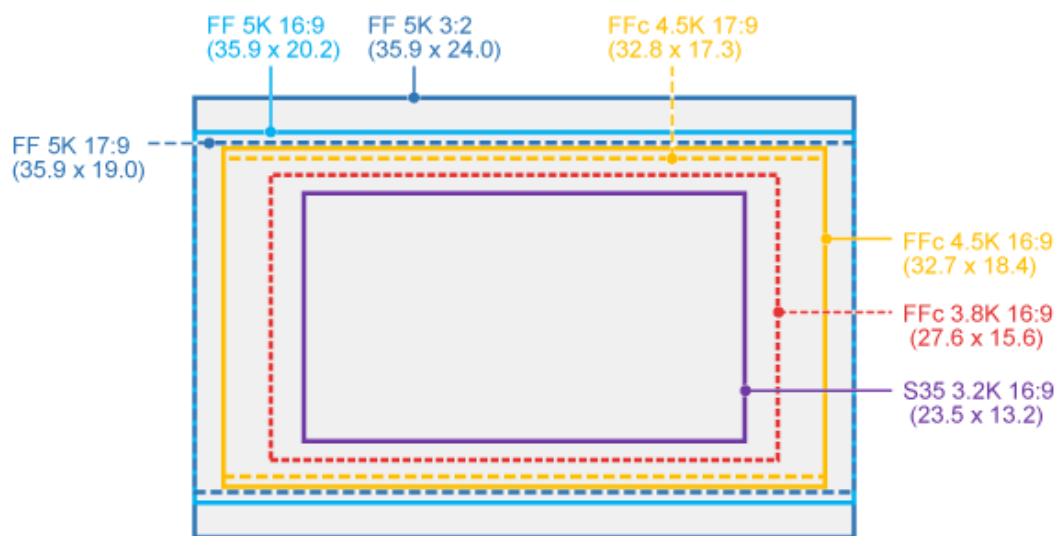
1) デュアルゲイン有効時

X-OCN/HDMI RAW

		X-OCN			HDMI RAW
[Projectフレームレート]	[イメージャーモード]	LT	C1	C2	
59.94/50	FF 5K 3:2	固定	固定	固定	－
	FF 5K 17:9	固定	固定	固定	－
	FF 5K 16:9	固定	固定	固定	－
	FFc 4.5K 17:9	－	－	－	固定
	FFc 4.5K 16:9	－	－	－	固定
	FFc 3.8K 16:9	固定	固定	固定	－
29.97/25	FF 5K 3:2	固定	固定	固定	－
	FF 5K 17:9	固定	固定	固定	－
	FF 5K 16:9	固定	固定	固定	－
	FFc 4.5K 17:9	－	－	－	固定
	FFc 4.5K 16:9	－	－	－	固定
	FFc 3.8K 16:9	固定	固定	固定	－
23.98	FF 5K 3:2	固定	固定	固定	－
	FF 5K 17:9	固定	固定	固定	－
	FF 5K 16:9	固定	固定	固定	－
	FFc 4.5K 17:9	－	－	－	固定
	FFc 4.5K 16:9	－	－	－	固定
	FFc 3.8K 16:9	固定	固定	固定	－
24	FF 5K 3:2	固定	固定	固定	－
	FF 5K 17:9	固定	固定	固定	－
	FF 5K 16:9	固定	固定	固定	－
	FFc 4.5K 17:9	－	－	－	固定
	FFc 3.8K 16:9	固定	固定	固定	－

有効画サイズについて

本機では、以下の有効画サイズでの撮影が可能です。（単位：ミリメートル）



【イメージャーモード】	有効画素数
FF 5K 3:2	4992×3328
FF 5K 16:9	4992×2808
FF 5K 17:9	4992×2632
FFc 4.5K 16:9	4552×2560
FFc 4.5K 17:9	4552×2400
FFc 3.8K 16:9	3840×2160
S35 3.2K 16:9	3264×1836

TP1002215383

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

自動電源オフ機能を設定する

電源が自動で切れる時間を設定できます。
フルメニューの [Technical] - [電源設定] の [パワーセーブ] で設定します。

ご注意

- 以下の場合は、[パワーセーブ] を [Off] 以外に設定しても、自動電源オフは行われません。
 - 動画記録中（特殊記録を含む）
 - 動画再生中
 - ストリーミング配信中
 - ファイル転送中
 - 機能実行中（初期化、編集など）
 - ファームウェアバージョンアップ中（本体、レンズ）
 - HDMIなどの端子からライブ映像を出力中
 - USB通信中（ホスト/デバイス）
 - リモコン通信中
 - メニュー表示中（フルメニュー、メニューなど）
 - 初期設定中
 - タッチ操作中
 - メモリーカードにアクセス中

TP1002274884

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

撮影モード

本機では、現場で自在に映像の作り込みができるカスタム撮影と、ポストプロダクション処理を前提とし、現場では絵作りを行わないフィルムカメラと同等の使い方ができるログ撮影を選べます。

フルメニューの [Project] - [基本設定] - [撮影モード] で切り替えます。

ご注意

- 撮影モードによって、初期値が変わる可能性があります（例：ISO感度など）。撮影モードを変更した際は、想定している設定になっていることを再確認してください。

カスタム撮影：[カスタム]

撮影モードが [カスタム] のときは、映像規格を選ぶことができます。

フルメニューの [Project] - [基本設定] - [映像規格] で切り替えます。

- [SDR(BT.709)]：HD放送の規格に準じた撮影
- [HDR(HLG)]：4K放送の規格に準じた撮影

ログ撮影：[Flexible ISO] / [Cine EI Quick] / [Cine EI]

撮影シーンに合わせたISO感度による露出設定でS-Log3の素材を記録します。

まず、記録信号および出力信号のベースとなる色域を選択します。ここで選択した色域が、記録映像、および [LUT] を [Off] に設定した映像出力の色域となります。

フルメニューの [Project] - [Cine EI/Flexible ISO設定] - [入力カラースペース] で切り替えます。

- [S-Gamut3.Cine/SLog3]：デジタルシネマの色域（DCI-P3）への調整がしやすい色域
- [S-Gamut3/SLog3]：ソニー独自のITU-R BT.2020をカバーする広い色域

Log撮影には [Flexible ISO] / [Cine EI Quick] / [Cine EI] の3種類があります。

- [Flexible ISO]：撮影シーンに合わせたISO感度による露出設定でS-Log3の素材を記録します。
- [Cine EI Quick] / [Cine EI]：選択された基準感度に固定したS-Log3の素材を記録し、[Exposure Index] によって暗部・明部の配分を変えることができます。[Cine EI Quick] では、[Exposure Index] の設定に適した基準感度が自動選択されます。

ご注意

- [Cine EI Quick] / [Cine EI] での記録中は、[Exposure Index] の設定を固定にすることをお勧めします。[Exposure Index] の設定を変更してしまうと、ポストプロダクション処理での明るさ補正が非常に難しくなり、撮影時の状態を再現できない恐れがあります。

撮影モードごとの機能制約は以下ようになります。

✓：使用可能

×：使用不可

項目	[カスタム]	ログ撮影		
		[Flexible ISO]	[Cine EI Quick]	[Cine EI]
[ISO/ゲイン]	✓	✓ (ISOのみ)	×	×
[AGC]	✓	✓	×	×
[基準感度]	✓	×	×	×
[Base ISO]	×	✓	✓ (自動)	✓

項目	[カスタム]	ログ撮影		
		[Flexible ISO]	[Cine EI Quick]	[Cine EI]
[Exposure Index]	×	×	✓	✓
[オートシャッター]	✓	✓	×	×
[ATW]	✓	✓	×	×
[LUT On/Off]	×	✓	✓	✓
[Paint/Look]（[基本Look]を除く）	✓	×	×	×
[内蔵記録 / RAW出力設定]（外部RAW出力が有効な設定）	×	✓	✓	✓
X-OCNを含んだコーデック	×	×	×	✓

関連項目

- [ガンマ表示アシスト機能](#)
- [映像信号モニター](#)

TP1002215116

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

記録フォーマット

プロジェクトフレームレート

撮影する映像のプロジェクトフレームレートを切り替えます。

メニューの [Project] - [Projectフレームレート] で切り替えます。設定値によっては、切り替えを実行すると本機が自動的に再起動します。

ヒント

- フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] - [Projectフレームレート] でも設定できます。

ご注意

- 記録/再生中にプロジェクトフレームレートを切り替えることはできません。

イメージャーモード

イメージセンサーの有効画サイズと解像度の設定を行います。

メニューの [Project] - [イメージャーモード] で切り替えます。

- FF 5K 3:2、FF 5K 17:9、FF 5K 16:9、FFc 4.5K 17:9、FFc 4.5K 16:9、FFc 3.8K 16:9 : フルサイズで使用します。
- S35 3.2K 16:9 : Super 35mmサイズで使用します。

ヒント

- フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] - [イメージャーモード] でも設定できます。

ご注意

- 記録・再生中にイメージャーモードを切り替えることはできません。

内蔵記録 / RAW出力

内蔵記録と外部RAW出力の組み合わせの設定を行います。

フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] - [内蔵記録 / RAW出力設定] で設定します。

ご注意

- 外部RAW出力を含んだ設定は、以下のイメージャーモードである必要があります。
 - FFc 4.5K 17:9
 - FFc 4.5K 16:9

コーデック

撮影する映像のコーデックを切り替えます。

メニューの [Project] - [コーデック] で切り替えます。

ヒント

- フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] - [コーデック] でも設定できます。

ご注意

- 撮影中/再生中にコーデックを切り替えることはできません。

- コーデックの設定によって、HDMI出力端子からの信号も制限されます。

ビデオフォーマット

撮影する映像のビデオフォーマットの設定を行います。
メニューの [Project] - [ビデオフォーマット] で切り替えます。

ヒント

- フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] - [ビデオフォーマット] でも設定できます。

ご注意

- 記録・再生中にビデオフォーマットを切り替えることはできません。
- ビデオフォーマットの設定によって、HDMI出力端子からの信号も制限されます。

画質

撮影する映像の画質の設定を行います。
フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] - [画質] で設定します。

ご注意

- 撮影中/再生中に画質を切り替えることはできません。

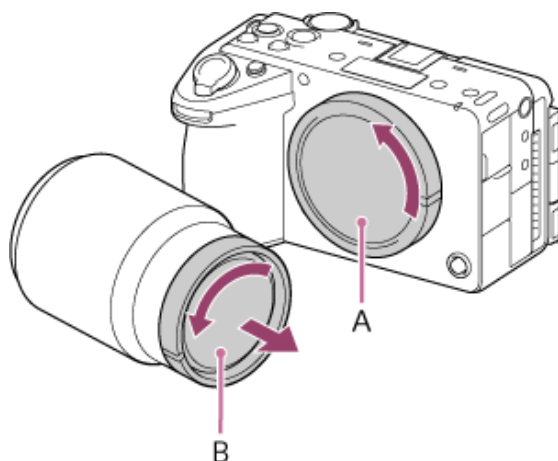
TP1002215117

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

レンズを取り付ける/取りはずす

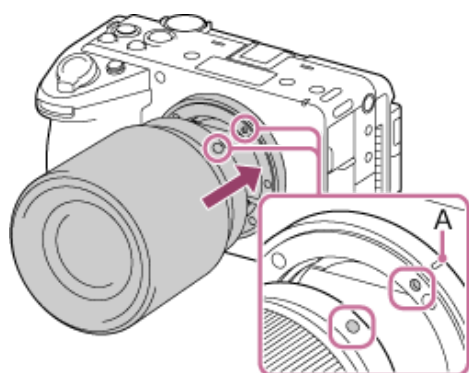
レンズの取り付け/取りはずしは、カメラの電源をオフにしてから行ってください。

1 カメラのボディキャップ (A) とレンズの後ろのレンズリヤキャップ (B) をはずす。



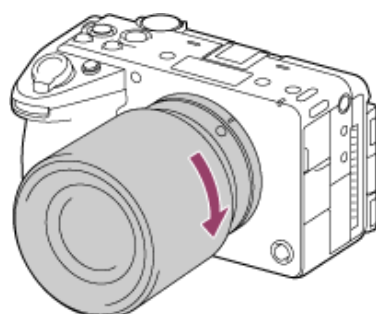
- 撮影後は、レンズフロントキャップを装着しておくことをおすすめします。

2 レンズとカメラの2つの白色の点 (マウント標点) を合わせてはめ込む。



- ゴミやほこりが入らないよう、マウントを下向きにして取り付けてください。
- レンズマウントの側面にバー状の突起 (A) が付いています。レンズ取り付け時の目印としてお使いください。

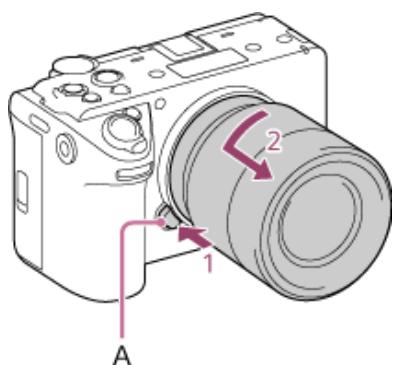
3 レンズを軽くカメラに押し付けながら、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にゆっくり回す。



- レンズを斜めに差し込まないでください。

レンズを取りはずすには

レンズ取りはずしボタン（A）を押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して取りはずします。
取りはずした後は、ゴミやほこりが入らないよう、速やかにカメラにボディキャップを、レンズの前後にキャップを取り付けてください。



ご注意

- レンズの取り付け／取りはずしを行う際は、ほこりの少ない場所ですばやく行ってください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取りはずしボタンを押さないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。
- Aマウントレンズ（別売）をご使用の場合は、別売のマウントアダプターが必要です。マウントアダプターを使用する場合は、マウントアダプターの取扱説明書もご覧ください。本機は、マウントアダプターLA-EA3/LA-EA4/LA-EA5（別売）に対応しています。
- フルサイズでの撮影は、フルサイズ対応のレンズを使用してください。
- 三脚座を備えたレンズを使用するときは、重量のバランスをとるためにレンズ側の三脚座を三脚に取り付けて使用してください。
- レンズを取り付けてカメラを持ち運ぶときは、カメラとレンズの両方をしっかり持つてください。
- ズームやピント合わせなどで繰り出したレンズ部分を持って、カメラを保持しないでください。

レンズにAuto Irisスイッチがついている場合のアイリス調節について

- レンズのAuto IrisをAUTOにすると、アイリスの自動調節、または本機からの手動調節操作が可能です。
- レンズのAuto IrisをMANUALにすると、レンズリング操作のみ可能となり、本機からのアイリス操作を受け付けなくなります。

レンズにフォーカス切り替えスイッチがついている場合のフォーカス調節について

- レンズのフォーカス切り替えスイッチを「AF/MF」または「AF」にすると、フォーカスの自動調節、またはBluetoothリモコンからの手動調節が可能です。
- レンズのフォーカス切り替えスイッチを「MF」にすると、レンズリング操作、またはBluetoothリモコンからの手動調節が可能です。

ご注意

- Aマウントレンズ使用時はBluetoothリモコンからの手動調節ができない場合があります。
- レンズのフォーカス切り替えスイッチを「Full MF」にすると、レンズリング操作のみ可能となり、本機からのフォーカス操作を受け付けなくなります。

アナモフィックレンズについて

アナモフィックレンズでの撮影時に、HDMI出力映像をデスクイーズ表示する方法、および本機のビューファインダーでデスクイーズ表示をする方法については「[デスクイーズ表示設定](#)」をご覧ください。

TP1002271865

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

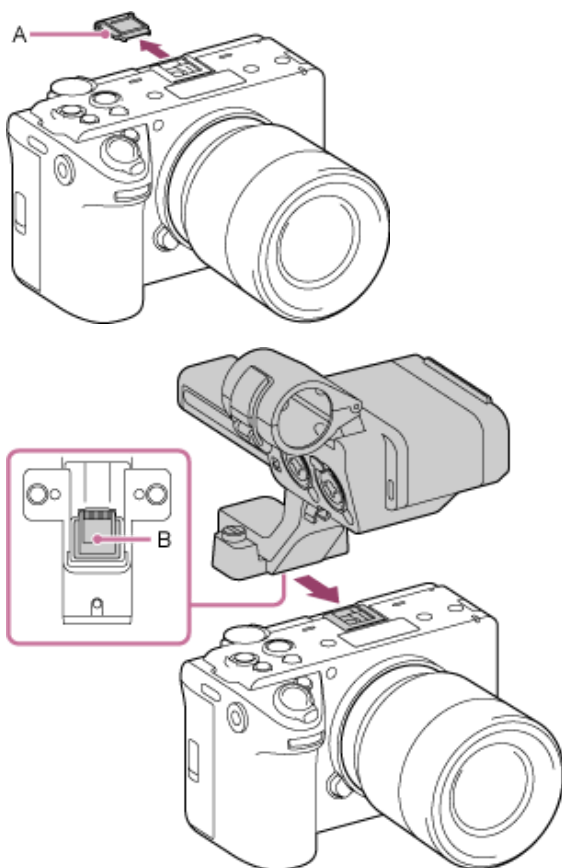
XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）を取り付ける

本機にXLRハンドルユニットを取り付けると、XLRアダプターの機能を使うことができます。

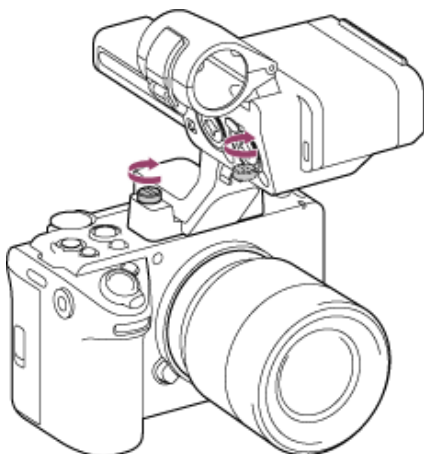
ご注意

- XLRハンドルユニットXLR-H1（別売）は本機に装着できません。

- 1 シューキャップ（A）を取り外し、XLRハンドルユニットのマルチインターフェースフット（B）をマルチインターフェースシューに取り付ける。



- 2 コインなどを使用して、2つのネジを確実に締めて固定する。

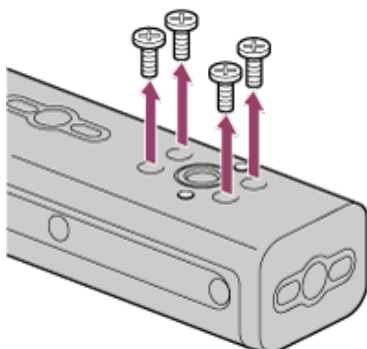


ご注意

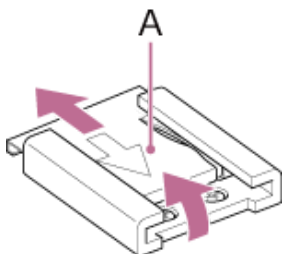
- 取り付け/取り外しの際には、カメラの電源をオフにしてください。
- XLRハンドルユニットを取り付けるときは、ハンドル取り付けネジ2本を確実に締めてください。ハンドル取り付けネジを締めずに使用すると、マルチインターフェースシュー端子の破損やカメラが落下するおそれがあります。

アクセサリースューの取り付け

1. XLRハンドルユニットから、ネジ4本をはずす。

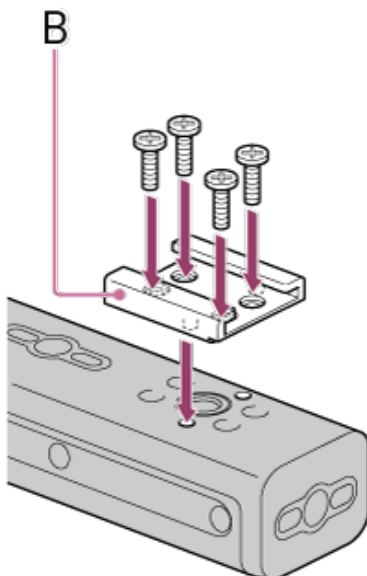


2. シューバネ (A) の先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。

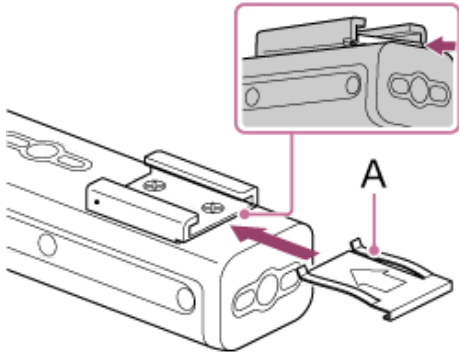


3. アクセサリースュー (B) の凸部とアクセサリースュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。

- アクセサリースューキットに付属するネジを使用してください。



4. シューバネ (A) を矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリースューの端部にはまるように取り付ける。



ご注意

- 逆方向に無理に取り付けると破損する恐れがあります。

ヒント

- アクセサリーシューを取り外す場合は、手順2と同様にシューバネを外し、ネジを緩めてアクセサリーシューを外します。

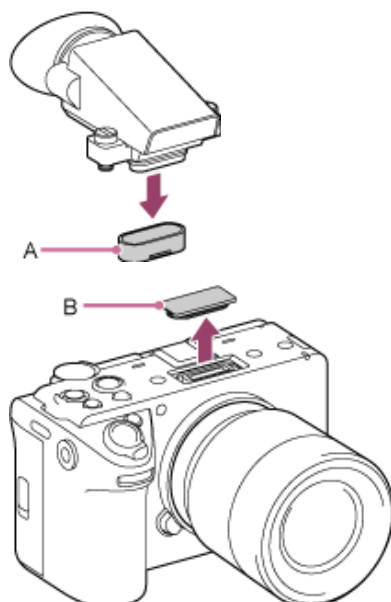
TP1002271866

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

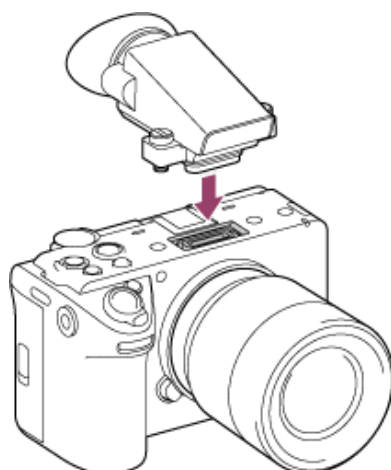
ビューファインダー（別売）を取り付ける

ビューファインダー（別売）を取り付けることができます。

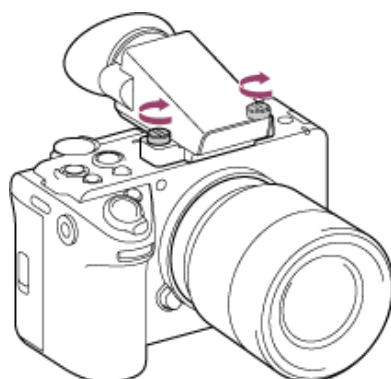
- ① コネクター保護キャップ（A）とVF端子保護キャップ（B）を取り外す。



- ② ビューファインダーをVF端子に差し込む。

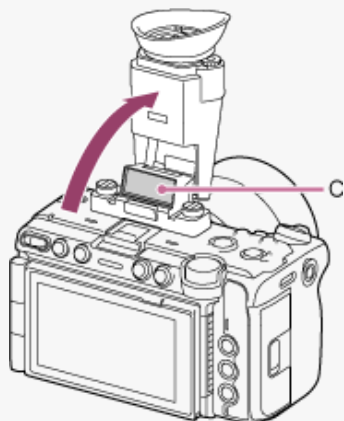


- ③ コインなどを使用して、2つのネジを確実に締めて固定する。



ヒント

- 本機に付属のVF端子保護キャップはビューファインダーのC部に収納できます。



- ビューファインダーを取り付けていないときは、本機にVF端子保護キャップを装着してください。

TP1002274885

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

マイク（別売）を取り付ける

マイク（別売）を取り付けることができます。

① マイク（A）をマイクホルダー（B）に取り付ける。

ご注意

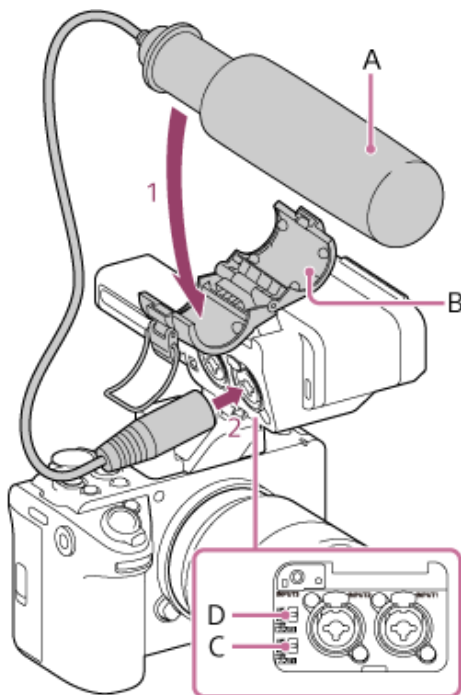
- マイクを取り付ける/取り外す場合は、必ずINPUT1（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチを「MIC+48V」以外に切り替えた状態で行ってください。「MIC+48V」のままケーブルの抜き差しを行うと、大きなノイズが出たり、マイクが故障したりする可能性があります。

② マイクケーブルをINPUT1端子またはINPUT2端子に接続する。

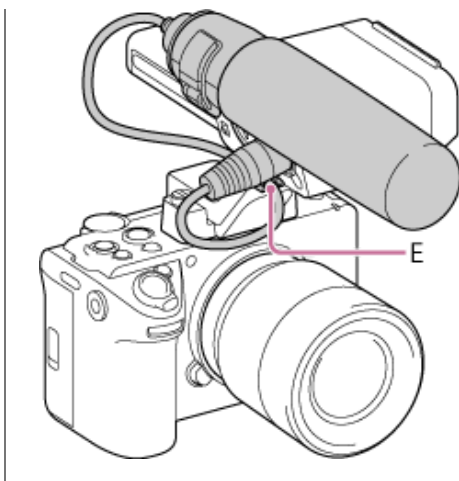
③ マイクの種類に応じてINPUT1/INPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ（C/D）を設定する。

MIC：ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク

MIC+48V：+48V電源（ファンタム電源）対応のマイク



④ マイクケーブルをケーブルホルダー（E）に取り付ける。



ヒント

- マイクがしっかりと固定できないときは、マイクに付属のスペーサーを使ってください。
- 取り付けるレンズの種類によってはマイクの先端が写り込んでしまう場合があります。マイクの位置を調整してください。

関連項目

- [XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）で収録する音声を設定する](#)
- [XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）の音声入力機器を選ぶ](#)
- [XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）で録音レベルを調整する](#)

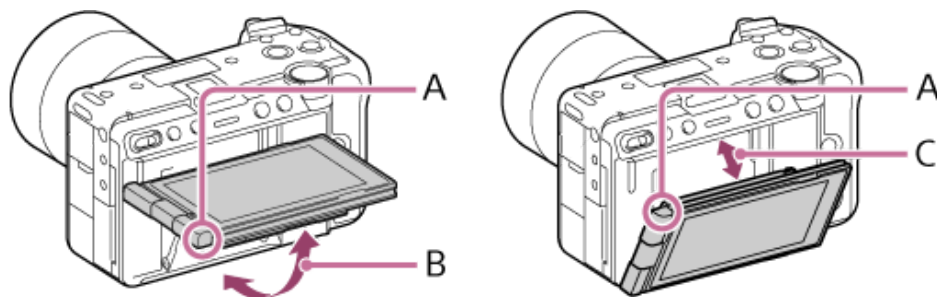
TP1002215118

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

LCDモニターの角度を調節する

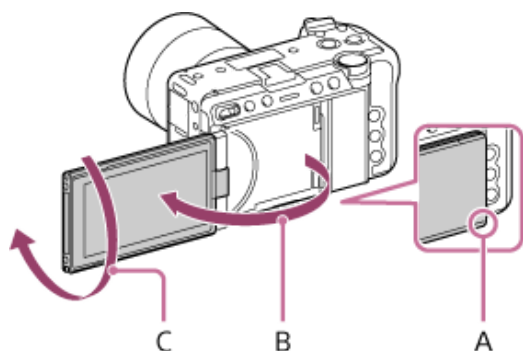
LCDモニターを見やすい角度に調節して、自由なポジションで撮影できます。

- カメラをハイポジションやローポジションで構えるときはLCDモニターを手前に引き出して角度を調整してください。



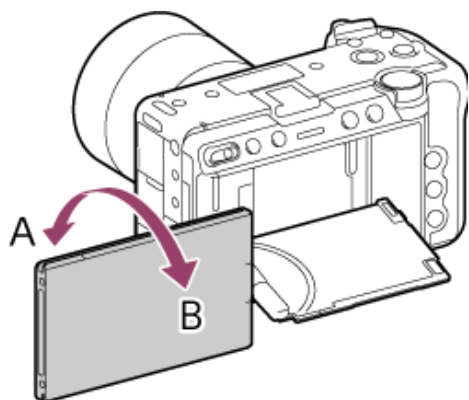
- A : 指をかける位置
B : 約98度 (カメラ背面に対して)
C : 約40度 (カメラ背面に対して)

- LCDモニターを横に開いて、レンズを自分にむけた自分撮りポジションでは、LCDモニター画像が左右反転して表示されます。LCDモニターを後方に回転させると、反転表示は解除されます。



- A : 指をかける位置
B : 約180度
C : 約270度

- LCDモニターをカメラ背面から引き出したまま、自分撮り撮影用の画面表示の向きに切り替えたい場合は、(A) の方向にパネルを回しきってください。自分撮り撮影用の画面表示の向きを解除したい場合は、(B) の方向にパネルを回しきってください。([LCDモニター反転表示] の設定が [オート] のとき)



- お買い上げ時の設定ではLCDモニターの開き方によって画像の反転表示が自動で切り替わります。フルメニューの [Monitoring] - [LCDモニター表示設定] - [LCDモニター反転表示] で表示方法を固定することもできます。

ご注意

- 取り付けの三脚によってはLCDモニターの角度が調節できなくなる場合があります。その場合、一度三脚ネジを緩めてからLCDモニターの角度を調節してください。
- LCDモニターを開閉または回転させるときに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。

TP1002215122

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

LCDモニターの明るさを調節する

フルメニューの [Monitoring] - [LCDモニター表示設定] - [LCDモニター明るさ] で調節できます。明るさを変えても、記録される映像に影響はありません。

ヒント

- [LCD/VF調整] を割り当てたアサインابلボタンでも調節できます。

TP1002215123

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

LCDモニターの画面表示を拡大する

フルメニューの [Maintenance] - [🔧 アクセシビリティ] - [画面拡大] - [設定] を [有効] に設定し、[画面拡大ボタン] で設定したアサインボタンを押すと画面が拡大表示されます。押すたびに倍率が上がり、最後に拡大を解除します。拡大位置の移動は、LCDモニターのタッチ操作、またはマルチセレクターで行います。メニュー操作はマルチファンクションダイヤルで行います。

ヒント

- [🔧 アクセシビリティ] - [画面拡大] - [設定] を [無効] に設定すると、[画面拡大] に設定していたアサインボタンの機能は工場出荷時の割り当てに戻ります。

ご注意

- タッチ操作で画面拡大倍率を変えることはできません。

関連項目

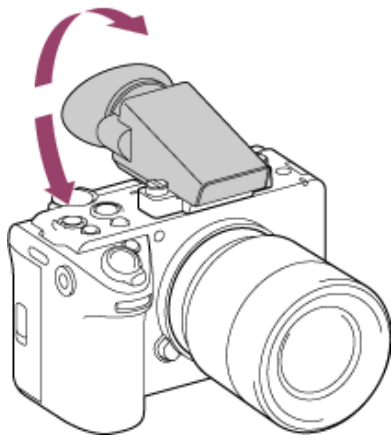
- [画面を拡大表示する](#)

TP1002215124

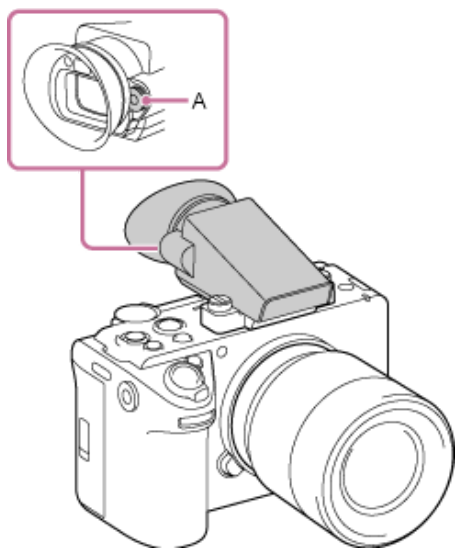
レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ビューファインダー（別売）の角度を調節する

ビューファインダーで見るときは、ビューファインダーに目を近づけます。
ビューファインダーは撮影スタイルに合わせて、角度を変えることができます。



ビューファインダーの画面表示がぼやけているときは、ビューファインダーの横の視度調整ダイヤル（A）で調節します。画像がはっきり見えるように動かします。



TP1002215125

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ビューファインダー（別売）の明るさを調節する

フルメニューの [Monitoring] - [VF表示設定] - [VF明るさ] で調節できます。明るさを変えても、記録される映像に影響はありません。

ヒント

- [LCD/VF調整] を割り当てたアサインابلボタンでも調節できます。

TP1002215126

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

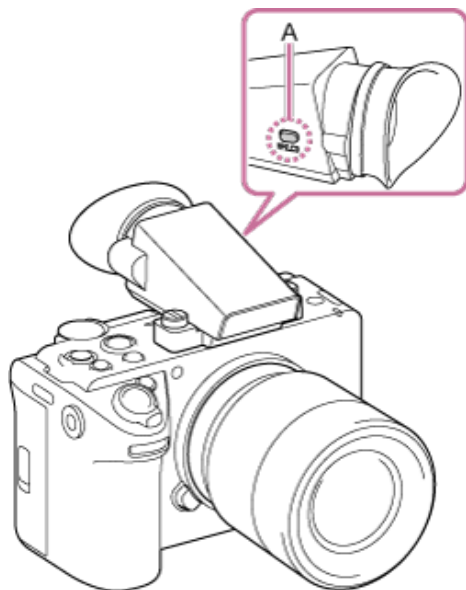
LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える

ビューファインダーを覗きこむことで接眼センサーが反応し自動的に点灯します。

ビューファインダーが点灯するとLCDモニターは消灯します (LCDモニターとビューファインダーは同時点灯しません)。

カメラを構えたときの姿勢などにより接眼センサーが誤反応すると、ビューファインダーが点灯し、LCDモニターが消灯してしまうことがあります。

このようなときに、ビューファインダーのVF/LCD切り替えボタンまたは [VF/LCD] を割り当てたアサインابلボタンを押すことで一時的にビューファインダーとLCDモニターの点灯/消灯状態を切り替えることができます。



A : VF/LCD切り替えボタン

また、フルメニューの [Monitoring] - [VF表示設定] - [LCDモニター/VF選択] でビューファインダーとLCDモニターの表示切り換え方法を設定できます。

【LCDモニター優先オート】：

ビューファインダーを覗くと、自動的にビューファインダー画面に切り替わる。

LCDモニターの開閉や角度の状態によっては接眼センサーが無効になり、ビューファインダー画面に切り替えない。ただし、ビューファインダーをを起こしているときは常に接眼センサーが有効になり、ビューファインダーをのぞくと自動的にビューファインダー画面に切り替わる。

【VF優先オート】：

ビューファインダーを覗くと、自動的にビューファインダー画面に切り替わる。

LCDモニターの開閉や角度の状態、ビューファインダーの状態によらず接眼センサーが常に働き、ビューファインダー画面に切り替わる。

【LCDモニター】：

ビューファインダーは消灯し、常にLCDモニターのみに画像を表示する。

【VF】：

LCDモニターは消灯し、ビューファインダーのみに画像を表示する。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

メモリーカードについて

本機では、撮影した映像/音声を、カードスロット内のCFexpress Type Aメモリーカード（別売）またはSDXCメモリーカード（別売）に記録します。また、プロキシ記録、設定内容の保存/読み出しと、将来のバージョンアップ（ソフトウェアアップデート）時にもこれらのメモリーカードを使用します。

CFexpress Type Aメモリーカードについて

本機に対応のCFexpress Type Aメモリーカード^{*}についての詳細は、下記をご覧ください。

[推奨メモリーカードについて](#)

他社製メディアの動作については、各社メディアの取扱説明書やメーカー情報をご確認ください。

^{*} 本書では「CFexpressカード」と表現しています。

SDXCメモリーカードについて

本機に対応のSDXCメモリーカード^{*}についての詳細は、下記をご覧ください。

[推奨メモリーカードについて](#)

^{*} 本書では「SDカード」と表現しています。

TP1002215128

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

推奨メモリーカードについて

動作保証条件は「記録フォーマット」や記録設定によって異なります。

MP4フォーマット時

通常記録

✓：動作を保証

x：保証しない

記録フォーマット			【画 質】	SDXC								CFexpress Type A	
【Projectフ レームレー ト】	【コー デック】	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90		VPG200	VPG400
119.88 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	✓	✓		✓	✓
		1920×1080P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓		✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓

記録フォーマット			【画 質】	SDXC							CFexpress Type A	
【Projectフ レームレー ト】	【コー デック】	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
100 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			【画質】	SDXC							CFexpress Type A	
【Projectフレームレート】	【コーデック】	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VP200	VP400
59.94 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	【高】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	【高】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	4096×2160P	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		3840×2160P ^{*1}	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080P ^{*2}	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			【画質】	SDXC							CFexpress Type A	
【Projectフレームレート】	【コーデック】	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VP200	VP400
50 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	【高】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	【高】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	4096×2160P	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		3840×2160P ^{*1}	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080P ^{*2}	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			【画質】	SDXC							CFexpress Type A	
【Projectフレームレート】	【コーデック】	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
29.97 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	【高】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	【高】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	4096×2160P	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		3840×2160P ^{*1}	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080P ^{*2}	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			【画質】	SDXC							CFexpress Type A	
【Projectフレームレート】	【コーデック】	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
25 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	【高】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	【高】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	4096×2160P	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		3840×2160P ^{*1}	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080P ^{*2}	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			【画 質】	SDXC							CFexpress Type A	
【Projectフ レームレー ト】	【コー デック 】	解像度		Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
23.98 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 422	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	【高】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Long 420	3840×2160P	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	【高】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【中】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			【低】	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	XAVC S Intra 422	4096×2160P	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		3840×2160P ^{*1}	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080P ^{*2}	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
24 Hz	XAVC S Intra 422	4096×2160P	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【中】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

*1 Class300

*2 Class100

FPS操作

✓：動作を保証

x：保証しない

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	画 質	SDXC							CFexpress Type A	
【Project フレーム レート】	【コ ーデ ック】	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
59.94 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160P	1-60	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	1-60	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	[画 質]	SDXC							CFexpress Type A	
[Project フレーム レート]	[コ ーデ ック]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	XAVC S Long 422	3840×2160P	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	【画 質】	SDXC							CFexpress Type A	
【Project フレーム レート】	【コ ーデ ック】	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	XAVC S Long 420	3840×2160P	1-60	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	画 質	SDXC								CFexpress Type A	
【Project フレーム レート】	【コ ーデ ック】	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400	
	XAVC S Intra 422	4096×2160P	1-60	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓		
		3840×2160P*1	1-60	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓		
		1920×1080P*2	1-60	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓		
			150, 180, 200, 240	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓		

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	画 質	SDXC							CFexpress Type A	
【Project フレーム レート】	【コ ーデ ック】	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
50 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160P	1-60	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	1-60	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	[画 質]	SDXC							CFexpress Type A	
[Project フレーム レート]	[コ ーデ ック]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	XAVC S Long 422	3840×2160P	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	画 質	SDXC								CFexpress Type A		
〔Project フレーム レート〕	〔コ ーデ ック〕	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400		
	XAVC S Long 420	3840×2160P	1-60	〔高〕 〔中〕 〔低〕	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	〔高〕 〔中〕 〔低〕	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓		
		1920×1080P	1-60	〔高〕	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓		
				〔中〕 〔低〕	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	〔高〕	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
				〔中〕 〔低〕	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	〔高〕	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓
				〔中〕 〔低〕	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	画 質	SDXC							CFexpress Type A	
[Project フレーム レート]	[コ ーデ ック]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	XAVC S Intra 422	4096×2160P	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		3840×2160P*1	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		1920×1080P*2	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	[画 質]	SDXC							CFexpress Type A	
[Project フレーム レート]	[コ ーデ ック]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
29.97 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160P	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	画 質	SDXC							CFexpress Type A	
【Project フレーム レート】	【コ ーデ ック】	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	XAVC S Long 420	3840×2160P	1-60	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	【高】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	画 質	SDXC							CFexpress Type A	
[Project フレーム レート]	[コ ーデ ック]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	XAVC S Intra 422	4096×2160P	1-30	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			31- 60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		3840×2160P*1	1-30	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			31- 60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		1920×1080P*2	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	[画 質]	SDXC							CFexpress Type A	
[Project フレーム レート]	[コ ーデ ック]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
25 Hz	XAVC S Long 422	3840×2160P	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	画 質	SDXC							CFexpress Type A	
[Project フレーム レート]	[コ ーデ ック]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	XAVC S Long 420	3840×2160P	1-60	[高]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				[中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
				[中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[高]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
				[中] , [低]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				[中] , [低]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	[高]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
				[中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	画 質	SDXC							CFexpress Type A	
[Project フレーム レート]	[コ ーデ ック]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	XAVC S Intra 422	4096×2160P	1-30	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			31- 60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		3840×2160P*1	1-30	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			31- 60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		1920×1080P*2	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	画 質	SDXC							CFexpress Type A	
【Project フレーム レート】	【コ ーデ ック】	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
23.98 Hz	XAVC HS Long 422	3840×2160P	1-60	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	1-60	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
				【中】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	[画 質]	SDXC							CFexpress Type A	
[Project フレーム レート]	[コ ーデ ック]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	XAVC S Long 422	3840×2160P	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	【画 質】	SDXC							CFexpress Type A	
【Project フレーム レート】	【コ ーデ ック】	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	XAVC S Long 420	3840×2160P	1-60	【高】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
				【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
		1920×1080P	1-60	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	✓	x	✓	✓	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	✓	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	画 質	SDXC							CFexpress Type A	
[Project フレーム レート]	[コ ーデ ック]	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	XAVC S Intra 422	4096×2160P	1-30	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			31- 60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		3840×2160P*1	1-30	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			31- 60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
		1920×1080P*2	1-60	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			150, 180, 200, 240	[高] , [中] , [低]	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓

記録フォーマット			S&Q 撮像 フレーム レート	【画 質】	SDXC							CFexpress Type A	
【Project フレーム レート】	【コ ーデ ック】	解像度			Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
24 Hz	XAVC S Intra 422	4096×2160P	1-30	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	x	✓	✓	✓
			31- 60	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓
			66, 72, 75, 88, 90, 96, 100, 110, 120	【高】 , 【中】 , 【低】	x	x	x	x	x	x	x	✓	✓

*1 Class300

*2 Class100

X-OCNフォーマット時

通常記録

✓ : 動作を保証

x : 保証しない

記録フォーマット			SDXC							CFexpress Type A	
[Projectフレームレート]	[コーデック]	[イメージャーモード]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
59.94 Hz	X-OCN LT	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C1	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C2	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
50 Hz	X-OCN LT	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C1	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C2	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓

記録フォーマット			SDXC							CFexpress Type A	
[Projectフレームレート]	[コーデック]	[イメージャーモード]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
23.98 Hz	X-OCN LT	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C1	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C2	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
29.97 Hz	X-OCN LT	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C1	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C2	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓

記録フォーマット			SDXC							CFexpress Type A	
[Projectフレームレート]	[コーデック]	[イメージャーモード]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
25 Hz	X-OCN LT	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C1	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C2	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
23.98 Hz	X-OCN LT	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C1	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C2	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓

記録フォーマット			SDXC							CFexpress Type A	
[Projectフレームレート]	[コーデック]	[イメージャーモード]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
24 Hz	X-OCN LT	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C1	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
	X-OCN C2	FF 5K 3.2	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 17:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FF 5K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓
		FFc 3.8K 16:9	x	x	x	x	x	x	x	x	✓

TP1002215129

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

クリップ記録・再生時間

ソニー製CFexpress Type AメモリーカードVPG400 960GBを使用した場合の記録・再生時間は以下のとおりです（単位：min）。

ご注意

- 記録・再生時間は、1クリップとして連続記録したときのものです。記録するクリップ数によっては記載の時間より短くなる場合があります。また、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。

XAVC HS-L 422/XAVC HS-L 420/XAVC S-L 422

[Projectフレームレート]	[イメージャーモード]	XAVC HS-L 422	XAVC HS-L 420	XAVC S-L 422	
		3840×2160P	3840×2160P	3840×2160P	1920×1080P
119.88	FF 5K 16:9	406	545	406	—
	FFc 4.5K 16:9	406	545	406	—
100	FF 5K 16:9	412	556	412	—
	FFc 4.5K 16:9	412	556	412	—
59.94	FF 5K 16:9	580	752	580	1,837
	FFc 4.5K 16:9	580	752	580	—
	S35 3.2K 16:9	—	—	—	1,837
50	FF 5K 16:9	587	763	587	1,902
	FFc 4.5K 16:9	587	763	587	—
	S35 3.2K 16:9	—	—	—	1,902
29.97	FF 5K 16:9	—	—	837	2,047
	FFc 4.5K 16:9	—	—	837	—
	S35 3.2K 16:9	—	—	—	2,047
25	FF 5K 16:9	—	—	843	2,087
	FFc 4.5K 16:9	—	—	843	—
	S35 3.2K 16:9	—	—	—	2,087
23.98	FF 5K 16:9	1,150	1,150	1,150	2,095
	FFc 4.5K 16:9	1,150	1,150	1,150	—
	S35 3.2K 16:9	—	—	—	2,095

XAVC S-L 420/XAVC S-I

[Projectフレーム レート]	[イメージャー モード]	XAVC S-L 420		XAVC S-I		
		3840×2160P	1920×1080P	4096×2160P	3840×2160P	1920×1080P
119.88	FF 5K 16:9	545	953	—	—	—
	FFc 4.5K 16:9	545	—	—	—	—
	S35 3.2K 16:9	—	953	—	—	—
100	FF 5K 16:9	556	988	—	—	—
	FFc 4.5K 16:9	556	—	—	—	—
	S35 3.2K 16:9	—	988	—	—	—
59.94	FF 5K 17:9	—	—	205	—	—
	FF 5K 16:9	752	1,837	—	205	528
	FFc 4.5K 17:9	—	—	205	—	—
	FFc 4.5K 16:9	752	—	—	205	—
	S35 3.2K 16:9	—	1,837	—	—	528
50	FF 5K 17:9	—	—	246	—	—
	FF 5K 16:9	763	1,902	—	246	630
	FFc 4.5K 17:9	—	—	246	—	—
	FFc 4.5K 16:9	763	—	—	246	—
	S35 3.2K 16:9	—	1,902	—	—	630
29.97	FF 5K 17:9	—	—	408	—	—
	FF 5K 16:9	1,135	2,047	—	408	1,034
	FFc 4.5K 17:9	—	—	408	—	—
	FFc 4.5K 16:9	1,135	—	—	408	—
	S35 3.2K 16:9	—	2,047	—	—	1,034
25	FF 5K 17:9	—	—	488	—	—
	FF 5K 16:9	1,147	2,087	—	488	1,225
	FFc 4.5K 17:9	—	—	488	—	—
	FFc 4.5K 16:9	1,147	—	—	488	—
	S35 3.2K 16:9	—	2,087	—	—	1,225

【Projectフレームレート】	【イメージャーモード】	XAVC S-L 420		XAVC S-I		
		3840×2160P	1920×1080P	4096×2160P	3840×2160P	1920×1080P
23.98	FF 5K 17:9	—	—	508	—	—
	FF 5K 16:9	1,150	2,095	—	508	1,277
	FFc 4.5K 17:9	—	—	508	—	—
	FFc 4.5K 16:9	1,150	—	—	508	—
	S35 3.2K 16:9	—	2,095	—	—	1,277
24	FF 5K 17:9	—	—	508	—	—
	FFc 4.5K 17:9	—	—	508	—	—

X-OCN/ HDMI RAW

【Projectフレームレート】	【イメージャーモード】	X-OCN		
		LT	C1	C2
59.94	FF 5K 3:2	69	93	116
	FF 5K 17:9	88	117	146
	FF 5K 16:9	82	110	137
	FFc 3.8K 16:9	137	183	227
50	FF 5K 3:2	83	112	139
	FF 5K 17:9	105	141	175
	FF 5K 16:9	99	132	164
	FFc 3.8K 16:9	165	219	272
29.97	FF 5K 3:2	139	186	232
	FF 5K 17:9	175	234	291
	FF 5K 16:9	164	220	273
	FFc 3.8K 16:9	274	364	451
25	FF 5K 3:2	167	223	278
	FF 5K 17:9	210	280	348
	FF 5K 16:9	197	263	327
	FFc 3.8K 16:9	328	436	540
23.98	FF 5K 3:2	174	232	289
	FF 5K 17:9	218	292	363
	FF 5K 16:9	205	274	341
	FFc 3.8K 16:9	341	454	562

[Projectフレームレート]	[イメージャーモード]	X-OCN		
		LT	C1	C2
24	FF 5K 3:2	174	232	289
	FF 5K 17:9	218	292	363
	FF 5K 16:9	205	274	341
	FFc 3.8K 16:9	341	454	562

TP1002326176

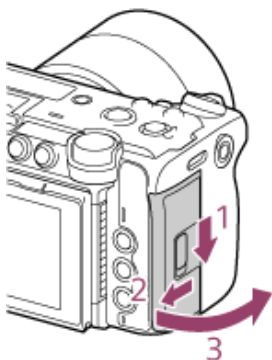
5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

メモリーカードを入れる

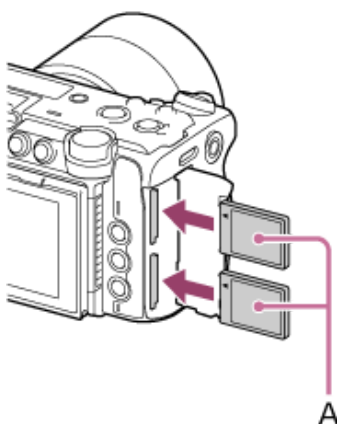
メモリーカードの入れ方を説明します。

- 1 カードスロットカバーのスイッチを1の方向にスライドさせながら、カバーを2の方向にスライドさせて開く。

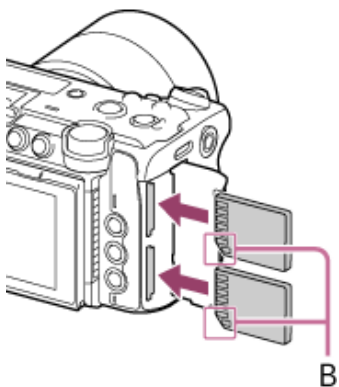


- 2 メモリーカードを差し込む。

- CFexpressカードの場合はラベル (A) をLCDモニター側に向ける。



- SDカードの場合は、端子面をLCDモニター側に向け、切り欠き部 (B) を下にする。



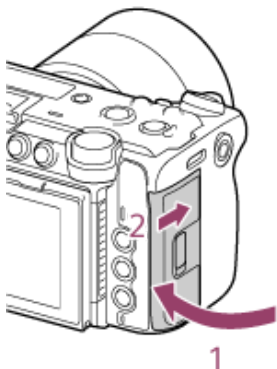
アクセスランプ (C) が赤く点灯し、アクセスが終わると消灯します。



ご注意

- アクセスランプの赤い点滅が長く続く場合は、一度電源を切りメモリーカードを抜き差しすることで、赤点滅が消灯する可能性があります。

3 カードスロットカバーを閉める。



ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやカードスロット、画像データが破損することがあります。
- カードスロットA/Bの両方にメモリーカードを挿入して記録を行う際には、どちらのカードスロットにも、記録するフォーマットに対して動作が推奨されているメモリーカードを挿入してください。
- 推奨メモリーカードを使用しない場合、記録に支障をきたす場合があります。

関連項目

- [メモリーカードについて](#)

TP1002215130

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

メモリーカードを取り出す

カードスロットのカードスロットカバーを開け、メモリーカードを軽く1回押して取り出します。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。メモリーカードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、メモリーカードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 記録終了後にメモリーカードを取り出した際、メモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

TP1002215131

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

メモリーカードを初期化する

フォーマットされていないメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたメモリーカードを装着すると、メッセージがLCDモニター/ビューファインダーに表示されます。

下記の手順に従ってフォーマットしてください。

1. メニューの【TC/Media】で初期化したいメモリーカードの【メディア初期化】を選択し、【フルフォーマット】または【クイックフォーマット】を選択する。

確認メッセージが表示されます。

- 【フルフォーマット】：メモリーカードのデータ管理情報だけでなくデータ領域を含む全体を初期化します。
- 【クイックフォーマット】：メモリーカードのデータ管理情報を初期化します。

ご注意

- フォーマット対象のメモリーカードに転送対象ファイルが存在する場合は、確認メッセージの下に補足メッセージ（表示例：【転送対象のファイルが存在します】）が表示されます。この場合は、メモリーカードを初期化してよいかどうかを確認してから、初期化を実行またはキャンセルしてください。

2. 【OK】を選択する。

実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。

フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、マルチファンクションダイヤルを押して消します。

ヒント

- フルメニューの【TC/Media】 - 【メディア初期化】でも実行できます。

ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- フォーマットの処理時間によっては、実行中のメッセージが表示されない場合があります。

フォーマットできなかったときは

本機で使用できないメモリーカードはフォーマットできません。

警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるメモリーカードに交換してください。

本機でフォーマットしたメモリーカードを他の機器で使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

TP1002215132

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、撮影画面のメディア残量表示で、各カードスロットに装着したメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されている記録フォーマットで撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのカードスロット内のメモリーカードの残量から計算して分単位で表示します。

メモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分を切ると、［メディア残量がわずかです］が表示され、記録/タイムラプスの点滅とブザー音（ヘッドホン出力）で警告します。空きのあるメモリーカードに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、［メディア残量がありません］の表示に変わり記録が停止します。

ヒント

- 1枚のメモリーカードに、XAVC S時は約9999個、X-OCN時は約600個までのクリップを記録できます。

TP1002215133

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

メモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。
修復が必要なメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがLCDモニター/ビューファインダーに表示されます。

修復を実行する

マルチファンクションダイヤルで「実行」を選択し、マルチファンクションダイヤルを押します。
実行中メッセージと進捗状況 (%) が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。
修復が終了すると、完了メッセージが表示されます。

修復できなかったときは

- エラーが発生したメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って別のメモリーカードに交換してください。
- エラーが発生したメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。

ご注意

- 本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。
- 本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。
- 2秒以下のクリップは修復できません。

TP1002321092

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

基本的な撮影手順

基本的な撮影は次の手順で行います。

1. **必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。**
2. **必要なメモリーカードを入れる。**
メモリーカードはA/B両方のカードスロットに入れておくと、1枚目の残量がなくなった時点で自動的に2枚目に切り替わります。
3. **電源スイッチをオンにする。**
電源ランプが点灯して、LCDモニターまたはビューファインダーに撮影画面が表示されます。
4. **本体上面の録画START/STOPボタンを押す。**
記録/タリーランプが点灯して、撮影が始まります。
5. **撮影を終了するときは、もう一度録画START/STOPボタンを押す。**
撮影が停止し、本機は [Stby] (記録待機) モードになります。

ご注意

- 電源を入れてから数秒以内に録画START/STOPボタンを押すと、記録/タリーランプが点灯し録画状態になりますが、選択している記録フォーマットによっては最初の数秒間はメモリーカードに記録されない場合があります。

メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する

カードスロットA/Bの両方にメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカードA (またはメモリーカードB) の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります (リレー記録)。
メモリーカードが切り替わるたびに、記録済みのメモリーカードを新しいメモリーカードに交換することで、中断することなく撮影を続けられます。

ヒント

- 撮影中に [スロット切り替え] が割り当てられたアサインボタンを押すと、記録先をもう一方のメモリーカードへ手動で切り替えることができます。

ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のカードスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、メッセージが表示されます。メモリーカードが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、続けて撮影ができない場合があります。正しく行うには、撮影開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Catalyst Browse」を使用してください。ご使用前には、「Catalyst Browse」の動作環境を確認してください。
- SDカードを使ってリレー記録を行う場合は、同じ種類のSDカードを使用してください。

クリップについて

クリップ

撮影を停止すると、開始から停止までの映像/音声/付随データが、ひとつの「クリップ」としてメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、フルメニューの [TC/Media] - [クリップ名設定] で設定された形式でクリップ名がつけられます。

クリップの最大記録時間

XAVC Sで音声記録フォーマットが48kHzのときは、最大13時間で自動停止します。XAVC Sで音声記録フォーマットが96kHzのときは、最大12時間で自動停止します。X-OCN時は、最大24時間で自動停止します。

音声を聞く

記録される音声をヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、記録される音声をモニターできます。また、再生時は内蔵スピーカーまたはヘッドホンでモニターできます。

モニターするチャンネルの選択は、メニューの [Audio] - [モニターチャンネル] またはフルメニューの [Audio] - [音声出力] - [モニターチャンネル]で行います。

【ヘッドホン音声】の設定

フルメニューの [Audio] - [音声出力] - [ヘッドホン音声] を [ライブ] に設定すると、音声を遅延なしで出力します。音声モニタリング時、音のずれが気になるときに選択します。

[処理済み音声] に設定すると、ノイズカットフィルターやズームノイズフィルターの効果を撮影時の音声モニタリングで確認できます。音声と映像を同期させて出力します。

ヒント

- 本機は画面表示やメニューの音声読み上げに対応しています。

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、フルメニューの [TC/Media] - [タイムコード] で設定します。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとしてクリップに付加できます。ユーザービットを現在時刻に設定することも可能です。[TC/Media] - [ユーザービット] で設定します。

タイムデータを表示する

表示するタイムコードは、フルメニューの [TC/Media] - [TCディスプレイ] - [タイムデータ表示] で設定します。

[DURATION/TC/U-BIT] 機能が割り当てられたアサインボタンを押すと、表示がタイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

記録内容を確認する

レックレビューモードを使うと、直前に記録したクリップの映像を画面で確認することができます。

ご注意

- 記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。

レックレビューの方法

事前にアサインボタンのいずれかに [レックレビュー] を割り当てておきます。

記録を停止したら、[レックレビュー] が割り当てられたアサインボタンを押します。すると、直前に記録したクリップの再生が始まります。

クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、[Stby]（記録待機）モードに戻ります。

レックレビューを中止するには

[レックレビュー] が割り当てられたアサインボタンまたはBACKボタンを押します。

レックレビューの設定

フルメニューの [Technical] - [レックレビュー] の設定により、再生開始位置を次のいずれかに設定できます。

- クリップの最後の3秒

- クリップの最後の10秒
- クリップの先頭から

ヒント

- 撮影した複数のクリップから任意のクリップを確認したい場合は、CLIPSボタンを押してクリップ一覧画面からクリップを選択して再生を開始することができます。
- ユーザー機能画面の [User 1] ～ [User 6] に [レックレビュー] を割り当てることもできます。

関連項目

- [画面を音声で読み上げる](#)
- [クリップを再生する](#)
- [タイムコードを外部機器と合わせる](#)

TP1002215135

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ズームの種類を選ぶ

フルメニューの [Technical] - [ズーム] の [ズームタイプ] でズームの種類を設定します。

- [光学ズームのみ] : レンズのズーム範囲でズームします。
- [入(全画素超解像)] : 画質劣化の少ない画像処理によりズームします。

【ズームタイプ】の設定		【光学ズームのみ】	【入(全画素超解像)】		
【全画素超解像ズームタイプ】の設定		－	【光学ズーム優先】	【スムーズ優先】	
装着するレンズ	単焦点レンズ	－	全画素超解像ズームができる。 (本体から操作できる)	－ (レンズまたは本体から全画素超解像ズーム操作できない)	
	手動ズームレンズ	光学ズームができる。 (レンズから操作できる。本体からの操作はできない)	光学ズームと全画素超解像ズームができる。 (レンズから光学ズーム操作できる。本体から全画素超解像ズーム操作できる)	光学ズームと全画素超解像ズームができる。 (レンズから光学ズームと全画素超解像ズーム操作できる。本体からズーム操作できない)	
	電動ズームレンズ (レンズのSERVO/MANUAL切り替えスイッチがMANUAL時)				
	電動ズームレンズ (レンズのSERVO/MANUAL切り替えスイッチがSERVO時)	光学ズームができる。 (レンズまたは本体から操作できる)	光学ズームと全画素超解像ズームができる。 (レンズリングからズーム操作できない。レンズまたは本体のズームレバーから操作できる)		
	電動ズームレンズ (レンズのSERVO/MANUAL切り替えスイッチなし)		光学ズームと全画素超解像ズームができる。 (レンズまたは本体から操作できる)		

ご注意

- フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] の [Projectフレームレート] が60fpsを超える場合、全画素超解像ズームは使えません。
- [全画素超解像ズームタイプ] が [光学ズーム優先] の場合、レンズのSERVO/MANUAL切り替えスイッチを切り替えると、全画素超解像ズームの倍率は1倍にリセットされます。

全画素超解像ズームの動作を設定する

[ズームタイプ] を [入(全画素超解像)] に設定したときの、全画素超解像ズームの動作を設定できます。
フルメニューの [Technical] - [ズーム] の [全画素超解像ズームタイプ] で設定します。

- [スムーズ優先] : なめらかなズーム動作を優先する
- [光学ズーム優先] : 光学ズームを優先する (画質優先・解像度優先)

ご注意

- 単焦点レンズや一部の手動ズームレンズ装着時は [スムーズ優先] は使えません。

TP1002215137

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ズームリングの回転方向を設定する

一部のEマウントレンズでは、ズームリングの回転方向を逆にすることができます。

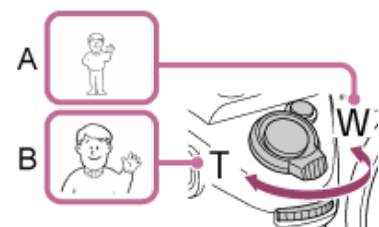
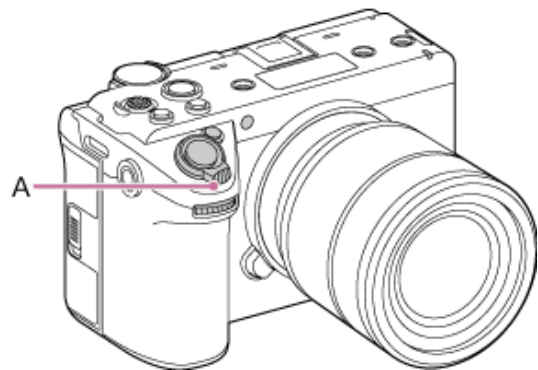
フルメニューの [Technical] - [レンズ] の [ズームリング操作方向] で設定します。

TP1002308032

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ズームレバーでズームする

ズームレバー (A) でズーム操作ができます。レバーをたおす量に応じてズームスピードが変化します。



A : Wへ押すと広角になる

B : Tへ押すと望遠になる

ヒント

- フルメニューの [Technical] - [ズーム] - [ズームタイプ] でズームタイプを選ぶことができます。
- フルメニューの [Technical] - [ズーム] - [全画素超解像ズームタイプ] で、超解像ズームのズーム動作を設定することができます。

ズームレバースピードを設定する

ズームレバーでのズームスピードを設定します。2段階でズームスピードを設定できます。また、記録待機中と記録中で別々に設定できます。

フルメニューの [Technical] - [ズームレバースピード] でズームスピードを [1(遅い)] ~ [8(速い)] の範囲で設定します。

- [1段階ズーム(待機中)] : 記録待機中の1段階目のズームスピードを設定する。
- [2段階ズーム(待機中)] : 記録待機中の2段階目のズームスピードを設定する。
- [1段階ズーム(記録中)] : 記録中の1段階目のズームスピードを設定する。
- [2段階ズーム(記録中)] : 記録中の2段階目のズームスピードを設定する。

ヒント

- 記録待機中のズームスピードを速く、記録中のズームスピードを遅く設定すると、撮影待機時はすばやく画角を変更でき、記録中はゆっくりと画角を変化させることができます。

ご注意

- レンズのズームリングや電動ズームレンズのズームレバーによるズームスピードは変わりません。
- ズームスピードを速くすると、ズームの動作音が記録される場合があります。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

Bluetoothリモコンのズームスピードを設定する

Bluetoothリモコン（別売）によるリモート撮影機能を使ってズーム操作を行うときのズームスピードを設定します。記録待機中と記録中で別々に設定できます。

フルメニューの [Technical] - [Bluetooth ズーム] で設定します。

- [ズームスピードタイプ] :
ズームスピードを [固定] または [可変] に設定する。
- [固定スピード(待機中)] :
[ズームスピードタイプ] が [固定] のときの記録待機中のズームスピードを [1(遅い)] ~ [8(速い)] の範囲で設定する。
- [固定スピード(記録中)] :
[ズームスピードタイプ] が [固定] のときの記録中のズームスピードを [1(遅い)] ~ [8(速い)] の範囲で設定する。

ヒント

- [ズームスピードタイプ] を [可変] に設定すると、リモコンのズームレバーを押し込むことでズームスピードが速くなります（一部のリモコンは可変ズームに対応していません）。
- [ズームスピードタイプ] を [固定] にして、[固定スピード(待機中)] を速く、[固定スピード(記録中)] を遅く設定すると、記録待機中はすばやく画角を変更でき、記録中はゆっくりと画角を変化させることができます。

ご注意

- ズームスピードを速くすると、ズームの動作音が記録される場合があります。

TP1002271868

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

フォーカスを手動調節する

フォーカスを手動調整するには、フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [フォーカス運用] を [マニュアルフォーカス] に設定します。

以下のようなときに使います。

- 水滴の多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にフォーカスを手前の被写体から奥の被写体に送るとき
- 外気温の大きな変化により、フォーカスのピントが外れたとき（レンズの温度特性による変化時）

ヒント

- 電源を入れて10分以上経過後にフォーカスを合わせると、安定した合焦状態を保つことができます。また、環境温度が大きく変動した場合、フォーカス合わせを再度行うことで最適な撮影状態を維持できます。
- ユーザー機能画面の [User 1] ～ [User 6] に [フォーカス運用] を割り当てすることもできます。

関連項目

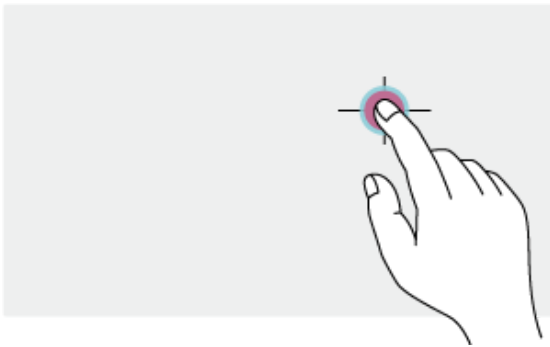
- [手動でフォーカス対象を変更する](#)

TP1002215140

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

タッチ操作でフォーカスを合わせる

マニュアルフォーカス時、ピントを合わせたい位置をタッチ操作で指定すると、フォーカスを合わせることができます。スポットフォーカスを使用するには、[Shooting] - [フォーカス] - [MF時のタッチ機能] を [スポットフォーカス] に設定します。ピントを合わせたい位置をタップすると、スポットフォーカスマークが表示されます。



ご注意

- スポットフォーカス中に [Push AF/Push MF] が割り当てられたアサインブルボタンを押すとスポットフォーカスを終了し、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。
- レンズ側でマニュアルフォーカスに設定されていると、スポットフォーカスは動作しません。
- ピント拡大中、またはフルメニューの [Technical] - [タッチ操作] を [Off] に設定しているときは、スポットフォーカスの位置指定操作はできません。

関連項目

- [タッチパネルの使いかた](#)

TP1002215141

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

一時的に自動でフォーカスを合わせる

マニュアルフォーカス中に、[Push AF/Push MF] が割り当てられたアサインブルボタンを押すと、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。

フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [フォーカスエリア] で設定したフォーカスエリア内でフォーカスを合わせます。

ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。

マニュアルフォーカス中に、ある被写体から別の被写体にゆっくりとフォーカス送りするような場合に有効です。

ご注意

- レンズ側でマニュアルフォーカスに設定されていると、Push AFは動作しません。

TP1002215142

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

迅速に自動でフォーカスをあわせる（シングルAF（AF-S））

マニュアルフォーカス中またはオートフォーカス中に［シングルAF(AF-S)］が割り当てられたアサインابلボタンを押すと、最速でオートフォーカスを行います。なお、合焦前にボタンを離すと中止します。

フォーカスインジケータ表示にてフォーカス合わせの状況を表示します。

- 点灯：フォーカスが合焦した位置で固定されています。
- 点滅：フォーカスが合っていません。自動でフォーカスを合わせられないため、構図やフォーカス設定などを変更してください。

ボタンから指を離すとボタンを押す前のマニュアルフォーカスまたはオートフォーカスに戻ります。
撮影する前にフォーカスをさっと合わせておきたいときに使うと便利です。

ヒント

- ［シングルAF(AF-S)］が割り当てられた［グラブボタン(半押し)］でも同様の動作が可能です。

ご注意

- レンズ側でマニュアルフォーカスに設定されていると、［シングルAF(AF-S)］は動作しません。
- フルメニューの［Project］－［アサインابلボタン］－［グラブボタン］が［Off］以外になっている場合、［グラブボタン(半押し)］は［Off］になります。

TP1002308033

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

拡大表示をしてフォーカスを合わせる

フルメニューの [Monitoring] - [ピント拡大] でピント拡大を行う出力先を選択できます。設定に応じて、ピント拡大で使用するアサインブルボタンの機能名が変わります。

[LCD/VFピント拡大] を割り当てたアサインブルボタンを押すと、LCDモニター/ ビューファインダーのピント拡大の倍率を切り替えることができます。そのボタンを押すたびに、3倍、6倍の倍率で拡大されます。

フォーカスが合っているかを確認するときに便利です。

最大の倍率にした後、もう一度押すと元に戻ります。

ピント拡大中にマルチセレクターで拡大位置を移動できます。マルチセレクターを押すと中央に戻ります。

また、HDMI出力の画像も [HDMIピント拡大] を割り当てたアサインブルボタンを押すと、2倍、4倍で拡大されます。

ご注意

- 映像出力フォーマットがFHD以外のHDMI出力では、画像は拡大されません。
- 拡大位置は本機の電源を切ると画面中央に戻ります。
- X-OCN記録時に、LCDモニター映像を [LUT On/Off] が [Off] の状態でピント拡大した場合は、LUTが適用された映像になることがあります。

TP1002215143

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

フォーカスを自動調節する

本機は、位相差AF方式のみを採用することにより、高速、かつ高精度な迷わないオートフォーカスを提供しています。

フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [AF測距不能時のサーチ動作] を [サーチする] に設定すると、位相差AF方式に加えて、コントラストAF方式が適用され、位相差AFが動作できない条件や環境でもコントラストAFによって常時AFし続けることも可能になります。

フォーカスを自動調整するには、フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [フォーカス運用] を [オートフォーカス] に設定します。

レンズにフォーカス切り替えスイッチがある場合はあらかじめ「AF/MF」または「AF」に設定してください。「Full MF」または「MF」の場合、レンズは本機からのフォーカス指示を受け付けません。

ヒント

- フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [AFアシスト] を [On] に設定すると、オートフォーカス中でもレンズのフォーカスリングでフォーカスを動かすことができます。フォーカスリング操作を止めると、[被写体認識AF] の設定に従って、その時点のフォーカスポジションに近い被写体にピントを合わせます。

ご注意

- オートフォーカスに対応したレンズが必要です。
- 撮影状況により精度が出ない場合があります。
- 像面位相差AFに非対応のレンズを装着しているときは、[Shooting] - [フォーカス] - [AF測距不能時のサーチ動作] を [サーチしない] に設定すると、マニュアルフォーカスに固定されます。

TP1002215144

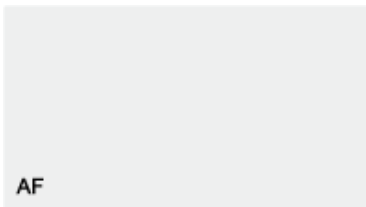
レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

オートフォーカスの対象領域/位置を設定する

フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [フォーカスエリア] でオートフォーカスの対象とする領域を設定できます。

【ワイド】

映像全域からフォーカスを合わせる位置を探します。枠は表示されません。



【ゾーン】

指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる位置を探します。
選択後、マルチセレクターで位置を指定します。
マルチセレクターを長押しすると中央の位置に戻ります。



【フレキシブルスポット】

映像の指定した位置にフォーカスを合わせます。
選択後、マルチセレクターで位置を指定します。
マルチセレクターを長押しすると中央の位置に戻ります。



ヒント

- フルメニューの [Monitoring] - [画面表示On/Off設定] - [フォーカスエリア表示] で、フォーカス領域の枠を表示/非表示にすることができます。

TP1002215145

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

フォーカスエリアをすばやく変更する

アサイナブルボタンに「フォーカスセット」を割り当てると、撮影中などにオートフォーカスの対象領域（フォーカスエリア）の位置や大きさをすばやく変更することができます。

「フォーカスエリア」の設定により動作が変わります。

「フォーカスエリア」－「ワイド」の場合：

「フォーカスセット」を割り当てたアサイナブルボタンの長押しによるフォーカスエリアの大きさ変更のみ可能です。「フォーカスエリア」を「フレキシブルスポット」または「ゾーン」に設定すれば、続けて位置変更も可能です。

「フォーカスエリア」－「ゾーン」または「フレキシブルスポット」の場合：

「フォーカスセット」を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、マルチセクターでフォーカスエリアの位置を変更することができます。

位置変更中にマルチセクターを押すと、フォーカスエリアの位置が中央に戻ります。

「フォーカスセット」を割り当てたアサイナブルボタンを長押しするとフォーカスエリアの大きさを変更することができます。大きさを変更後、マルチセクターを押すとフォーカスエリアの位置を設定します。

設定の変更が終了したら、「フォーカスセット」を割り当てたアサイナブルボタンを押して元の画面に戻ります。

ヒント

- フォーカスエリアの位置変更が可能な場合は、フォーカスエリア枠がオレンジ色で表示されます。

TP1002215146

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

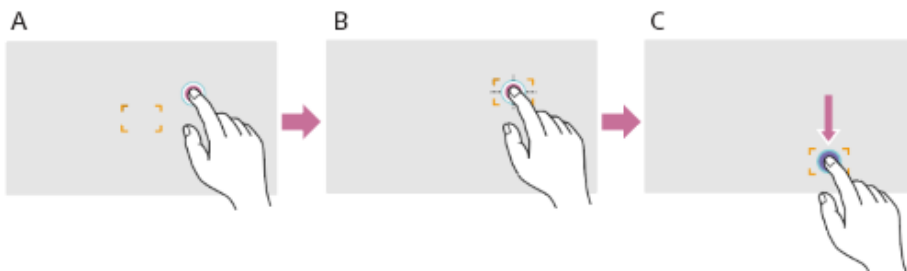
フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する

「フォーカスセット」を割り当てたアサインブルボタンを押すなどしてフォーカスエリアの表示をオレンジにしたとき、タッチ操作で移動できます。

タップした場所をフォーカスエリアの中心とし、フォーカスエリアの位置を移動します。ドラッグすると、フォーカスエリアの位置は指の動きに追従して移動します。

ヒント

- 撮影画面では「フォーカスセット」を割り当てたアサインブルボタンの操作で、フォーカスエリア枠のタッチ操作の有効/無効を切り替えることができます。



- A : 任意の位置をタップする
B : タップした位置をフォーカスエリアの中心として位置を移動する
C : ドラッグで指先を追従し、フォーカスエリアの位置を移動する

ご注意

- タップまたはドラッグした位置がフォーカスエリアの位置の設定範囲を超えた場合、フォーカスエリアの位置は設定範囲内の上下左右端に設定されます。
- 以下の場合、この機能は使えません。
 - フルメニューの「Technical」 - 「タッチ操作」を「Off」に設定した場合
 - フォーカスエリア枠がグレーまたは非表示の場合

関連項目

- [タッチパネルの使いかた](#)

TP1002215147

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

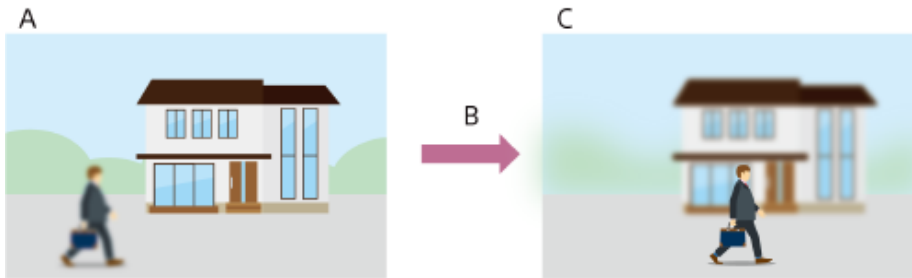
オートフォーカスの動作の調節をする (AFトランジション速度、AF乗り移り感度)

AFトランジション速度

フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [AFトランジション速度] で被写体が移り変わる際のフォーカス駆動の速さを設定することができます。

[1(低速)] を選択すると被写体の移り変わり時にゆっくりとフォーカス送りし、印象的な映像表現を可能にします。

[7(高速)] を選択すると被写体間のフォーカス送りがすばやくなります。フレームに入った被写体にすぐにフォーカスが合うので、すばやいフォーカス合わせが要求されるドキュメンタリー撮影などに効果的です。



A : 奥の被写体に合焦している

B : 乗り移り中

[1(低速)] : フォーカスがゆっくり動く

⋮

[7(高速)] : フォーカスがすばやく動く

C : 手前の被写体に合焦

AF乗り移り感度

フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [AF乗り移り感度] で、被写体の乗り移り感度を設定することができます。

[1(粘る)] を選択するとフォーカスの合っている被写体の前に別の被写体が来てもフォーカスが移りにくくなり、[5(敏感)] を選択すると手前に来た被写体を優先してフォーカスが移りやすくなります。

ヒント

- [AF速度/感度] を割り当てたアサインボタンを押すたびに、調節用のレベルバーが以下の順で表示され、[AFトランジション速度] と [AF乗り移り感度] の設定を変更できます。
AFトランジション速度→AF乗り移り感度→非表示・・・

【AF乗り移り感度】 : [1(粘る)]



別の被写体にフォーカスが移りにくい

【AF乗り移り感度】 : [5(敏感)]



別の被写体にフォーカスが移りやすい

ヒント

- ユーザー機能画面の [User 1] ～ [User 6] に [AFトランジション速度]、[AF乗り移り感度] を割り当てることもできます。

TP1002215148

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

手動でフォーカス対象を変更する

フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [AFアシスト] を [On] に設定すると、オートフォーカス中でもレンズのフォーカスリングを操作して任意の被写体にフォーカスを合わせることができます。

フォーカスリングの操作を止めると、フォーカスリングで合わせた被写体にオートフォーカスします (AFアシスト状態)。フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [AF乗り移り感度] の設定に関わらず、フォーカスリング操作後はフォーカスが乗り移りにくなります。

以下の場合、AFアシスト状態は解除されます。

- フォーカスリングで合わせた被写体を見失ったとき
- マニュアルフォーカスにしたとき
- リアルタイムトラッキングAFを開始したとき

ヒント

- [Push AF/Push MF] が割り当てられたアサインابلボタンを使うと、AFアシスト状態を素早く解除できます。
- フォーカスリングを操作すると、リアルタイムトラッキングAFは終了します。
- 人物限定AFの場合、フォーカスリング操作中または操作後に人物を認識していた場合、現在のフォーカス位置に一番近い顔にオートフォーカスします。

TP1002215149

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

一時的に手動でフォーカスを合わせる

オートフォーカス中に、[Push AF/Push MF] が割り当てられたアサインابلボタンを押すと、そのボタンを押している間はマニュアルフォーカスになります。

ボタンから指を離すと、オートフォーカスに戻ります。

被写体の手前を撮影対象でないものが横切るときなどに、一時的にオートフォーカスを止めて手動でフォーカスを合わせることができます。

ヒント

- [Push AF/Push MF] が割り当てられたアサインابلボタンでも同様の動作が可能です。
- リアルタイムトラッキングAF中の場合、リアルタイムトラッキングAFを終了します。
- ユーザー機能画面の [User 1] ～ [User 6] に [Push AF/Push MF] を割り当てすることもできます。

TP1002215150

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

被写体を検出して追尾する

被写体を追尾対象として検出し、フォーカスエリア内にある顔や瞳、頭、体にフォーカスを合わせ続けることができます。フォーカスモードがオートフォーカスモードまたはブッシュオートフォーカス中のみ使用できます。被写体を検出すると灰色の被写体認識枠が表示されます。オートフォーカスの対象と判断されると、枠が白色になり、追尾が開始されます。よりピンポイントな認識部位（瞳など）が認識された場合は、その部位が自動的に優先されて認識枠が表示されます。複数の被写体を検出したときは、主な被写体は自動的に決定します。

ヒント

- フォーカスエリアが「ゾーン」または「フレキシブルスポット」に設定されているときは、設定したフォーカスエリアの範囲に被写体が重なっているときに、認識した被写体の部位（顔や瞳/頭/体）に認識枠が表示されます。

フルメニューの「Shooting」－「フォーカス」－「被写体認識AF」で、被写体認識AFの動作を設定します。

【人物限定AF】：

カメラが被写体（人物）を検出したとき、人の顔/瞳/頭/体にフォーカスを合わせて追尾します。顔/瞳/頭/体を検出しない間は、オートフォーカスモードが一時停止し、人物限定AF中の「」（オートフォーカス一時停止アイコン）が表示されます。顔/瞳/頭/体だけにフォーカスを合わせて追尾したいときに有効なモードです。

【人物優先AF】：

カメラが被写体（人物）の顔/瞳/頭/体を検出したとき、人の顔/瞳/頭/体に優先的にフォーカスを合わせて追尾します。顔/瞳/頭/体を検出しないときは、映像の最適な位置を自動的に判断し、その位置にフォーカスが合った状態にします。

【動物/鳥優先AF】：

カメラが被写体（動物や鳥）の瞳/頭/体を検出したとき、動物や鳥の瞳/頭/体に優先的にフォーカスを合わせて追尾します。瞳/頭/体を検出しないときは、映像の最適な位置を自動的に判断し、その位置にフォーカスが合った状態にします。

【動物優先AF】：

カメラが被写体（動物）の瞳/頭/体を検出したとき、動物の瞳/頭/体に優先的にフォーカスを合わせて追尾します。瞳/頭/体を検出しないときは、映像の最適な位置を自動的に判断し、その位置にフォーカスが合った状態にします。

【鳥優先AF】：

カメラが被写体（鳥）の瞳/頭/体を検出したとき、鳥の瞳/頭/体に優先的にフォーカスを合わせて追尾します。瞳/頭/体を検出しないときは、映像の最適な位置を自動的に判断し、その位置にフォーカスが合った状態にします。

【Off】：

被写体認識AF機能を無効にします。

ご注意

- 「人物限定AF」に設定しているときでも、ブッシュオートフォーカス実行中は、「人物優先AF」になります。
- フルメニューの「Shooting」－「フォーカス」－「フォーカス運用」が「マニュアルフォーカス」のときは、被写体認識枠を表示しません（ブッシュオートフォーカス実行中、リアルタイムトラッキングAF実行中を除く）。
- 「人物限定AF」に設定した状態で本機の電源を切った場合、次に電源を入れると自動的に「人物優先AF」になります。

被写体認識枠を消す

被写体認識枠の表示/非表示は、フルメニューの「Monitoring」－「画面表示On/Off設定」－「被写体認識枠表示」で設定できます。

アサインابلボタンで被写体認識AFの動作を切り替える

アサインابلボタンに「被写体認識AF」を割り当てると、そのボタンを押すたびに、被写体認識AFの動作が「人物優先AF」→「人物限定AF」→「動物/鳥優先AF」→「動物優先AF」→「鳥優先AF」→「Off」の順に切り替わります。

ヒント

- ユーザー機能画面の「User 1」～「User 6」に「被写体認識AF」を割り当てることができます。
- フルメニューの「Shooting」－「フォーカス」－「認識対象切換設定」で、「被写体認識AF」を割り当てたアサインابلボタンを押したときに切り替える対象を設定できます。

ダイレクトメニューで設定する

被写体認識AFの動作は、ダイレクトメニューでも切り替えることができます。

関連項目

- [アサインابلボタン](#)
- [ダイレクトメニュー](#)

TP1002215151

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

被写体を指定して追尾する

タッチ操作や被写体認識枠の選択操作で指定した被写体にフォーカスを合わせ続けることができます。
被写体を選択すると白色の追尾枠が表示され、追尾が開始されます。

ヒント

- フォーカスエリアの設定に関わらず、映像領域全体で追尾します。

フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [MF時のタッチ機能] を [トラッキングAF] に設定すると、フォーカスモードがマニュアルフォーカスモードの場合でもリアルタイムトラッキングAFが可能です。

被写体認識AFの動作モードの設定によって、追尾対象に対して次のように動作します。

【人物限定AF】 / 【人物優先AF】：

指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。

追尾対象が人物で、顔/瞳/頭/体を検出した場合は、顔/瞳/頭/体にフォーカスを合わせます。

顔/瞳/頭/体を検出した場合、追尾対象の顔を保存します。保存が完了すると （保存された追尾顔ありアイコン）が表示されます。

【動物/鳥優先AF】 / 【動物優先AF】 / 【鳥優先AF】：

指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。

追尾対象が動物や鳥で、瞳/頭/体を検出した場合は、瞳/頭/体にフォーカスを合わせます。

【Off】：

指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。

追尾対象が人物や動物、鳥であっても、顔/瞳/頭/体の検出は行いません。

TP1002215152

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

リアルタイムトラッキングAFを開始する

特定の被写体を追尾対象に指定すると、その被写体に対して追尾が開始されます。

タッチ操作で指定する

次のいずれかの状態のときに、追尾対象とする被写体をタップします。

- フォーカスモードがマニュアルフォーカスモード、またはブッシュマニュアルフォーカス中で、フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [MF時のタッチ機能] が [トラッキングAF] のとき
- フォーカスモードがオートフォーカスモード、またはブッシュオートフォーカス (AF) 中のとき

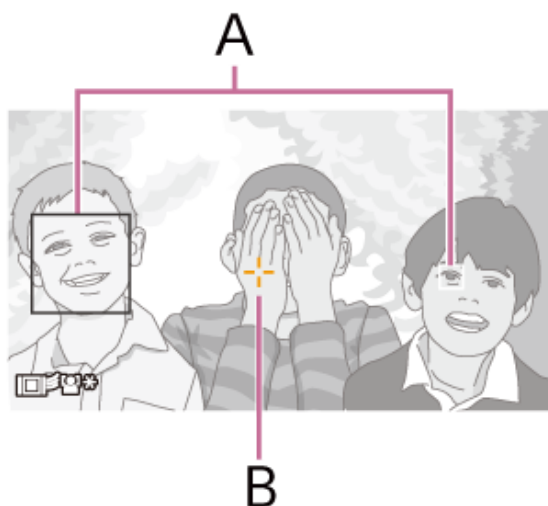
ご注意

- フルメニューの [Technical] - [タッチ操作] を [Off] に設定した場合はタッチ操作での指定はできません。

トラッキングAFポインターで指定する

フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [マルチセクターの機能] を [ポインター] に設定すると、タッチ操作の代わりにマルチセクターで画面上の被写体を自由に選ぶことができます。

マルチセクターでトラッキングAFポインターを追尾対象にする被写体に移動して、マルチセクターを押し込みます。



A : 瞳顔枠

B : トラッキングAFポインター

ビューファインダーを使用している場合やタッチパネル操作を無効にしている場合に便利です。

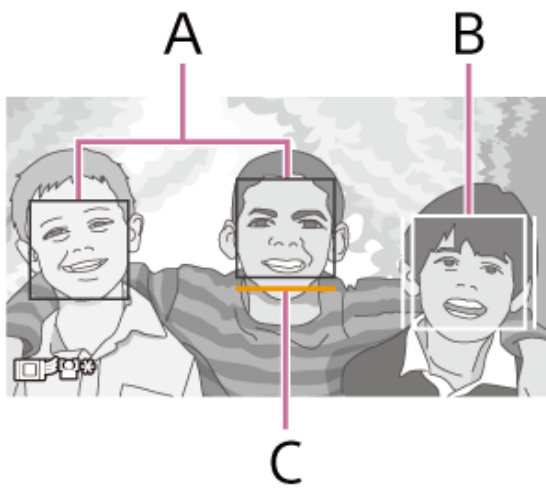
トラッキングAFポインターは、ポインターの色や縁取りを変えることで見やすくしたり、撮影を邪魔しすぎないようにすることができます。

ポインターの色や縁取りは、フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [ポインターのカラー] / [ポインターの縁取り] で設定できます。

被写体認識枠の選択操作で指定する

フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [マルチセクターの機能] を [被写体選択 カーソル] に設定すると、被写体認識枠をマルチセクターで選ぶことができます。

マルチセクターで被写体選択カーソル (オレンジ色の下線) を追尾対象にする被写体に移動して、マルチセクターを押し込みます。



- A : 他の顔検出枠（灰色）
 B : 追尾枠
 C : 顔選択カーソル（オレンジ）

ヒント

- リアルタイムトラッキングAF中に追尾対象を変更することもできます。

ご注意

- マニュアルフォーカス中は、被写体認識枠の選択操作でトラッキングを開始できません。

TP1002215153

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

リアルタイムトラッキングAFを終了する

タッチ操作で終了する

タッチパネル左上に表示される  (リアルタイムトラッキングAF終了) ボタンをタップします。

ヒント

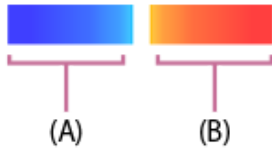
- 以下の場合もリアルタイムトラッキングAFが終了します。
 - [Push AF/Push MF] を割り当てたアサインボタンを押したとき
 - フルメニューの [Shooting] - [フォーカス] - [フォーカス運用] で [オートフォーカス] と [マニュアルフォーカス] を切り替えたとき
 - フォーカスモードを変更したとき
 - AFアシストを実行したとき
 - フォーカスエリアの設定や被写体認識AFの動作を変更したとき
 - 撮影画面内から追尾対象がなくなり、フォーカスがどこにも合っていない状態が数秒経過したとき

TP1002215154

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

フォーカスマップ

動画撮影時に、ピントが合っている部分と合っていない部分が視覚的に分かるように表示されます。ピントが合っている部分よりも後方部分（後ボケ）は寒色（A）、前方部分（前ボケ）は暖色（B）でドット表示されます。ピントが合っている範囲はドット表示されません。ドット表示は実際の動画には記録されません。



フルメニューの [Monitoring] - [フォーカスマップ] - [設定] で、フォーカスマップのオン/オフを設定します。

ご注意

- 以下の場合、[フォーカスマップ] は使用できません。
 - フォルスカラーの表示中
 - 映像信号モニターの表示中
 - ピント拡大中
 - 撮影映像がされていないとき（再生中、サムネイル表示など）
 - デスクイーズの表示設定が [Off(1.0x)] 以外のとき
 - 装着レンズが像面位相差AFに非対応のとき

TP1002271869

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

撮影時のご注意

以下の場合、状況によってはうまく被写体にピントが合わないことがあります。

- 低照度、逆光時
- 影がかかった状態
- ピントが大きくずれた状態

また、被写体の動きが大きいときなど、瞳を認識していても、以下の場合、状況によってはうまく瞳にピントが合わないことがあります。

- 目を閉じた状態
- 瞳に毛などがかかった状態
- メガネ（サングラス）をかけた状態

ほかにも、状況によって被写体にピントを合わせられない場合があります。

- 被写体の瞳などの優先したい部位にピントを合わせることができないときは、被写体の頭部や体などの認識されたほかの部位に自動でピントを合わせることがあります。
- 被写体の顔などに白色の被写体認識枠が表示されていても、自動的に被写体の瞳などの優先したい部位にピントを合わせることがあります。
- 被写体の一部しか画角に入っていないときは認識しない場合があります。
 - － 人物や動物の手や足のみが見えている場合
 - － 被写体の一部が隠れて見えない場合など
- 状況によっては、被写体以外のものや部位などを被写体と誤認識することがあります。

TP1002215155

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

基準感度を選択する

本機では2種類の基準感度を選択することができます。

撮影モードが [カスタム] のときは、フルメニューの [Shooting] - [ISO/ゲイン] の [基準感度] で [高] / [中] / [低] / [低 (デュアルゲイン)] から選択します。

ログ撮影 ([Cine EI] / [Flexible ISO]) のときは、フルメニューの [Shooting] - [ISO/ゲイン] の [Base ISO] で [ISO 12800] / [ISO 4000] / [ISO 800] / [ISO800(デュアルゲイン)] から選択します。 [Cine EI Quick] のとき、基準感度は [Exposure Index] の設定値に連動します。

通常の照明下では [低] または [ISO 800] 、低照度の条件では [高] または [ISO 12800] を選択してください。

ヒント

- アサインابلボタンに [Base ISO/感度] を割り当てることもできます。

TP1002321102

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

アイリスを調節する

アイリスを調節して、明るさを調節できます。

アイリスを自動調節する

被写体に応じて明るさを調節します。対応するレンズが必要です。

1. レンズにAuto Irisスイッチがついている場合、AUTOにする。
2. ホーム画面のアイリス設定画面（項目4）で「オート」ボタンを押し「オート」を選択する。

ヒント

- 「オートアイリス」のダイレクトメニューで「オート」を選んでも同様の操作ができます。
- アサインابلボタンに「オートアイリス」を割り当てることもできます。

ご注意

- Aマウントレンズではアイリスを自動調節できません。

アイリスを手動調節する

1. ホーム画面のアイリス設定画面（項目4）で「マニュアル」を選択する。
2. マルチファンクションダイヤルを回して調節する。

ヒント

- マルチファンクションダイヤルに「IRIS」を割り当てると、マルチファンクションダイヤルを常時IRISとして動作させることもできます。
- アサインابلダイヤルに「IRIS」を割り当てることもできます。

一時的に自動調節する

「Push Auto Iris」を割り当てたアサインابلボタンを押している間、アイリスを自動調節します。
指を離すと手動アイリスに戻ります。

ご注意

- レンズのAuto IrisスイッチをMANUALにすると、本機の「オートアイリス」の設定は適用されなくなり、「Push Auto Iris」が割り当てられたアサインابلボタンの操作も受け付けなくなります。また、本機からのアイリス手動調節操作も受け付けなくなります。

TP1002215156

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ゲインを調節する

撮影モードが [カスタム] ではゲインを調節して、明るさを調節できます。

ゲインを自動調節する

[ISO/ゲイン] が割り当てられたアサインابلボタンを長押しして [AGC] のダイレクトメニューを表示させ、[オート] を選ぶ。

ヒント

- フルメニューの [Shooting] - [自動露出] - [AGC] を [On] に設定しても同様の調節が可能です。
- アサインابلボタンに [AGC] を割り当てることもできます。
- フルメニューの [Shooting] - [画像ブレ補正] - [手ブレ補正] が [ダイナミックアクティブ] のときは、選択できる [ISO/ゲイン] の範囲が狭くなります。

ゲインを手動調節する

アイリスを固定したまま露出調整したいときや、AGCによるゲインアップを行いたくないときなどに使用します。

- [ISO/ゲイン] が割り当てられたアサインابلボタンを長押しして [AGC] のダイレクトメニューを表示させ、[マニュアル] を選ぶ。
- [ISO/ゲイン] が割り当てられたアサインابلボタンを長押ししてゲイン値のダイレクトメニューを表示させ、ゲインを設定する。

ヒント

- アサインابلボタンに [Push AGC] を割り当てると、そのボタンを押している間だけ [AGC] を [On] にできます。
- フルメニューの [Shooting] - [ISO/ゲイン] - [ISO/ゲイン選択] でもゲインの値を変更できます。

ゲインを微調整する

- [ISO/ゲイン] が割り当てられたアサインابلボタンを長押ししてゲイン値のダイレクトメニューを表示させる。
- マルチファンクションダイヤルを回して調節する。

ゲインを一時的に微調整する

アサインابلダイヤルに [ISO/ゲイン/EI] を割り当てると、設定した値からダイヤルで調整することができます。被写界深度を変えずにもう一步露出を追い込みたいときに便利です。

一時的に微調整した結果は、基準感度の切り替えや [AGC] を [On] 、電源をオフにすると無効になります。

ヒント

- マルチファンクションダイヤルに [ISO/ゲイン/EI] を割り当てることもできます。
- アサインابلボタンに [Push AGC] を割り当てると、そのボタンを押している間だけ [AGC] を [On] にできます。

TP1002215157

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

デュアルゲイン

デュアルゲイン機能を使用すると、動画の暗部のダイナミックレンジを拡張し、なめらかな階調で動画を撮影することが可能になります。

カスタム撮影用とログ撮影用のデュアルゲイン設定があります。

- **カスタム撮影**

フルメニューの [Shooting] - [ISO/ゲイン] - [基準感度] を [低 (デュアルゲイン)] に設定します。

- **ログ撮影**

フルメニューの [Shooting] - [ISO/ゲイン] - [Base ISO] を [ISO800(デュアルゲイン)] に設定します。

ご注意

- [低 (デュアルゲイン)] や [ISO800(デュアルゲイン)] は設定可能な条件があります。詳細は「[基本動作の設定](#)」の「イメージャーモードと記録フォーマットについて」をご覧ください。
- デュアルゲイン機能を使用して撮影を行うと、消費電力が大きくなるため、連続撮影時間に影響がある場合があります。
- [Base ISO/感度] が割り当てられたアサインابلボタンによる操作で、基準感度を [低 (デュアルゲイン)] または [ISO800(デュアルゲイン)] に切り替えることができません。また、フルメニューで [低 (デュアルゲイン)] または [ISO800(デュアルゲイン)] が設定されている場合は、[Base ISO/感度] が割り当てられたアサインابلボタンは操作できません。

TP1002308044

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

シャッターを調節する

シャッターを調節して、明るさを調節できます。

シャッターを自動調節する

〔シャッター〕が割り当てられたアサインボタンを長押ししてダイレクトメニューを表示させ、〔オート〕を選ぶと、映像の明るさに応じて自動でシャッター速度または開角度を調節できます。

ヒント

- フルメニューの〔Shooting〕－〔自動露出〕－〔オートシャッター〕を〔On〕に設定しても同様の調節が可能です。

シャッターを手動調節する

- 〔シャッター〕が割り当てられたアサインボタンを長押ししてダイレクトメニューを表示させ、〔ステップ〕または〔連続〕を選ぶ。
〔ステップ〕：プリセットされたスピードまたは開角度から設定する。
〔連続〕：細かいシャッタースピードまたは開角度から設定する。
- 〔シャッター〕が割り当てられたアサインボタンを押して、シャッター値が白背景で表示された状態にする。
- マルチファンクションダイヤルを回してシャッター速度を調節する。

ヒント

- 露光時間をフレーム周期に合わせる場合は、手順1で〔Off〕を選択します。

TP1002215158

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ホワイトバランスを自動で調節する

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調節します。

光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調節し直します。

［ホワイトバランス］が割り当てられたアサインブルボタンを長押しして、ダイレクトメニューから［ATW］を設定します。フルメニューの［Shooting］－［ホワイトバランス設定］－［ATWスピード］で調節速度を選択します。

ヒント

- フルメニューの［Shooting］－［ホワイトバランス］の［ATW］、または［ATW］を割り当てたアサインブルボタンで［ATW］を［On］にすることもできます。
- アサインブルボタンに［ATWホールド］機能を割り当てておくと、このボタンを押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

ご注意

- 照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調節できないことがあります。
例：
 - － 空/海/地面/草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
 - － 色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体
 - － ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、オートホワイトバランスを実行してください。

TP1002215160

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ホワイトバランスを手動で調節する

- **【ATW】が【On】のとき：**
【ホワイトバランス】が割り当てられたアサインابلボタンを長押しして【ATW】のダイレクトメニューを表示させ、【W:A】～【W:H】のいずれかを選ぶ。
- **【ATW】が【Off】のとき：**
【ホワイトバランス】が割り当てられたアサインابلボタンを長押しして、ダイレクトメニューで【W:A】～【W:H】のいずれかを選ぶ。
 - － 【W:A】：メモリーポジションA
 - － 【W:B】：メモリーポジションB
 - － 【W:C】：メモリーポジションC
 - － 【W:D】：メモリーポジションD
 - － 【W:E】：メモリーポジションE
 - － 【W:F】：メモリーポジションF
 - － 【W:G】：メモリーポジションG
 - － 【W:H】：メモリーポジションH

メモリーポジションA～Hの選択は、ホーム画面で行います。

ヒント

- フルメニューの【Shooting】－【ホワイトバランス】－【ホワイトバランス選択】で選択することもできます。

各メモリーポジションはそれぞれ以下の手段で設定できます。

- 既定のプリセット値に変更する
- 任意の色温度に変更する
- オートホワイトバランスを実行する

既定のプリセット値に変更する

既定のプリセット値に直接変更することができます。

【ホワイトバランス】が割り当てられたアサインابلボタンを長押しして、ダイレクトメニューで以下から選択する。

カスタム撮影：→【3200K】→【4300K】→【5600K】→【6300K】

ログ撮影：→【3200K】→【4300K】→【5500K】

ヒント

- 規定のプリセット値を選択すると、ティント値は±0が設定されます。

任意の色温度に変更する

1. 【ホワイトバランス】が割り当てられたアサインابلボタンを押して、色温度が白背景で表示された状態にする。
2. マルチファンクションダイヤルを回して調節する。

ヒント

- 【2000K】～【5600K】は20K単位で設定できます。【5600K】より上の値は、【5580K】から【5600K】の色変化量と等しくなる間隔で設定できます。また、フルメニューの【Shooting】－【ホワイトバランス】－【ティント】の調節ができます。

オートホワイトバランスを実行する

メモリーポジションA～Hに保存するホワイトバランスを自動で設定します。

1. メモリーポジションA～Hのいずれかを選択する。
2. 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。
3. 明るさを調節する。

アイリスを手動調節してください。詳細は下記をご覧ください。

[アイリスを調節する](#)

4. ダイレクトメニューの【W:A】～【W:H】のいずれかを選び、【AWB】を選択する。

- メモリーモードで実行した場合、自動で調節した結果は手順1で選択したメモリーポジション（A～Hのいずれか）に保存されます。
- ATWモードで実行した場合、自動調節が終わると、結果を引き継いでATWを再開します。【ATWスピード】の設定に関わらず、最速でホワイトバランスをあわせたいときに使用できます。

ヒント

- ホーム画面、またはフルメニューの【Shooting】－【ホワイトバランス】－【オートホワイトバランス】、または【オートホワイトバランス】を割り当てたアサインボタンでも実行できます。

ご注意

- 正常に終了しなかったときは画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示される場合は、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

TP1002215161

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

手ブレ補正を使う

手ブレ補正機能を有効にすると、撮影時の細かな動きによる画像のぶれを抑えることができます。

ご注意

- フルメニューの [Project] - [アナモデスクイーズ] - [レシオ] が [Off(1.0x)] 以外の場合、手ブレ補正は使用できません。

手ブレ補正を有効にする

フルメニューの [Shooting] - [画像ブレ補正] - [手ブレ補正] を [スタンダード] / [アクティブ] / [ダイナミックアクティブ] に設定します。

- [スタンダード] : 手ブレによって生じる撮像映像のぶれを抑えます。
- [アクティブ] : [スタンダード] より強力な補正を行うことで、歩きながらの撮影など、より強い手ブレを補正します。画角が少し望遠側にシフトします。
- [ダイナミックアクティブ] : [アクティブ] 設定より強い手ブレ補正を行います。画角が [アクティブ] よりもさらに狭くなります。
- [Off] : 手ブレ補正モードをオフにします。

手ブレ補正機能を使用しない場合は、[手ブレ補正] を [Off] に設定します。この場合は、三脚を使用することをお勧めします。

ヒント

- 三脚に載せて安定した状態で使用するときは、手ブレ補正を [Off] にしてください。手ブレ補正を [Off] 以外にした状態でゆっくりとしたパンチルト動作を行うと映像が乱れる場合があります。
- ユーザー機能画面の [User 1] ~ [User 6] に [手ブレ補正] を割り当てることもできます。

ご注意

- 以下の場合、[アクティブ] による手ブレ補正は設定できません。
 - フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] の [コーデック] が [X-OCN LT] / [X-OCN C1] / [X-OCN C2] の場合
 - フルメニューの [Shooting] - [FPS] - [固定/可変 選択] が [可変] であつ、[FPS選択] が150fps以上の場合
 - フルメニューの [Shooting] - [FPS] - [固定/可変 選択] が [可変] であつ、[FPS選択] が66fps以上の時かつ [イメージャーモード] がFF 5K 17:9/FFc 4.5K 17:9の場合
- 以下の場合、[ダイナミックアクティブ] による手ブレ補正は設定できません。
 - フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] の [コーデック] が [X-OCN LT] / [X-OCN C1] / [X-OCN C2] の場合
 - [Projectフレームレート] が100以上の場合
 - フルメニューの [Shooting] - [FPS] - [固定/可変 選択] が [可変] で、かつ [FPS選択] が66fps以上の場合

自動で焦点距離の設定をする

レンズから取得した情報をもとに自動で手ブレ補正の焦点距離の設定を行います。

自動で手ブレ補正の焦点距離の設定を行う場合は、フルメニューの [Shooting] - [画像ブレ補正] - [補正調整] を [オート] に設定します。

手動で焦点距離の設定をする

手動で手ブレ補正の焦点距離の設定を行います。

手動で手ブレ補正の焦点距離の設定を行う場合は、フルメニューの [Shooting] - [画像ブレ補正] - [補正調整] を [マニュアル] に設定し、焦点距離を設定します。

焦点距離は、フルメニューの [Shooting] - [画像ブレ補正] - [焦点距離] で設定します。8 mm~1000 mmまでの範囲で焦点距離を設定できます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）で収録する音声を設定する

XLRハンドルユニットの入力端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。

XLRハンドルユニットは、ハンドルとXLRアダプターが一体となっています。本機にXLRハンドルユニットを取り付けることで、さまざまな外部音声機器に接続して音声を記録できます。

マルチインターフェースシューはデジタルオーディオインターフェースに対応しています。本機とXLRハンドルユニットとの間をデジタル信号で伝送することにより、ノイズの混入を抑えた音声収録を行うことができます。

関連項目

- [XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）を取り付ける](#)
- [メニュー画面](#)

TP1002215163

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

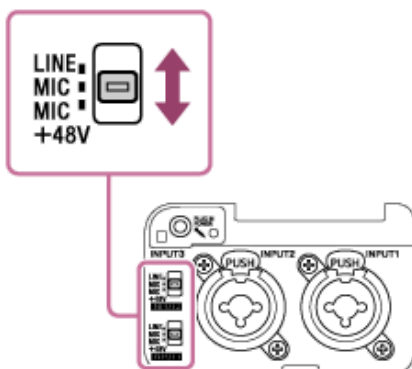
XLRハンドルユニット (ILME-FX5のみ) の音声入力機器を選ぶ

- 1 接続したい機器を、XLRハンドルユニットのINPUT1端子/INPUT2端子/INPUT3端子につなぐ。



INPUT1端子とINPUT2端子のいずれか一方を使用するときは、INPUT1端子に機器をつないでください。
INPUT3端子に機器を接続する場合は、手順3に進んでください。

- 2 入力する音源を選ぶ。



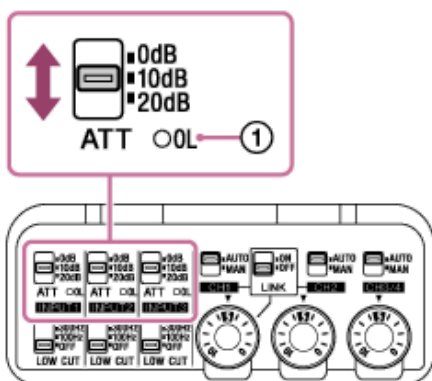
INPUT1端子/INPUT2端子に機器をつなぐ場合、接続する機器に合わせてINPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) /INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを切り替えます。

- LINE (基準入力レベル+4 dBu (0 dBu=0.775 Vrms)) : 外部音声機器 (ミキサーなど)
- MIC : ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク
- MIC+48V : +48V電源 (ファンタム電源) 対応のマイク
- マイクを取り付ける/取り外す場合は、必ずINPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチをMIC+48V以外に切り替えた状態で行ってください。MIC+48Vのままケーブルの抜き差しを行うと、大きなノイズが出たり、マイクが故障したりする可能性があります。
- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチをLINEにしてください。

- 3 INPUT SELECT (CH1/CH2) /INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチで、XLRハンドルユニットから出力する各チャンネルを選択する。

XLRハンドルユニットから出力する各チャンネルに割り当てる入力音声を、INPUT1、INPUT2、またはINPUT3から選択します。

- 4 機器を接続した端子のATT (INPUT1/INPUT2/INPUT3) スイッチで、マイクの基準入力レベルを設定する。



- 0dB：感度の低いマイクを使うときなど、音を増幅して録音したい場合。
 - INPUT1/INPUT2：基準入力レベル –60 dBu
 - INPUT3：基準入力レベル –76 dBu
- 10dB：人の声を録音する場合の推奨レベル。
 - INPUT1/INPUT2：基準入力レベル –50 dBu
 - INPUT3：基準入力レベル –66 dBu
- 20dB：感度の高いマイクを使うときなど、音を抑えて録音したい場合。
 - INPUT1/INPUT2：基準入力レベル –40 dBu
 - INPUT3：基準入力レベル –56 dBu

ご注意

- ATT（INPUT1およびINPUT2）スイッチは、それぞれに対応するINPUT1（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ、またはINPUT2（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されている場合のみ有効です。「LINE」に切り替えていると、基準入力レベルが+4 dBuに固定されるため、ATTスイッチを切り替えても基準入力レベルは変わりません。

ヒント

- アナログクリッピングするような大きな入力音声の場合は、XLRハンドルユニットのOL（オーバーロード）ランプ（①）が点灯します。その場合は、接続している機器やXLRハンドルユニットのATTスイッチで入力レベルを調整し、ランプが点灯しない範囲でお使いください。

5 録音レベルを調整する。

調整方法について詳しくは、「[XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）で録音レベルを調整する](#)」をご覧ください。

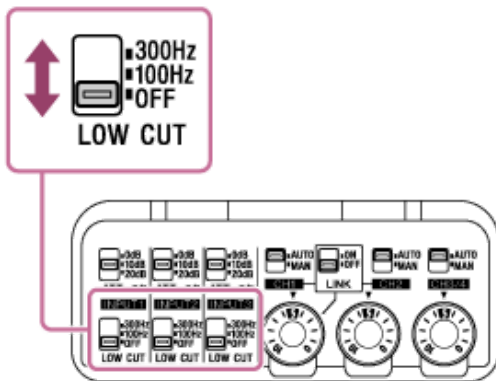
TP1002215164

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

XLRハンドルユニット (ILME-FX5のみ) のLOW CUT機能を使用して雑音を低減する

INPUT1端子／INPUT2端子／INPUT3端子から入力した音声の低周波成分を減衰させて、風切り音や空調ノイズ、振動ノイズなどの不要な雑音を低減します。

1 LOW CUT (INPUT1/INPUT2/INPUT3) スイッチを切り替える。



低減したい雑音に応じて、「300Hz」、「100Hz」のいずれかを選択してください。

ご注意

- LOW CUT (INPUT1およびINPUT2) スイッチは、それぞれに対応するINPUT1 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ、またはINPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチが「MIC」または「MIC+48V」に設定されている場合のみ有効です。

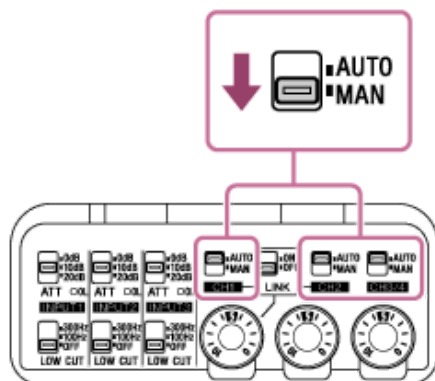
TP1002308180

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

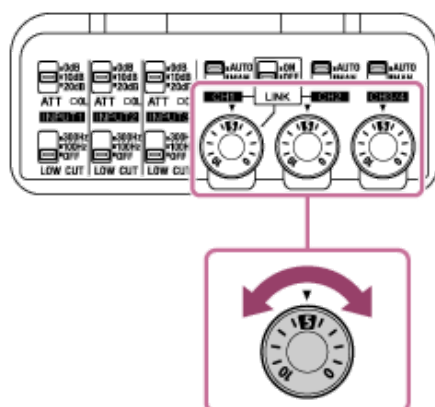
XLRハンドルユニット (ILME-FX5のみ) で録音レベルを調整する

INPUT1端子／INPUT2端子／INPUT3端子から入力した音声の録音レベルを調整します。

1. 音声を出力するチャンネル (CH1 / CH2 / CH3/4) のAUTO/MANスイッチを「MAN」に切り替える。



2. AUDIO LEVELダイヤルを回して、適正なレベルになるように音量を調整する。



適正なレベルになっているか、カメラのレベルメーターで確認するか、カメラにヘッドホンを接続して確認してください。

録音レベルを自動的に調整するには

AUTO/MANスイッチを「AUTO」に切り替えます。

入力音声が大きき場合、音がひずまないように録音レベルが自動的に小さくなります。

ヒント

- 32bit float形式で記録する場合、録音レベルの自動調整機能は無効になり、録音レベルはAUTO/MANスイッチを「MAN」に設定したときのAUDIO LEVELダイヤル「5」に固定されますが、アナログクリッピングが発生しない限り、小さな音から大きな音までひずみなく記録できます。
また、録音したファイル上でゲインを調整することで、ひずみのない最適なレベルの音声データとして編集が可能です。
- LINKスイッチ「ON」かつAUTO/MAN(CH1)スイッチ「MAN」の場合、AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤルでCH1/CH2両方の録音レベルを連動して調整できます。AUTO/MAN(CH1)スイッチが「AUTO」の場合、CH2も「AUTO」に設定されます。
ただし、録音レベル自動調整機能のCH1/CH2間またはCH3/CH4間の動作は連動しません。CH1/CH2間またはCH3/CH4間の動作を連動させたい場合は、フルメニューの [Audio] - [音声入力] - [CH1&2音量自動調整モード] または [CH3&4音量自動調整モード] で [ステレオ] を選択してください。

関連項目

- [ブロックダイアグラム](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

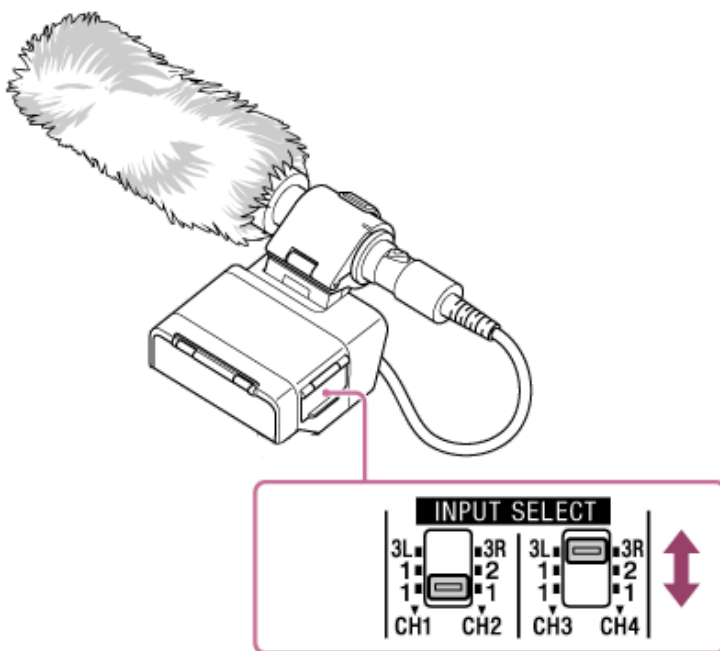
カメラの各チャンネルに出力する入力音声をXLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）で選択する

INPUT SELECTスイッチを切り替えて、マルチインターフェースシューの各チャンネルへ出力する音声信号を、XLRハンドルユニットのINPUT1、INPUT2、またはINPUT3のいずれかから選択します。

ご注意

- 使用するチャンネル数は、カメラ側のメニューで設定してください。
- イラスト内のマイクは別売です。

1 INPUT SELECTスイッチを切り替える。



- CH1およびCH2に出力する場合
INPUT SELECT（CH1/CH2）スイッチで設定します。

使用する入力端子	INPUT SELECT（CH1/CH2）スイッチの設定	出力するチャンネル
INPUT1のみ	1/1	CH1 : INPUT1 CH2 : INPUT1
INPUT1、INPUT2	1/2	CH1 : INPUT1 CH2 : INPUT2
INPUT3	3L/3R	CH1 : INPUT3L CH2 : INPUT3R

- CH3およびCH4に出力する場合
INPUT SELECT（CH3/CH4）スイッチで設定します。

使用する入力端子	INPUT SELECT（CH3/CH4）スイッチの設定	出力するチャンネル
INPUT1のみ	1/1	CH3 : INPUT1 CH4 : INPUT1

使用する入力端子	INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチの設定	出力するチャンネル
INPUT1、INPUT2	1/2	CH3 : INPUT1 CH4 : INPUT2
INPUT3	3L/3R	CH3 : INPUT3L CH4 : INPUT3R

具体的な接続と設定の例について詳しくは、「[XLRハンドルユニット \(ILME-FX5のみ\) の入力とマルチインターフェースシューの出力チャンネルについて](#)」をご覧ください。

TP1002308181

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

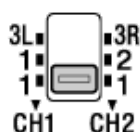
XLRハンドルユニット（ILME-FX5のみ）の入力とマルチインターフェースシューの出力チャンネルについて

使用するマイク（別売）の種類や個数に合わせて、接続する端子や出力チャンネルを設定します。

1つのマイクを使用する

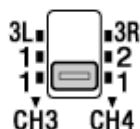
● XLR接続のモノラルマイクを使用する場合

INPUT1端子に接続し、INPUT SELECT（CH1/CH2）スイッチを「1/1」に設定します。
CH1とCH2へのデュアルモノラルでの録音となり、ドキュメンタリーの録音に適しています。



また、INPUT SELECT（CH3/CH4）スイッチを「1/1」に設定して、CH1、CH2とは異なる録音レベルの音声をCH3とCH4にバックアップで録音することが可能です。

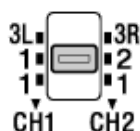
AUTO/MAN（CH3/4）スイッチを「MAN」に設定した状態で、AUDIO LEVEL（CH3/4）ダイヤルを操作して、録音レベルを調整してください。



● XLR接続（L/R）のステレオマイクを使用する場合

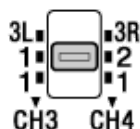
Lch側のプラグをINPUT1端子に、Rch側のプラグをINPUT2端子に接続し、INPUT SELECT（CH1/CH2）スイッチを「1/2」に設定します。

CH1とCH2へのステレオでの録音となり、ライブや風景の録音に適しています。



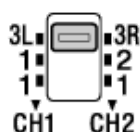
また、INPUT SELECT（CH3/CH4）スイッチを「1/2」に設定して、CH1、CH2とは異なる録音レベルの音声をCH3とCH4にバックアップで録音することが可能です。

AUTO/MAN（CH3/4）スイッチを「MAN」に設定した状態で、AUDIO LEVEL（CH3/4）ダイヤルを操作して、録音レベルを調整してください。



● ステレオミニプラグ接続のステレオマイクを使用する場合

INPUT3端子に接続し、INPUT SELECT（CH1/CH2）スイッチを「3L/3R」に設定します。
CH1とCH2へのステレオでの録音となり、ライブや風景の録音に適しています。



また、INPUT SELECT（CH3/CH4）スイッチを「3L/3R」に設定して、CH1、CH2とは異なる録音レベルの音声をCH3とCH4にバックアップで録音することが可能です。

AUTO/MAN（CH3/4）スイッチを「MAN」に設定した状態で、AUDIO LEVEL（CH3/4）ダイヤルを操作して、録音レベルを調整してください。



ヒント

- 1つのマイクを使用する場合は、必ずしもCH1～CH4すべてに音声を出力する必要はありません。使用するチャンネル数やINPUT SELECTスイッチは、必要に応じて設定してください。

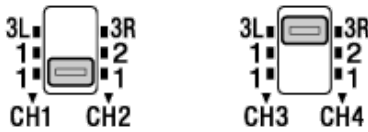
複数のマイクを使用する

● XLR接続のモノラルマイクとステレオミニプラグ接続のステレオマイクを使用する場合

INPUT1端子にモノラルマイクを接続し、INPUT3端子にステレオマイクを接続します。

インタビューなど、複数のマイク音声を分けて録音するときに適しています。

モノラルマイクの音声をCH1とCH2に、ステレオマイクの音声をCH3とCH4に出力したい場合は、INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチを「1/1」に、INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチを「3L/3R」に設定してください。



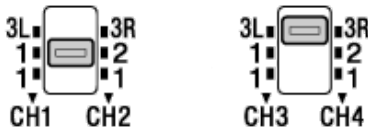
モノラルマイクの音声をCH3とCH4に、ステレオマイクの音声をCH1とCH2に出力したい場合は、INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチを「3L/3R」に、INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチを「1/1」に設定してください。

● XLR接続 (L/R) とステレオミニプラグ接続のステレオマイク2本を使用する場合

INPUT1端子にステレオマイクのLch側のプラグ、INPUT2端子にステレオマイクのRch側のプラグを接続し、INPUT3端子にステレオマイクを接続します。

外でのインタビューなど、環境音と話し手の音声を分けて録音するときに適しています。

XLR接続のステレオマイクの音声をCH1とCH2に、ステレオミニプラグ接続のステレオマイクの音声をCH3とCH4に出力したい場合は、INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチを「1/2」に、INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチを「3L/3R」に設定してください。



XLR接続のステレオマイクの音声をCH3とCH4に、ステレオミニプラグ接続のステレオマイクの音声をCH1とCH2に出力したい場合は、INPUT SELECT (CH1/CH2) スイッチを「3L/3R」に、INPUT SELECT (CH3/CH4) スイッチを「1/2」に設定してください。

関連項目

- [XLRハンドルユニット \(ILME-FX5のみ\)](#) で収録する音声を設定する
- [XLRハンドルユニット \(ILME-FX5のみ\)](#) で録音レベルを調整する

TP1002308182

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

本機で収録する音声を設定する

本機の入力端子やメニューなどを使い、収録する音声を設定します。

本機のマルチインターフェースシューはデジタルオーディオインターフェースに対応しています。
本機とXLRハンドルユニットや、デジタルマルチインターフェースシュー対応のアクセサリとの間をデジタル信号で伝送することにより、ノイズの混入を抑えた音声収録を行うことができます。

ヒント

- XLRハンドルユニットや、96kHzや32bit float形式に対応したマルチインターフェースシュー対応アクセサリを使用することで、高音質なハイレゾ音声で記録したり劣化の少ないWAV形式の音声を別のファイルとして記録することができます。

音声の入力端子と切り替えメニュー

内蔵マイク

外部マイク

マルチインターフェースシュー

〔CH1入力選択〕

〔CH2入力選択〕

〔CH3入力選択〕

〔CH4入力選択〕

録音レベルの設定用メニュー

〔CH1レベル調整〕（〔オート〕 / 〔マニュアル〕）

〔CH2レベル調整〕（〔オート〕 / 〔マニュアル〕）

〔CH3レベル調整〕（〔オート〕 / 〔マニュアル〕）

〔CH4レベル調整〕（〔オート〕 / 〔マニュアル〕）

〔CH1入力レベル〕

〔CH2入力レベル〕

〔CH3入力レベル〕

〔CH4入力レベル〕

〔音声入力レベル〕

メニューの〔Audio〕画面

MENUボタンを押してメニューを表示し、〔Audio〕（項目4）を押すと〔Audio〕画面が表示されます。

Project		TC/Media		Monitoring	
レベル		ソース	風音低減	N. カット	
CH1		48k/24	Int MIC	Off	Off
CH2		48k/24	Int MIC	Off	Off
CH3		48k/24	Int MIC	Off	Off
CH4		48k/24	Int MIC	Off	Off
音声入力レベル	99	HDMI 出力CH CH1/CH2	音量 0	モニターCH CH1/CH2	
Audio		Info		Audio Details ▶	

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

本機の音声入力機器を選ぶ

本機の入力端子やメニューなどを使い、収録する音声を設定します。

- 1 メニューの [Audio] - [CH1入力選択] / [CH2入力選択] / [CH3入力選択] / [CH4入力選択]、またはフルメニューの [Audio] - [音声入力] - [CH1入力選択] / [CH2入力選択] / [CH3入力選択] / [CH4入力選択] で音声入力を切り替える。

ご注意

- 可変速撮影では音声は記録されません。
- [CH1入力選択] と [CH2入力選択] が [内蔵マイク] に設定されている場合、CH1とCH2の録音レベルは共に [CH1入力レベル] に連動して調整されます。[CH3入力選択] と [CH4入力選択] が [内蔵マイク] に設定されている場合、CH3とCH4の録音レベルは共に [CH3入力レベル] に連動して調整されます。
- XLRハンドルユニットを使用する場合は装着の上、ハンドルユニットの出力設定に合わせて [シューCH1] / [シューCH2] / [シューCH3] / [シューCH4] のいずれかを選択してください。

- 2 録音レベルを調整する。

関連項目

- [カメラの各チャンネルに出力する入力音声をXLRハンドルユニット \(ILME-FX5のみ\) で選択する](#)

TP1002308187

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

フィルター機能を使って雑音を低減する

風音低減フィルター機能を使って雑音を低減する

音声の低周波成分を減衰させて、風切り音や空調ノイズ、振動ノイズなどの不要な雑音を低減します。
フルメニューの [Audio] - [音声入力] - [CH1 フィルター] / [CH2 フィルター] / [CH3 フィルター] / [CH4 フィルター] で [風音低減] を [On] に設定してください。

ノイズカットフィルター機能を使って雑音を低減する

本機の内蔵ファンの動作音や、その他の定常的な背景雑音を低減します。
フルメニューの [Audio] - [音声入力] - [CH1 フィルター] / [CH2 フィルター] / [CH3 フィルター] / [CH4 フィルター] で [ノイズカットフィルター] を [On] に設定してください。

ズームノイズフィルター（内蔵マイク）機能を使って雑音を低減する

内蔵マイクからのレンズの電動ズーム音を低減します。
フルメニューの [Audio] - [音声入力] - [CH1 フィルター] / [CH2 フィルター] / [CH3 フィルター] / [CH4 フィルター] で [ズームノイズ (内蔵マイク)] を [On] に設定してください。

ご注意

- ズームノイズフィルター（内蔵マイク）は、音声入力選択で [内蔵マイク] が選択されているときのみ有効です。
- 風音低減フィルター、ノイズカットフィルター、ズームノイズフィルターを使用すると、通常と音質が変わる場合があります。
- 撮影条件によって、風音低減フィルター、ノイズカットフィルター、ズームノイズフィルターの効果は異なります。
- 動画の記録中にフィルター機能の設定を変更すると、設定が切り替わるときにノイズが発生し、動画の音声に記録される場合があります。
- [ヘッドホン音声] を [ライブ] に設定しているときには、撮影時の音声モニタリングではノイズカットフィルター、ズームノイズフィルターの効果を確認できません。撮影される動画はフィルター効果のある音声記録されます。また、ストリーミング機能で配信する場合や HDMI で出力する場合は、フィルター効果のある音声配信/出力されます。
- [ノイズカットフィルター] や [ズームノイズ (内蔵マイク)] を [On] に設定していても、ノイズカット機能が効くまでに時間がかかる場合があります。
 - － [ズームノイズ (内蔵マイク)] のレンズの電動ズーム音を低減する効果は、使用するレンズによって異なります。
 - － [ノイズカットフィルター] の設定は、内蔵マイクと外部マイク端子入力、マルチインターフェースシューからのアナログ音声入力* に対して有効です。
 - * マルチインターフェースシューに接続される一部の外部マイクでは、アナログ伝送に設定されていても [ノイズカットフィルター] は設定できません。その場合は、外部マイクのノイズカット機能を使用してください。
 - * マルチインターフェースシューに接続される外部マイクがデジタル伝送に設定されているときは [ノイズカットフィルター] は設定できません。

関連項目

- [基本的な撮影手順](#)
- [クリップを再生する](#)

TP1002308184

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

本機で録音レベルを調整する

本機で入力した音声の録音レベルを調整します。

本機で録音レベルを自動調整する

自動調整するチャンネルに対して、メニューの [Audio] 画面、またはフルメニューの [Audio] - [音声入力] - [CH1レベル調整] / [CH2レベル調整] / [CH3レベル調整] / [CH4レベル調整] のレベル調整メニューを [オート] に設定します。

本機で録音レベルを手動調整する

CH1/CH2/CH3/CH4の録音レベルを手動調整する場合は、以下の手順で行います。

メニューの [Audio] 画面、またはフルメニューの [Audio] - [音声入力] - [CH1レベル調整] / [CH2レベル調整] / [CH3レベル調整] / [CH4レベル調整] を [マニュアル] に設定し、[CH1入力レベル] / [CH2入力レベル] / [CH3入力レベル] / [CH4入力レベル] で録音レベルを調整します。

CH1～CH4を一括してレベル調整することもできます。[音声入力レベル] が割り当てられたマルチファンクションダイヤルや、メニューの [Audio] 画面、またはフルメニューの [Audio] - [音声入力] - [音声入力レベル] で調整します。

ヒント

- 音声入力レベルの確認には、メニューの [Audio] 画面が便利です。
- CH1とCH2の音声の録音レベルを自動的に調整するには、[CH1&2音量自動調整モード] を [ステレオ] に設定してご使用ください。CH1とCH2に入力した音声をステレオ録音するときに便利です。
- CH3とCH4の音声の録音レベルを自動的に調整するには、[CH3&4音量自動調整モード] を [ステレオ] に設定してご使用ください。CH3とCH4に入力した音声をステレオ録音するときに便利です。

ご注意

- [Audio] メニューの設定の組み合わせにより [音声入力レベル] の設定が無効になる場合があります。
- 本機では組み合わせによりさまざまな設定ができます。
- 設定の組み合わせについて、詳細は下記をご覧ください。
[ブロックダイアグラム](#)

関連項目

- [ブロックダイアグラム](#)

TP1002308185

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

音声WAVファイルを別で保存する（XLRハンドルユニット取付時）

本機とXLRハンドルユニットを接続し、XLRハンドルユニットの入力を記録する場合には、記録メディアに本線映像とは別に、編集用のWAVファイルを同時に記録することができます。

WAVファイルは32bit float形式で記録されるため、編集時のノイズが発生しにくくなります。また、本線の24bit音声ガリミッタ処理によって音のダイナミクスの圧縮が発生した場合でも、32bit float形式のWAVファイルから元の音声信号を復元できます。

記録されるファイルについて

32bit float形式で記録されます。

48kHz/96kHzは本線と同じ設定になります。

MP4フォーマット時の拡張子は「.WAV」、X-OCNフォーマット時の拡張子は「.wav」です。

ファイルの保存先について

記録したファイルは、以下のディレクトリーに保存されます。

MP4フォーマット時

メモリーカード	フォルダパス
	通常記録
SDXC	/PRIVATE/M4ROOT/WAV
CFexpress Type A	/M4ROOT/WAV

ヒント

- フルメニューの【TC/Media】－【クリップ名設定】－【XAVC Sルートフォルダー名】で、記録メディア（XAVC Sファイル）のルートフォルダ名を【M4ROOT】または【Cam ID + Reel#】に変更できます。上記は【M4ROOT】設定時のフォルダパスです。

X-OCNフォーマット時

メモリーカード	フォルダパス
	通常記録
SDXC	/PRIVATE/CINEROOT/Wav
CFexpress Type A	/CINEROOT/Wav

ヒント

- フルメニューの【TC/Media】－【クリップ名設定】によって、ルートフォルダ名は【Cam ID + Reel#】に変更されます。

ファイル名について

メモリーカードに記録されるクリップ名+W01となります。

WAV記録を開始する

- 32bit float記録に対応したマルチインターフェースシュー対応アクセサリを接続する。
- フルメニューの【Audio】－【音声入力】－【CH1入力選択】～【CH4入力選択】で【シューCH1】～【シューCH4】を選択する。
- フルメニューの【Audio】－【32bit float WAV記録】の【設定】を【On】に設定する。

記録の開始/終了に同期してWAVファイルが記録されます。

ヒント

- 本線記録が32bit float形式の場合でも、WAVファイルを記録できます。
- WAVファイルは、マストレージモードでPCなどから参照できます。

ご注意

- 以下の場合、WAV記録の設定は変更できません。
 - 記録中
 - 再生中
 - サムネイル表示中
- 以下の場合、WAVファイルの該当チャンネルは無音になります。
 - 音声入力選択で32bit float非対応のマイクが選択されている場合
 - 本線フォーマットが96kHzのとき、音声入力選択で96kHz非対応のマイクが選択されている場合
- 記録中にアクティブスロットが切り替わった場合は、切り替え先のカードスロットでWAV記録が継続されます。
- カードスロットA/B同時記録の場合は、両方のカードスロットにWAVファイルが記録されます。
- WAVファイルはファイル転送の対象外です。
- 以下の条件をすべて満たす場合、[32bit float WAV記録] - [設定] は [Off] に固定され、[On] に変更できません。
 - フルメニューの [Audio] - [音声記録フォーマット] の [音声記録フォーマット] が [48kHz/24bit] 以外に設定されている
 - フルメニューの [Project] - [Proxy記録] - [設定] が [On] に設定されている
 - 以下のいずれかの機能が [On] または動作中
 - RTMP/RTMPSストリーミング
 - SRTストリーミング
- 以下の記録モードでは、WAV記録は一時的に [Off] になります。
 - [Shooting] - [FPS] - [固定/可変 選択] が [可変]
 - インターバルレック

ファイルの保存先と連動動作

WAVファイルは、動画ファイルと同じカードスロット内の所定の階層に保存されます。
また、動画ファイルとWAVファイルは、以下のように連動します。

- 動画ファイルを削除すると、対応するWAVファイルも削除されます。
- 動画ファイルをプロテクトすると、対応するWAVファイルもプロテクトされます。

TP1002295507

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ダイレクトメニュー

撮影画面に表示される本機の状態や設定を、直接選択して変更することができます。
設定できる項目は、以下のとおりです。

- [被写体認識AF]
- [手ブレ補正]
- [ホワイトバランスモード]
- [色温度]
- [Sceneファイル]
- [オートアイリス]
- アイリス値
- [AGC]
- ISO値
- ゲイン値
- [Exposure Index] 値
- [Base ISO/感度]
- [ティント]
- [オートシャッター]
- シャッター値
- [自動露出モード]
- [自動露出レベル]
- 撮像フレームレート

1. マルチファンクションダイヤル、または[ダイレクトメニュー]が割り当てられたアサインابلボタンを押す。
ダイレクトメニューで設定できる項目のいずれかにオレンジのカーソルが表示されます。
2. マルチファンクションダイヤルを回して操作したい項目にカーソルを合わせ、マルチファンクションダイヤルを押す。
メニューが表示されるか、または項目が白背景で表示されます。
3. マルチファンクションダイヤルで設定値を選び、マルチファンクションダイヤルを押す。
メニューまたは白背景が消えて、新しい設定値がオレンジのカーソルで表示されます。
再び[ダイレクトメニュー]が割り当てられたアサインابلボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過すると、ダイレクトメニューが終了します。

ヒント

- 各種ファンクションボタンを短押しまたは長押しして、直接設定をする状態にすることもできます。
- 白背景で表示された状態では、マルチファンクションダイヤルをアサインابلダイヤルのように使うことができます。
- 選択操作はマルチセクターでも行えます。
- ダイレクトメニューはタッチ操作できません。
- 情報表示モード中に映像監視モードと同様に撮影画面上でダイレクトメニュー操作を行いたい場合は、フルメニューの[Technical] - [メニュー設定]の[情報表示モードの操作]を[ダイレクトメニュー優先]に設定してください。

TP1002215168

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

アサインابلボタン

本機には、機能を割り当てて使用できるアサインابلボタンが9個あります。また、ユーザー機能画面の [<User 1>] ~ [<User 6>] に機能を割り当てることができます。

ボタンの機能を変更する

フルメニューの [Project] - [アサインابلボタン] で設定します。

工場出荷時にアサインابلボタンに割り当てられている機能

アサインابلボタン	機能
アサインابلボタン1	[アイリス]
アサインابلボタン2	[ホワイトバランス]
アサインابلボタン3	[ISO/ゲイン]
アサインابلボタン4	[フォルスカラー]
アサインابلボタン5	[LCD/VFピント拡大]
アサインابلボタン6	[記録]
VF/LCD切り替えボタン	[VF/LCD]
フォーカスホールドボタン	[Focus Hold]
グラブボタン	[Off]
グラブボタン (半押し時)	[シングルAF(AF-S)]
[<User 1>]	[ピーキング]
[<User 2>]	[表示]
[<User 3>]	[手ブレ補正]
[<User 4>]	[フォーカス運用]
[<User 5>]	[スロット切り替え]
[<User 6>]	[映像信号モニター]

ヒント

- VF/LCD切り替えボタンはビューファインダー（別売）の左側面に装備されています。
- レンズのフォーカスホールドボタンにも機能を割り当てることができます。ただし、お使いのレンズによってはフォーカスホールドボタンがない場合があります。

割り当てられる機能

- [Off]
- [Base ISO/感度]
- [ISO/ゲイン] ¹⁾
- [AGC]
- [Push AGC]
- [アイリス] ¹⁾
- [オートアイリス]

- [Push Auto Iris]
- [シャッター] ¹⁾
- [オートシャッター]
- [自動露出レベル/モード] ¹⁾
- [逆光補正]
- [スポットライト]
- [Preset値から選択(Wht)]
- [ホワイトバランス] ¹⁾
- [オートホワイトバランス]
- [ATW]
- [ATWホールド]
- [フォーカス運用]
- [AF速度/感度] ¹⁾
- [フォーカスセット] ¹⁾
- [AFトランジション速度] ²⁾
- [AF乗り移り感度] ²⁾
- [被写体認識AF]
- [シングルAF(AF-S)] ¹⁾
- [Push AF/Push MF]
- [Focus Hold]
- [LCD/VFピント拡大] ¹⁾
- [HDMIピント拡大] ¹⁾
- [FPS]
- [LUT On/Off **1**]
- [LUT On/Off **2**]
- [LUT On/Off **3**]
- [Press & H Log**1**] ²⁾
- [Press & H Log**2**] ²⁾
- [Press & H Log**3**] ²⁾
- [手ブレ補正]
- [デスクイーズレシオ] ²⁾
- [記録] ¹⁾
- [レックレビュー]
- [ショットマーク1]
- [ショットマーク2]
- [クリップフラグOK]
- [クリップフラグNG]
- [クリップフラグKeep]
- [スロット切り替え]
- [カラーバー]
- [タリー[フロント]]
- [CALL]
- [DURATION/TC/U-BIT]
- [メディア(A)のフォーマット] ²⁾
- [メディア(B)のフォーマット] ²⁾
- [表示]
- [画面表示出力 HDMI] ²⁾
- [被写界深度情報]
- [映像信号モニター]
- [フレームライン]
- [LCDモニター明るさ] ²⁾
- [VF明るさ] ²⁾
- [LCD/VF調整] ¹⁾
- [VF/LCD] ¹⁾
- [ガンマ表示アシスト]
- [フォーカスマップ]
- [ピーキング]
- [ゼブラ]
- [フォルスカラー]

- [音量]
- [クリップ]
- [タッチ操作]
- [全画素超解像ズーム] ²⁾
- [ファン制御] ²⁾
- [自動欠陥補正] ²⁾
- [ズームタイプ] ¹⁾
- [ストリーミング]
- [自動転送(Proxy)]
- [画面拡大] ¹⁾
- [ダイレクトメニュー] ¹⁾
- [Home] ¹⁾
- [メニュー] ¹⁾

1) [<User 1>] ~ [<User 6>] に割り当てることはできません。

2) アサインボタン1～アサインボタン6、VF/LCD切り替えボタン、フォーカスホールドボタンに割り当てることはできません。

ヒント

- グラブボタンには以下の機能のみ割り当てることができます。
 - [Off]
 - [記録]
 - [ショットマーク1]
 - [ショットマーク2]
- グラブボタン(半押し)には、グラブボタンに [Off] が割り当てられているときに以下の機能のみ割り当てることができます。
 - [Off]
 - [シングルAF(AF-S)]

TP1002215169

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

アサイナブルダイヤル

アサイナブルダイヤルの機能を変更することができます。

フルメニューの [Project] - [アサイナブルダイヤル] - [アサイナブルダイヤル機能] でアサイナブルダイヤルに機能を割り当てます。

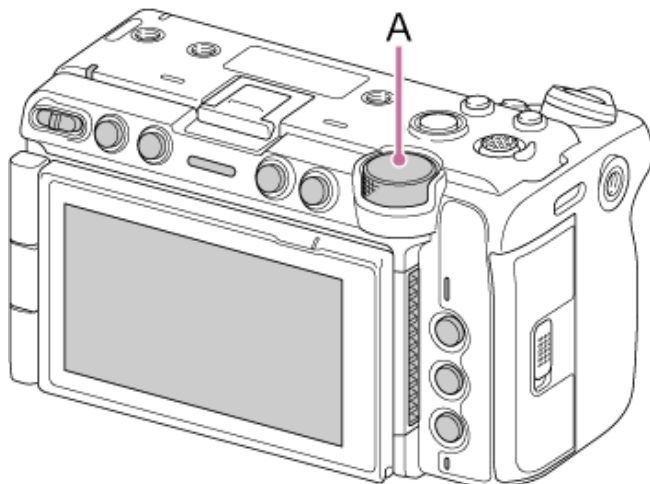
設定	内容
[Off]	アサイナブルダイヤルの操作を無効にします。
[ISO/ゲイン/EI]	ISO/ゲイン/EIを調節できます。
[IRIS] (初期値)	アイリスを調節できます。
[自動露出レベル]	自動露出レベルを調節できます。
[音声入力レベル]	録音レベルを調節できます。
[マルチFnダイヤル]	マルチファンクションダイヤルとして動作します。

TP1002295508

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

マルチファンクションダイヤル

本体のマルチファンクションダイヤルの機能を変更することができます。



A : マルチファンクションダイヤル

フルメニューの [Project] - [マルチFnダイヤル] - [デフォルト機能] でマルチファンクションダイヤルに機能を割り当てます。

設定	内容
[Off]	マルチファンクションダイヤルの操作を無効にします。
[ISO/ゲイン/EI] (初期値)	ゲインを調節できます。
[IRIS]	アイリスを調節できます。
[自動露出レベル]	自動露出レベルを調節できます。
[音声入力レベル]	録音レベルを調節できます。

ご注意

- メニューなどを表示しているときは、本設定は無効になります。

TP1002218815

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

固定/可変選択（スロー&クイックモーション）

撮像フレームレートとプロジェクトフレームレートを異なるフレームレートにすることで、スローモーション/クイックモーション動画を撮影できます。

記録フォーマットが下記に設定されているときは、撮像時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

MP4フォーマット時

記録フォーマット			フレームレート
プロジェクトフレームレート	コーデック	ビデオフォーマット	
59.94/50/23.98	XAVC S-I	4096×2160P	1-60、66、72、75、88、90、96、100、110、120
	XAVC HS-L 422/XAVC HS-L 420/XAVC S-I/XAVC S-L 422/XAVC S-L 420	3840×2160P	1-60、66、72、75、88、90、96、100、110、120
	XAVC S-I/XAVC S-L 422/XAVC S-L 420	1920×1080P	1-60、66、72、75、88、90、96、100、110、120、150、180、200、240
29.97/25	XAVC S-I	4096×2160P	1-60、66、72、75、88、90、96、100、110、120
	XAVC S-I/XAVC S-L 422/XAVC S-L 420	3840×2160P	1-60、66、72、75、88、90、96、100、110、120
	XAVC S-I/XAVC S-L 422/XAVC S-L 420	1920×1080P	1-60、66、72、75、88、90、96、100、110、120、150、180、200、240
24	XAVC S-I	4096×2160P	1-60、66、72、75、88、90、96、100、110、120

「FPS」が割り当てられたアサインボタンを押すと、FPS設定を等速撮影にするか、可変速撮影にするかを切り替えられます。

ボタンを長押しすると、撮像時のフレームレートを設定できます。

ご注意

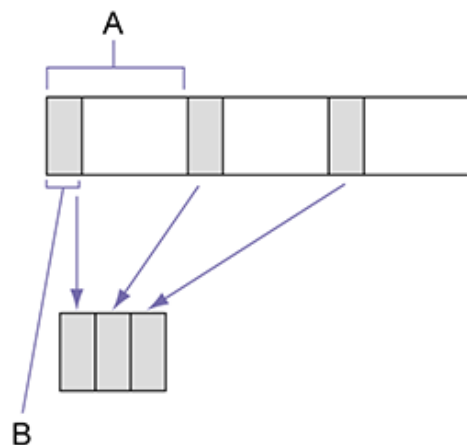
- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、フルメニューの「Shooting」－「FPS」－「固定/可変 選択」を「可変」にできません。
- フルメニューの「Shooting」－「FPS」－「固定/可変 選択」が「可変」のときは、音声は記録できません。
- フルメニューの「Shooting」－「FPS」－「固定/可変 選択」が「可変」のときは、オートシャッターは無効になります。

TP1002215170

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

間欠的に映像を記録する（インターバルレック機能）

本機のメモリーを利用して間欠的に映像を取り込み、記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。記録を開始すると、設定したフレーム数（〔フレーム数〕）分の映像を、任意のインターバル（〔インターバルタイム〕）で自動記録できます。



A：撮影の間隔（〔インターバルタイム〕）

B：1回に記録する画像フレーム数（〔フレーム数〕）

ご注意

- 〔コーデック〕がX-OCN以外に設定されている場合のみ設定できます。
- インターバルレックなどの特殊記録機能を複数同時に使用できません。
- インターバルレック使用中に他の特殊記録機能を有効にすると、インターバルレックは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、インターバルレックモードは自動的に解除されます。
- 記録中や再生中、クリップ一覧画面表示中にインターバルレックの設定を変更することはできません。

設定するには

フルメニューの〔Project〕－〔インターバルレック〕－〔設定〕を〔On〕に設定してください。

本機の電源を切るとインターバルレックモードは解除されますが、〔フレーム数〕、〔インターバルタイム〕の設定は保持されます。次回インターバルレックモードで撮影するときに再設定する必要はありません。

撮影するには

録画START/STOPボタンを押すと記録が開始され、ビューファインダー画面上に「Int●Rec」と「Int●Stby」が交互に表示されます。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

撮影を終了すると、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像がメディアに記録されます。

インターバルレックモードを解除するには

フルメニューの〔Project〕－〔インターバルレック〕－〔設定〕を〔Off〕に設定してください。または、本機の電源をオフにします。

記録中の動作制限

- 音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。

本機の電源が切れた場合

- 本機の電源をオフにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取り外したり、DC電源コードを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、その瞬間以前に撮影したショット（最大10秒）が記録されないことがあります。バッテリー交換の際は充分ご注意ください。

TP1002218817

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

フォルスカラー

フォルスカラーは、輝度レベルに応じてモニター出力映像に色付けし、撮影時の露出をわかりやすくする機能です。フォルスカラー機能を使用するには、フルメニューの [Technical] - [露出アシスト] の [フォルスカラー] を [On] に設定します。また、[フォルスカラー] を割り当てたアサインブルボタンを押して、フォルスカラー機能をオン/オフすることもできます。

ご注意

- フォルスカラーはLUTの適用設定にかかわらず、[LUT] を [Off] にしたS-Log3映像出力 (EIゲインもかかりません) の輝度レベルに対して色付けします。
- 以下のいずれかの条件を満たす場合、[フォルスカラー] は [Off] に固定され、[On] に変更できません。
 - フルメニューの [Technical] - [テスト信号] の [カラーバー] が [On] に設定されているとき
 - 撮影モードが [カスタム] のとき
 - 記録中 (フォルスカラー表示がオンの状態での記録開始時を含む)
 - 外部記録時 (HDMI出力記録、RAW出力記録)
 - フォルスカラー表示しない画面に遷移したとき
 - ストリーミング機能が [On] のとき
- 撮影モードを切り替えると、[フォルスカラー] は [Off] になります。
- [フォルスカラー] が [On] に設定されているときに以下の操作を行うと、設定が [Off] に変更されます。
 - ピント拡大
 - フォーカスマップ表示

フォルスカラーの出力先を設定する

フルメニューの [Technical] - [露出アシスト] の [出力先] でフォルスカラーの出力先を設定できます。

設定	内容
[LCDモニター/VF]	LCDモニターおよびビューファインダーに表示します。
[HDMI]	HDMIに出力します。

ヒント

- どちらかを選択、または両方を選択可能です。

カラースケールの表示/非表示を設定する

フルメニューの [Technical] - [露出アシスト] の [カラースケール] で、フォルスカラー機能がオンのときにフォルスカラーの色見本の表示/非表示を設定できます。



ご注意

- フォルスカラーの色見本は、LCDモニターが情報表示モードの時は表示できません。
- フォルスカラーの色見本は、フルメニューの [Technical] - [露出アシスト] の [出力先] の設定にかかわらず、LCDモニター、ビューファインダーおよびHDMI出力に表示されます。

TP1002295509

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する

フルメニューの [Project] - [同時記録] - [設定] を [On] に設定すると、メモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録できます。

ご注意

- X-OCNでは同時記録はできません。

ファイル名について

カードスロットA/B同時記録の場合は、[オートネーミング] が [タイトル] のとき、生成されるクリップは、どちらのメディアも同じクリップ名になります。[Cam ID + Reel#] のとき、生成されるクリップは、終端2文字を除いて同じになります。

関連項目

- [上面部](#)
- [背面部](#)

TP1002215172

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

映像信号モニター

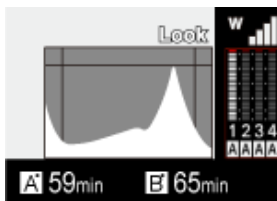
フルメニューの [Monitoring] - [画面表示On/Off設定] - [映像信号モニター] で、撮影画面に表示する映像信号の種類をウェーブフォーム/ベクトルスコープ/ヒストグラムのいずれかに設定できます。

オレンジの線はゼブラレベルの設定値を表します。

[映像信号モニター] を割り当てたアサインابلボタンでも設定できます。

モニター対象の表示

ログ撮影のときは、モニター対象を示す情報として、LUTを適用している場合は「Look」、LUTを適用していない場合は「SG3/SLog3」または「SG3C/SLog3」が映像信号モニターの右上に表示されます。



TP1002215173

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ガンマ表示アシスト機能

カスタム撮影で、フルメニューの [Project] - [基本設定] - [映像規格] を [HDR(HLG)] に設定したとき、フルメニューの [Monitoring] - [ガンマ表示アシスト] - [設定] を [On] に設定すると、撮影画面の映像をHDR撮影しやすい表示にすることができます。

フルメニューの [Monitoring] - [VF表示設定] - [HDR時のVF映像] の設定が [HDR] のときのビューファインダーの表示

フルメニューの [Project] - [HDR設定] - [LCD/VF SDRプレビュー] を [Off] に設定した場合は、HDR時のビューファインダー表示はHDR映像信号通りの表示になります。

フルメニューの [Project] - [HDR設定] - [LCD/VF SDRプレビュー] を [On] に設定した場合は、以下のLCDモニターと同様になります。

フルメニューの [Monitoring] - [VF表示設定] - [HDR時のVF映像] の設定が [SDR(LCD同等)] のときのビューファインダーの表示

以下のLCDモニターと同様になります。

ガンマ表示アシスト機能有効時にLCDモニター/ビューファインダーの表示を選択する

ガンマ表示アシスト機能が有効なときにLCDモニター/ビューファインダーのHDR映像の表示方法を次の2種類から選択できます。

HDRの低輝度部分や高輝度部分のコントラストを保持して表示する

HDRの表現力を活かし、明るめの露出、または暗めの露出で撮影した場合にも、黒つぶれや白飛びを起こさずに映像をLCDモニター/ビューファインダーに表示できます。その反面、全体のコントラストは少し低くなります。

この表示方法を使用するには、フルメニューの [Project] - [HDR設定] - [LCD/VF SDRプレビュー] を [Off] に設定します。

HDRからSDRへの変換を想定して簡易変換されたSDRを表示

いままでのSDRと同様の感覚でのカメラオペレーションが可能です。

HDRとSDRのゲイン差を [SDRゲイン] で設定することで、HDR映像の明るさを設定できます。

この表示方法を使用するには次の設定を行います。

1. フルメニューの [Project] - [HDR設定] - [LCD/VF SDRプレビュー] を [On] に設定する。
2. フルメニューの [Project] - [HDR設定] - [SDRゲイン] でHDRモード時のSDRゲイン値を調節する。

ヒント

- 撮影後、SR Live Metadataを使用してHDR映像からSDRに変換する場合、変換に [SDRゲイン] が適用され、撮影時にビューファインダーで確認していた露出のSDR映像に変換されます。

[映像規格]	[HDR時のVF映像]	[LCD/VF SDRプレビュー]	[ガンマ表示アシスト]	映像表示	
				LCD	VF
[SDR(BT.709)]	—	—	—	SDR映像	

[映像規格]	[HDR時のVF映像]	[LCD/VF SDRプレビュー]	[ガンマ表示アシスト]	映像表示	
				LCD	VF
[HDR(HLG)]	[HDR]	[Off]	[Off]	HDR信号をSDRのモニターにそのまま表示した映像	HDR映像
			[On]	HDRの低輝度部分や高輝度部分のコントラストを保持した映像	
		[On]	[Off]	HDR信号をSDRのモニターにそのまま表示した映像	HDRからSDRへの変換を想定して簡易変換した映像
			[On]	HDRからSDRへの変換を想定して簡易変換した映像	
	[SDR(LCD同等)]	[Off]	[Off]	HDR信号をSDRのモニターにそのまま表示した映像	
			[On]	HDRの低輝度部分や高輝度部分のコントラストを保持した映像	
		[On]	[Off]	HDR信号をSDRのモニターにそのまま表示した映像	
			[On]	HDRからSDRへの変換を想定して簡易変換した映像	

TP1002215174

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

クリップフラグ

【クリップフラグOK】が割り当てられたアサインボタンを押すと、【OKフラグ追加】が実行され記録中または直前に記録したクリップに【OK】のクリップフラグが付けられます。再生中のクリップにもクリップフラグを付けることができます。2回続けて押すと【クリップフラグ削除】が実行され、【OK】のクリップフラグが消えます。

ヒント

- フルメニューの【Clip Operations】 - 【クリップフラグ設定】でクリップフラグを付けることもできます。
- クリッパー一覧画面をクリップフラグの種類別に表示することができます（フィルタードクリッパー一覧画面）。詳細は下記をご覧ください。
[クリップを操作する](#)
- ユーザー機能画面の【User 1】～【User 6】に【クリップフラグOK】を割り当てることもできます。

TP1002215175

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ブリージング補正

フルメニューの [Technical] - [レンズ] - [ブリージング補正] で、Eマウントレンズのブリージング補正を行うかどうかを設定できます。

ブリージングとは、フォーカス位置が変化すると画角変動が起こる現象です。
ブリージング補正を実行すると、画角が一定になるよう電子的に画像が切り出され、ブリージングのない撮影が可能になります。

ご注意

- ブリージング補正を有効にすると、画角と画質がわずかに変化します。
- レンズによっては、ブリージング補正を有効に設定していても画角の変化を補正しきれない場合があります。
- ブリージング補正に非対応のレンズが装着されている場合は補正できません。
- 以下のいずれかの条件では、本機能は [Off] に固定されます。
 - [Technical] - [レンズ] の [歪曲収差補正] が [Off]
 - フルメニューの [Shooting] - [FPS] - [固定/可変 選択] が [可変] で、かつ [FPS選択] が66 fps以上に設定されているとき
 - [Project] - [記録フォーマット] - [コーデック] が [X-OCN LT] / [X-OCN C1] / [X-OCN C2]
 - [Project] - [記録フォーマット] - [Projectフレームレート] が100または120

TP1002295510

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

歪曲収差補正

本機で記録されたX-OCNクリップにはレンズ歪曲収差補正がかかっていません。ただし、ソニー製およびライセンスパートナー製Eマウントレンズをご使用の際は、レンズ歪曲収差補正に必要なメタデータがクリップ内に保持されるため、Catalyst Browse / Catalyst Prepare / Catalyst Prepare PluginでX-OCNクリップのレンズ歪曲収差を補正することが可能です。

- 推奨ワークフローやCatalyst Browse / Catalyst Prepare / Catalyst Prepare Pluginでのレンズ歪曲収差補正方法については、以下のウェブサイトをご覧ください。他社編集ソフトウェアの対応状況は各社へお問い合わせください。
URL : https://www.sony.net/di/x-ocn_distortion_comp_method/
- 本機で撮影する際のLCDモニターの映像やHDMI出力時の映像にはレンズ歪曲収差補正が反映されます。そのため撮影時の見えかたとX-OCNクリップをプレビューしたときの見えかたに違いが生じる場合があります。X-OCN記録時のソニー製およびライセンスパートナー製Eマウントレンズにおけるレンズ歪曲収差補正の詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。
URL : https://www.sony.net/di/x-ocn_distortion_comp/
- ソニー製およびライセンスパートナー製Eマウントレンズ使用時のクリッププレビューにおけるレンズ歪曲収差補正は、将来のアップデートでサポートされます。ライセンスパートナーについては以下のウェブサイトをご覧ください。
URL : https://support.d-imaging.sony.co.jp/www/e_mount/licensee/

TP1002380814

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

デスクウィーズ表示設定

シネマスコープサイズの映像コンテンツを制作する場合、アナモフィックレンズを使用して撮影します。
使用するアナモフィックレンズの倍率に合わせたデスクウィーズ表示設定をすると、直接被写体を見たときと同じ縦横比に調整された映像をHDMI出力したり、LCDモニター/ビューファインダーに表示したりすることができます。
デスクウィーズ表示は、メニューの [Project] - [アナモデスクウィーズ] で設定します。

ヒント

- デスクウィーズ表示は、フルメニューの [Project] - [アナモデスクウィーズ] の [レシオ] でも設定できます。

ご注意

- RAW出力時およびSD信号出力時は、HDMI出力映像はデスクウィーズ表示されません。
- [Off(1.0x)] 以外に設定したとき、オートフォーカスは使用できません。

TP1002321093

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

自動的に時計を合わせる

「Creators' App for Enterprise」アプリケーションと連係して、本機の時計をBluetooth接続したモバイル機器の時計に合わせるができます。

1. スマートフォンに「Creators' App for Enterprise」アプリケーションをインストールしておく。
2. スマートフォンと本機をBluetoothで接続する。
フルメニューの「Network」－「Bluetooth」－「ペアリング」を実行して、画面の指示に従ってください。
併せて「Creators' App for Enterprise」のヘルプガイドをご覧ください。
3. 時刻を合わせる場合は、フルメニューの「Maintenance」－「日時あわせ」－「自動日時補正」を「On」にして、時差を合わせる場合は「日時あわせ」－「自動タイムゾーン補正」を「On」にする。
本機能をご利用の場合、両方を「On」に設定することをお勧めします。

ヒント

- 正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
 - － 本機が他の機器とBluetooth接続中でないことを確認する。
 - － フルメニューの「Network」－「ネットワークリセット」－「リセット」を実行する。

ご注意

- 「Creators' App for Enterprise」と時刻情報連係を行っている場合、本機メニューの操作でタイムゾーンや時刻を設定すると、クリップに記録される時刻がずれることがあります。
- 「日時あわせ」－「タイムゾーン」の設定値欄に「UTC *」が表示されているとき、手動でタイムゾーンや時刻を設定すると時刻がずれま
す。本機の電源を入れなおして位置時刻情報連係機能を働かせると、正しい情報に更新されます。「UTC *」が表示されるまでお待ちくだ
さい。
- 本機を初期化するとペアリング情報も削除されます。スマートフォン側のペアリング情報を削除して、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、本機とスマートフォンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- 無線LANの2.4GHz帯を使用してストリーミングなど大量の通信を行っている場合、動作が不安定になることがあります。大量の通信を行う
場合は、有線LANの使用をご検討ください。
- Bluetooth接続を行う際は、信頼できるデバイスとのみペアリングしてください。身に覚えのないペアリング要求や不明なデバイスとの接続
は避けてください。
- Bluetooth機能を使用しないときは、Bluetooth機能をオフにしてください。
- ペアリング済みのデバイスを定期的に確認し、不要なデバイスは削除してください。
- スマートフォンから本機のペアリング情報を削除したときは、「Bluetooth」－「ペアリング済み機器管理」からスマートフォンのペアリン
グ情報を削除してください。

TP1002307886

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

位置情報を記録する

本機はスマートフォンアプリ「Creators' App for Enterprise」とBluetoothで接続することにより、スマートフォンで測位した位置情報をクリップに記録できます。

1. スマートフォンに「Creators' App for Enterprise」アプリケーションをインストールしておく。
2. フルメニューの【Technical】－【GPS】－【モバイルアプリから位置情報】を【On】にする。
3. スマートフォンとBluetoothでペアリングしていない場合、フルメニューの【Network】－【Bluetooth】－【ペアリング】を実行しておく。
4. スマートフォンで「Creators' App for Enterprise」を実行する。
以降は「Creators' App for Enterprise」の画面の指示に従ってください。
詳しくは「Creators' App for Enterprise」のヘルプガイドをご覧ください。

ヒント

- 正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
 - － 本機が他の機器とBluetooth接続中でないことを確認する。
 - － フルメニューの【Network】－【Bluetooth】－【ペアリング済み機器管理】で、すべてのペアリングを解除する。
 - － スマートフォンで、本機とのペアリング情報をすべて削除する。
 - － 上記で改善しない場合は、フルメニューの【Network】－【ネットワークリセット】－【リセット】を実行する。

ご注意

- 複数のスマートフォンを本機とBluetoothペアリングした場合、最初に見つかった「Creators' App for Enterprise」から情報を取得します。接続中のスマートフォンが意図した個体か、ご確認ください。必要に応じて、使用しない側のペアリングを解除してください。
- 位置情報の更新周期は「Creators' App for Enterprise」の仕様に従います。詳しくは「Creators' App for Enterprise」のヘルプガイドをご覧ください。
- 「Creators' App for Enterprise」を使って位置情報が連動された状態で、本機で撮影した動画をインターネットに公開、共有すると、意図せずに第三者に撮影場所が知られる場合があります。それを回避するには、本機のフルメニュー【Technical】－【GPS】－【モバイルアプリから位置情報】を【Off】にして撮影してください。
- 本機を初期化するとペアリング情報も削除されます。スマートフォン側のペアリング情報を削除して、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、本機とスマートフォンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- 無線LANの2.4GHz帯を使用してストリーミングなど大量の通信を行っている場合、Bluetooth機能の動作が不安定になることがあります。大量の通信を行う場合は、有線LANの使用をご検討ください。
- Bluetooth接続を行う際は、信頼できるデバイスとのみペアリングしてください。身に覚えのないペアリング要求や不明なデバイスとの接続は避けてください。
- Bluetooth機能を使用しないときは、Bluetooth機能をオフにしてください。
- ペアリング済みのデバイスを定期的に確認し、不要なデバイスは削除してください。
- スマートフォンからカメラのペアリング情報を削除したときは、【Bluetooth】－【ペアリング済み機器管理】からスマートフォンのペアリング情報を削除してください。

関連項目

- ネットワーク機能でできること

TP1002307887

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

プロキシ記録

本機は高解像度のオリジナルクリップの動画をメモリーカードに記録しながら、低解像度のプロキシクリップを同時に記録できます。

使用可能なメモリーカードや、メモリーカードのフォーマット方法、残容量の確認方法について、詳細は下記をご覧ください。

[推奨メモリーカードについて](#)

[メモリーカードを初期化する](#)

[残りの記録可能時間を確認する](#)

記録されるファイルについて

MP4フォーマット時の拡張子は「.MP4」、X-OCNフォーマット時の拡張子は「.mp4」です。

タイムコードも同時に記録されます。

ファイルの保存先について

記録したファイルは、以下のディレクトリーに保存されます。

MP4フォーマット時

メモリーカード	フォルダパス
SDXC	/PRIVATE/M4ROOT/SUB
CFexpress Type A	/M4ROOT/SUB

ヒント

- フルメニューの【TC/Media】 - 【クリップ名設定】 - 【XAVC Sルートフォルダ名】の設定によって、記録メディア（XAVC Sファイル）のルートフォルダ名を【M4ROOT】または【Cam ID + Reel#】に変更できます。上記は【M4ROOT】設定時のフォルダパスです。

X-OCNフォーマット時

メモリーカード	フォルダパス
SDXC	/PRIVATE/CINEROOT/Sub
CFexpress Type A	/CINEROOT/Sub

ヒント

- フルメニューの【TC/Media】 - 【クリップ名設定】によって、ルートフォルダ名は【Cam ID + Reel#】に変更されます。

ファイル名について

メモリーカードに記録されるクリップ名+S03となります。

プロキシ記録で撮影する

以下の手順でプロキシ記録の撮影を行います。

- フルメニューの【Project】 - 【Proxy記録】 - 【設定】を【On】に設定する。
- メモリーカードをカードスロットに差し込む。
 - CFexpressカードの場合はラベルをLCDモニター側に向ける。
 - SDカードの場合は、端子面をLCDモニター側に向け、切り欠き部を下にする。

3. 録画START/STOPボタンを押す。
プロキシ記録で撮影が開始されます。

ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。メモリーカードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、メモリーカードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

プロキシ記録時のオーディオチャンネルを設定するには

フルメニューの [Project] - [Proxy記録] - [オーディオチャンネル] で、プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを設定できます。

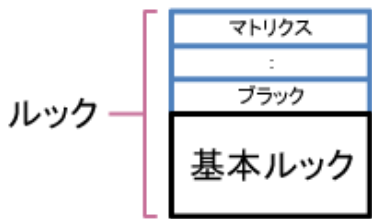
TP1002215176

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ルックを選ぶ

本機の撮影モードが「カスタム」のときは、基本ルックをベースにブラックやマトリクスなどの調節を加えてルックを構成します。



これらの設定をSceneファイルに保存することで、内容の異なるルックを簡単に選ぶことができます。
本機は、計6個のプリセットのルックを用意しています。

1. 撮影画面でマルチファンクションダイヤルを押す。
2. **SCN**（Sceneファイル）アイコンを選ぶ。
3. マルチファンクションダイヤルを押す。
4. メニューから好みのルックを選択し、マルチファンクションダイヤルを押す。

ヒント

- 工場出荷時は、以下がプリセットされています。

【撮影モード】	【カスタム】	
【映像規格】	【SDR(BT.709)】	【HDR(HLG)】
Sceneファイル1	[S-Cinetone]	[HLG Live]
Sceneファイル2	[ITU709]	[HLG Natural]
Sceneファイル3	[709tone]	未登録
Sceneファイル4	未登録	未登録
Sceneファイル5～16	未登録	未登録

- フルメニューの「Paint/Look」－「Sceneファイル」－「内蔵メモリーから呼出」でもルックを選択することができます。なお、プリセットのルックは「Sceneファイル」－「プリセット呼出」でも呼び出せます。

TP1002215178

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

好みの基本ルックをインポートする

PCなどで作成した3D LUTファイルを、基本ルックとしてメモリーカードから最大16個までインポートすることができます。

- ファイル形式：Catalyst BrowseやRAW Viewerで生成される17格子または33格子のCUBEファイル (*.cube)
- 入力色域/ガンマ：S-Gamut3.Cine/S-Log3またはS-Gamut3/S-Log3

メモリーカードからインポートする

3D LUTファイルをメモリーカードからインポートします。

1. PCなどでメモリーカードの所定のフォルダに、3D LUTファイルを保存する。

メモリーカード	フォルダパス
SDXC	/PRIVATE/SONY/PRO/LUT/
CFexpress Type A	/SONY/PRO/LUT/

2. 3D LUTファイルを保存したメモリーカードを、カードスロットBに差し込む。
3. フルメニューの [Paint/Look] - [基本Look] - [メディア(B)からインポート] を実行する。
4. インポート先を選択する。
5. インポートする3D LUTファイルを選択する。
画面の指示に従ってください。本機は3D LUTファイルを基本ルックとして取り扱います。
6. フルメニューの [Paint/Look] - [基本Look] - [選択] でインポートした3D LUTファイルを選択する。
7. インポートした3D LUTファイルの属性に合わせて、フルメニューの [Paint/Look] - [基本Look] - [入力] と [出力] を設定する。

露出不足を調節する

インポートした基本ルックを使って自動露出をしたときに露出不足の傾向がある場合は、フルメニューの [Paint/Look] - [基本Look] - [AEレベルオフセット] で調節してください。

ご注意

- 3D LUTファイルをインポートしただけでは映像に反映されません。フルメニューの [Paint/Look] - [基本Look] - [選択] でインポートした3D LUTファイルを読み出してください。
- [入力] を正しく設定しないと、本来のルックになりません。
- 設定項目 [入力] / [出力] / [AEレベルオフセット] は、[選択] で選択された基本ルックに適用されます。複数の3D LUTファイルをインポートした場合は、各3D LUTファイルを [選択] で選択し、[入力] / [出力] / [AEレベルオフセット] をそれぞれ設定してください。
- 設定した [入力] / [出力] / [AEレベルオフセット] は、3D LUTファイルごとに保存されます。
- インポートした3D LUTファイルは、[SDR(BT.709)] / [HDR(HLG)] / ログ撮影共通の基本ルック/LUT選択肢となりますが、これらのモードに応じた色域/ガンマ変換は行いません。
- フルメニューの [Maintenance] - [オールリセット] - [リセット] を実行してもインポートした3D LUTファイルは削除されません。
- インポートするCUBEファイルのファイルサイズは33格子の場合で1MB程度を想定しています。これを超えるファイルサイズのCUBEファイルはインポートできません。
ファイルサイズによってはインポートできても、本機の不揮発メモリー内にオリジナルのCUBEファイルを保存できないことがあります。この場合、フルメニューの [Project] - [基本設定] - [Cine EI/Flexible ISO設定] - [LUTファイルの埋め込み] が [On] になっていても3D LUTファイルのメタデータ記録はできません。
このような基本ルックの場合は、基本ルックのリスト表示などで、ルック名の先頭に  アイコンが表示されます。
- ユーザーの基本ルックを使っているSceneファイルで、ユーザー基本ルックのオリジナルのCubeデータがカメラに保存されていない場合、そのSceneファイルをメモリーカードに保存することはできません。この場合は、SceneファイルリストのSceneファイル名称の先頭に  アイコンが表示されます。

- ルックによって、初期値が変わる可能性があります（例：ISO感度など）。ルックを変更した際は、想定している設定になっていることを再確認してください。

TP1002215179

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

基本ルックを削除する

フルメニューの [Paint/Look] - [基本Look] - [削除] でインポートした3D LUTファイルを選択して削除できます。
フルメニューの [Paint/Look] - [基本Look] - [全削除] でインポートしたすべての3D LUTファイルを削除できます。

ご注意

- 削除する前に、その基本ルックがSceneファイルで使用されていないことをご確認ください。使用されている基本ルックを削除した場合、該当するSceneファイルのルックは不適切なものになります。
- インポートした3D LUTファイルは、フルメニューの [Maintenance] - [オールリセット] - [リセット] を実行しても削除されません。
- 削除した基本ルックは、ログ撮影でもLUTとして使えなくなります。

TP1002215182

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ルックをカスタマイズする

フルメニューの [Paint/Look] - [マトリクス] などの各設定項目で、基本ルックを基にルックをカスタマイズすることができます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

ご注意

- 3D LUTファイルをインポートして映像に適用したとき、フルメニューの [Paint/Look] - [マトリクス] などの基本ルック以外の各設定が変更されていると、3D LUTファイルに定義された通りのルックになりません。フルメニューの [Paint/Look] - [Paint設定の初期化] - [基本Look以外初期化] でカスタマイズされた設定値をまとめてリセットできます。

TP1002215180

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ルックをSceneファイルとして保存する

フルメニューの [Paint/Look] - [Sceneファイル] - [内蔵メモリーに登録] で、現在のルックをSceneファイルとして内蔵メモリーに保存できます。

撮影画面からダイレクトメニューの操作で簡単に呼び出せるようになります。

ヒント

- プリセットのSceneファイルも上書きできます。
- プリセットのSceneファイルを復元するには、フルメニューの [Paint/Look] - [Sceneファイル] - [プリセット呼出] で復元したいルックを読み出したあと、[Sceneファイル] - [内蔵メモリーに登録] でSceneファイルに保存してください。

ご注意

- ルックを保存せずにほかのルックを選択すると、保存前のルックは破棄されます。
- フルメニューの [Maintenance] - [オールリセット] - [リセット] を実行しても、Sceneファイルは削除されません。

保存したルックを削除する

フルメニューの [Paint/Look] - [Sceneファイル] - [内蔵メモリーから削除] で内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを削除できます。

ヒント

- 削除すると、ダイレクトメニューに表示されなくなります。

TP1002215181

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

Sceneファイルの名称を編集する

フルメニューの [Paint/Look] - [Sceneファイル] - [ファイル名] を実行すると、Sceneファイルの名称を編集できます。
[内蔵メモリーに登録] を実行して内蔵メモリーにSceneファイルを保存するときに、編集した名称で保存されます。

ヒント

- [内蔵メモリーから呼出] を実行してカメラにSceneファイルを読み込むと、そのSceneファイルの名称が [ファイル名] の初期値になります。フルメニューの [Paint/Look] - [基本Look] - [選択] で基本ルックを選択した場合は、その基本ルックの名称が [ファイル名] の初期値になります。

ご注意

- [メディア(B)に保存] を実行してSceneファイルをメモリーカードに保存する場合は、内蔵メモリーに保存されているSceneファイルの名称と同じになります。メモリーカード上でファイル名の重複がある場合は、コピーカウンターが自動で付与されます。

TP1002218803

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ルックをほかのカメラと共有する

ルックをSceneファイルとして、Sceneファイルの保存・読み込み機能に対応している他のカメラと共有することができます。フルメニューの [Paint/Look] の設定項目が本機能の対象です。

フルメニューの [Paint/Look] - [Sceneファイル] で、Sceneファイルの保存・読み込みを行います。

1. **[Paint/Look] メニューの各設定項目でお好みのルックにする。**
2. **[ファイル名] でルックに名称を設定する。**
詳しくは「[Sceneファイルの名称を編集する](#)」をご覧ください。
3. **[内蔵メモリーに登録] を実行し、現在のルックをSceneファイルとして内蔵メモリーに保存する。**
詳しくは「[ルックをSceneファイルとして保存する](#)」をご覧ください。
4. **[メディア(B)に保存] を実行し、内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する。**
詳しくは「[内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する](#)」をご覧ください。
5. 手順4でSceneファイルを保存したメモリーカードを、本機能に対応している共有先のカメラのカードスロットBに挿入する。
6. 共有先のカメラで **[メディア(B)から読出] を実行し、Sceneファイルを内蔵メモリーに読み込む。**
詳しくは「[メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む](#)」をご覧ください。
7. 共有先のカメラで **[内蔵メモリーから呼出] を実行し、内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを呼び出す。**
手順3で保存した共有元のカメラのルックが、このカメラの画質設定に適用されます。

ファイルの保存先について

Sceneファイルは、メモリーカード内の以下のディレクトリーに保存されます。

メモリーカード	フォルダパス
SDXC	/PRIVATE/SONY/PRO/SCENE
CFexpress Type A	/SONY/PRO/SCENE

ご注意

- メモリーカード上でファイル名の重複がある場合は、コピーカウンターが自動で付与されます。
- 読み込んだSceneファイルの設定画質を完全に再現することはできません。
- メモリーカードから読み込んだSceneファイルには存在するが、読み込みを行ったカメラにはない設定項目は、読み込まれません。
- 読み込みを行ったカメラには存在するが、メモリーカードから読み込んだSceneファイルにはない設定項目については、読み込みを行ったカメラでは初期値が設定されます。
- 設定項目が同じでも、メニュー上の設定値範囲が違う場合は、対応する設定値範囲内で読み込みを行います。
- 設定値が読み込めても、センサーやカメラ信号処理の機種ごとの違いにより、同じ画質にはならないことがあります。読み込みを行った後、画質の確認をしてください。
- Sceneファイルの保存数は、SDR用とHDR用で各60個以内にしてください。これを超えると、保存しているすべてのファイルがカメラで参照できなくなります。

関連項目

- [ルックをSceneファイルとして保存する](#)
- [内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する](#)

- [メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む](#)

TP1002218813

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する

フルメニューの [Paint/Look] - [Sceneファイル] - [メディア(B)に保存] で、カメラの内蔵メモリーに保存されている Scene ファイルをメモリーカードに保存します。

ヒント

- メモリーカードに保存した Scene ファイルは、本機能に対応している他のカメラで読み込むことができます。
- Scene ファイルに含まれる本機の設定項目は、内蔵メモリーに保存する項目と同じです。詳しくは「[ファイルに保存される項目](#)」をご覧ください。

ご注意

- ユーザーの基本ルックを使っている Scene ファイルで、ユーザー基本ルックのオリジナルの Cube データがカメラに保存されていない場合、その Scene ファイルをメモリーカードに保存することはできません。この場合は、Scene ファイルリストの Scene ファイル名称の先頭に  アイコンが表示されます。

関連項目

- [ファイルに保存される項目](#)

TP1002218801

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む

フルメニューの [Paint/Look] - [Sceneファイル] - [メディア(B)から読出] で、メモリーカードに保存されているSceneファイルを、カメラの内蔵メモリーに読み込みます。

ヒント

- メモリーカードのSceneファイルを内蔵メモリーに読み込んだあと、フルメニューの [Paint/Look] - [Sceneファイル] - [内蔵メモリーから呼出] からそのSceneファイルを選択することで現在の画質設定に適用できます。

ご注意

- 異なる機種や、ファームウェアバージョンが違う同一機種でSceneファイルを読み込んだ場合、共通する設定項目の設定値のみ内蔵メモリーに読み込まれます。
- 設定値が読み込めた設定項目でも、センサーやカメラ信号処理の機種ごとの違いがあるため、同じ画質にはならないことがあります。

TP1002218802

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

出力映像にLUTを適用する

撮影モードのログ撮影を選択し、暗部から明部まで諧調を均等に記録すると、ポストプロダクションで局所的に暗部や明部の諧調を復元するなど細かい調節を行うことができます。

しかし、この記録映像を普通のモニターで見ると、全体にコントラストが低いいため、フォーカスや露出などの調節が困難です。

本機では、LCDモニター/ビューファインダー映像にLUTを適用して撮影時の各種調節を補助することができます。また、再生映像にLUTを適用して仕上がりを確認することもできます。

LUTは以下の系統別に適用されます。ただし、適用されるLUTは1種類です。

- HDMI出力
- LCDモニター/ビューファインダーおよびProxy、ストリーミング

HDMI出力映像にモニターLUTを適用する

フルメニューの [Shooting] - [LUT On/Off] - [**1**HDMI] を [LUT On] に設定します。

[**1**HDMI] を割り当てたアサインابلボタンでも設定できます。

ご注意

- ピント拡大中は、ガンマ表示アシストになります。

Proxyおよびリモートライブビューの出力映像にモニター LUTを適用する

フルメニューの [Shooting] - [LUT On/Off] - [**2**Proxy/リモートLV] を [LUT On] に設定します。

[**2**Proxy/リモートLV] を割り当てたアサインابلボタンでも設定できます。

LCDモニターおよびビューファインダーの出力映像にモニターLUTを適用する

フルメニューの [Shooting] - [LUT On/Off] - [**3**LCDモニター/VF] を [LUT On] に設定します。

[**3**LCDモニター/VF] を割り当てたアサインابلボタンでも設定できます。

TP1002321094

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

LUTを変更する

フルメニューの [Paint/Look] - [基本Look] - [選択] で、出力映像に適用するLUTを変更できます。

ヒント

- 本機にはプリセットのLUTとして、[s709] / [709(800%)] / [S-Log3] が用意されています。
- 3D LUTファイルをインポートして適用することもできます。

関連項目

- [好みの基本ルックをインポートする](#)
- [基本ルックを削除する](#)

TP1002321095

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

記録する映像情報の暗部・明部の配分を変える

〔Cine EI〕 / 〔Cine EI Quick〕では、明部より暗部の諧調を優先したい場合など、〔Exposure Index〕を基準感度から変更することにより、暗部・明部の配分を変えた撮影ができます。

- 1 フルメニューの〔Shooting〕 - 〔LUT On/Off〕 - 〔**3**LCDモニター/VF〕で〔LUT On〕を選ぶ。
- 2 フルメニューの〔Shooting〕 - 〔Exposure Index〕 - 〔EI選択〕でログ撮影（〔Cine EI〕 / 〔Cine EI Quick〕）用のEIゲイン値を設定する。
- 3 LCDモニター/ビューファインダー映像が適正になるように露出を調節する。

ヒント

- 設定値の後半部の数値は、明部（18%グレーの高輝度側）に何段分の輝度情報を割り当てるかを表しています。これより明るい領域は白飛びします。
例）「400EI / 5.0E」：5.0段分を高輝度側に割り当てる。

ご注意

- ピント拡大中はガンマ表示アシストになります。ガンマ表示アシストには〔Exposure Index〕は適用されません。

TP1002321096

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

3D LUTファイルをメタデータとして記録する

撮影時にLCDモニター/ビューファインダー映像に適用していた3D LUTファイル（CUBEファイル）を、クリップにメタデータとして記録することができます。

この機能を有効にするには、フルメニューの [Project] - [基本設定] - [Cine EI/Flexible ISO設定] で [LUTファイルの埋め込み] を [On] に設定します。

記録開始時に選択していた3D LUTファイル（CUBEファイル）をメタデータとして記録します。

ただし、以下の場合はメタデータとして記録することはできません。

- 過去のバージョンでインポートされた3D LUTファイル（基本ルック選択時、ファイル名の前に❗が表示されているファイル）を選択している場合
- 保存が可能な3D LUTファイルを選択時に、適用するLUTデータを変更した直後に記録を開始した場合

ヒント

- 使用した3D LUTファイルは、メディアの所定のフォルダに保存されます。

メモリーカード	フォルダパス
SDXC	/PRIVATE/SONY/PRO/LUT/
CFexpress Type A	/SONY/PRO/LUT/

ご注意

- 1つのクリップに記録できるメタデータは1つのみです。

TP1002321097

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

HDMI出力映像を記録する

本機のHDMI端子から出力したRAW動画信号を、対応する外部レコーダーに記録できます。

- 1 外部RAWレコーダーを本機のHDMI端子に接続する。
- 2 フルメニューの【Project】 - 【基本設定】 - 【撮影モード】で【Flexible ISO】 / 【Cine EI Quick】 / 【Cine EI】のいずれかを選択する。
- 3 メニューの【Project】 - 【イメージャーモード】、またはフルメニューの【Project】 - 【記録フォーマット】 - 【イメージャーモード】でイメージャーサイズ (FFのみ) を選択する。
- 4 フルメニューの【Project】 - 【記録フォーマット】 - 【内蔵記録 / RAW出力設定】で【RAW (HDMI) のみ】を選択する。

【内蔵記録 & RAW (HDMI)】を選ぶと、外部RAWレコーダーでの記録と同時に、本機のメモリーカードに動画を記録することができます。
- 5 外部レコーダーの電源が入っていることを確認し、本機の録画START/STOPボタンを押す。

ご注意

- 本機の録画START/STOPボタンを使わずに外部レコーダーで録画操作を行うと、正常に記録されない場合があります。

TP1002321098

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

記録状態表示

フルメニューの [Monitoring] - [画面表示On/Off設定] で [出力Look] が [On] に設定されている場合は、LCDモニター/ビューファインダーにRAW動画の記録状態がアイコンで表示されます。

ご注意

- 本機はHDMI端子から記録制御信号を出力しますが、外部レコーダーの状態を取得することはできません。そのため、本機でRAW動画の記録中と表示していても、実際に記録していないことがあります。正確な動作状態は外部レコーダー上の表示で確認してください。

TP1002321099

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ネットワーク機能でできること

本機とスマートフォン/タブレットなどのモバイル機器を接続すると、モバイル機器をリモコンとして利用することができます。また、本機をインターネットに接続すると、ファイル転送や様々なサービスを利用することができます。

- リモート操作
モバイル機器で、本機の撮影映像や再生映像を見ながら、本機をリモート操作することができます。

ご注意

- 不正なアクセスが検出された場合、カメラが通信を受け付けられない状態になることがあります。その際は再度初めから接続し直してください。
- ファイル転送
本機のメモリーカードに記録したプロキシクリップやオリジナルクリップを、インターネット経由でクラウドサーバーに転送することができます。
- ストリーミング
本機の撮影映像をRTMP/RTMPSやSRTでストリーミングすることができます。

「Monitor & Control」アプリケーション

モバイル機器の画面で本機の映像をモニタリングしながら、ホワイトバランスや露出の設定、フォーカス操作などを行えるアプリケーションです。

「Creators' App for Enterprise」アプリケーション

「Creators' App for Enterprise」アプリケーションを使うと、クラウドサービス「C3 Portal」へのファイル転送を簡単に行うことができます。

あらかじめ「C3 Portal」のアカウントを取得し、モバイル機器に「Creators' App for Enterprise」をインストールしてください。

「C3 Portal」のアカウントの取得については、所属組織の管理者にお問い合わせください。

ご注意

- お住まいの地域によってはクラウドサービスを提供していない場合があります。

「Camera Remote SDK」

ソニーが提供する、ソフトウェア開発者自身がソニーのカメラを使ったソリューションやアプリケーションを開発する環境です。開発者はこのSDKを使うことにより、ホストPCからソニーのカメラのリモート制御を行ない、撮影やモニタリングといった独自のアプリケーションを開発することが可能となります。

各アプリケーションやSDKについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。操作方法については、それぞれのヘルプまたはヘルプガイドをご覧ください。

TP1002215184

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

「Monitor & Control」と接続する

本機とモバイル機器を接続して「Monitor & Control」を使ってモバイル機器で本機の映像をモニタリングしながら操作できます。

接続方式	特徴
BluetoothペアリングでのWi-Fi接続/Bluetooth pairing (Wi-Fi)	本機とモバイル機器をBluetoothペアリングすることで、自動的に本機をAP ¹⁾ としてモバイル機器1台のみ接続できます。モバイル機器がインターネットに接続していても本機はインターネットに接続しません。
カメラをAP ¹⁾ としたWi-Fi接続 (Wi-Fi Direct接続) /Wi-Fi	本機をAP ¹⁾ としてモバイル機器1台のみ接続できます。モバイル機器がインターネットに接続していても本機はインターネットに接続しません。
無線LANルーターをAP ¹⁾ としたWi-Fi接続/Wi-Fi	複数のモバイル機器から本機を操作できます。ルーターがインターネットに接続し本機にも接続を許可している場合、本機はインターネットに接続しています。
ルーター経由での有線LAN接続/Wired LAN	
モバイル機器をAP ¹⁾ としたWi-Fiテザリング ²⁾ /Tethering (Wi-Fi)	モバイル機器をAP ¹⁾ として1台のみ接続できます。モバイル機器がインターネットに接続し本機にも接続を許可している場合、本機はインターネットに接続しています。
モバイル機器をAP ¹⁾ としたUSBテザリング ²⁾ /Tethering (USB)	

1) アクセスポイント (AP) : Wi-Fi接続するためのSSIDを提供する機器

2) テザリング (インターネット共有) : モバイル端末のSIMカードを利用して、モバイル回線のデータ通信により、インターネット接続を可能にする機能

本機とモバイル機器との接続方法や「Monitor & Control」の操作については、「Monitor & Control」のヘルプガイドをご覧ください。

関連項目

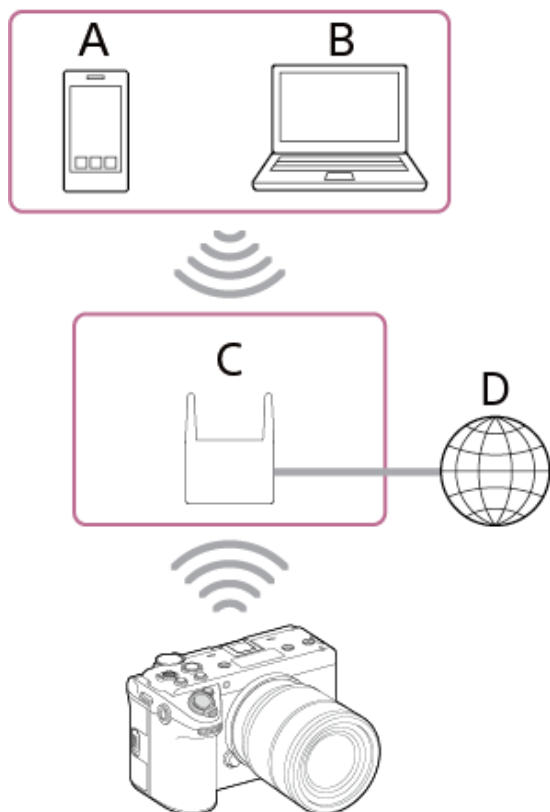
- [無線LANでインターネットに接続する](#)
- [USBテザリングでインターネットに接続する](#)
- [有線LANでインターネットに接続する](#)

TP1002215185

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

無線LANでインターネットに接続する

本機を既存の無線LANのアクセスポイントに接続します。操作のモバイル機器とはアクセスポイント経由で接続します。接続したアクセスポイントの履歴は、過去10件まで記憶されます。接続履歴はAllファイルに保存されますが、アクセスポイントのパスワードは保存されないため、Allファイル読み込み後の再接続の際にはパスワードの入力が必要となります。



- A : スマートフォン/タブレット
B : コンピューター
C : アクセスポイント
D : インターネット

ヒント

- アクセスポイントに接続するとき、本機はステーション（ST）モードにします。
- モバイル機器をアクセスポイントに設定できる場合があります（Wi-Fiテザリング）。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

アクセスポイント自動検出機能を使って接続する

1. フルメニューの【Network】－【無線LAN】－【設定】を【ステーションモード】に設定する。
2. フルメニューの【Network】－【無線LAN】－【ネットワーク検出】を選択する。
【ネットワーク検出】画面が表示されます。

ご注意

- 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。
- 本機はネットワーク機器（例えばルーター、スイッチング・ハブ）ではありません。DoS攻撃（サービス妨害攻撃）などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。
- 本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理が行われたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合（例えばFree Wi-Fiなど）、問題が生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をする

ことにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。

3. 接続するネットワークのアクセスポイントを選択し、パスワードを入力する。
4. 必要に応じて以下の接続設定を行う。

設定項目	説明
[DHCP]	DHCPを設定します。[On] に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、[Off] に設定します。
[IPアドレス]	本機のIPアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[サブネットマスク]	本機のサブネットマスクを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[ゲートウェイ]	ゲートウェイのアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[DNS自動設定]	DNS自動取得設定をします。[On] に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 [DHCP] を [On] に設定したときに有効です。
[プライマリDNSサーバー]	プライマリDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS自動設定] を [Off] に設定したときに有効です。
[セカンダリDNSサーバー]	セカンダリDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS自動設定] を [Off] に設定したときに有効です。

5. 設定が完了したら[接続] ボタンを押す。
本機がインターネットに接続されます。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、フルメニューの[Network] - [無線LAN] - [カメラリモート操作] を [有効] に設定してください。
- 本機に接続するための認証情報は、フルメニューの[Network] - [ネットワーク設定] の [認証設定表示] で確認できます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

アクセスポイントの情報を手動で入力して接続する

1. フルメニューの[Network] - [無線LAN] - [設定] を [ステーションモード] に設定する。
2. フルメニューの[Network] - [無線LAN] の [手動登録] を設定する。
[無線LAN] - [手動登録] 画面が表示されます。
3. 以下の設定を行う。

設定項目	説明
[SSID]	無線LANアクセスポイントのSSIDを入力します。 ご注意 入力可能文字数は1文字～32文字以下です。また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号(- . @ _ () ! " # \$ % & ' * + , / : ; < = > ? [\] ^ ` { } ~)

設定項目	説明
[セキュリティ]	暗号化方式を選択します。 ご注意 ● 本書では、LAN接続を中継する無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを「アクセスポイント」と表記しています。 ● 本機は、セキュリティ設定がWPA3-SAE、WPA2-PSK、または、セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続することが可能です。セキュアな無線LAN接続を実現するために、セキュリティ設定がWPA3またはWPA2のアクセスポイントを使用することを、強く推奨します。 ● セキュリティ方式は初期状態でWPA2が選択されています。 ● セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続すると、ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、脆弱性への攻撃を受ける可能性があります。特別な理由がある場合以外は、セキュリティ設定なしでの使用は推奨しません。 ● 無線LANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さなかった場合、あるいは無線LANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
[パスワード]	無線LANアクセスポイントのパスワードを入力します。 ご注意 ● 入力可能文字数は以下です。 － [WPA2] の場合：8文字以上63文字以下 － [WPA3] の場合：8文字以上128文字以下 － [無し] の場合：0文字 また、入力可能な文字は以下です。 英字(大文字、小文字)・数字・記号(- . @ _ () ! " # \$ % & ' * + , / : ; < = > ? [\] ^ ` { } ~)
[DHCP]	DHCPを設定します。[On] に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。 手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、[Off] に設定します。
[IPアドレス]	本機のIPアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。 ご注意 ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[サブネットマスク]	本機のサブネットマスクを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。 ご注意 ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[ゲートウェイ]	ゲートウェイのアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。 ご注意 ● ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[DNS自動設定]	DNS自動取得設定をします。[On] に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 [DHCP] を [On] に設定したときに有効です。

設定項目	説明
[プライマリ DNSサーバー]	プライマリDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS自動設定] を [Off] に設定したときに有効です。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[セカンダリ DNSサーバー]	セカンダリDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS自動設定] を [Off] に設定したときに有効です。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。

4. 設定が完了したら [接続] ボタンを押す。

本機がインターネットに接続されます。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、フルメニューの [Network] - [無線LAN] - [カメラリモート操作] を [有効] に設定してください。
- 本機に接続するための認証情報は、フルメニューの [Network] - [ネットワーク設定] の [認証設定表示] で確認できます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

ご注意

- [セキュリティ] (暗号化方式) は [無し]、[WPA2]、[WPA3] から選択できます。セキュリティの観点から、暗号化される [WPA2] または [WPA3] の利用を推奨します。セキュアな無線LAN接続を実現するために、セキュリティ設定がWPA2またはWPA3のアクセスポイントを使用することを、強く推奨します。
- セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続すると、ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、脆弱性への攻撃を受ける可能性があります。特別な理由がある場合以外は、セキュリティ設定なしでの使用は推奨しません。
- [手動登録] 画面でアクセスポイントを設定するとき、入力可能な文字数と文字の種類は以下のとおりです。
 - SSIDを入力する場合：

入力可能文字数は1文字～32文字です。また、入力可能な文字は以下です。

英字（大文字・小文字）、数字、記号（- . @ _ () ! " # \$ % & ' * + , / : ; < = > ? [\] ^ ` { | } ~）
 - パスワードを入力する場合：

WPA2の入力可能文字数は8文字～63文字です。WPA3の入力可能文字数は8文字～128文字です。また、入力可能な文字は以下です。

英字（大文字・小文字）、数字、記号（- . @ _ () ! " # \$ % & ' * + , / : ; < = > ? [\] ^ ` { | } ~）

TP1002215186

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

USBテザリングでインターネットに接続する

USBケーブルで本機とスマートフォンを接続し、スマートフォンの回線を使用してインターネットに接続します。

1. 本機の電源を入れる。
2. フルメニューの [Network] - [USBテザリング] - [設定] を [On(PORT1)] に設定する。
USBテザリングがオンになります。
3. USBケーブルで本機とスマートフォンを接続する。
4. スマートフォンのテザリング通信を有効に設定する。
詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
本機がインターネットに接続されます。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Creators' App for enterprise」、「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、フルメニューの [Network] - [USBテザリング] - [カメラリモート操作] を [有効] に設定してください。
- 本機に接続するための認証情報は、フルメニューの [Network] - [ネットワーク設定] の [認証設定表示] で確認できます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

ご注意

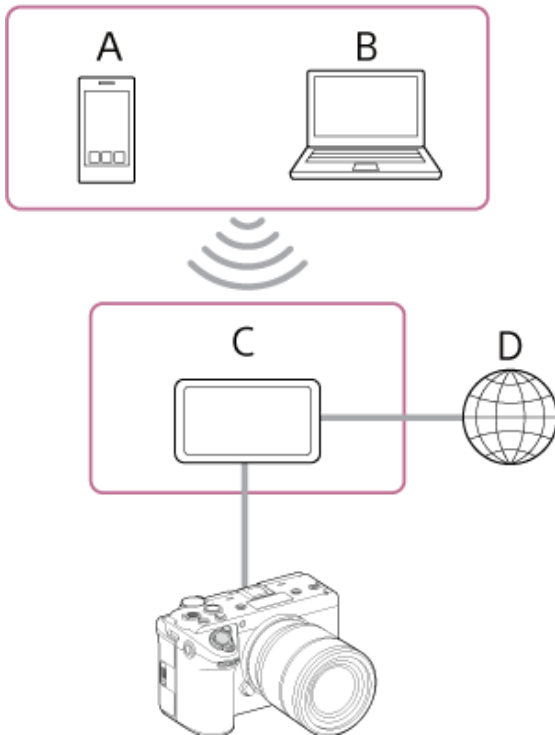
- 黒い画面に「USB接続中」と表示されている場合は、USBケーブルを抜いて撮影画面に戻り、フルメニューの [Technical] - [USB] - [USB接続モード (PORT1)] を [USBテザリング] またはフルメニューの [Network] - [USBテザリング] - [設定] を [On(PORT1)] にしてからUSBケーブルを接続してください。
- USBハブを介してスマートフォンを接続した場合、USBテザリングは使用できません。
- テザリングを行うスマートフォンは、信頼できるデバイスのみを使用してください。セキュリティ上安全ではないため、素性が不明なデバイスとの接続は推奨しません。

TP1002215187

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

有線LANでインターネットに接続する

本機と無線LANルーターを有線LAN接続してインターネットに接続します。



A : スマートフォン/タブレット
B : コンピューター
C : 無線LANルーター
D : インターネット

1. 本機のLAN端子と無線LANルーターをLANケーブルで接続する。
2. 本機の電源を入れる。
3. フルメニューの【Network】 - 【有線LAN】 - 【設定】を【On】に設定する。

ご注意

- 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。
- 本機はネットワーク機器（例えばルーター、スイッチング・ハブ）ではありません。DoS攻撃（サービス妨害攻撃）などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。
- 本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理が行われたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合、問題が生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をすることにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。

4. 必要に応じて、フルメニューの【Network】 - 【有線LAN】 - 【詳細設定】で以下の設定を行い、【Set】を選択する。

設定項目	説明
【DHCP】	DHCPを設定します。【On】に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手で本機のIPアドレスを入力する場合は、【Off】に設定します。

設定項目	説明
[IPアドレス]	本機のIPアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[サブネットマスク]	本機のサブネットマスクを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[ゲートウェイ]	ゲートウェイのアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[DNS自動設定]	DNS自動取得設定をします。[On] に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 [DHCP] を [On] に設定したときに有効です。
[プライマリDNSサーバー]	プライマリDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS自動設定] を [Off] に設定したときに有効です。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[セカンダリDNSサーバー]	セカンダリDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS自動設定] を [Off] に設定したときに有効です。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。

ヒント

- 「Monitor & Control」や「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、フルメニューの [Network] - [有線LAN] - [カメラリモート操作] を [有効] に設定してください。
- 本機に接続するための認証情報は、フルメニューの [Network] - [ネットワーク設定] の [認証設定表示] で確認できます。画面を盗み見られたりQRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

ご注意

- 接続設定を変更した場合、必ず [設定] を選択してください。[設定] を選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

「C3 Portal」へファイルを転送する

「Creators' App for Enterprise」を使って、クラウドサービス「C3 Portal」へファイルを転送することができます。

1. フルメニューの「Network」－「ネットワーク設定」－「モバイルアプリ設定」を実行する。

自動変更される項目の確認画面が表示されます。

「Network」メニューの設定が次のように自動変更されます。

- 「USBデザリング」－「設定」－「On(PORT1)」
- 「USBデザリング」－「カメラリモート操作」－「有効」

2. 設定内容を確認して「OK」を選択する。

設定が開始されます。

設定中はメッセージが表示されます。

設定が正常に終了すると、LCDモニターまたはビューファインダーにアクセス認証の画面が表示されます。



画面には以下の情報が表示されます。

ユーザー名/パスワード/フィンガープリント/カメラのモデル名/シリアル番号

ヒント

- 本画面は映像出力へ出力されません。

ご注意

- パスワードを盗み見られたり、QRコードの画像を流出させないように注意してください。

3. スマートフォンの「Creators' App for Enterprise」を起動し、クラウドサービス「C3 Portal」にサインインする。

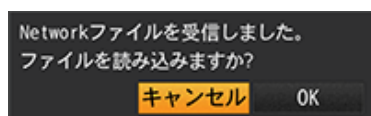
4. 本機のUSB Type-C端子にUSBケーブルを接続し、スマートフォンを接続する。

5. スマートフォンのUSBデザリング機能を有効にする。

詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

6. 「Creators' App for Enterprise」の画面の指示に従って、本機のLCDモニターに表示されたQRコードを撮影する。

スマートフォンから本機へファイル転送の設定情報が送られ、本機に次の画面が表示されます。



7. 「OK」を選択する。

設定の読み込みが開始されます。

設定の読み込みが正常に終了すると、メッセージが表示されます。

ご注意

- 「Creators' App for Enterprise」は、本機の「Network」－「ファイル転送」の設定を書き換えます。

- 【ルート証明書】は自動では設定できません。手動で設定してください。

オリジナルクリップを転送する

フルメニューの【Network】－【ファイル転送】－【自動転送】を【On】に設定すると、オリジナルクリップを「C3 Portal」へ転送できます。

記録を終了するたびに、「C3 Portal」のアカウントに紐づけされた場所へクリップが転送されます。

プロキシクリップを転送する

フルメニューの【Network】－【ファイル転送】－【自動転送(Proxy)】を【On】に設定すると、プロキシクリップを「C3 Portal」へ転送できます。

記録を終了するたびに、「C3 Portal」のアカウントに紐づけされた場所へクリップが転送されます。

ヒント

- 本機から転送されたファイルは、「Creators' App for Enterprise」でキャッシュされながら「C3 Portal」へ転送されます。本機のファイル転送状態の表示は、「Creators' App for Enterprise」への転送状況を示しています。
- 本機から「Creators' App for Enterprise」へファイル転送が終了した後は、本機の電源をオフにすることができますが、スマートフォンからのファイル転送は継続している場合があります。スマートフォンの電池残量にはご注意ください。
- 「C3 Portal」へ任意のクリップを転送することができます。詳細は下記をご覧ください。
[クリップを選んで転送する](#)

関連項目

- [好みの基本ルックをインポートする](#)
- [設定内容をファイルに保存する](#)

TP1002215189

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ファイルを転送するための準備をする

記録したプロキシクリップやオリジナルクリップを、インターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送することができます。

以下の手順に従って、本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続します。

[無線LANでインターネットに接続する](#)

[USBテザリングでインターネットに接続する](#)

[有線LANでインターネットに接続する](#)

ファイルの転送先を登録する

あらかじめクリップを構成するファイルを転送するサーバーを登録しておきます。

1. フルメニューの [Network] - [ファイル転送] - [転送先サーバー設定1] / [転送先サーバー設定2] / [転送先サーバー設定3] を選択する。
2. 転送先設定画面が表示されます。
3. 転送先設定画面の各項目を設定する。

設定項目	説明
[表示名]	転送先のリストに表示されるサーバー名を入力します。 ご注意 ● 入力可能文字数は1文字～16文字です。また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [] ~）
[サービス]	サーバーの種類を表示します。 [FTP] : FTP サーバー
[ホスト名]	サーバーのアドレスを入力します。 ご注意 ● 入力可能文字数は1文字～255文字です。また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（. -）
[ポート]	サーバーに接続する際のポート番号を入力します。 ご注意 ● 入力可能文字数は1文字～5文字です。また、入力可能な文字は数字のみです。
[ユーザーネーム]	ユーザー名を入力します。 ご注意 ● 入力可能文字数は0文字～255文字です。また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（- . @ _ () ! " # \$ % & ' * + , / : ; < = > ? [\] ^ ` { } ~）

設定項目	説明
[パスワード]	パスワードを入力します。 ご注意 入力可能文字数は0文字～255文字です。また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（- . @ _ () ! " # \$ % & ' * + , / : ; < = > ? [\] ^ ` { } ~）
[パッシブモード]	パッシブモードのオン/オフを行います。
[転送先ディレクトリ]	転送先ディレクトリー名を入力します。 ご注意 - オリジナルクリップは、転送先として指定したディレクトリー内の「Main」フォルダーに転送されます。 - 編集時、編集不可能な文字は“□”で表示されます。この文字を含むディレクトリー名を編集した場合の動作は保証されません。もし編集してしまった場合は、すべての文字を削除して入力し直してください。 - 転送先サーバーで使用できない文字を[転送先ディレクトリ]に入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。 - 入力可能文字数は0文字～128文字です。また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（! # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [] ~）
[セキュア転送設定]	セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。
[ルート証明書]	証明書の読み込みや消去を行います。 [ロード]：手順3で[Set]を選択すると、CA証明書を読み込みます。 ご注意 - 読み込む証明書はPEM形式で、カードスロットBに挿入したメモリーカードのルートディレクトリーに「certification.pem」のファイル名で書き込んでおいてください。 [クリア]：手順3で[Set]を選択すると、CA証明書をクリアします。 [無し]：読み込み/消去を行いません。 ご注意 - CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。 - 記録フォーマットにより、記録動作が優先されるため証明書を[ロード] / [クリア] できない場合があります。
[ルート証明書状態]	証明書の読み込み状態を表示します。
[リセット]	[転送先サーバー設定1] / [転送先サーバー設定2] / [転送先サーバー設定3] の設定を初期値に戻します。

4. 設定が完了したら[設定]を選択し、設定内容を確定する。

ご注意

- 設定完了後は、必ず[設定]を選択してください。[設定]を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

クリップを選んで転送する

メモリーカードに記録したプロキシクリップやオリジナルクリップをサーバーに転送します。

プロキシクリップを転送する

1. フルメニューの **【Clip Operations】** – **【クリップ転送(Proxy)】** – **【クリップセレクト】** を選択する。
画面がフルメニューからクリップ一覧画面に変わります。
クリップの転送は、クリップ一覧画面またはフィルタードクリップ一覧画面で操作することができます。
2. 転送したいクリップを選択し、最後に **MENU** ボタンを押す。
転送を実行する確認画面が表示されます。
3. **【実行】** を選択する。
選択したオリジナルクリップに対応するプロキシクリップが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。
4. **【OK】** を選択する。

ヒント

- 手順1で **【クリップセレクト】** ではなく、**【全クリップ】** を選択するとオリジナルクリップに対応するプロキシクリップが一括転送されます。

ご注意

- 転送ジョブの上限は200件です。

オリジナルクリップを転送する

1. フルメニューの **【Clip Operations】** – **【クリップ転送】** – **【クリップセレクト】** を選択する。
画面がフルメニューからクリップ一覧画面に変わります。
ファイルの転送は、クリップ一覧画面またはフィルタードクリップ一覧画面で操作することができます。
2. 転送したいクリップを選択し、最後に **MENU** ボタンを押す。
転送を実行する確認画面が表示されます。
3. **【実行】** を選択する。
選択したクリップが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。
転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。
4. **【OK】** を選択する。

ヒント

- 手順1で **【クリップセレクト】** ではなく、**【全クリップ】** を選択するとクリップが一括転送されます。

ご注意

- オリジナルクリップは、転送先として指定したディレクトリー内の「Main」フォルダーに転送されます。
- 転送ジョブの上限は200件です。

転送状態を確認する

フルメニューの **【Network】** – **【ファイル転送】** – **【転送ジョブ一覧表示】** を選択すると、ファイルの転送状態を確認することができます。
モバイル機器と接続すると「Catalyst Browse」アプリケーションでファイルの転送状態を確認することもできます。

ヒント

- フルメニューの【Network】－【ファイル転送】－【自動転送】 / 【自動転送(Proxy)】を【On】に設定し、ネットワークに接続している場合、記録終了時に【デフォルト転送先サーバー】で設定されたサーバーに対して、自動的にオリジナルクリップやプロキシクリップを転送します。オリジナルクリップとプロキシクリップの両方を自動転送に設定している場合には、プロキシクリップが優先して自動転送されます。

ご注意

- ジョブリストは本機の電源をオフにしても保持されますが、電源スイッチを （オフ）にせずにバッテリーパックを取り外した場合には、最大で10分間分程度の進捗情報が喪失する可能性があります。
- ファイル転送中に転送がエラーになると、転送先サーバーの設定や状態によっては、同じ名前のクリップが転送できなくなることがあります。その場合は転送先サーバーの設定や状態を確認してください。

関連項目

- [クリップ一覧画面の構成](#)
- [クリップを操作する](#)

TP1002215191

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

クリップを自動転送する

クリップを自動転送することができます。

オリジナルクリップを自動転送する

記録終了時にオリジナルクリップを指定したサーバーに自動で転送します。

自動転送を有効にするには、フルメニューの [Network] - [ファイル転送] - [自動転送] を [On] に設定します。

プロキシクリップを自動転送する

記録終了時にプロキシクリップを指定したサーバーに自動で転送します。

自動転送を有効にするには、フルメニューの [Network] - [ファイル転送] - [自動転送(Proxy)] を [On] に設定します。

関連項目

- [プロキシ記録](#)

TP1002215192

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

セキュアなFTP転送を行うには

ファイルの転送先サーバーとの接続にFTPのExplicitモード（FTPES）を使用することで、ファイルを暗号化して転送することができます。

セキュアなFTP転送の設定

セキュアなFTP転送を行うには、ファイル転送先サーバーの設定で、[セキュア転送設定]を[On]に設定し、証明書の読み込みを行います。

FTP機能に関するご注意

FTPはコンテンツ、ユーザー名、パスワードが暗号化されていません。セキュアな転送を確保するため、FTPES（FTPS）を使用してください。

FTPS機能について

FTPS機能は、安全なファイル転送を実現するために様々な暗号化アルゴリズムをサポートしています。幅広いサーバーとの互換性を確保するため、複数の暗号化アルゴリズムに対応していますが、その中には現在のセキュリティベストプラクティスに適合しないものも含まれています。

FTPS機能がサポートする暗号化アルゴリズム

以下の暗号化アルゴリズムをサポートしています。

- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256
- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256

推奨される暗号化アルゴリズムについて

NIST勧告（NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5）および関連するセキュリティ標準に基づき、以下の暗号化アルゴリズムが推奨されています。

- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384

非推奨アルゴリズムについて

FTPS機能は互換性のため以下のアルゴリズムもサポートしていますが、NIST勧告（NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5）および関連するセキュリティ標準に基づき非推奨とされており、将来のバージョンでは削除される可能性があります。

- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256
- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256

- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256

接続互換性について

FTPS機能は、セキュリティと互換性のバランスを考慮して設計されています。現時点では、以下の理由から非推奨アルゴリズムもサポートしていますが、将来のバージョンではセキュリティ強化のためこれらのアルゴリズムを削除する可能性があります。

- フリーランスのフォトグラファーやビデオグラファーは、様々なクライアントが運用するサーバーに接続する必要があります。
- 古いシステムやレガシーサーバーとの互換性を維持する必要があります。
- サーバー側での暗号化アルゴリズムの設定変更は複雑であり、すべてのユーザーが安全な設定に変更できるとは限りません。
- FTPSのサーバー設定は、他のセキュアサービスと共有されることが多く、サーバー上の他サービスへの影響を考慮する必要がありますが容易に変更できるとは限りません。
- 様々な環境での相互運用性を確保するため、幅広い暗号化アルゴリズムのサポートが必要です。
FTPS接続時に使用される暗号化アルゴリズムは接続先サーバーとの自動ネゴシエーションによって決定されるため、サーバー側の設定に依存します。セキュリティリスクを認識しつつも、ユーザーの多様なニーズに応えるため、現時点では幅広い互換性を優先しています。

セキュリティリスク

CBC/DHE/RSA/SHA-1を含む非推奨アルゴリズムを使用すると、暗号化されたデータが攻撃者によって解読または改ざんされるリスクが高まり、転送中のデータが漏洩する危険性があります。

安全な接続のための推奨事項

FTPS機能を使用する際は、接続先サーバーが推奨暗号化アルゴリズムをサポートしているか事前に確認してください。サーバー側では推奨アルゴリズムのみを有効にし、非推奨アルゴリズムを無効化することをお勧めします。

参考資料

- Recommendation for Key Management, Special Publication 800-57 Part 1 Revision 5, NIST, 2020.
- Transitioning the Use of Cryptographic Algorithms and Key Lengths, Special Publication 800-131A Revision 2, NIST, 2019.
- Recommendation for Block Cipher Modes of Operation: The CMAC Mode for Authentication, Special Publication 800-38B, NIST, 2005 (includes updates as of 10/06/2016).

関連項目

- [ファイルを転送するための準備をする](#)

TP1002215193

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ストリーミングする

本機で撮影している映像と音声を低遅延でストリーミングすることができます。
ストリーミングには二種類あります。

- RTMP/RTMPSストリーミング

Adobe Inc.が開発したRTMP (Real Time Messaging Protocol) で、本機で撮影映像と音声を低遅延でストリーミングすることができます。SSLで暗号化したRTMPSにも対応しています。

- SRTストリーミング

Haivision社が開発したSRT (Secure Reliable Transport) で、本機で撮影映像と音声を低遅延でストリーミング伝送することができます。SRTストリーミングにはListenerとCallerがあり、ListenerがIPアドレスやドメインなど接続先情報を持ち、CallerがListenerに接続します。本機はCallerに該当します。

ご注意

- セキュアなストリーミング配信を行うためには、配信URLに「rtmps://」が含まれている必要があります。RTMPは、一般的なストリーミング配信に使用されますが、セキュリティが十分ではありません。一方でRTMPSは、SSL/TLSを使用してデータを暗号化し、安全な配信を実現します。
- SRTでは、暗号化の設定項目としてAES-128またはAES-256を選択することができます。これにより、ストリーミングデータが暗号化され、安全に配信されます。SRTの「暗号化」(暗号化方式)を「無し」に設定することも可能ですが、この場合、データは暗号化されず、通信がセキュアでなくなります。この設定をする場合は、ネットワーク環境や配信先のセキュリティ要件を十分に考慮してください。
- SRTの暗号化設定は、配信先と一致させる必要があります。配信先が使用する暗号化方式と同じ設定を行うことで、正常な通信が確保されます。
- SRTを利用する場合、パスフレーズの入力可能な文字の種類は、アルファベット、数字、記号です。文字数は16文字以上に設定することを強く推奨します。

ストリーミングのビットレートの範囲と初期値は、プロジェクトフレームレートと解像度によって以下のように異なります。

プロジェクトフレームレート	ストリーミング		
	解像度	ビットレート範囲 (Mbps)	初期値 (Mbps)
59.94/50	3840×2160	38のみ	—
	1920×1080	4.5 ~ 27	9
	1280×720	2.3~13.5	6
29.97/25/23.98	3840×2160	13 ~ 38	34
	1920×1080	3 ~ 18	6
	1280×720	1.5 ~ 9	4

ご注意

- 保存した動画を使った再生ストリーミングには対応していません。
- 映像の出力方式がインターレース方式のときでも、ストリーミングではプログレッシブ方式で出力されます。

RTMPS機能について

RTMPS機能は、安全なRTMPSストリーミング配信を実現するために様々な暗号化アルゴリズムをサポートしています。幅広い配信先のサーバーとの互換性を確保するため、複数の暗号化アルゴリズムに対応していますが、その中には現在のセキュリティベストプラクティスに適合しないものも含まれています。

RTMPS機能がサポートする暗号化アルゴリズム

以下の暗号化アルゴリズムをサポートしています。

- TLS_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_AES_128_CCM_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CCM
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CCM
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CCM
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CCM
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256

推奨される暗号化アルゴリズムについて

NIST勧告（NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5）および関連するセキュリティ標準に基づき、以下の暗号化アルゴリズムが推奨されています。

- TLS_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_AES_128_CCM_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CCM
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CCM
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256

非推奨アルゴリズムについて

RTMPS機能は互換性のため以下のアルゴリズムもサポートしていますが、NIST勧告（NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5）および関連するセキュリティ標準に基づき非推奨とされており、将来のバージョンでは削除される可能性があります。

Key exchange algorithms

- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CCM
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CCM
- TLS_DHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256

接続互換性について

弊社のRTMPS機能は、セキュリティと互換性のバランスを考慮して設計されています。現時点では、以下の理由から非推奨アルゴリズムもサポートしていますが、将来のバージョンではセキュリティ強化のためこれらのアルゴリズムを削除する可能性があります。

- RTMPSのストリーミング機能を使用するには、RTMPS配信に対応した様々なサーバーに接続する必要があります。
- 古いシステムやレガシーサーバーとの互換性を維持する必要があります。
- サーバー側での暗号化アルゴリズムの設定変更は複雑であり、すべてのユーザーが安全な設定に変更できるとは限りません。
- RTMPS設定はSSHの設定と共有されることが多く、他のサービスへの影響を考慮する必要があります。

- 様々な環境での相互運用性を確保するため、幅広い暗号化アルゴリズムのサポートが必要です。

RTMPS接続時に使用される暗号化アルゴリズムは接続先サーバーとの自動ネゴシエーションによって決定されるため、サーバー側の設定に依存します。セキュリティリスクを認識しつつも、ユーザーの多様なニーズに応えるため、現時点では幅広い互換性を優先しています。

セキュリティリスク

CBCおよびDHEを含む非推奨アルゴリズムを使用すると、暗号化されたデータが攻撃者によって解読されるリスクが高まり、ストリーミング配信中のデータが漏洩する危険性があります。

安全な接続のための推奨事項

RTMPSのストリーミング配信機能を使用する際は、接続先サーバーが推奨暗号化アルゴリズムをサポートしているか事前に確認してください。サーバー側では推奨アルゴリズムのみを有効にし、非推奨アルゴリズムを無効化することをお勧めします。

参考資料

- Recommendation for Key Management, Special Publication 800-57 Part 1 Revision 5, NIST, 2020.
- Transitioning the Use of Cryptographic Algorithms and Key Lengths, Special Publication 800-131A Revision 2, NIST, 2019.
- Recommendation for Block Cipher Modes of Operation: The CMAC Mode for Authentication, Special Publication 800-38B, NIST, 2005 (includes updates as of 10/06/2016).

RTMP/RTMPSストリーミングの設定をする

接続先とフォーマットを設定する

1. フルメニューの [Network] - [ストリーミング] を [RTMP/RTMPS 1] / [RTMP/RTMPS 2] / [RTMP/RTMPS 3] に設定する。
接続先設定画面が表示されます。
2. 接続先設定画面の各項目を設定する。

設定項目	説明
[表示名]	[送信先選択] のメニュー上の表示名を設定します。
[コーデック]	ストリーミングする映像のコーデックが表示されます。
[解像度]	ストリーミングする映像の解像度を設定します。 ● 3840×2160P ● 1920×1080P ● 1280×720P
[ビットレート]	ストリーミングする映像のビットレートを設定します。
[送信先URL]	接続するサーバーのURLを設定します。 「rtmps://」で始まるURLは、RTMPSストリーミングと認識され、ストリーミングデータは暗号化されます。この場合、RTMPS接続用の証明書が必要になります。
[ストリームキー]	ストリーミング接続で使用するストリームキーを設定します。

設定項目	説明
[RTMPS証明書]	RTMPSストリーミング用の証明書の読み込みや消去について設定します。 ● [ロード] : 証明書を読み込みます。 ご注意 ● 読み込む証明書はPEM形式で、メモリーカードのルートディレクトリーに「RTMPS_certification.pem」のファイル名で書き込んでおいてください。 ● [クリア] : 証明書をクリアします。 ● [無し] : 読み込み/消去を行いません。 ここで証明書を読み込まない場合は、本機に内蔵の既定証明書が使用されます。

3. 設定が完了したら [設定] を選択し、設定内容を確定する。

ご注意

- 設定完了後は、必ず [設定] を選択してください。[設定] を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。
- RTMPS接続用の証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
- 記録フォーマットにより、記録動作が優先されるため証明書を [ロード] / [クリア] を実行できない場合があります。

本機に内蔵の既定証明書を任意の既定証明書に変更する

1. カードスロットBに任意の既定証明書が保存されているメモリーカードを挿入する。
読み込まれるファイル：メモリーカードのルートディレクトリー直下の「RTMPS_DefaultCertificates.pem」
2. フルメニューの [Network] - [ストリーミング] - [RTMPS既定証明書群] - [置き換え] で [実行] を選択する。
メモリーカードに既定証明書が書き込まれていることを確認するメッセージが表示されます。なお、既定証明書は、ユーザー任意の既定証明書に変更することも可能です。
3. [OK] を選択する。
任意の既定証明書が本機に読み込まれます。
読み込みが正常に終了すると、メッセージが表示されます。

本機に内蔵の既定証明書に戻す

フルメニューの [Network] - [ストリーミング] - [RTMPS既定証明書群] - [リセット] で [実行] を選択します。
操作が正常に終了すると、メッセージが表示されます。
任意に登録した既定証明書が削除され、本機に内蔵の既定証明書が有効になります。

既定証明書の状態を確認する

フルメニューの [Network] - [ストリーミング] - [RTMPS既定証明書群] - [状態] で既定証明書の状態が表示されます。
本機に内蔵の既定証明書が使用されている場合は、[プリインストール] と表示されます。
任意の既定証明書が使用されている場合は、証明書の変更が行われた日時が表示されます。
表示形式：年4桁（西暦）+月2桁+日2桁+時2桁（24時間）+分2桁+秒2桁
表示例：2024年12月1日12時34分56秒→20241201123456

SRTストリーミングの設定をする

接続先とフォーマットを設定する

1. フルメニューの [Network] - [ストリーミング] を [SRT-Caller 1] / [SRT-Caller 2] / [SRT-Caller 3] に設定する。
接続先設定画面が表示されます。
2. 接続先設定画面の各項目を設定する。

設定項目	説明
〔表示名〕	〔送信先選択〕のメニュー上の表示名を設定します。
〔コーデック〕	ストリーミングする映像のコーデックを設定します。
〔解像度〕	ストリーミングする映像の解像度を設定します。 ● 3840×2160P ● 1920×1080P ● 1280×720P
〔ビットレート〕	ストリーミングする映像のビットレートを設定します。
〔送信先URL〕	接続するサーバーのURLを設定します。
〔ポート〕	ストリーミングの送信先のポートを設定します。
〔レイテンシー〕	ストリーミングの配信遅延時間を設定します。
〔TTL〕	ストリーミングのTTL値を設定します。
〔暗号化〕	ストリーミングの暗号化方式を設定します。
〔パスフレーズ〕	ストリーミングの暗号化に使用するパスフレーズを設定します。
〔ARC〕	ストリーミング時のAdaptive Rate Control機能を有効にするか無効にするか設定します。

ご注意

- 〔コーデック〕で〔H.265/HEVC〕を使用する場合、一部の受信機では正常に再生されない場合があります。再生に問題が発生した場合には〔H.264/AVC〕をお試しください。

3. 設定が完了したら〔設定〕を選択し、設定内容を確定する。

設定完了後は、必ず〔設定〕を選択してください。〔設定〕を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。

〔リセット〕：設定を初期値に戻します。

ストリーミングを開始する

1. 本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続する。

ご注意

- ストリーミングは継続的に大量の通信を行うため、有線LANの使用をお勧めします。とくに無線LAN2.4GHz帯の使用は、モバイル機器からのリモート操作やBluetoothリモコンの動作に支障が出る場合があります。やむを得ず無線接続を使用する場合は、事前に本番同等の電波環境で十分なテストを行ってください。
- 本機はネットワーク機器（例えばルーター、スイッチング・ハブ）ではありません。DoS攻撃（サービス妨害攻撃）などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。
- 本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理が行われたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合（例えばFree Wi-Fiなど）、問題が生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をすることにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。

2. フルメニューの〔Network〕－〔ストリーミング〕－〔送信先選択〕で、事前に設定した伝送設定を選択する。

3. フルメニューの〔Network〕－〔ストリーミング〕－〔設定〕を〔On〕に設定する。

設定に応じてストリーミングが開始されます。

ご注意

- 以下の場合、ストリーミングを開始できません。
 - －フルメニューの〔Shooting〕－〔FPS〕－〔固定/可変 選択〕が〔可変〕のとき
 - －フルメニューの〔Project〕－〔同時記録〕－〔設定〕を〔On〕に設定しているとき
 - －フルメニューの〔Project〕－〔インターバルレック〕－〔設定〕を〔On〕に設定しているとき

- ＝フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] - [Projectフレームレート] を119.88 / 100に設定しているとき
- ＝フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] - [コーデック] でX-OCNのコーデックを設定しているとき
- ＝フルメニューの [Project] - [記録フォーマット] - [ビデオフォーマット] を4096×2160Pに設定しているとき

- ストリーミングを開始してから実際に映像/音声が発送されるまでに数十秒かかる場合があります。
- ストリーミングの接続先の設定が不正な場合やネットワークに接続できていない場合には、ストリーミング状態表示に **×** が表示されます。
- インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。接続先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
- お使いのインターネット回線やネットワークの状況によっては、配信が中断される場合があります。その場合は、再度ストリーミングを開始してください。
- 動きの激しいシーンの場合は、画質が悪くなります。
- ストリーミングを大きな解像度で小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためには、[解像度] でより小さい解像度を選んでください。
- ストリーミング中は、Monitor & Controlで映像を見ることはできません。
- ストリーミング中は、ファイルを転送できません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
- ファイル転送中にストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。
- ストリーミング中は画面情報の更新頻度が低下しますが、操作には影響しません。
- ストリーミング中は、記録設定は変更できません。
- ストリーミング可能な配信フォーマットは、本線の [記録フォーマット] によって変わります。

ストリーミングを停止する

フルメニューの [Network] - [ストリーミング] - [設定] を [Off] に設定するとストリーミングが停止します。

TP1002215194

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

クリップ一覧画面の構成

CLIPSボタンを押すと、メモリーカードに収録されているクリップが、クリップ一覧画面に表示されます。

クリップ一覧画面で選択したクリップから再生を開始することができます。クリップ一覧画面ではフルメニューの[Clip Operations]メニューを使用してクリップの操作や詳細情報の確認などが可能です。情報表示モードのときは、LCDモニターで再生操作をすることができます(再生操作画面)。

もう一度CLIPSボタンを押すと、クリップ一覧画面を終了し、撮影画面に戻ります。

クリップ一覧画面のサムネイル(縮小画)はタッチ操作に対応しています。

ご注意

- クリップ一覧画面で表示されるクリップのうち、再生できるのは現在選択している記録フォーマットで記録されたクリップのみとなります。クリップが再生できないときは、記録フォーマットをご確認ください。
- クリップ一覧画面を開いている状態でフルメニューを開くと、外部モニターにフルメニューが表示されます。パスワード関連の設定を開くときにはご注意ください。

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。



A : 現在選択されているメモリーカード (プロテクトされている場合は右にロックマーク表示)

B : クリップ番号/クリップ総数

C : カーソル (黄色)

1. サムネイル (縮小画)

各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画像に設定されます。

サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。フルメニューの[Clip Operations] - [カスタマイズビュー] - [クリップキャプション] で表示内容を変更できます。また、クリップの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	意味
 (再生不可)	再生できないクリップ

2. クリップ名

選択されているクリップのクリップ名が表示されます。

3. 記録時の記録フォーマット

選択したクリップのファイルフォーマットが表示されます。

4. 特殊記録撮影情報

特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。

フルメニューの[Shooting] - [FPS] - [固定/可変 選択] が[可変]で撮影されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

- 5. 作成日時
- 6. クリップの収録時間 (Duration)
- 7. タイムコード

TP1002215195

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

再生操作画面

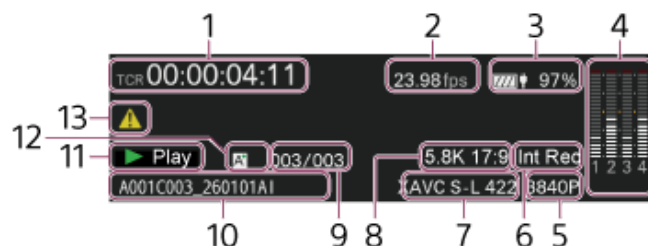
LCDモニターが情報表示モードの場合は、クリップ一覧画面で再生するクリップを選択すると、再生操作画面が表示されます。機能表示部はタッチ操作に対応しています。

機能表示部



1. **[F Rev] ボタン**
逆方向に高速再生します。
押した回数に応じて3段変速します。
2. **[Play/Pause] ボタン**
クリップの再生または再生を一時停止します。
3. **[F Fwd] ボタン**
順方向に高速再生します。
押した回数に応じて3段変速します。
4. **[Prev] ボタン**
逆方向にクリップの頭出しをします。
5. **[Stop/Clips] ボタン**
再生を停止し、クリップ一覧画面に戻ります。
6. **[Next] ボタン**
順方向にクリップの頭出しをします。

ステータス表示部



1. **タイムデータ表示**
再生位置のタイムコードが表示されます。
2. **フレームレート表示**
再生クリップのフレームレートが表示されます。

3. 電源状態表示

バッテリー残量が表示されます。

4. 音声レベルメーター

再生音声レベルが表示されます。

5. 画像解像度表示

画像解像度が表示されます。

6. 特殊記録

再生クリップの特殊記録情報が表示されます。

7. コーデック名表示

コーデック名が表示されます。

8. 画像サイズ表示

画像サイズが表示されます。

9. クリップ番号/クリップ総数表示

再生中のクリップ番号/再生可能なクリップ総数が表示されます。

10. クリップ名表示

クリップ名が表示されます。

11. 再生動作状態表示

再生動作状態が表示されます。

12. メディア表示

再生しているメディアが表示されます。

メモリーカードがプロテクトされている場合は、右に🔒（プロテクト）アイコンが表示されます。

13. 警告／エラーアイコン

警告またはエラーがあるときに表示されます。

メニューを表示させると、警告またはエラーの内容が確認できます。外部モニターに画面表示を重畳している場合は、外部モニターでも確認できます。

TP1002295511

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

クリップを再生する

本機が記録停止中 (Stby) のときは、記録したクリップを再生することができます。

1. 再生するメモリーカードを入れる。
2. CLIPSボタンを押す。
LCDモニターに再生アクティブなメディアのクリップ一覧画面が表示されます。
3. マルチセクターまたはマルチファンクションダイヤルを操作して、再生を開始したいクリップにカーソルを合わせる。
4. マルチセクターの決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。サムネイル (縮小画) をタップした場合も再生が始まります。

ご注意

- 本機は連続再生をしません。

再生操作について

再生操作は次のボタンで行います。

マルチセクターまたはマルチファンクションダイヤル押し、再生映像のタップ：

再生を一時停止します。

もう一度押すと再生に戻ります。

マルチセクターの左ボタン/右ボタン押し、再生映像の右フリック/左フリック：

クリップの先頭または前後のクリップに移動します。

マルチセクターの左ボタン/右ボタン長押し：

高速再生します。

長押しをやめると標準再生に戻ります。

BACKボタン：

再生を停止し、撮影画面に戻ります。

撮影画面またはホーム画面が表示されます。

再生操作画面のボタンで操作するには

LCDモニターが情報表示モードの場合は、再生操作画面のボタンでも操作できます。

〔Play/Pause〕ボタン：再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

〔Prev〕ボタン/〔Next〕ボタン：クリップの先頭または前後のクリップに移動します。

〔F Fwd〕ボタン/〔F Rev〕ボタン：高速再生します。

〔Play/Pause〕ボタンを押すと標準再生に戻ります。

〔Stop/Clips〕ボタン：再生を停止し、クリップ一覧画面になります。

ヒント

- 外部モニターで再生映像を見るとき、再生操作画面を使うと、LCDモニターのボタンで再生操作ができます。
- 再生操作画面は、ホーム画面開いた状態で、CLIPSボタンを押してクリップ一覧画面を開き、クリップを選択すると表示されます。

音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカーまたはヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。

モニターするチャンネルの選択および音量の調整は、フルメニューの〔Audio〕－〔音声出力〕－〔モニターチャンネル〕および〔音量〕で行います。

〔ヘッドホン音声〕の設定

フルメニューの〔Audio〕－〔音声出力〕－〔ヘッドホン音声〕を〔ライブ〕に設定すると、音声を遅延なしで出力します。音声モニタリング時、音のずれが気になるときに選択します。

「処理済み音声」に設定すると、ノイズカットフィルターやズームノイズフィルターの効果を撮影時の音声モニタリングで確認できます。音声と映像を同期させて出力します。

ヒント

- 本機は画面表示やメニューの音声読み上げに対応しています。

メモリーカードを切り替える

メモリーカードが2枚装着されているときは、クリップ一覧画面で、「スロット切り替え」を割り当てたアサインブルボタンを押して切り換えます。

ご注意

- 再生中にメモリーカードを切り換えることはできません。またカードスロットAからカードスロットBへの連続再生はできません。

ヒント

- ユーザー機能画面の「User 1」～「User 6」に「スロット切り替え」を割り当てることもできます。
- 撮影モードをログ撮影にした状態で収録したクリップを再生すると、撮影時に使用したLUTを適用します。適用するLUTは、メタデータ保存された3D LUTファイルの情報から判断されます。
撮影時に、フルメニューの「Project」－「基本設定」－「Cine EI/Flexible ISO設定」－「LUTファイルの埋め込み」を「On」に設定して記録したクリップの場合で、撮影時に使用した3D LUTファイルが本機にインストールされていたら、そのLUTを適用して再生します。
撮影時に、フルメニューの「Project」－「基本設定」－「Cine EI/Flexible ISO設定」－「LUTファイルの埋め込み」を「Off」に設定して記録したクリップを再生した場合は、フルメニューの「Paint/Look」－「基本Look」－「選択」で選択されているLUTを適用します。
撮影時に使用された3D LUTファイルが本機にインストールされていない場合も同様です。

TP1002215196

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

クリップを操作する

クリップ一覧画面では、フルメニューの [Clip Operations] メニューを使用してクリップの操作や詳細情報の確認などができます。

クリップ操作メニュー

- [クリップ詳細表示]
- [クリップフラグ設定]
- [クリップ保護/解除]
- [クリップ削除]
- [クリップ転送]
- [クリップ転送(Proxy)]
- [クリップフィルター]
- [カスタマイズビュー]

クリップの詳細情報を表示する

フルメニューの [Clip Operations] - [クリップ詳細表示] を選択します。
マルチセクターを左右へ押すと、前後のクリップへ移動することができます。



1. 現在のクリップの画像

2. タイムコード表示

[TC Index] : クリップのタイムコード

[開始] : 記録開始点のタイムコード

[終了] : 記録終了点のタイムコード

Duration : 収録時間

3. 収録日時と変更日時

4. 現在選択されているメモリーカード

5. メモリーカードのプロテクトアイコン

6. クリップ番号/クリップ総数

7. バッテリーアイコン

8. クリップの情報

クリップ名/記録フォーマット/特殊記録撮影情報/収録機器名

クリップフラグを付ける

クリップにクリップフラグ ([OK] / [NG] / [KP]) を付けると、クリップフラグを基準にクリップを絞り込んで表示することができます。

クリップフラグを付けたいクリップのサムネイルを選択し、フルメニューの [Clip Operations] - [クリップフラグ設定] からクリップフラグを選びます。

設定値	付加されるクリップフラグ
[OKフラグ追加]	[OK]
[NGフラグ追加]	[NG]

設定値	付加されるクリップフラグ
[KEEPフラグ追加]	KP

ヒント

- クリップフラグ機能を割り当てたアサインボタンを使用してクリップフラグを付けることもできます。
- ユーザー機能画面の [User 1] ～ [User 6] にクリップフラグ機能を割り当てることもできます。

クリップをフィルターで表示する

フルメニューの [Clip Operations] - [クリップフィルター] で表示したいフラグを選ばと、指定したフラグの付いているクリップのみを表示することができます。
すべてのクリップを表示するには、[全て] を選んでください。

ヒント

- [表示] が割り当てられたアサインボタンまたはUSERボタンを押すと、フィルターを順に切り替えることもできます。

クリップを削除する

メモリーカードからクリップを削除することができます。
フルメニューの [Clip Operations] - [クリップ削除] - [クリップセレクト] / [全クリップ] を選択します。
[クリップセレクト] : 任意のクリップを削除します。1度に複数のクリップを選択することもできます。
[全クリップ] : 表示されているすべてのクリップを削除します。

クリップをインターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送する

詳細は下記をご覧ください。

[ファイルを送送するための準備をする](#)

[クリップを選んで送送する](#)

クリップ一覧画面の情報を変更する

サムネイルの下に表示されるクリップ/フレーム情報を変更します。
フルメニューの [Clip Operations] - [カスタマイズビュー] - [クリップキャプション] から、表示したい内容を選びます。
[クリップ名] : クリップ名
[日時] : 作成日時または最終変更日時
[タイムコード] : タイムコード
[デュレーション] : 収録時間
[通し番号] : サムネイル番号

関連項目

- [\[TC/Media\] メニュー](#)

TP1002215197

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

フルメニュー一覧から機能を探す

MENUボタンを長押しすると、撮影や再生に必要な各種設定を行うフルメニューがLCDモニター/ビューファインダーに表示されます。外部ビデオモニターに表示させることもできます。

メニュー名	説明
[Shooting] メニュー	撮影に関する設定
[Project] メニュー	プロジェクトの基本的な設定
[Paint/Look] メニュー	画質に関する設定
[TC/Media] メニュー	タイムコードとメモリーカードに関する設定
[Monitoring] メニュー	ビデオ出力やビューファインダー出力に関する設定
[Audio] メニュー	音声に関する設定
[Clip Operations] メニュー	クリップ操作に関する設定
[Technical] メニュー	技術的な内容の設定
[Network] メニュー	ネットワークに関する設定
[Maintenance] メニュー	時計や言語設定などの機器設定

フルメニューの階層

[Shooting] メニュー	[ISO/ゲイン]
	[Exposure Index]
	[シャッター]
	[自動露出]
	[ホワイトバランス]
	[ホワイトバランス設定]
	[フォーカス]
	[FPS]
	[LUT On/Off]
	[ノイズサプレッション]
	[フリッカー低減]
	[画像ブレ補正]

[Project] メニュー	[基本設定]
	[記録フォーマット]
	[アナモデスクイーズ]
	[HDR設定]
	[同時記録]
	[Proxy記録]
	[インターバルレック]
	[HDMI記録トリガー]
	[アサイナブルボタン]
	[アサイナブルダイヤル]
	[マルチFnダイヤル]
	[Allファイル]
[Paint/Look] メニュー	[Sceneファイル]
	[基本Look]
	[Paint設定の初期化]
	[ブラック]
	[ブラックガンマ]
	[ニー]
	[ディテール]
	[マトリクス]
	[マルチマトリクス]
[TC/Media] メニュー	[タイムコード]
	[TCディスプレイ]
	[ユーザービット]
	[HDMI TC出力]
	[クリップ名設定]
	[メディア更新]
	[メディア初期化]

[Monitoring] メニュー	[出力On/Off]
	[出力フォーマット]
	[画面表示出力]
	[画面表示On/Off設定]
	[フレームライン]
	[LCDモニター表示設定]
	[VF表示設定] * ビューファインダー（別売）を装着している場合のみ表示されます。
	[ガンマ表示アシスト]
	[フォーカスマップ]
	[ピーキング]
	[ゼブラ]
	[ピント拡大]
[Audio] メニュー	[音声記録フォーマット]
	[32bit float WAV記録]
	[音声入力]
	[音声出力]
[Clip Operations] メニュー	[クリップ詳細表示]
	[クリップフラグ設定]
	[クリップ保護/解除]
	[クリップ削除]
	[クリップ転送]
	[クリップ転送(Proxy)]
	[クリップフィルター]
	[カスタマイズビュー]

[Technical] メニュー	[露出アシスト]
	[テスト信号]
	[警告&タリー]
	[キーロック]
	[タッチ操作]
	[レックレビュー]
	[ズーム]
	[ズームレバースピード]
	[Bluetooth ズーム]
	[GPS]
	[メニュー設定]
	[USB]
	[ファン制御]
	[レンズ]
	[自動欠陥補正]
	[センサークリーニング]
	[電源設定]
[Network] メニュー	[ネットワーク設定]
	[無線LAN]
	[有線LAN]
	[USBテザリング]
	[Bluetooth]
	[ファイル転送]
	[ストリーミング]
	[ネットワークリセット]
[Maintenance] メニュー	[ アクセシビリティ]
	[日時あわせ]
	[オールリセット]
	[アワーズメーター]
	[機器情報]
	[ファームウェア]

TP1002215198

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

フルメニューの操作方法

フルメニュー画面の表示や操作は以下の方法で行います。

MENUボタン

長押しするとフルメニューを表示します。フルメニューの表示中に押すと元の画面に戻ります。

マルチセレクトター

ボタンを8方向へ押すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。
マルチセレクトターを押すと、選択している項目を決定します。

マルチファンクションダイヤル

マルチファンクションダイヤルを回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。
マルチファンクションダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

BACKボタン

1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

タッチ操作

タッチ操作でメニュー項目や設定値を選択できます。

ご注意

- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。
- フルメニューの [Technical] - [タッチ操作] - [設定] を [Off] に設定している場合、タッチ操作はできません。

メニューを設定する

マルチセレクトターを8方向へ押すか、またはマルチファンクションダイヤルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、マルチセレクトターまたはマルチファンクションダイヤルを押して決定します。タッチ操作の場合は、設定したい項目をタップします。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大8行まで表示します。選択肢が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。タッチ操作の場合は、上下にフリックして選択項目を表示させます。
- 選択肢の設定値の範囲が大きい項目の場合（例：-99 ~ +99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定の変更が可能な状態であることを示します。
- 項目を実行する [実行] を選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、一旦メニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行またはキャンセルを選択してください。

TP1002215199

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。



- 1 タッチ操作、またはマルチファンクションダイヤルやマルチセレクターで入力したい文字タイプを選択し、決定する。

タップまたは左右にドラッグしてカーソルを移動できます。

- [ABC] : 英大文字
- [abc] : 英小文字
- [123] : 数字
- [!#\$] : 特殊文字

- 2 選んだ文字タイプから文字を選択し、決定する。

カーソルが次の欄に移動します。

- : カーソルの位置にスペースを入力します。
- ←/→ : カーソル位置を移動します。
- : カーソルの左の文字を削除します。

- 3 入力が終わったら、[完了]を選択し、決定する。

文字列を確定して、入力画面が消えます。

キャンセルする場合は、[キャンセル]を選択します。

ご注意

- パスワード入力時には伏字切り替えボタンが表示されます。アスタリスク表示と通常の文字表示を切り替えることができます。

TP1002215200

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

画面を音声で読み上げる

画面上のテキストなどの情報を音声で読み上げることができます。

読み上げ設定をする

フルメニューの [Maintenance] - [🗑️ アクセシビリティ] - [音声読み上げ] - [設定] を [On] に設定します。

ヒント

- 読み上げ音声の出力先は、本体スピーカーとヘッドホンです。

読み上げ速度の設定をする

フルメニューの [Maintenance] - [🗑️ アクセシビリティ] - [音声読み上げ] - [速度] で 速度を設定します。

読み上げ音量の設定をする

フルメニューの [Maintenance] - [🗑️ アクセシビリティ] - [音声読み上げ] - [音量] で 音量を設定します。

起動時の読み上げのオン/オフの設定をする

フルメニューの [Maintenance] - [🗑️ アクセシビリティ] - [音声読み上げ] - [電源On時に音声読み上げOn] を [有効] / [無効] に設定します。

[有効] : MENUボタンを押しながら本機の電源をオンにすることで音声読み上げをオンにすることができます。

[無効] : 起動時の音声読み上げはオフです。

ご注意

- 実際に音声読み上げが行われるまで、MENUボタンを押し続けてください。
- お買い上げ状態では [電源On時に音声読み上げOn] は [有効] に設定されています。初期設定画面で音声読み上げ機能を使用しなかった場合は、初期設定画面終了時に自動的に [無効] に設定されます。

TP1002215203

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

画面を拡大表示する

撮影画面や再生画面、メニュー画面などを拡大して表示することができます。
拡大表示が割り当てられたボタンを押すと、拡大倍率の設定に従って画面が拡大表示されます。

ご注意

- 一部の画面や表示物は、拡大表示に対応していません。
- 撮影映像や再生映像は拡大しません。撮影映像の拡大にはピント拡大機能をご使用ください。

拡大表示を有効に設定する

- フルメニューの [Maintenance] - [ アクセシビリティ] - [画面拡大] - [設定] を [有効] に設定する。
確認メッセージが表示されます。
- [実行] を選択する。
画面拡大機能が有効になり、アサインابلボタン4に画面拡大機能が割り当てられます。

拡大倍率の設定をする

フルメニューの [Maintenance] - [ アクセシビリティ] - [画面拡大] - [拡大倍率] で拡大倍率を設定します。
撮影環境や表示内容に応じて、複数の倍率を選択できます。

拡大表示に使うボタンの設定をする

拡大表示を割り当てたボタンを変更したい場合に設定します。
フルメニューの [Maintenance] - [ アクセシビリティ] - [画面拡大] - [画面拡大ボタン] で設定します。
アサインابلボタン1～アサインابلボタン6/ VF/LCD切り替えボタン/フォーカスホールドボタンのいずれかに拡大表示を設定できます。

ヒント

- フルメニューの [Project] - [アサインابلボタン] でもアサインابلボタンに拡大表示を割り当てることができます。

ご注意

- [アサインابلボタン] - [画面拡大] の割り当てをすべて解除すると、フルメニューの [Maintenance] - [ アクセシビリティ] - [画面拡大] - [設定] が [無効] に変更されます。
- [ アクセシビリティ] - [画面拡大] - [設定] を [無効] に設定すると、[アサインابلボタン] - [画面拡大] が割り当てられているすべてのアサインابلボタンの設定が初期値に戻ります。
- [ アクセシビリティ] - [画面拡大] - [設定] を [無効] に設定しているときに、[アサインابلボタン] でいずれかのボタンに拡大表示を割り当てると、[画面拡大] - [設定] が [有効] に変更されます。

画面拡大の操作方法

- 拡大表示が割り当てられたボタンを押すことで画面が拡大表示されます。
- 画面拡大中は、マルチセクターまたはタッチ操作（ドラッグ）で表示する位置を動かすことができます。メニューやメッセージの操作は、マルチファンクションダイヤルで行います。
- 拡大表示が割り当てられたボタンを押すたびに、[拡大倍率] で設定した倍率で、拡大していない状態→拡大倍率1→拡大倍率2→…拡大していない状態の順に切り替わります。
- 拡大表示を解除するには、ボタンを繰り返し押しして通常の画面表示に戻してください。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【Shooting】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Shooting】－【ISO/ゲイン】

ゲインに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
【モード】	【ISO】 / 【dB】	【ISO】	ゲイン設定モードを選択する。 ご注意 ● ログ撮影のときは、本設定は【ISO】に固定されます。
【ISO/ゲイン 選択】	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 【ISO/ゲイン】メニューの設定値と初期設定値	－	ゲインを設定する。
【ショックレス ゲイン】	【On】 / 【Off】	【Off】	ショックレスゲインをオン/オフする。
【基準感度】	【高】 / 【中】 / 【低】 / 【低（デュアルゲイン）】	【低】	カスタム撮影用の基準感度を設定する。
【Base ISO】	【ISO 12800】 / 【ISO 4000】 / 【ISO 800】 / 【ISO800(デュアルゲイン)】	【ISO 800】	ログ撮影（【Cine EI】 / 【Flexible ISO】）用の基準ISO感度を設定する。 ご注意 ● 【Cine EI Quick】のときは本設定は表示のみとなります。設定はEIゲイン設定値に連動します。

【Shooting】－【Exposure Index】

Exposure Indexに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[EI選択]	● [Cine EI] モード時、[Base ISO] が [ISO800(デュアルゲイン)] / [ISO 800] のとき : 200EI / 4.0E 250EI / 4.3E 320EI / 4.7E 400EI / 5.0E 500EI / 5.3E 640EI / 5.7E 800EI / 6.0E 1000EI / 6.3E 1250EI / 6.7E 1600EI / 7.0E 2000EI / 7.3E 2500EI / 7.7E 3200EI / 8.0E ● [Cine EI] モード時、[Base ISO] が [ISO 4000] のとき : 1000EI / 4.0E 1250EI / 4.3E 1600EI / 4.7E 2000EI / 5.0E 2500EI / 5.3E 3200EI / 5.7E 4000EI / 6.0E 5000EI / 6.3E 6400EI / 6.7E 8000EI / 7.0E 10000EI / 7.3E 12800EI / 7.7E 16000EI / 8.0E ● [Cine EI] モード時、[Base ISO] が [ISO 12800] のとき : 3200EI / 4.0E 4000EI / 4.3E 5000EI / 4.7E 6400EI / 5.0E 8000EI / 5.3E 10000EI / 5.7E 12800EI / 6.0E 16000EI / 6.3E 20000EI / 6.7E 25600EI / 7.0E 32000EI / 7.3E 40000EI / 7.7E 51200EI / 8.0E ● [Cine EI Quick] モード時 : 200EI / 4.0E 250EI / 4.3E 320EI / 4.7E 400EI / 5.0E 500EI / 5.3E 640EI / 5.7E 800EI / 6.0E 1000EI / 6.3E 1250EI / 6.7E 1600EI / 7.0E 2000EI / 5.0E 2500EI / 5.3E	-	ログ撮影（ [Cine EI] / [Cine EI Quick] ）用のEIゲイン値を設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
	3200EI / 5.7E 4000EI / 6.0E 5000EI / 6.3E 6400EI / 6.7E 8000EI / 5.3E 10000EI / 5.7E 12800EI / 6.0E 16000EI / 6.3E 20000EI / 6.7E 25600EI / 7.0E 32000EI / 7.3E 40000EI / 7.7E 51200EI / 8.0E		

【Shooting】－【シャッター】

電子シャッターの動作を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【モード】	【スピード】 / 【角度】	【角度】	電子シャッターのモードを選択する。 動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用する。秒数でシャッター速度を設定する【スピード】モードと開角度でシャッター速度を設定する【角度】モードを選択する。
【ステップ/ 連続 選択】	【ステップ】 / 【連続】	【ステップ】	シャッタースピードの設定方式を選択する。
【角度（ステップ）】	64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 360.0° / 300.0° / 270.0° / 240.0° / 216.0° / 210.0° / 180.0° / 172.8° / 150.0° / 144.0° / 120.0° / 90.0° / 86.4° / 72.0° / 45.0° / 30.0° / 22.5° / 11.25° / 5.6°	180.0°	【角度】モード選択時、プリセットされた開角度から設定する。 ご注意 プロジェクトフレームレートが100Pまたは119.88Pの場合、2F～64Fを選択できません。
【角度（連続）】	360.0°～4.2°	180.0°	【角度】モード選択時、細かい開角度から設定する。
【シャッタースピード On/Off】	【On】 / 【Off】	【Off】	【スピード】モード選択時の露光時間を【スピード（ステップ）】 / 【スピード（連続）】の設定値に従うか、またはフル露光にするかを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[スピード (ステップ)]	64F ～ 1/8000 設定値は、選択されている記録フォーマットのプロジェクトフレームレートによって異なります。 119.88P : 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 100P : 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 59.94P : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 50P : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 29.97P : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/30 / 1/40 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 25P : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/25 / 1/33 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 24P、23.98P : 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/24 / 1/32 / 1/48 / 1/50 / 1/60 / 1/96 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000	119.88P : 1/120 100P : 1/100 59.94P : 1/60 50P : 1/50 29.97P : 1/30 25P : 1/25 24P、 23.98P : 1/24	[スピード] モード選択時、シャッタースピードを設定する。 ご注意 プロジェクトフレームレートが100Pまたは119.88Pの場合、2F～64Fを選択できません。
[スピード (連続)]	1/23.99～1/8000	–	[スピード] モード選択時、細かいシャッタースピードを設定する。

[Shooting] – [自動露出]

自動露出調整の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[レベル]	+3.0 / +2.75 / +2.5 / +2.25 / +2.0 / +1.75 / +1.5 / +1.25 / +1.0 / +0.75 / +0.5 / +0.25 / ±0 / -0.25 / -0.5 / -0.75 / -1.0 / -1.25 / -1.5 / -1.75 / -2.0 / -2.25 / -2.5 / -2.75 / -3.0	±0	自動検出した露出に対する明暗レベルを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔モード〕	〔逆光補正〕 / 〔スタンダード〕 / 〔スポットライト〕	〔スタンダード〕	自動露出調整の動作モードを設定する。 〔逆光補正〕：中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード 〔スタンダード〕：標準モード 〔スポットライト〕：中心となる被写体にスポットライトが当たっているとき、白潰れを軽減するモード
〔スピード〕	-99 ~ +99	±0	自動露出調整の調整スピードを設定する。
〔AGC〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	オートゲインコントロールをオン/オフする。
〔AGCリミット〕	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 〔AGCリミット〕の設定値と初期設定値	—	オートゲインコントロールの最大ゲインを設定する。
〔AGCポイント〕	F2.8 / F4 / F5.6	F2.8	〔AGC〕を〔On〕に設定している場合に、オートゲインコントロールを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
〔オートシャッター〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	オートシャッターをオン/オフする。
〔A.SHTリミット〕	1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250 / 1/2000	1/2000	オートシャッターの最速シャッタースピードを設定する。
〔A.SHTポイント〕	F5.6 / F8 / F11 / F16	F11	〔オートシャッター〕を〔On〕に設定している場合に、オートシャッターを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
〔クリップハイライト〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をオン/オフする。
〔検出枠〕	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 〔カスタム〕	1	被写体の明るさに追従して露出を自動調整する測光範囲を選択する。 （露出手動調整しているときは無効）
〔検出枠表示〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	測光範囲の表示をオン/オフする。
〔検出枠幅〕	40 ~ 999	500	測光範囲の幅を設定する。
〔検出枠高さ〕	70 ~ 999	500	測光範囲の高さを設定する。
〔検出枠水平位置〕	-479 ~ +479	±0	測光範囲の水平位置を設定する。
〔検出枠垂直位置〕	-464 ~ +464	±0	測光範囲の垂直位置を設定する。

【Shooting】 – 【ホワイトバランス】

ホワイトバランスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
〔ホワイトバランス選択〕	A / B / C / D / E / F / G / H	A	ホワイトメモリーポジションを選択する。
〔オートホワイトバランス〕	〔実行〕 / 〔キャンセル〕	—	選択しているホワイトメモリーポジションに対して、オートホワイトバランスを実行する。 〔実行〕：実行する。
〔ATW〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	ATW機能をオン/オフする。 ご注意 ● ホワイトメモリーポジションを切り替えると、〔ATW〕は〔Off〕になります。
〔色温度選択〕	2000K ～ 15000K	3200K	選択しているホワイトメモリーポジションに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 ご注意 ● 〔色温度〕は、〔Rゲイン〕 / 〔Bゲイン〕調整時に2000Kや15000Kでクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な〔色温度〕値を表示できない場合があります。
〔ティント〕	−99 ～ +99	±0	選択しているホワイトメモリーポジションに保存されたホワイトバランスの〔ティント〕の値を設定する。 ご注意 ● 〔ティント〕は、〔Rゲイン〕 / 〔Bゲイン〕調整時に±99でクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な〔ティント〕値を表示できない場合があります。
〔Rゲイン〕	−99.0 ～ +99.0	±0.0	選択しているホワイトメモリーポジションに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
〔Bゲイン〕	−99.0 ～ +99.0	±0.0	選択しているホワイトメモリーポジションに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。
〔Preset値から選択〕	● 〔カスタム〕モード時： 3200K ±00 4300K ±00 5600K ±00 6300K ±00 〔キャンセル〕 ● 〔Cine EI〕モード時： 3200K ±00 4300K ±00 5500K ±00 〔キャンセル〕	〔キャンセル〕	選択しているホワイトメモリーポジションに保存するホワイトバランスの色温度を所定のプリセット値で設定する。 〔ティント〕値は±0.0になります。

ホワイトバランスの調整を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔ショックレスホワイト〕	〔Off〕 / 1 / 2 / 3	2	ホワイトバランスモード切り替え時のホワイトバランス変化速度を設定する。 〔Off〕：瞬時に切り替わる。 1～3：数字が大きいほどゆっくり切り替わる。
〔ATWスピード〕	1 / 2 / 3 / 4 / 5	3	オートホワイトモード時の反応速度を設定する。 1：最も反応速度が速い。

【Shooting】－【フォーカス】

フォーカスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔フォーカス運用〕	〔オートフォーカス〕 / 〔マニュアルフォーカス〕	〔オートフォーカス〕	レンズがオートフォーカス可能な状態のときのフォーカスの基本動作を設定する。
〔AFトラッキング速度〕	〔1(低速)〕 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 〔7(高速)〕	5	オートフォーカス中の被写体に移り変わる際のフォーカス駆動の速さを設定する。
〔AF乗り切り感度〕	〔1(粘る)〕 / 2 / 3 / 4 / 〔5(敏感)〕	〔5(敏感)〕	オートフォーカス中の被写体の乗り切り感度を設定する。
〔フォーカスエリア〕	〔ワイド〕 / 〔ゾーン〕 / 〔フレキシブルスポット〕	〔ワイド〕	オートフォーカス、プッシュオートフォーカスの対象とする領域を設定する。 〔ワイド〕：映像全域からフォーカスを合わせる位置を探す。 〔ゾーン〕：指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる点を探す。 〔フレキシブルスポット〕：映像の指定した位置にフォーカスを合わせる。
〔被写体認識AF〕	〔人物限定AF〕 / 〔人物優先AF〕 / 〔動物/鳥優先AF〕 / 〔動物優先AF〕 / 〔鳥優先AF〕 / 〔Off〕	〔人物優先AF〕	被写体検出AF機能の動作を設定する。 〔人物限定AF〕：カメラが被写体（人物）を検出したとき、人物の瞳、顔、頭部、体にフォーカスを合わせる。人物を検出しない間は、オートフォーカスが一時停止する。 〔人物優先AF〕：カメラが被写体（人物）を検出したとき、人物の瞳、顔、頭部、体にフォーカスを合わせる。顔/瞳/頭/体を検出しないときは、映像の最適な位置を自動的に判断し、その位置にフォーカスが合った状態にします。 〔動物/鳥優先AF〕：カメラが被写体（動物や鳥）の瞳/頭/体を検出したとき、動物や鳥の瞳/頭/体優先的にフォーカスを合わせる。瞳/頭/体を検出しないときは、映像の最適な位置を自動的に判断し、その位置にフォーカスが合った状態にします。 〔動物優先AF〕：カメラが被写体（動物）の瞳/頭/体を検出したとき、動物の瞳/頭/体に優先的にフォーカスを合わせる。瞳/頭/体を検出しないときは、映像の最適な位置を自動的に判断し、その位置にフォーカスが合った状態にします。 〔鳥優先AF〕：カメラが被写体（鳥）の瞳/頭/体を検出したとき、鳥の瞳/頭/体に優先的にフォーカスを合わせる。瞳/頭/体を検出しないときは、映像の最適な位置を自動的に判断し、その位置にフォーカスが合った状態にします。 〔Off〕：被写体認識AF機能を無効にします。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔認識対象 切換設定〕	〔人物優先AF〕 / 〔人物限定AF〕 / 〔動物/鳥優先AF〕 / 〔動物優先AF〕 / 〔鳥優先AF〕	すべての選択肢にチェックが付いている	〔被写体認識AF〕を割り当てたアサインボタンを押したときに切り替える被写体検出AF機能の動作を選択する。設定はチェックボックスで行います。
〔MF時の タッチ機能〕	〔トラッキングAF〕 / 〔スポットフォーカス〕	〔トラッキングAF〕	マニュアルフォーカス時にタッチ操作の動作を設定する。
〔マルチセ レクターの 機能〕	〔被写体選択 カーソル〕 / 〔ポインター〕	〔被写体選択 カーソル〕	マルチセクター操作によるオートフォーカス対象の指定方法を設定する。 〔被写体選択 カーソル〕：マルチセクターで被写体認識枠を選ぶことができる。 〔ポインター〕：マルチセクターでトラッキングAFポインターを動かして、画面上の被写体を自由に選ぶことができる。
〔ポインタ ーのカラー〕	〔オレンジ〕 / 〔白〕 / 〔黄〕 / 〔シアン〕 / 〔緑〕 / 〔マゼンタ〕 / 〔赤〕 / 〔青〕	〔オレンジ〕	フォーカス対象の指定に使用するポインターの色を設定する。
〔ポインタ ーの縁取り〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	フォーカス対象の指定に使用するポインターの縁取りをオン/オフする。
〔AFアシ スト〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	〔On〕に設定すると、オートフォーカス時、一時的に手動でフォーカスを合わせることができる。
〔AF測距 不能時のサ ーチ動作〕	〔サーチする〕 / 〔サーチしない〕	〔サーチしない〕	オートフォーカスを開始するとき、ピントが大きくボケている場合や、オートフォーカスでピントを合わせられないときのレンズの動作を設定する。

〔Shooting〕 – 〔FPS〕

撮像フレームレートとプロジェクトフレームレートを異なるフレームレートにするかどうかを設定します。

撮像フレームレートとプロジェクトフレームレートを異なるフレームレートにすることで、スローモーション/クイックモーション動画を撮影できます。

スローモーション/クイックモーションの再生速度は撮像フレームレートとプロジェクトフレームレートにより決まります。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔固定/可 変 選択〕	〔固定〕 / 〔可変〕	〔固定〕	フレームレート設定を等速撮影にするか、可変速撮影するかを選択する。 ご注意 〔可変〕を選んだ場合、動画はスローモーションまたはクイックモーションとなります。 - 音声は記録されません。 - オートシャッターは無効になります。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[FPS選択]	1fps ~ 60fps / 66fps / 72fps / 75fps / 88fps / 90fps / 96fps / 100fps / 110fps / 120fps / 150fps / 180fps / 200fps / 240fps	—	撮像フレームレートを選択する。 ご注意 設定値の範囲は、選択されているプロジェクトフレームレートやイメージャーモード、コーデック、ビデオフォーマットによって異なります。

【Shooting】 – 【LUT On/Off】

LUTの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[1 HDMI]	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	HDMI出力映像にモニターLUTを適用するか選択する。 ご注意 ログ撮影のときに設定できます。
[2 Proxy/リモートLV]	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	Proxyおよびリモートライブビューの出力映像にモニター LUTを適用するか選択する。 ご注意 ログ撮影のときに設定できます。
[3 LCDモニター/VF]	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	LCDおよびビューファインダーの出力映像にモニター LUTを適用するか選択する。 ご注意 - ログ撮影のときに設定できます。 [2 Proxy/リモートLV] の設定が [LUT On] のときは、本設定は [LUT On] に固定されます。

【Shooting】 – 【ノイズサプレッション】

ノイズサプレスの設定を行います。

本機のノイズサプレス機能は、カスタム撮影/ログ撮影時ともにデフォルトでオンに設定されています。本機能はノイズ低減に効果的ですが、設定によっては映像の細部や質感が失われる場合があります。より多くの映像情報を保持したい場合は、ノイズサプレッションの効果を弱める、またはオフにすることをおすすめします。

ヒント

- 【設定(カスタム)】と【レベル(カスタム)】の設定値はそれぞれ【映像規格】の設定に反映されます。

ご注意

- ノイズサプレスの効果は、撮影条件やモードによって変わります。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔設定(カスタム)〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	カスタム撮影時のノイズサプレスをオン/オフする。 ご注意 ● ログ撮影のときは、本機能を設定できません。
〔レベル(カスタム)〕	〔低〕 / 〔中〕 / 〔高〕	〔中〕	カスタム撮影時のノイズサプレスのレベルを設定する。 ご注意 ● ログ撮影のときは、本機能を設定できません。
〔設定(Cine EI/Flex. ISO)〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	ログ撮影時のノイズサプレスをオン/オフする。 ご注意 ● カスタム撮影のときは、本機能を設定できません。
〔レベル(Cine EI/Flex. ISO)〕	〔低〕 / 〔中〕 / 〔高〕	〔中〕	ログ撮影時のノイズサプレスのレベルを設定する。 ご注意 ● カスタム撮影のときは、本機能を設定できません。

【Shooting】－【フリッカー低減】

フリッカー補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔モード〕	〔オート〕 / 〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	フリッカー補正モードを設定する。
〔周波数〕	〔50Hz〕 / 〔60Hz〕	〔60Hz〕	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。

【Shooting】－【画像ブレ補正】

手ブレ補正に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔手ブレ補正〕	〔ダイナミックアクティブ〕 / 〔アクティブ〕 / 〔スタンダード〕 / 〔Off〕	〔スタンダード〕	手ブレ補正機能を設定する。 ご注意 手ブレ補正スイッチ付きレンズを装着して、レンズ側のスイッチがOFFの場合、レンズ側が優先となるため、本機では設定を切り替えることができません。
〔補正調整〕	〔オート〕 / 〔マニュアル〕	〔オート〕	装着しているレンズによって、最適な手ブレ補正機能を設定する。 〔オート〕：レンズから取得した情報をもとに自動で手ブレ補正する。 〔マニュアル〕：〔焦点距離〕で設定した焦点距離で手ブレ補正する（8 mm～1000 mm）。
〔焦点距離〕	8mm / 9mm / 10mm / 11mm / 12mm / 13mm / 14mm / 15mm / 16mm / 17mm / 18mm / 19mm / 20mm / 21mm / 24mm / 25mm / 28mm / 30mm / 32mm / 35mm / 40mm / 45mm / 50mm / 55mm / 60mm / 70mm / 75mm / 80mm / 85mm / 90mm / 100mm / 105mm / 120mm / 135mm / 150mm / 180mm / 200mm / 210mm / 250mm / 300mm / 350mm / 400mm / 450mm / 500mm / 600mm / 800mm / 1000mm	8mm	〔補正調整〕が〔マニュアル〕のとき、カメラ内の手ブレ補正機能の焦点距離情報を設定する。 ご注意 レンズから焦点距離などの情報が取得できないときは、手ブレ補正が正しく動作しません。〔補正調整〕を〔マニュアル〕にして、装着しているレンズに合わせて〔焦点距離〕を設定してください。その場合、手ブレ補正アイコンの下に、設定している手ブレ補正焦点距離の値が表示されます。

TP1002215207

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【Project】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Project】－【基本設定】

基本設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【撮影モード】	【カスタム】 / 【Flexible ISO】 / 【Cine EI Quick】 / 【Cine EI】	【カスタム】	撮影モードを設定する。
【映像規格】	【SDR(BT.709)】 / 【HDR(HLG)】	【SDR(BT.709)】	カスタム撮影時の記録/出力の映像規格を設定する。
【Cine EI/Flexible ISO設定】			
【入力カラースペース】	【S-Gamut3/SLog3】 / 【S-Gamut3.Cine/SLog3】	【S-Gamut3.Cine/SLog3】	ログ撮影時の色域を設定する。
【LUTファイルの埋め込み】	【On】 / 【Off】	【On】	3D LUTファイル（CUBEファイル）のメタデータ記録をオン/オフする。

【Project】－【記録フォーマット】

記録フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【Projectフレームレート】	119.88 / 100 / 59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 24 / 23.98	23.98	プロジェクトフレームレートを選択する。
【イメージャーモード】	【FF 5K 3:2】 / 【FF 5K 17:9】 / 【FF 5K 16:9】 / 【FFc 4.5K 17:9】 / 【FFc 4.5K 16:9】 / 【FFc 3.8K 16:9】 / 【S35 3.2K 16:9】	【FF 5K 16:9】	イメージャーサイズを選択する。 ヒント - プロジェクトフレームレートが24のときは、【S35 3.2K 16:9】を選択できません。 - プロジェクトフレームレートが119.88 / 100のときは、【FF 5K 3:2】 / 【FF 5K 17:9】 / 【FFc 4.5K 17:9】 / 【FFc 3.8K 16:9】を選択できません。
【内蔵記録 / RAW出力設定】	【内蔵記録のみ】 / 【内蔵記録 & RAW (HDMI)】 / 【RAW (HDMI) のみ】	【内蔵記録のみ】	内蔵記録と外部RAW出力の組み合わせを選択する。
【コーデック】	【X-OCN LT】 / 【X-OCN C1】 / 【X-OCN C2】 / 【XAVC HS-L 422】 / 【XAVC HS-L 420】 / 【XAVC S-I】 / 【XAVC S-L 422】 / 【XAVC S-L 420】	【XAVC S-L 422】	クリップの記録/再生コーデックを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔ビデオフォーマット〕	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 〔ビデオフォーマット〕 / 〔画質〕 / 〔ビットレート〕 の設定値	－	録画フォーマットを設定する。
〔画質〕	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 〔ビデオフォーマット〕 / 〔画質〕 / 〔ビットレート〕 の設定値	－	記録ビットレートを設定する。
〔ビットレート〕	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 〔ビデオフォーマット〕 / 〔画質〕 / 〔ビットレート〕 の設定値	－	記録ビットレートを表示する。

〔Project〕－〔アナモデスクイーズ〕

デスクイーズの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔レシオ〕	[Off(1.0x)] / [1.3x] / [1.5x] / [1.6x] / [1.8x] / [2.0x]	[Off(1.0x)]	アナモフィックレンズでの撮影時に、指定した出力系統に表示する映像のデスクイーズ倍率を設定する。

〔Project〕－〔HDR設定〕

HDRモードの設定を行います。

ご注意

- 〔撮影モード〕が〔カスタム〕で、〔映像規格〕が〔HDR(HLG)〕のときのみ設定できます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔LCD/VF SDRプレビュー〕	[On] / [Off]	[Off]	HDRモード時でガンマ表示アシストが有効なとき、LCDモニター/ビューファインダー映像を簡易的にHDRからSDRに変換した映像で表示する機能をオン/オフする。 ヒント ● [On] のときはLCDモニター/ビューファインダー映像に〔SDRゲイン〕が適用されます。
〔SDRゲイン〕	0dB ～ -15dB	-6dB	HDRモード時で〔LCD/VF SDRプレビュー〕を〔On〕に設定している場合に、LCDモニター/ビューファインダーに適用される〔SDRゲイン〕の値を設定する。

〔Project〕－〔同時記録〕

同時記録の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[Off]	本線同時記録機能のオン/オフと記録先メディアを一括設定する。

【Project】 – 【Proxy記録】

プロキシ記録モードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[Off]	プロキシ記録モードをオン/オフする。
[Proxyフォーマット]	[HEVC 1920P (16M)] / [HEVC 1920P (9M)] / [AVC 1920P (9M)] / [AVC 1280P (6M)]	[AVC 1280P (6M)]	プロキシファイル用の映像のサイズを設定する。 ご注意 ● 本線記録のコーデック設定によって、以下のように選択可能なプロキシ記録フォーマットが異なります。 — コーデックがX-OCNの場合、[AVC 1920P (9M)] が選択可能 — コーデックがX-OCN以外の場合、[HEVC 1920P (16M)] / [HEVC 1920P (9M)] / [AVC 1280P (6M)] が選択可能
[オーディオチャンネル]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4]	[CH1/CH2]	プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを選択する。

【Project】 – 【インターバルレック】

インターバルレックの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[Off]	インターバルレックモードをオン/オフする。
[インターバルタイム]	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (sec) 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (min) 1 / 2 / 3 / 4 / 6 / 12 / 24 (hour)	1	[インターバルレック] が [On] の場合に、インターバル撮影時の録画間隔（インターバル）を設定する。
[フレーム数]	記録フレームレートが100P/119.88Pのとき： [4フレーム] / [12フレーム] / [24フレーム] 記録フレームレートが50P/59.94Pのとき： [2フレーム] / [6フレーム] / [12フレーム] 上記以外のとき： [1フレーム] / [3フレーム] / [6フレーム] / [9フレーム]	記録フレームレートが100P/119.88Pのとき： [4フレーム] 記録フレームレートが50P/59.94Pのとき： [2フレーム] 上記以外のとき： [1フレーム]	[インターバルレック] が [On] の場合に、インターバル撮影時の1回の記録フレーム数を設定する。

【Project】 – 【HDMI記録トリガー】

HDMI記録制御の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[Off]	HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御をオン/オフする。 ご注意 HDMI出力信号による制御を行う場合は、フルメニューの [TC/Media] - [HDMI TC出力] - [設定] を [On] に設定してください。

【Project】 - 【アサインابلボタン】

アサインابلボタンへの機能割り当て設定を行います。

ボタンによって割り当てられる機能が異なります。詳細については「[アサインابلボタン](#)」をご覧ください。

メニュー項目	細目と設定値	内容
<1> ~ <6>/ [<VF/LCD>] / [フォーカスホール ドボタン] / [グラブ ボタン] / [グラブボ タン(半押し)] / [<User 1>] ~ [<User 6>]	[Off] / [Base ISO/感度] / [ISO/ゲイン] / [AGC] / [Push AGC] / [アイリス] / [オートアイリス] / [Push Auto Iris] / [シャッター] / [オートシャッター] / [自動露出レベル/モード] / [逆光補正] / [スポ ットライト] / [Preset値から選択(Wht)] / [ホワイトバランス] / [オー トホワイトバランス] / [ATW] / [ATWホールド] / [フォーカス運用] / [AF速度/感度] / [フォーカスセット] / [AFトランジション速度] / [AF 乗り移り感度] / [被写体認識AF] / [シングルAF(AF-S)] / [Push AF/Push MF] / [Focus Hold] / [LCD/VFピント拡大] / [HDMIピント 拡大] / [FPS] / [LUT On/Off 1] / [LUT On/Off 2] / [LUT On/Off 3] / [Press & H Log 1] / [Press & H Log 2] / [Press & H Log 3] / [デスクイーズレシオ] / [手ブレ補正] / [記録] / [レックレビュー] / [ショットマーク1] / [ショットマーク2] / [クリップフラグOK] / [ク リップフラグNG] / [クリップフラグKeep] / [スロット切り替え] / [カ ラーバー] / [タリー[フロント]] / [CALL] / [DURATION/TC/U-BIT] / [メディア(A)のフォーマット] / [メディア(B)のフォーマット] / [表 示] / [被写界深度情報] / [画面表示出力 HDMI] / [映像信号モニタ ー] / [フレームライン] / [LCDモニター明るさ] / [VF明るさ] / [LCD/VF調整] / [VF/LCD] / [ガンマ表示アシスト] / [フォーカスマ ップ] / [ピーキング] / [ゼブラ] / [フォルスカラー] / [音量] / [クリ ップ] / [タッチ操作] / [全画素超解像ズーム] / [ファン制御] / [自動 欠陥補正] / [ズームタイプ] / [ストリーミング] / [自動転送(Proxy)] / [画面拡大] / [ダイレクトメニュー] / [Home] / [メニュー]	アサインブルボタンに機 能を割り当てる。 [Base ISO/感度] : イ メージセンサーの基準感 度を切り替える。 [ISO/ゲイン] : [ISO] / [ゲインモー ド] / [値] のダイレク トメニューの操作を開始/ 終了する。 [AGC] : オートゲイン コントロールのオン/オフ を切り替える。 [Push AGC] : ボタンを 押している間、オートゲ インコントロールを有効 にする。 [アイリス] : アイリス ポジションの設定値を選 択する。 映像監視モードのときは 長押しでオート/マニユア ルアイリス設定の設定値 を選択する。 [オートアイリス] : オ ートアイリスのオン/オフ を切り替える。 [Push Auto Iris] : ボタ ンを押している間、オー トアイリスを有効にす る。 [シャッター] : [オー トシャッター] / シャッタ ー値のダイレクトメニュ ーを開始/終了する。 [オートシャッター] : オートシャッターのオン/ オフを切り替える。 [自動露出レベル/モー ド] : 自動露出レベル/モ ードのダイレクトメニュ ーを開始/終了する。 [逆光補正] : [逆光補 正] / [スタンダード] を 切り替える。 [スポットライト] : [スポットライト] / [ス タンダード] を切り替え る。 [Preset値から選択 (Wht)] : ホワイトバラン スプリセットモード値を 切り替える。 [ホワイトバランス] : WBモード/WB値のダイレ クトメニューを開始/終了 する。 [オートホワイトバラン ス] : ホワイトバランス を自動実行する。 [ATW] : オートホワイ

メニュー項目	細目と設定値	内容
		トのオン/オフを切り替える。 〔ATWホールド〕：オートホワイトの動作を一時停止する。 〔フォーカス運用〕：オートフォーカス/マニュアルフォーカスを切り替える。 〔AF速度/感度〕：フォーカスの動作速度の設定とフォーカスが乗り移る感度の設定を切り替える。 〔フォーカスセット〕：フォーカスエリアの設定を行う。 〔AFトラッキング速度〕：被写体が移り変わる際のフォーカス駆動の速さを切り替える。 〔AF乗り移り感度〕：被写体の乗り移り感度を切り替える。 〔被写体認識AF〕：被写体認識オートフォーカスの動作を切り替える。 〔シングルAF(AF-S)〕：押すと一時的に高速でオートフォーカスが動作し、押下中は合焦した時点でフォーカスポジションを保つ。 〔Push AF/Push MF〕：フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合に、ボタンを押している間はオートフォーカスになる。 フォーカスモードがオートフォーカスの場合に、ボタンを押している間はマニュアルフォーカスになる。 〔Focus Hold〕：フォーカスモードがオートフォーカスの場合に、ボタンを押している間フォーカスを固定する。 〔LCD/VFピント拡大〕：LCDモニター出力とビューファインダー出力のピント拡大の倍率を切り替える。 〔HDMIピント拡大〕：HDMI出力のピント拡大の倍率を切り替える。 〔FPS〕：短押しで〔固定/可変 選択〕の〔可変〕/〔固定〕を切り替える。長押しで撮影時のフレームレートの設定をする。

メニュー項目	細目と設定値	内容
		[LUT On/Off 1] : [Shooting] – [LUT On/Off] – [1 HDMI] の設定を切り替える。 [LUT On/Off 2] : [Shooting] – [LUT On/Off] – [2 Proxy/リモートLV] の設定を切り替える。 [LUT On/Off3] : [3 LCDモニター/VF] の設定を切り替える。 [Press & H Log1] : ボタンを押している間、 [Shooting] – [LUT On/Off] – [1HDMI] を [LUT Off] にし、LUT を適用しないLog画質にする。 [Press & H Log2] : ボタンを押している間、 [Shooting] – [LUT On/Off] – [2Proxy/リモートLV] を [LUT Off] にし、LUTを適用しないLog画質にする。 [Press & H Log3] : ボタンを押している間、 [Shooting] – [LUT On/Off] – [3LCDモニター/VF] を [LUT Off] にし、LUTを適用しないLog画質にする。 [デスクイーズレシオ] : デスクイーズ表示の設定を切り替える。 [手ブレ補正] : 手ブレ補正機能の動作を切り替える。 [記録] : 撮影を開始または停止する。 [レックレビュー] : レックレビューのオン/オフを切り替える。 [ショットマーク1] : 記録中または再生中のクリップにショットマーク1を追加する。 [ショットマーク2] : 記録中または再生中のクリップにショットマーク2を追加する。 [クリップフラグOK] : [OKフラグ追加] を実行する、2回続けて押すと [クリップフラグ削除] を実行する。 [クリップフラグNG] : [NGフラグ追加] を実行する、2回続けて押すと [クリップフラグ削除] を実行する。

メニュー項目	細目と設定値	内容
		〔クリップフラグ Keep〕：〔KEEPフラグ追加〕を実行する、2回続けて押すと〔クリップフラグ削除〕を実行する。 〔スロット切り替え〕：メモリーカードを切り替える。 〔カラーバー〕：カラーバーのオン/オフを切り替える。 〔タリー〔フロント〕〕：記録/タリーランプ（フロント）の点灯/点滅のオン/オフを切り替える。 〔DURATION/TC/UBIT〕：〔タイムコード〕 / 〔ユーザービット〕 / 〔デュレーション〕を切り替える。 〔メディア(A)のフォーマット〕：カードスロットAのメモリーカードを初期化する。 〔メディア(B)のフォーマット〕：カードスロットBのメモリーカードを初期化する。 〔表示〕：画面表示のオン/オフを切り替える。 〔被写界深度情報〕：被写界深度表示を切り替える。 〔画面表示出力 HDMI〕：HDMI信号の画面表示出力をオン/オフする。 〔映像信号モニター〕：映像信号モニター（波形モニターなど）の表示を切り替える。 〔フレームライン〕：マーカーのオン/オフを切り替える。 〔LCDモニター明るさ〕：LCDモニター映像の明るさを切り替える。 〔VF明るさ〕：ビューファインダーの明るさを切り替える。 〔LCD/VF調整〕：LCDモニター/ビューファインダー画面の明るさ調節用レベルバーを表示する。 〔VF/LCD〕：ビューファインダーとLCDモニターを切り替える。 〔ガンマ表示アシスト〕：ガンマ表示アシストを切り替える。 〔フォーカスマップ〕：フォーカスマップのオン/

メニュー項目	細目と設定値	内容
		オフを切り替える。 〔ピーキング〕：ピーキングのオン/オフを切り替える。 〔ゼブラ〕：ゼブラのオン/オフを切り替える。 〔フォルスカラー〕：フォルスカラーのオン/オフを切り替える。 〔音量〕：ヘッドホン端子および本体内蔵スピーカーのモニター音声レベルを調整する。 〔クリップ〕：クリップ一覧画面を開始/終了する。 〔タッチ操作〕：タッチ操作のオン/オフを切り替える。 〔全画素超解像ズーム〕：全画素超解像ズームのオン/オフを切り替える。 〔ファン制御〕：ファン制御モードを切り替える。 〔自動欠陥補正〕：自動欠陥補正（自動ピクセルノイズリダクション）機能を実行する。 〔ズームタイプ〕：ズーム動作を切り替える。 〔ストリーミング〕：ストリームのオン/オフを切り替える。 〔自動転送(Proxy)〕：プロキシファイルの自動転送の〔On〕 / 〔Off〕を切り替える。 〔画面拡大〕：画面拡大表示の倍率を切り替える。 〔ダイレクトメニュー〕：ダイレクトメニューを開始/終了する。 〔Home〕：ホーム画面を表示する。 〔メニュー〕：フルメニュー表示を開始/終了する。

【Project】 – 【アサインابلダイヤル】

アサインابلダイヤルの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔アサインابلダイヤル〕	〔Off〕 / 〔ISO/ゲイン/EI〕 / 〔IRIS〕 / 〔自動露出レベル〕 / 〔音声入力レベル〕 / 〔マルチFnダイヤル〕	〔IRIS〕	IRISダイヤルのデフォルト機能を割り当てる。 〔Off〕 : アサインابلダイヤルの操作を無効にする。 〔ISO/ゲイン/EI〕 : ISO/Gain/EIを調節する。 〔IRIS〕 : アイリスを調節する。 〔自動露出レベル〕 : 自動露出レベルを調節する。 〔音声入力レベル〕 : 録音レベルを調節する。 〔マルチFnダイヤル〕 : マルチファンクションダイヤルとして動作する。
〔ダイヤル回転方向〕	〔標準〕 / 〔逆方向〕	〔標準〕	アサインابلダイヤルの回転方向を設定する。 〔標準〕 : 順方向に回転する。 〔逆方向〕 : 逆方向に回転する。

【Project】 – 【マルチFnダイヤル】

マルチファンクションダイヤルへの機能割り当て設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔デフォルト機能〕	〔Off〕 / 〔ISO/ゲイン/EI〕 / 〔IRIS〕 / 〔自動露出レベル〕 / 〔音声入力レベル〕	〔ISO/ゲイン/EI〕	マルチファンクションダイヤルのデフォルト機能を割り当てる。 〔Off〕 : マルチファンクションダイヤルの操作を無効にする。 〔ISO/ゲイン/EI〕 : ISO/ゲイン/EIを調節する。 〔IRIS〕 : アイリスを調節する。 〔自動露出レベル〕 : 自動露出レベルを調節する。 〔音声入力レベル〕 : 録音レベルを調節する。

【Project】 – 【Allファイル】

Allファイルに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔メディア(B)から読出〕	〔実行〕 / 〔キャンセル〕	–	Allファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードから読み込む。 〔実行〕 : 実行する。
〔メディア(B)に保存〕	〔実行〕 / 〔キャンセル〕	–	Allファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードに保存する。 〔実行〕 : 実行する。
〔ファイルID〕	–	–	ファイルに名前を付ける。
〔ネットワークデータ読出〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	〔メディア(B)から読出〕の実行時に、〔Network〕メニューの設定情報を読み込むかどうかを設定する。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【Paint/Look】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Paint/Look】－【Sceneファイル】

Sceneファイルに関する設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	内容
【内蔵メモリーから呼出】	－	内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを読み込み、現在の画質設定に適用する。
【内蔵メモリーに登録】	－	現在の画質設定状態をSceneファイルとして内蔵メモリーに保存する。
【内蔵メモリーから削除】	－	内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを削除する。
【プリセット呼出】	カスタム撮影で【映像規格】－【SDR(BT.709)】を選択している場合：【S-Cinetone】 / 【ITU709】 / 【709tone】 カスタム撮影で【映像規格】－【HDR(HLG)】を選択している場合：【HLG Live】 / 【HLG Natural】	プリセット画質（書き換え不可）を現在の画質設定に適用する。
【メディア(B)から読出】	－	メモリーカードからSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む。
【メディア(B)に保存】	－	内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する。
【ファイル名】	－	Sceneファイル名の表示および編集を行う。

【Paint/Look】－【基本Look】

基本ルックに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔選択〕	カスタム撮影で〔映像規格〕－〔SDR(BT.709)〕を選択している場合：〔S-Cinetone〕/〔ITU709〕/〔709tone〕/User1～User16 カスタム撮影で〔映像規格〕－〔HDR(HLG)〕を選択している場合：〔HLG Live〕/〔HLG Natural〕/User1～User16 ログ撮影を選択している場合：〔s709〕/〔709(800%)〕/〔S-Log3〕/〔ACESproxy〕/〔ACEScct〕/〔ACES1.0 709〕/User1～User16	カスタム撮影で〔映像規格〕－〔SDR(BT.709)〕を選択している場合：〔ITU709〕 カスタム撮影で〔映像規格〕－〔HDR(HLG)〕を選択している場合：〔HLG Live〕 ログ撮影を選択している場合：〔s709〕	基本ルックを選択する。 ヒント ● フルメニューの〔Project〕－〔基本設定〕－〔Cine EI/Flexible ISO設定〕の〔入力カラー空間〕が〔S-Gamut3/SLog3〕のときに、以下の基本ルックを選択できます。 －〔ACESproxy〕 －〔ACEScct〕 －〔ACES1.0 709〕
〔削除〕	－	－	選択した基本ルックを削除する。
〔全削除〕	－	－	すべての基本ルックを削除する。
〔メディア(B)からインポート〕	〔実行〕/〔キャンセル〕	－	カードスロットBに挿入したメモリーカードから基本ルックファイルを読み込む。 〔実行〕：実行する。
〔入力〕	〔S-Gamut3/SLog3〕/〔S-Gamut3.Cine/SLog3〕	〔S-Gamut3.Cine/SLog3〕	〔選択〕で選択している基本ルックの入力色域を設定する。
〔出力〕	〔BT.709〕/〔HLG〕	〔BT.709〕	〔選択〕で選択している基本ルックの出力色域を設定する。
〔AEレベルオフセット〕	0EV / 1/3EV / 2/3EV / 1EV / 4/3EV / 5/3EV / 2EV	0EV	〔選択〕で選択している基本ルックの露出基準値を設定する。

〔Paint/Look〕－〔Paint設定の初期化〕

基本ルック以外の〔Paint/Look〕メニューの設定値をリセットします。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	内容
〔基本Look以外初期化〕	〔実行〕/〔キャンセル〕	基本ルック以外の〔Paint/Look〕メニューの設定値のリセットを実行する。 〔実行〕：実行する。

〔Paint/Look〕－〔ブラック〕

ブラックの設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[マスターブラック]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	マスターブラックレベルを設定する。
[Rブラック]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	Rブラックレベルを設定する。
[Bブラック]	-99.0 ~ +99.0	±0.0	Bブラックレベルを設定する。

【Paint/Look】－【ブラックガンマ】

ブラックガンマの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[Off]	ブラックガンマ補正機能をオン/オフする。
[レンジ]	[Low] / [L.Mid] / [H.Mid]	[L.Mid]	ブラックガンマ補正の有効範囲を設定する。
[マスターブラックガンマ]	-7~±0~+7	±0	マスターブラックガンマレベルを設定する。

【Paint/Look】－【ニー】

ニー補正の設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off] / ---	【映像規格】－【SDR(BT.709)】を選択している場合：[On] 【HDR(HLG)】を選択している場合：[Off]	ニー補正をオン/オフする。 ヒント ● 【基本Look】－【選択】が【ITU709】、【709tone】、【HLG Live】または【HLG Natural】のときのみ有効です。
[オートニー]	[On] / [Off] / ---	【映像規格】－【SDR(BT.709)】を選択している場合：[On] 【HDR(HLG)】を選択している場合：[Off]	オートニーをオン/オフする。 ヒント ● 【設定】を【On】に設定している場合に、【基本Look】－【選択】－【ITU709】/【709tone】のときのみ有効です。
[ポイント]	75% ~ 109%	90%	ニーポイントを設定する。
[スロープ]	-99 ~ +99	±0	ニースロープを設定する。

【Paint/Look】－【ディテール】

ディテール調整の設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[On]	ディテールをオン/オフする。
[レベル]	-7 ~ +7	±0	ディテールレベルを設定する。
[マニュアル設定]	[On] / [Off] /---	[Off]	ディテール手動調整をオン/オフする。
[H/V比]	-2 ~ +2	±0	ディテール手動調整時に垂直 (V) /水平 (H) ディテールのバランスを設定する。
[B/Wバランス]	[タイプ1] / [タイプ2] / [タイプ3] / [タイプ4] / [タイプ5]	[タイプ3]	ディテール手動調整時に下側 (Black) /上側 (White) ディテールのバランスを設定する。
[リミット]	0 ~ 7	0	ディテール手動調整時にディテールのリミットレベルを設定する。
[クリスプニング]	0 ~ 7	0	ディテール手動調整時にクリスプニングレベルを設定する。
[ハイライトディテール]	0 ~ 4	0	ディテール手動調整時に高輝度部分のディテールレベルを設定する。

【Paint/Look】 - 【マトリクス】

マトリクス補正の設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[ユーザーマトリクス]	[On] / [Off]	[Off]	ユーザーマトリクス補正をオン/オフする。
[ユーザーマトリクス レベル]	-99 ~ +99	±0	映像全域の色の濃さを調整する。
[ユーザーマトリクス 色合い]	-99 ~ +99	±0	映像全域の色合いを調整する。
[ユーザーマトリクスR-G]	-99 ~ +99	±0	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[ユーザーマトリクスR-B]	-99 ~ +99	±0	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[ユーザーマトリクスG-R]	-99 ~ +99	±0	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[ユーザーマトリクスG-B]	-99 ~ +99	±0	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[ユーザーマトリクスB-R]	-99 ~ +99	±0	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[ユーザーマトリクスB-G]	-99 ~ +99	±0	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。

【Paint/Look】 - 【マルチマトリクス】

マルチマトリクス補正の設定を行います。

ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。

- [エリア表示] はすべての映像出力に適用されます。映像出力信号を本線信号として使っている場合などご注意ください。
- マルチマトリクス補正は、全色相を16分割した色軸毎に色相（ヒュー）と飽和度（サチュレーション）を調節します。調節したい色軸を選択する際に、[エリア表示] をオンにすることで、調節対象の色軸が撮影映像中のどの場所なのかを簡易的に確認できます。場所を確認したら、[エリア表示] をオフにしてから、色相（ヒュー）と飽和度（サチュレーション）を調節してください。
- 記録動作中、[エリア表示] はオフに固定されます。
- マルチマトリクス補正の設定画面から他に移動すると、[エリア表示] は自動的にオフになります。
- マルチマトリクス補正の設定中は、[表示] が割り当てられたアサインابلボタンは[エリア表示] の切り替えボタンとなります。[表示] が割り当てられたアサインابلボタンを押すたびに、[エリア表示] のオン/オフが切り替わります。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[Off]	マルチマトリクス補正をオン/オフする。
[エリア表示]	[On] / [Off]	[Off]	[16軸モード] で選択した調整対象の色軸に該当する対象領域を見分ける表示機能をオン/オフする。 撮影映像中の対象領域以外の部分をモノトーンで表示する。 ヒント ● マルチマトリクス補正の設定画面では、[表示] が割り当てられたアサインابلボタンで [エリア表示] のオン/オフを切り替えることができます。 ご注意 ● [エリア表示] はすべての映像出力に適用されます。映像出力信号を本線信号として使っている場合などご注意ください。
[リセット]	[実行] / [キャンセル]	—	各色軸の色相（ヒュー）と飽和度（サチュレーション）の設定値をすべて初期値にする。 [実行]：実行する。
[16軸モード]	B / B+ / MG- / MG / MG+ / R / R+ / YL- / YL / YL+ / G- / G / G+ / CY / CY+ / B-	B	調整対象の色軸を選択する。
[色相]	-99 ~ +99	±0	[16軸モード] で選択した調整対象の色軸の色相（ヒュー）を設定する。
[彩度]	-99 ~ +99	±0	[16軸モード] で選択した調整対象の色軸の飽和度（サチュレーション）を設定する。

TP1002215209

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【TC/Media】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【TC/Media】－【タイムコード】

タイムコードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【モード】	【プリセット】 / 【Regen】 / 【クロック】	【プリセット】	タイムコードの歩進モードを設定する。 【プリセット】：設定された値から歩進する。 【Regen】：前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。 【クロック】：内蔵時計をタイムコードとして使用する。
【Run】	【Rec Run】 / 【Free Run】	【Rec Run】	【Rec Run】：撮影時のみ歩進する。 【Free Run】：撮影時に関係なく常に歩進する。
【マニュアル設定】	－	－	タイムコードを任意の値に設定する。 【Set】：確定する。
【リセット】	【実行】 / 【キャンセル】	－	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 【実行】：実行する。
【TCフォーマット】	【DF】 / 【NDF】	【DF】	タイムコードのフォーマットを設定する。 【DF】：ドロップフレーム 【NDF】：ノンドロップフレーム
【USBタイムコード】	【On(PORT2)】 / 【Off】	【Off】	USB TC INアダプター接続の有効/無効を設定する。

【TC/Media】－【TCディスプレイ】

タイムデータ表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【タイムデータ表示】	【タイムコード】 / 【ユーザービット】 / 【デュレーション】	【タイムコード】	タイムデータの表示を切り替える。

【TC/Media】－【ユーザービット】

ユーザービットに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【モード】	【固定】 / 【現在時刻】	【固定】	ユーザービットのモードを設定する。 【固定】：ユーザービットに任意の固定値を使用する。 【現在時刻】：ユーザービットに現在の時分秒を使用する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔マニュアル設定〕	—	—	ユーザービットを任意の値に設定する。

〔TC/Media〕 – 〔HDMI TC出力〕

HDMI利用時のタイムコード出力に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔設定〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。

〔TC/Media〕 – 〔クリップ名設定〕

クリップ名に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔オートネーミング〕	〔Cam ID + Reel#〕 / 〔タイトル〕	〔Cam ID + Reel#〕	クリップの名を〔カメラID〕と〔リールナンバー〕で設定した値にするか、〔タイトルプレフィックス〕で設定した任意名にするかを設定する。
〔カメラID〕	A～Z	A	クリップ名の生成時のカメラIDを設定する。
〔リールナンバー〕	001～999	001	クリップ名の生成時の〔リールナンバー〕の数字部分を設定する。
〔カメラポジション〕	C / L / R	C	クリップ名の生成時のショットナンバーの先頭文字部分を設定する。
〔クリップ番号〕	〔連番〕 / 〔リセット〕	〔連番〕	クリップ番号の発番方法を設定する。 〔連番〕：本機に保持された連番カウンターの番号を起点に発番する方法。ただし、メモリーカード内のクリップのうち一番大きな番号が連番カウンターより大きい番号の場合は、その番号を起点に発番する。 〔リセット〕：メモリーカード内にあるクリップのうち一番大きな番号を起点に発番する方法。 ご注意 ● 〔コーデック〕がX-OCN以外に設定されている場合のみ設定できます。
〔連番カウンターリセット〕	〔実行〕 / 〔キャンセル〕	—	本機に保持された連番カウンターをリセットする。 〔実行〕：実行する。 ヒント ● クリップを記録するごとに、そのクリップの番号で連番カウンターを更新します。 ご注意 ● 〔コーデック〕がX-OCN以外に設定されている場合のみ設定できます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔タイトル名設定〕	任意の文字を入力する	C	クリップ名のタイトル部分を設定する。 ご注意 - 入力可能文字数は、1文字～37文字です。また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号(! # \$ % () + , - . ; = @ [] ^ _ ~) 〔コーデック〕がX-OCN以外に設定されている場合のみ設定できます。
〔XAVC Sルートフォルダ名〕	〔M4ROOT〕 / 〔Cam ID + Reel#〕	〔M4ROOT〕	記録メディア（XAVC Sファイル）のVolumeラベル名およびルートフォルダ名を設定する。 ヒント XAVC Sルートフォルダ名設定機能がない機種との互換が必要な場合は、本設定を工場出荷時の初期設定値のままご使用ください。

〔TC/Media〕 – 〔メディア更新〕

メモリーカード内の管理ファイルを更新します。

メニュー項目	細目と設定値	内容
〔メディア(A)〕	〔実行〕 / 〔キャンセル〕	カードスロットAのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 〔実行〕：実行する。
〔メディア(B)〕	〔実行〕 / 〔キャンセル〕	カードスロットBのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 〔実行〕：実行する。

〔TC/Media〕 – 〔メディア初期化〕

メモリーカードを初期化します。

メニュー項目	細目と設定値	内容
〔メディア(A)〕	〔フルフォーマット〕 / 〔クイックフォーマット〕 / 〔キャンセル〕	カードスロットAのメモリーカードを初期化する。
〔メディア(B)〕	〔フルフォーマット〕 / 〔クイックフォーマット〕 / 〔キャンセル〕	カードスロットBのメモリーカードを初期化する。

TP1002215210

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【Monitoring】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Monitoring】－【出力On/Off】

映像出力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[HDMI]	[On] / [Off]	[On]	HDMI出力をオン/オフする。

【Monitoring】－【出力フォーマット】

出力フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[HDMI]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 HDMI出力端子の出力フォーマット	HDMI出力の解像度設定をする。

【Monitoring】－【画面表示出力】

画面表示の出力設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[HDMI]	[On] / [Off]	[Off]	HDMI出力信号へのメニューやステータスなど、画面表示の重畳を設定する。

【Monitoring】－【画面表示On/Off設定】

撮影画面または再生画面に表示する項目を選択します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[カメラID]	[On] / [Off]	[On]	撮影画面または再生画面に表示する項目を選択する。
[フレームレート]	[On] / [Off]	[On]	
[シャッター]	[On] / [Off]	[On]	
[アイリス]	[On] / [Off]	[On]	
[ISO/ゲイン/EI]	[On] / [Off]	[On]	
[自動露出モード]	[On] / [Off]	[On]	
[AEレベル]	[On] / [Off]	[On]	
[ホワイトバランス]	[On] / [Off]	[On]	
[バッテリー残量]	[On] / [Off]	[On]	
[GPS]	[On] / [Off]	[On]	
[イメージャーモード]	[On] / [Off]	[On]	
[アナモデスクイーズ]	[On] / [Off]	[On]	
[Base ISO/感度]	[On] / [Off]	[On]	
[記録フォーマット]	[On] / [Off]	[On]	
[記録Look]	[On] / [Off]	[On]	
[水準器]	[On] / [Off]	[On]	
[ズーム位置]	[焦点距離] / [数値] / [バー] / [Off]	[焦点距離]	
[フォーカスモード]	[On] / [Off]	[On]	
[フォーカス位置]	[On] / [Off]	[On]	
[フォーカスエリア表示]	[On] / [Off]	[On]	
[被写体認識枠表示]	[On] / [Off]	[On]	
[トラッキングAF ポインター]	[On] / [Off]	[On]	
[合焦表示]	[On] / [Off]	[On]	
[被写界深度情報]	[On] / [Off]	[Off]	
[映像レベル警告]	[On] / [Off]	[On]	
[ガンマ表示アシスト]	[On] / [Off]	[On]	
[映像信号モニター]	[Off] / [波形] / [ベクトル] / [ヒストグラム]	[Off]	
[TC状態]	[On] / [Off]	[On]	
[出力Look]	[On] / [Off]	[On]	
[HDMI記録制御]	[On] / [Off]	[On]	
[Network状態]	[On] / [Off]	[On]	
[ファイル転送状態]	[On] / [Off]	[On]	

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
〔ストリーミング状態〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔画像ブレ補正〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔UWP RFレベル〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔オーディオレベルメーター〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔タイムコード〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔Look名〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔記録/再生状態〕	〔常にOn〕 / 〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔記録赤枠表示〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔タリー表示〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔クリップネーム〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔メディア状態〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔クリップ番号〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	
〔注意表示〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	

【Monitoring】 – 【フレームライン】

マーカー表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
〔設定〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔On〕	すべてのマーカー表示をまとめてオン/オフする。
〔カラー〕	〔白〕 / 〔黄〕 / 〔シアン〕 / 〔緑〕 / 〔マゼンタ〕 / 〔赤〕 / 〔青〕	〔白〕	マーカーの信号色を選択する。
〔センターマーカー〕	1 / 2 / 3 / 4 / 〔Off〕	〔Off〕	センターマーカーを選択する。
〔セーフティゾーン〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	セーフティゾーンマーカーをオン/オフする。
〔セーフティエリア〕	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	セーフティゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
〔アスペクトマーカー〕	〔ライン〕 / 〔マスク〕 / 〔Off〕	〔Off〕	アスペクトマーカーの比を選択する。
〔アスペクトマスク〕	0 ～ 15	12	マーカー外側のビデオ信号のレベルを設定する。
〔アスペクトセーフティゾーン〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	アスペクトセーフティゾーンマーカーをオン/オフする。
〔アスペクトセーフティエリア〕	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	アスペクトセーフティゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔アスペクトセレクト〕	1:1 / 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 17:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.39:1 / [カスタム]	2.39:1	アスペクトマーカ―を表示するときのアスペクト比を設定する。
〔カスタムアスペクト比〕	任意の値を入力する	01.00:01.00	アスペクト比を任意の値に設定する。 ご注意 ● [アスペクトセレクト] を [カスタム] に設定した場合に、この設定が有効になります。
〔ガイドフレーム〕	[On] / [Off]	[Off]	ガイドフレーム表示をオン/オフする。
〔100%マーカ―〕	[On] / [Off]	[Off]	100%マーカ―をオン/オフする。
〔ユーザーボックス〕	[On] / [Off]	[Off]	ユーザーボックスマーカ―の表示をオン/オフする。
〔ユーザーボックス幅〕	3 ～ 479	240	ユーザーボックスマーカ―の幅（中心から左右端までの距離）を設定する。
〔ユーザーボックス高さ〕	3 ～ 269	135	ユーザーボックスマーカ―の高さ（中心から上下端までの距離）を設定する。
〔ユーザーボックス水平位置〕	-476 ～ +476	0	ユーザーボックスマーカ―の中心の水平位置を設定する。
〔ユーザーボックス垂直位置〕	-266 ～ +266	0	ユーザーボックスマーカ―の中心の垂直位置を設定する。

〔Monitoring〕 – 〔LCDモニター表示設定〕

LCDモニターの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔LCDモニター明るさ〕	1 ～ 15	8	LCDモニター映像の明るさを調整する。
〔LCDモニターカラー表示〕	[カラー] / [B&W]	[カラー]	E-E表示/記録時のLCDモニターの表示モードを選択する。
〔LCDモニター反転表示〕	[オート] / [左右反転] / [上下左右反転] / [反転しない]	[オート]	LCDモニターの映像反転を選択する。

〔Monitoring〕 – 〔VF表示設定〕

ビューファインダーの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔LCDモニター/VF選択〕	〔LCDモニター優先オート〕 / [VF優先オート] / [LCDモニター] / [VF]	〔LCDモニター優先オート〕	点灯するデバイスをLCDモニター、またはVFのどちらかを選択する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[VF明るさ]	1～7	3	ビューファインダーの明るさを調節する。
[VFカラー表示]	[カラー] / [B&W]	[カラー]	ビューファインダーのカラーモードを選択する。
[VF倍率]	[標準] / [縮小]	[標準]	ビューファインダーの縮小表示を選択する。
[HDR時のVF映像]	[HDR] / [SDR(LCD同等)]	[HDR]	HDR時にVFに表示する映像のフォーマットを設定する。

【Monitoring】－【ガンマ表示アシスト】

ガンマ表示アシストの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[On]	[カスタム]－[映像規格]－[HDR(HLG)]時のガンマ表示アシスト機能をオン/オフする。 ご注意 [カスタム]－[映像規格]を[SDR(BT.709)]に設定しているとき、およびログ撮影のときは、本設定は[Off]に固定されます。

【Monitoring】－【フォーカスマップ】

フォーカスマップの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[Off]	フォーカスマップ機能のオン/オフを設定する。

【Monitoring】－【ピーキング】

ピーキングの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[Off]	ピーキングをオン/オフする。
[ピーキングレベル]	[高] / [中] / [低]	[中]	カラーピーキングの信号レベルを設定する。
[カラー]	[B&W] / [赤] / [黄] / [青]	[B&W]	カラーピーキングの信号色を選択する。

【Monitoring】－【ゼブラ】

ゼブラパターンの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[Off] / [ゼブラ1] / [ゼブラ2]	[Off]	ゼブラ表示の種類を選択する。
[ゼブラ1レベル]	0% ～ 109%	70%	[ゼブラ1] を表示するレベルを設定する。
[ゼブラ1アパーチャーレベル]	1% ～ 20%	10%	[ゼブラ1] のアパーチャーレベルを設定する。
[ゼブラ2レベル]	0% ～ 109%	100%	[ゼブラ2] を表示するレベルを設定する。

【Monitoring】 – 【ピント拡大】

ピント拡大の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[ピント拡大ボタン操作対象]	[LCDモニター/VF] / [HDMI]	[LCDモニター/VF]	アサインابلボタンで操作するピント拡大対象を設定する。

TP1002215211

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【Audio】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
設定項目について、詳細は下記をご覧ください。

[ブロックダイアグラム](#)

【Audio】－【音声記録フォーマット】

音声記録フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【音声記録フォーマット】	[48kHz/24bit] / [48kHz/32bit float] / [96kHz/24bit] / [96kHz/32bit float]	[48kHz/24bit]	音声記録フォーマットを設定する。 ご注意 [48kHz/32bit float] / [96kHz/24bit] / [96kHz/32bit float] に設定するときは、対応したマルチインターフェースシュー対応アクセサリーを接続し、フルメニューの【Audio】－【音声入力】－【CH1入力選択】～【CH4入力選択】で【シューCH1】～【シューCH4】を選択してください。

【Audio】－【32bit float WAV記録】

32bit Floatの音声データの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【設定】	[On] / [Off]	[Off]	32bit Floatの音声データを記録する機能のオン/オフを設定する。 ご注意 [On] に設定するときは、対応したマルチインターフェースシュー対応アクセサリーを接続し、フルメニューの【Audio】－【音声入力】－【CH1入力選択】～【CH4入力選択】で【シューCH1】～【シューCH4】を選択してください。

【Audio】－【音声入力】

音声入力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【CH1入力選択】	【外部マイク (L)】 / 【内蔵マイク】 / 【シューCH1】	【内蔵マイク】	CH1に対する入力元を切り替える。
【CH2入力選択】	【外部マイク (R)】 / 【内蔵マイク】 / 【シューCH2】	【内蔵マイク】	CH2に対する入力元を切り替える。

メニュー項目		細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[CH3入力選択]		[外部マイク (L)] / [内蔵マイク] / [シュ－CH1] / [シュ－CH3] / [Off]	[内蔵マイク]	CH3に対する入力元を切り替える。
[CH4入力選択]		[外部マイク (R)] / [内蔵マイク] / [シュ－CH2] / [シュ－CH4] / [Off]	[内蔵マイク]	CH4に対する入力元を切り替える。
[基準信号レベル]		−20dB / −18dB / −16dB / −12dB	−20dB	基準入力レベルの1 kHz信号の記録レベルを選択する。
[CH1 フィルター]	[風音低減]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH1に対する風音低減フィルターを設定する。
	[ノイズカットフィルター]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH1に対する雑音除去を設定する。
	[ズームノイズ (内蔵マイク)]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH1に対する電動ズーム中の内蔵マイクのモーター音低減を設定する。 ご注意 ● [CH1入力選択] を [内蔵マイク] に設定しているときにのみ有効です。
[CH2 フィルター]	[風音低減]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH2に対する風音低減フィルターを設定する。
	[ノイズカットフィルター]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH2に対する雑音除去を設定する。
	[ズームノイズ (内蔵マイク)]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH2に対する電動ズーム中の内蔵マイクのモーター音低減を設定する。 ご注意 ● [CH2入力選択] を [内蔵マイク] に設定しているときにのみ有効です。
[CH3 フィルター]	[風音低減]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH3に対する風音低減フィルターを設定する。
	[ノイズカットフィルター]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH3に対する雑音除去を設定する。
	[ズームノイズ (内蔵マイク)]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH3に対する電動ズーム中の内蔵マイクのモーター音低減を設定する。 ご注意 ● [CH3入力選択] を [内蔵マイク] に設定しているときにのみ有効です。

メニュー項目		細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[CH4 フィルター]	[風音低減]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH4に対する風音低減フィルターを設定する。
	[ノイズカットフィルター]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH4に対する雑音除去を設定する。
	[ズームノイズ (内蔵マイク)]	[On] / [Off]	[Off]	記録CH4に対する電動ズーム中の内蔵マイクのモーター音低減を設定する。 ご注意 ● [CH4入力選択] を [内蔵マイク] に設定しているときにのみ有効です。
[CH1レベル調整]		[オート] / [マニュアル]	[オート]	CH1の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。 ご注意 ● [CH1入力選択] / [CH2入力選択] がどちらも [内蔵マイク] に設定されている場合は、本設定に連動してCH2の自動/手動も切り替わります。
[CH2レベル調整]		[オート] / [マニュアル]	[オート]	CH2の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。 ご注意 ● [CH1入力選択] / [CH2入力選択] がどちらも [内蔵マイク] に設定されている場合は、[CH1レベル調整] の設定に連動してCH2の自動/手動も切り替わります。
[CH3レベル調整]		[オート] / [マニュアル]	[オート]	CH3の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。 ご注意 ● [CH3入力選択] / [CH4入力選択] がどちらも [内蔵マイク] に設定されている場合は、本設定に連動してCH4の自動/手動も切り替わります。
[CH4レベル調整]		[オート] / [マニュアル]	[オート]	CH4の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。 ご注意 ● [CH3入力選択] / [CH4入力選択] がどちらも [内蔵マイク] に設定されている場合は、[CH3レベル調整] の設定に連動してCH4の自動/手動も切り替わります。
[CH1入力レベル]		0 ~ 99	49	CH1の入力レベルを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[CH2入力レベル]	0 ～ 99	49	CH2の入力レベルを設定する。
[CH3入力レベル]	0 ～ 99	49	CH3の入力レベルを設定する。
[CH4入力レベル]	0 ～ 99	49	CH4の入力レベルを設定する。
[音声入力レベル]	0 ～ 99	99	音声入力レベルを設定する。 [CH1レベル] ～ [CH4レベル] の設定に従って、マスターボリュームとして使用できます。
[リミッターモード]	[Off] / -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	[Off]	オーディオ入力レベルの手動調節時の大きな信号に対するリミッター特性を選択する。
[CH1&2音量自動調整モード]	[モノラル] / [ステレオ]	[ステレオ]	CH1とCH2の自動レベル調整モードを設定する。 [ステレオ] に設定しているときは、チャンネル間でオートゲインコントロールが連動する。
[CH3&4音量自動調整モード]	[モノラル] / [ステレオ]	[ステレオ]	CH3とCH4の自動レベル調整モードを設定する。 [ステレオ] に設定しているときは、チャンネル間でオートゲインコントロールが連動する。
[AGCスペック]	-6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	-6dB	オートゲインコントロール特性を選択する。
[1kHzトーン (カラーバー)]	[On] / [Off]	[Off]	カラーバー表示中の1 kHzの基準音声信号をオン/オフする。 ご注意 ● [On] に設定すると、[CH3入力選択] / [CH4入力選択] を [Off] に設定している場合でも、1 kHzの基準音声信号をCH3/CH4に乘せます。
[CH1レベル]	XLRアダプター入力なし： [音声入力レベル] / [CH1入力レベル] / [音声入力レベル+CH1] XLRアダプター入力あり： [音声入力レベル] / [スルー]	XLRアダプター入力なし： [音声入力レベル+CH1] XLRアダプター入力あり： [音声入力レベル]	CH1の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。
[CH2レベル]	XLRアダプター入力なし： [音声入力レベル] / [CH2入力レベル] / [音声入力レベル+CH2] XLRアダプター入力あり： [音声入力レベル] / [スルー]	XLRアダプター入力なし： [音声入力レベル+CH2] XLRアダプター入力あり： [音声入力レベル]	CH2の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。
[CH3レベル]	XLRアダプター入力なし： [音声入力レベル] / [CH3入力レベル] / [音声入力レベル+CH3] XLRアダプター入力あり： [音声入力レベル] / [スルー]	XLRアダプター入力なし： [音声入力レベル+CH3] XLRアダプター入力あり： [音声入力レベル]	CH3の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[CH4レベル]	XLRアダプター入力なし： [音声入力レベル] / [CH4 入力レベル] / [音声入力レ ベル+CH4] XLRアダプター入力あり： [音声入力レベル] / [スル ー]	XLRアダプター入 力なし：[音声入 力レベル+CH4] XLRアダプター入 力あり：[音声入 力レベル]	CH4の音声入力レベル調整の組み合わせを設定 する。

【Audio】 – 【音声出力】

音声出力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[モニターチャ ンネル]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4] / [MIX ALL] / [CH1] / [CH2] / [CH3] / [CH4]	[CH1/CH2]	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する 音声チャンネルを選択する。 ご注意 ● 複数チャンネルの音声を同時出力する設定値を 選択した場合は、音割れしないように各チャ ンネルの出力レベルを下げて音声出力されま す。
[音量]	0 ～ 50	0	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーのモニター 音声レベルを調節する。
[ヘッドホン音 声]	[ライブ] / [処理済み音声]	[ライブ]	ヘッドホンへ出力する音声のタイミングを最速で 出力するか、ノイズリダクションなどの処理を加 えた音声を入力するかを選択する。
[ヘッドホン Mono/ST]	[モノラル] / [ステレオ]	[ステレオ]	ヘッドホン端子をモノラル出力にするか、ステレ オ出力にするかを選択する。
[アラームレベ ル]	0 ～ 7	4	警告音の音量を調整する。
[HDMI出力 CH]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4]	[CH1/CH2]	HDMIに出力される音声チャンネルの組み合わせ を設定する。

TP1002215212

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【Clip Operations】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【クリップ詳細表示】

メニュー項目	内容
【クリップ詳細表示】	クリップ詳細情報画面を開く。

【Clip Operations】 – 【クリップフラグ設定】

クリップフラグの編集を行います。

メニュー項目	内容
【OKフラグ追加】	【OK】フラグを付ける。
【NGフラグ追加】	【NG】フラグを付ける。
【KEEPフラグ追加】	【KEEP】フラグを付ける。
【クリップフラグ削除】	すべてのフラグを外す。

【Clip Operations】 – 【クリップ保護/解除】

クリップの保護設定を行います。

メニュー項目	内容
【クリップセレクト】	保護/保護を解除するクリップを選択して実行する。
【全クリップ保護】	すべてのクリップを保護する。
【全クリップ保護解除】	すべてのクリップの保護を解除する。

【Clip Operations】 – 【クリップ削除】

クリップを削除します。

メニュー項目	内容
【クリップセレクト】	任意のクリップを削除する。
【全クリップ】	クリップを一括削除する。

【Clip Operations】 – 【クリップ転送】

クリップを転送します。

ご注意

- 【Network】 – 【ネットワーク設定】 – 【認証設定編集】 – 【パスワード設定】でパスワードを設定していない場合、【クリップ転送】は設定できません。

メニュー項目	内容
[クリップセレクト]	任意のクリップを転送する。
[全クリップ]	クリップを一括転送する。 ご注意 転送できるクリップの上限は200件です。

【Clip Operations】 – 【クリップ転送(Proxy)】

プロキシクリップを転送します。

ご注意

- 【Network】 – 【ネットワーク設定】 – 【認証設定編集】 – 【パスワード設定】 でパスワードを設定していない場合、【クリップ転送(Proxy)】 は設定できません。

メニュー項目	内容
[クリップセレクト]	任意のクリップに対応しているプロキシクリップを転送する。
[全クリップ]	クリップに対応するプロキシクリップを一括転送する。 ご注意 転送できるクリップの上限は200件です。

【Clip Operations】 – 【クリップフィルター】

表示するクリップの設定を行います。

メニュー項目	内容
[OK]	[OK] フラグのついたクリップのみを表示する。
[NG]	[NG] フラグのついたクリップのみを表示する。
[KEEP]	[KEEP] フラグのついたクリップのみを表示する。
[None]	フラグのついていないクリップのみを表示する。
[全て]	フラグのありなしによらず、すべてのクリップを表示する。

【Clip Operations】 – 【カスタマイズビュー】

クリップ一覧画面の表示を切り替えます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[クリップキャプション]	[クリップ名] / [日時] / [タイムコード] / [デュレーション] / [通し番号]	[クリップ名]	サムネイル画像直下の表示内容を切り替える。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【Technical】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Technical】－【露出アシスト】

フォルスカラー、露出アシスト表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【フォルスカラー】	[On] / [Off]	[Off]	フォルスカラー機能を有効/無効にする。
【出力先】	[HDMI] / [LCDモニター/VF]	すべての選択肢にチェックが付いている	露出アシスト表示の出力先を設定する。設定はチェックボックスで行います。
【カラースケール】	[有効] / [無効]	[有効]	露出アシスト表示のカラースケール表示を設定する。

【Technical】－【テスト信号】

カラーバーの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【カラーバー】	[On] / [Off]	[Off]	カラーバーをオン/オフする。
【カラーバートイプ】	[ARIB] / [100%] / [75%] / [SMPTE]	[ARIB]	カラーバーの種類を選択する。

【Technical】－【警告&タリー】

記録/タリーランプの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【フロントタリーランプ】	[On] / [Off]	[On]	記録/タリーランプ（フロント）をオン/オフする。
【リアタリーランプ】	[On] / [Off]	[On]	記録/タリーランプ（リア）と録画START/STOPボタンのランプをオン/オフする。
【タリー制御】	【外部】 / 【インターナル】	【インターナル】	タリーコール制御情報を受け付ける対象を指定する。
【記録開始/停止音】	0 ～ 50	0	記録開始/終了時のピープ音の音量を調整する。

【Technical】－【キーロック】

キーロックの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[有効] / [無効]	[無効]	キーロック操作の有効/無効を設定する。 ヒント 有効にした場合、USERボタンを押しながらMENUボタンを1秒長押しすると、キーロック/キーロック解除ができます。
[Rec含む]	[On] / [Off]	[On]	キーロックの対象にカメラ上面部にある録画START/STOPボタンを含めるかどうかの設定をする。 ヒント [記録] が割り当てられているアサインボタンは、[On] にしてもキーロックの対象外となります。

【Technical】－【タッチ操作】

タッチ操作に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[On]	タッチ操作をオン/オフする。

【Technical】－【レックレビュー】

レックレビューの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[3s] / [10s] / [クリップ]	[クリップ]	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する時間を選択する。

【Technical】－【ズーム】

ズームの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[ズームタイプ]	[光学ズームのみ] / [入(全画素超解像)]	[光学ズームのみ]	ズームの種類を設定する。 [光学ズームのみ]：レンズを動かすことにより光学的なズームを行う。 [入(全画素超解像)]：画質劣化が少ない電子的なズームを行う。
[全画素超解像ズームタイプ]	[光学ズーム優先] / [スムーズ優先]	[スムーズ優先]	[全画素超解像ズーム] を使ったズームの動作を設定する。

【Technical】－【ズームレバースピード】

ズームレバーの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔1段目ズーム(待機中)〕	〔1(遅い)〕 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 〔8(速い) 〕	3	撮影待機中のズームレバーの1段目のズーム速度を設定する。
〔2段目ズーム(待機中)〕	〔1(遅い)〕 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 〔8(速い) 〕	〔8(速い) 〕	撮影待機中のズームレバーの2段目のズーム速度を設定する。
〔1段目ズーム(記録中)〕	〔1(遅い)〕 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 〔8(速い) 〕	3	撮影記録中のズームレバーの1段目のズーム速度を設定する。
〔2段目ズーム(記録中)〕	〔1(遅い)〕 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 〔8(速い) 〕	〔8(速い) 〕	撮影記録中のズームレバーの2段目のズーム速度を設定する。

【Technical】 – 【Bluetooth ズーム】

Bluetoothリモコンのズームレバーの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔ズームスピードタイプ〕	〔可変〕 / 〔固定〕	〔可変〕	Bluetoothリモコンのズームのスピードのタイプを設定する。
〔固定スピード(待機中)〕	〔1(遅い)〕 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 〔8(速い) 〕	3	撮影待機中のズーム速度を設定する。
〔固定スピード(記録中)〕	〔1(遅い)〕 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 〔8(速い) 〕	3	撮影記録中のズーム速度を設定する。

【Technical】 – 【GPS】

GPSの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔モバイルアプリから位置情報〕	〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	モバイルアプリからの位置情報を取得するかしないかを設定する。

【Technical】 – 【メニュー設定】

メニューに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔情報表示モードの操作〕	〔Home画面優先〕 / 〔ダイレクトメニュー優先〕	〔Home画面優先〕	情報表示モードのとき、ホーム画面の操作を優先するか、ダイレクトメニューの操作を優先するかを設定する。

【Technical】 – 【USB】

USB機能の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔USB接続モード(PORT1)〕	〔Off〕 / 〔USBリモート〕 / 〔USBテザリング〕	〔Off〕	ポート1で動作するUSB機能を選択する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔USB接続モード (PORT2)〕	〔Off〕 / 〔USBタイムコード〕 / 〔USBリモート〕	〔Off〕	ポート2で動作するUSB機能を選択する。

【Technical】 – 【ファン制御】

ファン制御モードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔設定〕	〔オート〕 / 〔最小〕 / 〔記録時Off〕	〔オート〕	ファン制御モードを設定する。 ご注意 〔記録時Off〕に設定していても、本機の内部温度が一定温度を超えるとファンが回転します。

【Technical】 – 【レンズ】

レンズに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔ズームリング操作方向〕	〔左回転(W)/右回転(T)〕 / 〔右回転(W)/左回転(T)〕	〔左回転(W)/右回転(T)〕	ズームリングの回転方向を設定する。
〔周辺光量補正〕	〔オート〕 / 〔オート(低)〕 / 〔Off〕	〔オート〕	自動周辺光量補正を設定する。
〔倍率色収差補正〕	〔オート〕 / 〔Off〕	〔オート〕	自動倍率色収差補正を設定する。
〔歪曲収差補正〕	〔オート〕 / 〔Off〕	〔オート〕	自動歪曲収差補正を設定する。
〔ブリージング補正〕	〔オート〕 / 〔Off〕	〔Off〕	レンズのブリージング補正を設定する。
〔フォーカス距離単位〕	〔メートル〕 / 〔フィート〕	〔メートル〕	〔被写界深度情報〕 / 〔フォーカス位置〕 の表示単位を設定する。

【Technical】 – 【自動欠陥補正】

自動欠陥補正機能を実行します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔自動欠陥補正〕	〔実行〕 / 〔キャンセル〕	–	自動欠陥補正（自動ピクセルノイズリダクション）機能を実行する。 〔実行〕：実行する。 ご注意 確実な遮光をするために、キャップを取り付けて、さらに黒い布で周囲を覆ってください。

【Technical】－【センサークリーニング】

センサークリーニング機能を実行します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【センサークリーニング】	【実行】 / 【キャンセル】	－	センサークリーニング機能を実行する。 【実行】：実行する。

【Technical】－【電源設定】

電源に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【パワーセーブ】	【Off】 / 【30min】 / 【5min】 / 【2min】 / 【1min】	【5min】	電源が自動で切れる時間を設定する。
【自動電源Off温度】	【標準】 / 【高】	【標準】	電源が切れる温度を設定する。
【USB給電】	【オート】 / 【PORT1】 / 【PORT2】 / 【Off】	【オート】	どのUSBポートから給電するかを設定する。

TP1002215214

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【Network】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Network】－【ネットワーク設定】

ネットワーク設定支援ツールを実行します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【モバイルアプリ設定】	－	－	ネットワーク設定支援ツールを起動する。
【LAN種別選択】	【無線LAN AP 2.4G】 / 【無線LAN AP 5G】 / 【無線LAN ST】 / 【有線LAN】 / 【Off】	【Off】	LANの接続方法を設定する。
【認証設定表示】	－	－	アクセス認証のユーザー名とパスワードをテキストとQRコードで表示する。 ご注意 ユーザー名やパスワードは、お買い上げ時にカメラが自動で生成し設定されます。任意のユーザー名とパスワードを設定する際は、他者に盗み見られないようご注意ください。
【認証設定編集】	【ユーザーネーム】	－	アクセス認証のためのユーザー名を設定する。 ご注意 入力可能文字数は16文字以下の文字列です。また、入力可能な文字は、以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（! % + , - . = -）
	【パスワード設定】	－	アクセス認証のためのパスワードを設定する。 ご注意 入力可能文字数は、英数字/記号で英字と数字の両方を含む8文字以上16文字以下の文字列です。また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号（! % + , - . = -）
	【パスワード生成】－【実行】 / 【キャンセル】	－	アクセス認証のためのパスワードを自動生成する。 【実行】：実行する。

【Network】－【無線LAN】

無線LANに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[アクセスポイント(2.4G)] / [アクセスポイント(5G)] / [ステーションモード] / [Off]	[Off]	無線LAN接続の動作モードを選択する。 ご注意 ● 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。
[チャンネル]	—	—	無線LANのチャンネルを表示する。 (アクセスポイントモードのみ)
[カメラSSID & パスワード]	—	—	本機のSSIDとパスワードを表示する。 (アクセスポイントモードのみ)
[パスワード再生成]	—	—	アクセスポイントモードのパスワードを再生成する。 (アクセスポイントモードのみ)
[カメラリモート操作]	[有効] / [無効]	[無効]	ステーションモードで本機と無線LAN接続されているモバイル機器からのリモートコントロールを許可するかを設定する。 (ステーションモードのみ)
[接続ネットワーク]	—	—	接続中の無線LANネットワークのアクセスポイントを表示する。 (ステーションモードのみ)
[ネットワーク検出]	—	—	無線LANネットワークのアクセスポイントを検出し、リスト表示する。 (ステーションモードのみ)
[WPS]	[実行] / [キャンセル]	—	WPS (Wi-Fi Protected Setup) による接続設定を開始する。 [実行] : 実行する。 (ステーションモードのみ) ご注意 ● セキュリティ設定されていない機器とWPSで接続設定することはできません。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[手動登録]	—	—	接続する無線LANネットワークのアクセスポイントを設定する。 (ステーションモードのみ)
	[SSID]	—	接続先アクセスポイントのSSIDを設定する。 ご注意 入力可能文字数は1文字～32文字以下です。また、入力可能な文字は以下です。 英字（大文字・小文字）、数字、記号(- . @ _ () ! " # \$ % & ' * + , / : ; < = > ? [\] ^ ` { } ~)
	[セキュリティ]	—	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を設定する。
	[パスワード]	—	接続先アクセスポイントのパスワードを設定する。 ヒント - セキュリティが [WPA2] または [WPA3] の場合は「*****」、セキュリティが [無し] の場合は空欄となります。 ご注意 - 入力可能文字数は以下です。 [WPA2] の場合：8文字以上63文字以下 [WPA3] の場合：8文字以上128文字以下 [無し] の場合：0文字 - また、入力可能な文字は以下です。 英字(大文字、小文字)・数字・記号(- . @ _ () ! " # \$ % & ' * + , / : ; < = > ? [\] ^ ` { } ~)
	[DHCP]	—	DHCPのオン/オフを設定する。
	[IPアドレス]	—	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のIPアドレスを設定する。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[サブネットマスク]	—	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のサブネットマスクを設定する。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
	[ゲートウェイ]	—	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のデフォルトゲートウェイを設定する。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[DNS自動設定]	—	[DHCP] を [On] に設定している場合に、DNS自動取得のオン/オフを設定する。
	[プライマリDNSサーバー]	—	[DNS自動設定] を [Off] に設定している場合に、本機のプライマリ DNSサーバーを設定する。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[セカンダリDNSサーバー]	—	[DNS自動設定] を [Off] に設定している場合に、本機のセカンダリ DNSサーバーを設定する。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[IPアドレス]	—	—	本機のIPアドレスを表示する。
[サブネットマスク]	—	—	本機のサブネットマスクを表示する。
[MACアドレス]	—	—	本機の無線LANインターフェースのMACアドレスを表示する。

【Network】 – 【有線LAN】

有線LANに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[設定]	[On] / [Off]	[Off]	有線LANをオン/オフする。 ご注意 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。
[カメラリモート操作]	[有効] / [無効]	[無効]	本機と有線LANで接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[詳細設定]	—	—	有線LANの詳細設定を行う。
	[DHCP]	—	DHCPのオン/オフを設定する。
	[IPアドレス]	—	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のIPアドレスを設定する。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[サブネットマスク]	—	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のサブネットマスクを設定する。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[ゲートウェイ]	—	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のデフォルトゲートウェイを設定する。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[DNS自動設定]	—	[DHCP] を [On] に設定している場合に、DNS自動取得のオン/オフを設定する。
	[プライマリDNSサーバー]	—	[DNS自動設定] を [Off] に設定している場合に、本機のプライマリDNSサーバーを設定する。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[セカンダリDNSサーバー]	—	[DNS自動設定] を [Off] に設定している場合に、本機のセカンダリDNSサーバーを設定する。 ご注意 ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[IPアドレス]	—	—	本機のIPアドレスを表示する。
[サブネットマスク]	—	—	本機のサブネットマスクを表示する。
[MACアドレス]	—	—	本機のMACアドレスを表示する。

USBテザリングの使用に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔設定〕	[On(PORT1)] / [Off]	[Off]	本機のUSBテザリング機能を有効/無効にする。
〔カメラリモート操作〕	[有効] / [無効]	[無効]	モバイル機器のアプリケーション「Monitor&Control」や「Creators' App for Enterprise」など、USBテザリング経由でのリモートコントロールの有効/無効を設定する。
〔IPアドレス〕	—	—	本機のIPアドレスを表示する。
〔サブネットマスク〕	—	—	本機のサブネットマスクを表示する。

〔Network〕 – 〔Bluetooth〕

Bluetoothの使用に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔設定〕	[On] / [Off]	[Off]	Bluetooth機能をオン/オフする。
〔ペアリング〕	[実行] / [キャンセル]	—	本機とBluetooth機器をペアリングする。 〔実行〕：実行する。
〔ペアリング済み機器管理〕	—	—	ペアリングしたBluetooth機器を表示/削除する。
〔機器アドレス〕	—	—	本機のBluetoothアドレスを表示する。

〔Network〕 – 〔ファイル転送〕

ファイルの転送に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
〔自動転送〕	[On] / [Off]	[Off]	オリジナルクリップの自動転送をオン/オフする。 ご注意 〔Project〕 – 〔同時記録〕 – 〔設定〕を〔On〕に設定している場合は、カードスロットBのメモリーカードに記録されるクリップは、自動転送の対象にはなりません。
〔自動転送 (Proxy)〕	[On] / [Off]	[Off]	〔On〕：プロキシクリップの自動転送を有効にする。 〔Off〕：プロキシクリップの自動転送を無効にする。 ご注意 〔Project〕 – 〔同時記録〕 – 〔設定〕を〔On〕に設定している場合は、カードスロットBのメモリーカードに記録されるクリップは、自動転送の対象にはなりません。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
〔デフォルト転送先サーバー〕	－	－	ファイルの転送先サーバーを選択する。ここで選択したサーバーは、オリジナルクリップやプロキシクリップの自動転送先、およびクリップ一覧画面からのクリップ転送先のサーバーになる。 〔転送先サーバー設定1〕～〔転送先サーバー設定3〕で設定した〔表示名〕の設定を表示する。
〔完了ジョブクリア〕	〔実行〕 / 〔キャンセル〕	－	転送完了済みのジョブをジョブリストから消去する。 〔実行〕：実行する。
〔全ジョブクリア〕	〔実行〕 / 〔キャンセル〕	－	すべての転送ジョブをジョブリストから消去する。 〔実行〕：実行する。
〔転送ジョブ一覧表示〕	－	－	転送ジョブの一覧を表示する。
〔転送先サーバー設定1〕	〔表示名〕	－	転送先設定の表示名を設定する。
	〔サービス〕－〔FTP〕	〔FTP〕	サーバーの種類を表示する。
	〔ホスト名〕	－	転送先サーバーのホスト名を設定する。
	〔ポート〕（1～65535）	21	転送先サーバーのポート番号を設定する。
	〔ユーザーネーム〕	－	転送先サーバー接続の認証用ユーザー名を設定する。
	〔パスワード〕	－	転送先サーバー接続の認証パスワードを設定する。
	〔パッシブモード〕－〔On〕 / 〔Off (アクティブモード)〕	〔Off (アクティブモード)〕	パッシブモードをオン/オフする。
	〔転送先ディレクトリ〕	－	転送先のディレクトリー名を設定する。
	〔セキュア転送設定〕－〔On〕 / 〔Off〕	〔Off〕	セキュアなFTP転送（FTPES）を行う〔On〕または行わない〔Off〕を設定する。
	〔ルート証明書〕－〔ロード〕 / 〔クリア〕 / 〔無し〕	〔無し〕	セキュアなFTP転送のためのルート証明書の読み込み、削除を設定する。 ご注意 証明書はメモリーカードのルートディレクトリに書き込んでください。ファイル名は以下に設定してください。 certification.pem（PEM形式） 読み込める証明書サイズは1証明書辺り最大1MBです。
	〔ルート証明書状態〕－〔ロード済〕 / 〔証明書無し〕	〔証明書無し〕	セキュアなFTP転送のためのルート証明書の読み込み状態を表示する。
	〔リセット〕－〔実行〕 / 〔キャンセル〕	－	〔転送先サーバー設定1〕の設定を初期値に戻す。 〔実行〕：実行する。
〔転送先サーバー設定2〕	〔転送先サーバー設定1〕と同じ	－	－
〔転送先サーバー設定3〕	〔転送先サーバー設定1〕と同じ	－	－

【Network】 – 【ストリーミング】

ストリーミングに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【設定】	[On] / [Off]	[Off]	ストリーミングをオン/オフする。
【送信先選択】	—	[RTMP/RTMPS 1]	ストリーミングの接続先を選択する。 [RTMP/RTMPS 1] ~ [RTMP/RTMPS 3]、[SRT-Caller 1] ~ [SRT-Caller 3] で設定した【表示名】を表示する。
【RTMP/RTMPS 1】	—	—	RTMP/RTMPSストリーミングの接続設定をする。
	【表示名】	—	【送信先選択】の表示名を入力する。
	【コーデック】	[H.264/AVC]	ストリーミングする映像のコーデックを表示する。
	【解像度】 – 3840×2160P / 1920×1080P / 1280×720P	1920×1080P	ストリーミングする映像の解像度を設定する。
	【ビットレート】	[6Mbps]	ストリーミングする映像のビットレートを設定する。
	【送信先URL】	—	接続するサーバーのURLを設定する。
	【ストリームキー】	—	ストリーミングで使用するストリームキーを設定する。
	【RTMPS証明書】 – [ロード] / [クリア] / [無し]	[無し]	既定証明書の読み込みや消去を行う。 ご注意 証明書はメモリーカードのルートディレクトリに書き込んでください。ファイル名は以下に設定してください。 RTMPS_certification.pem（PEM形式） 読み込める証明書サイズは1証明書辺り最大1MBです。
	【RTMPS証明書状態】 – [ロード済] / [初期値]	[初期値]	RTMPS接続用の証明書の読み込み状態を表示する。
	【リセット】 – [実行] / [キャンセル]	—	設定を初期値に戻す。 【実行】：実行する。
【RTMP/RTMPS 2】	【RTMP/RTMPS 1】と同じ	—	—
【RTMP/RTMPS 3】	【RTMP/RTMPS 1】と同じ	—	—
【RTMPS既定証明書群】	【置き換え】 – [実行] / [キャンセル]	—	既定証明書をカードスロットBのメモリーカードから読み込む。 【実行】：実行する。
	【リセット】 – [実行] / [キャンセル]	—	既定証明書群の設定を初期化する。 【実行】：実行する。
	【状態】	【プリインストール】	既定証明書群の状態を表示する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[SRT-Caller 1]	－	－	SRTストリーミングの接続設定をする。
	[表示名]	－	[送信先選択] の表示名を入力する。
	[コーデック] [H.264/AVC] / [H.265/HEVC]	[H.264/AVC]	ストリーミングする映像のコーデックを表示する。
	[解像度] 3840×2160P / 1920×1080P / 1280×720P	1920×1080P	ストリーミングする映像の解像度を設定する。
	[ビットレート]	[6Mbps]	ストリーミングのビットレートを設定する。
	[送信先URL]	－	接続するサーバーのURLを設定する。
	[ポート] (1 ～ 65535)	7001	ストリーミングの送信先のポートを設定する。
	[レイテンシー] (20ms ～ 8000ms)	[120 ms]	ストリーミングの配信遅延時間を設定する。
	[TTL] (1 ～ 255)	[64回]	ストリーミングのTTL値を設定する。
	[暗号化] － [無し] / [AES-128] / [AES- 256]	[無し]	ストリーミングの暗号化方式を設定する。
	[パスフレーズ]	－	ストリーミングの暗号化に使用するパスフレーズを設定する。
	[ARC] － [On] / [Off]	[On]	ストリーミング時のARCを有効にするか無効にするか設定する。
	[リセット] － [実行] / [キャンセル]	－	設定を初期値に戻す。 [実行] : 実行する。
[SRT-Caller 2]	[SRT-Caller 1] と同じ	－	－
[SRT-Caller 3]	[SRT-Caller 1] と同じ	－	－

【Network】－【ネットワークリセット】

ネットワークの設定をリセットします。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[リセット]	[実行] / [キャンセル]	ネットワークの設定をリセットする。 [実行] : 実行する。

TP1002215215

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【Maintenance】メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

【Maintenance】－ アクセシビリティ

音声読み上げ機能、画面拡大機能に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【音声読み上げ】	－	－	音声読み上げの設定を行う。
	【設定】－【On】/【Off】	【Off】	音声読み上げをオン/オフする。
	【速度】－【速い 4】/【速い 3】/【速い 2】/【速い 1】/【標準】/【遅い 1】/【遅い 2】	【標準】	音声読み上げの速度を設定する。
	【音量】－1 ～ 15	7	音声読み上げの音量を設定する。
	【電源On時に音声読み上げOn】－【有効】/【無効】	【有効】	MENUボタンを押しながら本機の電源をオンにしたときに、音声読み上げをオンにするかを設定する。
【画面拡大】	－	－	画面拡大表示の設定を行う。
	【設定】－【有効】/【無効】	【無効】	拡大表示をオン/オフする。
	【拡大倍率】－x1.5 / x2.0 / x2.5 / x3.0	すべての選択肢にチェックが付いている	拡大表示の拡大倍率を設定する。設定はチェックボックスで行う。
	【画面拡大ボタン】－【アサインابلボタン<1>】～【アサインابلボタン<6>】/【<VF/LCD>】/【Focus Holdボタン】	【アサインابلボタン<4>】	拡大表示に使うボタンを設定する。

【Maintenance】－ 【日時あわせ】

内蔵時計に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
【タイムゾーン】	【UTC -12:00】～【UTC +14:00】	お買い上げの国や地域により初期設定値は異なります。	UTCからの時差を30分単位で設定する。
【日付モード】	【年月日】/【月日年】/【日月年】	【年月日】	年月日の表示方式を選択する。 【年月日】：年月日の順 【月日年】：月日年の順 【日月年】：日月年の順
【12h/24h】	【12h】/【24h】	【24h】	時刻の表示形式を選択する。 【12h】：12時間表示 【24h】：24時間表示
【日付】	－	－	現在の日付を設定する。 【Set】：確定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[時刻]	—	—	現在の時刻を設定する。 [Set] : 確定する。
[自動日時補正]	[On] / [Off]	[On]	自動時刻補正をオン/オフする。
[自動タイムゾーン補正]	[On] / [Off]	[On]	自動タイムゾーン補正をオン/オフする。

【Maintenance】－【オールリセット】

工場出荷時の状態にリセットします。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[リセット]	[実行] / [キャンセル]	工場出荷時の状態にリセットする。 [実行] : 実行する。 ご注意 ● [Paint/Look] - [基本Look] - [メディア(B)からインポート] でインポートした3D LUTファイルは削除されません。インポートした3D LUTファイルをすべて削除する場合は、[Paint/Look] - [基本Look] - [全削除] を実行してください。
[ネットワークなしリセット]	[実行] / [キャンセル]	[Network] メニュー以下の設定を除いたメニュー設定値を工場出荷状態にリセットする。
[工場出荷状態に戻す]	[実行] / [キャンセル]	すべての設定やシーンファイル、ユーザーの基本ルックの値、レンズのフランジバックの調整値、ルート証明書（RTMPS、FTP）、アクセスポイント情報、アクセス認証情報、FTPサーバー設定、ネットワークストリーミング接続情報を削除し、工場出荷状態に戻す。

【Maintenance】－【アワーズメーター】

積算時間を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[アワーズ(システム)]	—	—	積算使用時間（リセット不可）を表示する。
[アワーズ(リセット)]	—	—	積算使用時間（リセット可）を表示する。
[リセット]	[実行] / [キャンセル]	—	[アワーズ(リセット)] を0にリセットする。 [実行] : 実行する。

【Maintenance】－【機器情報】

認証マークを表示します。

メニュー項目	内容
[認証マーク表示]	認証マークを表示する。

【Maintenance】－【ファームウェア】

バージョンを表示します。

バージョンアップ対象のファイルがあるとき、以下のメニュー項目の先頭に「●」が表示されます。

[Maintenance]

[ファームウェア]

[ファームアップデート]

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[バージョン番号]	Vx.xx	—	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
[ファームアップデート]	[実行] / [キャンセル]	—	本機のファームウェアをバージョンアップする。 ご注意 ● バッテリー残量が51%以上でないと、アップデートは行えません。十分に充電したバッテリーをお使いください。
[レンズバージョン]	Vxx	—	Eマウントレンズ・レンズアダプターのバージョン番号を表示する。

TP1002215216

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【ISO/ゲイン】メニューの設定値と初期設定値

【モード】 / 【映像規格】 / 【基本Look選択】 / 【基準感度】 / 【Base ISO】 の設定によって、【ISO/ゲイン】メニューの設定範囲と初期設定値が異なります。

カスタム撮影

【モード】を【ISO】、【映像規格】を【SDR(BT.709)】、【基本Look選択】をプリセットベーススルックに設定している場合

✓：設定可能

×：設定不可

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 320	×	×	✓（初期値）	✓（初期値）
ISO 400	×	×	✓	✓
ISO 500	×	×	✓	✓
ISO 640	×	×	✓	✓
ISO 800	×	×	✓	✓
ISO 1000	×	×	✓	✓
ISO 1250	×	×	✓	✓
ISO 1600	×	✓（初期値）	✓	✓
ISO 2000	×	✓	✓	✓
ISO 2500	×	✓	✓	✓
ISO 3200	×	✓	✓	×
ISO 4000	×	✓	✓	×
ISO 5000	✓（初期値）	✓	✓	×
ISO 6400	✓	✓	✓	×
ISO 8000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 10000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 12800	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 16000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 20000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 25600	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 32000	✓	✓	×	×
ISO 40000	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 51200	✓	✓ ¹⁾	×	×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 64000	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 80000	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 102400	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 128000	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×	×
ISO 160000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 204800	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 256000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 320000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 409600	✓ ¹⁾	×	×	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

【モード】を【ISO】、【映像規格】を【HDR(HLG)】、【基本Look選択】をプリセットベースルックに設定している場合

✓：設定可能

×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 320	×	×	×	×
ISO 400	×	×	×	×
ISO 500	×	×	×	×
ISO 640	×	×	×	×
ISO 800	×	×	✓（初期値）	✓（初期値）
ISO 1000	×	×	✓	✓
ISO 1250	×	×	✓	✓
ISO 1600	×	×	✓	✓
ISO 2000	×	×	✓	✓
ISO 2500	×	×	✓	✓
ISO 3200	×	×	✓	✓
ISO 4000	×	✓（初期値）	✓	✓
ISO 5000	×	✓	✓	✓
ISO 6400	×	✓	✓	✓
ISO 8000	×	✓	✓	×
ISO 10000	×	✓	✓	×
ISO 12800	✓（初期値）	✓	✓	×
ISO 16000	✓	✓	✓	×
ISO 20000	✓	✓	✓ ¹⁾	×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 25600	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 32000	✓	✓	×	×
ISO 40000	✓	✓	×	×
ISO 51200	✓	✓	×	×
ISO 64000	✓	✓	×	×
ISO 80000	✓	✓	×	×
ISO 102400	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 128000	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 160000	✓	×	×	×
ISO 204800	✓	×	×	×
ISO 256000	✓	×	×	×
ISO 320000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 409600	✓ ¹⁾	×	×	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

【モード】を【ISO】、【基本Look選択】をユーザーベーススリックに設定している場合

✓：設定可能

×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 320	×	×	×	×
ISO 400	×	×	×	×
ISO 500	×	×	×	×
ISO 640	×	×	×	×
ISO 800	×	×	✓（初期値）	✓（初期値）
ISO 1000	×	×	✓	✓
ISO 1250	×	×	✓	✓
ISO 1600	×	×	✓	✓
ISO 2000	×	×	✓	✓
ISO 2500	×	×	✓	✓
ISO 3200	×	×	✓	✓
ISO 4000	×	✓（初期値）	✓	✓
ISO 5000	×	✓	✓	✓
ISO 6400	×	✓	✓	✓
ISO 8000	×	✓	✓	×
ISO 10000	×	✓	✓	×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 12800	✓（初期値）	✓	✓	×
ISO 16000	✓	✓	✓	×
ISO 20000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 25600	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 32000	✓	✓	×	×
ISO 40000	✓	✓	×	×
ISO 51200	✓	✓	×	×
ISO 64000	✓	✓	×	×
ISO 80000	✓	✓	×	×
ISO 102400	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 128000	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 160000	✓	×	×	×
ISO 204800	✓	×	×	×
ISO 256000	✓	×	×	×
ISO 320000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 409600	✓ ¹⁾	×	×	×

¹⁾ フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

【モード】を【dB】、【映像規格】を【SDR(BT.709)】、【基本Look選択】をプリセットベースルックに設定している場合

✓：設定可能

×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
－3dB	✓	✓	✓	✓
－2dB	✓	✓	✓	✓
－1dB	✓	✓	✓	✓
0dB	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）
1dB	✓	✓	✓	✓
2dB	✓	✓	✓	✓
3dB	✓	✓	✓	✓
4dB	✓	✓	✓	✓
5dB	✓	✓	✓	✓
6dB	✓	✓	✓	✓
7dB	✓	✓	✓	✓
8dB	✓	✓	✓	✓

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
9dB	✓	✓	✓	✓
10dB	✓	✓	✓	✓
11dB	✓	✓	✓	✓
12dB	✓	✓	✓	✓
13dB	✓	✓	✓	✓
14dB	✓	✓	✓	✓
15dB	✓	✓	✓	✓
16dB	✓	✓	✓	✓
17dB	✓	✓	✓	✓
18dB	✓	✓	✓	✓
19dB	✓	✓	✓	×
20dB	✓	✓	✓	×
21dB	✓	✓	✓	×
22dB	✓	✓	✓	×
23dB	✓	✓	✓	×
24dB	✓	✓	✓	×
25dB	✓	✓	✓	×
26dB	✓	✓	✓	×
27dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
28dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
29dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
30dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
31dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
32dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
33dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
34dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
35dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
36dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
37dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
38dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

【モード】を【dB】、【映像規格】を【SDR(BT.709)】、【基本Look選択】をユーザーベースルックに設定している場合

✓：設定可能

×：設定不可

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
−3dB	✓	✓	✓	✓
−2dB	✓	✓	✓	✓
−1dB	✓	✓	✓	✓
0dB	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）
1dB	✓	✓	✓	✓
2dB	✓	✓	✓	✓
3dB	✓	✓	✓	✓
4dB	✓	✓	✓	✓
5dB	✓	✓	✓	✓
6dB	✓	✓	✓	✓
7dB	✓	✓	✓	✓
8dB	✓	✓	✓	✓
9dB	✓	✓	✓	✓
10dB	✓	✓	✓	✓
11dB	✓	✓	✓	✓
12dB	✓	✓	✓	✓
13dB	✓	✓	✓	✓
14dB	✓	✓	✓	✓
15dB	✓	✓	✓	✓
16dB	✓	✓	✓	✓
17dB	✓	✓	✓	✓
18dB	✓	✓	✓	✓
19dB	✓	✓	✓	×
20dB	✓	✓	✓	×
21dB	✓	✓	✓	×
22dB	✓	✓	✓	×
23dB	✓	✓	✓	×
24dB	✓	✓	✓	×
25dB	✓	✓	✓	×
26dB	✓	✓	✓	×
27dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
28dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
29dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
30dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
31dB	×	×	×	×
32dB	×	×	×	×
33dB	×	×	×	×
34dB	×	×	×	×
35dB	×	×	×	×
36dB	×	×	×	×
37dB	×	×	×	×
38dB	×	×	×	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

【モード】を【dB】、【映像規格】を【HDR(HLG)】に設定している場合

✓：設定可能

×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
－3dB	✓	✓	✓	✓
－2dB	✓	✓	✓	✓
－1dB	✓	✓	✓	✓
0dB	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）
1dB	✓	✓	✓	✓
2dB	✓	✓	✓	✓
3dB	✓	✓	✓	✓
4dB	✓	✓	✓	✓
5dB	✓	✓	✓	✓
6dB	✓	✓	✓	✓
7dB	✓	✓	✓	✓
8dB	✓	✓	✓	✓
9dB	✓	✓	✓	✓
10dB	✓	✓	✓	✓
11dB	✓	✓	✓	✓
12dB	✓	✓	✓	✓
13dB	✓	✓	✓	✓
14dB	✓	✓	✓	✓
15dB	✓	✓	✓	✓

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
16dB	✓	✓	✓	✓
17dB	✓	✓	✓	✓
18dB	✓	✓	✓	✓
19dB	✓	✓	✓	×
20dB	✓	✓	✓	×
21dB	✓	✓	✓	×
22dB	✓	✓	✓	×
23dB	✓	✓	✓	×
24dB	✓	✓	✓	×
25dB	✓	✓	✓	×
26dB	✓	✓	✓	×
27dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
28dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
29dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
30dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
31dB	×	×	×	×
32dB	×	×	×	×
33dB	×	×	×	×
34dB	×	×	×	×
35dB	×	×	×	×
36dB	×	×	×	×
37dB	×	×	×	×
38dB	×	×	×	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

ご注意

- 撮像フレームレートのHFR（ハイフレームレート）撮影時やプロジェクトフレームレートが119.88P/100P時の最低値は0dBとなります。

ログ撮影（【Flexible ISO】）

✓：設定可能

×

【Base ISO】	【ISO 12800】	【ISO 4000】	【ISO 800】	【ISO800(デュアルゲイン)】
ISO 320	×	×	×	×
ISO 400	×	×	×	×
ISO 500	×	×	×	×

【Base ISO】	【ISO 12800】	【ISO 4000】	【ISO 800】	【ISO800(デュアルゲイン)】
ISO 640	×	×	×	×
ISO 800	×	×	✓（初期値）	✓（初期値）
ISO 1000	×	×	✓	✓
ISO 1250	×	×	✓	✓
ISO 1600	×	×	✓	✓
ISO 2000	×	×	✓	✓
ISO 2500	×	×	✓	✓
ISO 3200	×	×	✓	✓
ISO 4000	×	✓（初期値）	✓	✓
ISO 5000	×	✓	✓	✓
ISO 6400	×	✓	✓	✓
ISO 8000	×	✓	✓	×
ISO 10000	×	✓	✓	×
ISO 12800	✓（初期値）	✓	✓	×
ISO 16000	✓	✓	✓	×
ISO 20000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 25600	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 32000	✓	✓	×	×
ISO 40000	✓	✓	×	×
ISO 51200	✓	✓	×	×
ISO 64000	✓	✓	×	×
ISO 80000	✓	✓	×	×
ISO 102400	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 128000	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 160000	✓	×	×	×
ISO 204800	✓	×	×	×
ISO 256000	✓	×	×	×
ISO 320000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 409600	✓ ¹⁾	×	×	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

TP1002215217

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【AGCリミット】の設定値と初期設定値

【モード】 / 【映像規格】 / 【基本Look選択】 の設定によって、【AGCリミット】メニューの設定範囲と初期設定値が異なります。

カスタム撮影

【モード】を【ISO】、【映像規格】を【SDR(BT.709)】、【基本Look選択】をプリセットベースルックに設定している場合

✓：設定可能

×：設定不可

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 320	×	×	×	×
ISO 400	×	×	✓	✓
ISO 500	×	×	✓	✓
ISO 640	×	×	✓	✓
ISO 800	×	×	✓	✓
ISO 1000	×	×	✓	✓
ISO 1250	×	×	✓	✓
ISO 1600	×	×	✓	✓
ISO 2000	×	✓	✓（初期値）	✓（初期値）
ISO 2500	×	✓	✓	✓
ISO 3200	×	✓	✓	×
ISO 4000	×	✓	✓	×
ISO 5000	×	✓	✓	×
ISO 6400	✓	✓	✓	×
ISO 8000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 10000	✓	✓（初期値）	✓ ¹⁾	×
ISO 12800	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 16000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 20000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 25600	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 32000	✓（初期値）	✓	×	×
ISO 40000	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 51200	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 64000	✓	✓ ¹⁾	×	×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 80000	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 102400	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 128000	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×	×
ISO 160000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 204800	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 256000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 320000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 409600	✓ ¹⁾	×	×	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

【モード】を【ISO】、【映像規格】を【HDR(HLG)】、【基本Look選択】をプリセットベースルックに設定している場合

✓：設定可能

×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 320	×	×	×	×
ISO 400	×	×	×	×
ISO 500	×	×	×	×
ISO 640	×	×	×	×
ISO 800	×	×	×	×
ISO 1000	×	×	✓	✓
ISO 1250	×	×	✓	✓
ISO 1600	×	×	✓	✓
ISO 2000	×	×	✓	✓
ISO 2500	×	×	✓	✓
ISO 3200	×	×	✓	✓
ISO 4000	×	×	✓	✓
ISO 5000	×	✓	✓（初期値）	✓（初期値）
ISO 6400	×	✓	✓	✓
ISO 8000	×	✓	✓	×
ISO 10000	×	✓	✓	×
ISO 12800	×	✓	✓	×
ISO 16000	✓	✓	✓	×
ISO 20000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 25600	✓	✓（初期値）	✓ ¹⁾	×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 32000	✓	✓	×	×
ISO 40000	✓	✓	×	×
ISO 51200	✓	✓	×	×
ISO 64000	✓	✓	×	×
ISO 80000	✓（初期値）	✓	×	×
ISO 102400	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 128000	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 160000	✓	×	×	×
ISO 204800	✓	×	×	×
ISO 256000	✓	×	×	×
ISO 320000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 409600	✓ ¹⁾	×	×	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

【モード】を【ISO】、【基本Look選択】をユーザーベーススリックに設定している場合

✓：設定可能

×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 320	×	×	×	×
ISO 400	×	×	×	×
ISO 500	×	×	×	×
ISO 640	×	×	×	×
ISO 800	×	×	×	×
ISO 1000	×	×	✓	✓
ISO 1250	×	×	✓	✓
ISO 1600	×	×	✓	✓
ISO 2000	×	×	✓	✓
ISO 2500	×	×	✓	✓
ISO 3200	×	×	✓	✓
ISO 4000	×	×	✓	✓
ISO 5000	×	✓	✓（初期値）	✓（初期値）
ISO 6400	×	✓	✓	✓
ISO 8000	×	✓	✓	×
ISO 10000	×	✓	✓	×
ISO 12800	×	✓	✓	×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
ISO 16000	✓	✓	✓	×
ISO 20000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 25600	✓	✓（初期値）	✓ ¹⁾	×
ISO 32000	✓	✓	×	×
ISO 40000	✓	✓	×	×
ISO 51200	✓	✓	×	×
ISO 64000	✓	✓	×	×
ISO 80000	✓（初期値）	✓	×	×
ISO 102400	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 128000	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 160000	✓	×	×	×
ISO 204800	✓	×	×	×
ISO 256000	✓	×	×	×
ISO 320000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 409600	✓ ¹⁾	×	×	×

¹⁾ フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

【モード】を【dB】、【映像規格】を【SDR(BT.709)】、【基本Look選択】をプリセットベースルックに設定している場合

✓：設定可能

×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
－3dB	×	×	×	×
－2dB	×	×	×	×
－1dB	×	×	×	×
0dB	×	×	×	×
1dB	×	×	×	×
2dB	×	×	×	×
3dB	✓	✓	✓	✓
4dB	×	×	×	×
5dB	×	×	×	×
6dB	✓	✓	✓	✓
7dB	×	×	×	×
8dB	×	×	×	×
9dB	✓	✓	✓	✓

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
10dB	×	×	×	×
11dB	×	×	×	×
12dB	✓	✓	✓	✓
13dB	×	×	×	×
14dB	×	×	×	×
15dB	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）
16dB	×	×	×	×
17dB	×	×	×	×
18dB	✓	✓	✓	✓
19dB	×	×	×	×
20dB	×	×	×	×
21dB	✓	✓	✓	×
22dB	×	×	×	×
23dB	×	×	×	×
24dB	✓	✓	✓	×
25dB	×	×	×	×
26dB	×	×	×	×
27dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
28dB	×	×	×	×
29dB	×	×	×	×
30dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
31dB	×	×	×	×
32dB	×	×	×	×
33dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
34dB	×	×	×	×
35dB	×	×	×	×
36dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
37dB	×	×	×	×
38dB	×	×	×	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

【モード】を【dB】、【映像規格】を【SDR(BT.709)】、【基本Look選択】をユーザーベースルックに設定している場合

✓：設定可能

×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
−3dB	×	×	×	×
−2dB	×	×	×	×
−1dB	×	×	×	×
0dB	×	×	×	×
1dB	×	×	×	×
2dB	×	×	×	×
3dB	✓	✓	✓	✓
4dB	×	×	×	×
5dB	×	×	×	×
6dB	✓	✓	✓	✓
7dB	×	×	×	×
8dB	×	×	×	×
9dB	✓	✓	✓	✓
10dB	×	×	×	×
11dB	×	×	×	×
12dB	✓	✓	✓	✓
13dB	×	×	×	×
14dB	×	×	×	×
15dB	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）
16dB	×	×	×	×
17dB	×	×	×	×
18dB	✓	✓	✓	✓
19dB	×	×	×	×
20dB	×	×	×	×
21dB	✓	✓	✓	×
22dB	×	×	×	×
23dB	×	×	×	×
24dB	✓	✓	✓	×
25dB	×	×	×	×
26dB	×	×	×	×
27dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
28dB	×	×	×	×
29dB	×	×	×	×
30dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
31dB	×	×	×	×
32dB	×	×	×	×
33dB	×	×	×	×
34dB	×	×	×	×
35dB	×	×	×	×
36dB	×	×	×	×
37dB	×	×	×	×
38dB	×	×	×	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

【モード】を【dB】、【映像規格】を【HDR(HLG)】に設定している場合

✓：設定可能

×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
－3dB	×	×	×	×
－2dB	×	×	×	×
－1dB	×	×	×	×
0dB	×	×	×	×
1dB	×	×	×	×
2dB	×	×	×	×
3dB	✓	✓	✓	✓
4dB	×	×	×	×
5dB	×	×	×	×
6dB	✓	✓	✓	✓
7dB	×	×	×	×
8dB	×	×	×	×
9dB	✓	✓	✓	✓
10dB	×	×	×	×
11dB	×	×	×	×
12dB	✓	✓	✓	✓
13dB	×	×	×	×
14dB	×	×	×	×
15dB	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）	✓（初期値）
16dB	×	×	×	×
17dB	×	×	×	×

【基準感度】	【高】	【中】	【低】	【低（デュアルゲイン）】
18dB	✓	✓	✓	✓
19dB	×	×	×	×
20dB	×	×	×	×
21dB	✓	✓	✓	×
22dB	×	×	×	×
23dB	×	×	×	×
24dB	✓	✓	✓	×
25dB	×	×	×	×
26dB	×	×	×	×
27dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
28dB	×	×	×	×
29dB	×	×	×	×
30dB	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	✓ ¹⁾	×
31dB	×	×	×	×
32dB	×	×	×	×
33dB	×	×	×	×
34dB	×	×	×	×
35dB	×	×	×	×
36dB	×	×	×	×
37dB	×	×	×	×
38dB	×	×	×	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

ご注意

- 撮像フレームレートのHFR（ハイフレームレート）撮影時やプロジェクトフレームレートが119.88P/100P時の最低値は0dBとなります。

ログ撮影（【Flexible ISO】）

✓：設定可能

×

【Base ISO】	【ISO 12800】	【ISO 4000】	【ISO 800】	【ISO800(デュアルゲイン)】
ISO 320	×	×	×	×
ISO 400	×	×	×	×
ISO 500	×	×	×	×
ISO 640	×	×	×	×
ISO 800	×	×	×	×
ISO 1000	×	×	✓	✓

【Base ISO】	【ISO 12800】	【ISO 4000】	【ISO 800】	【ISO800(デュアルゲイン)】
ISO 1250	×	×	✓	✓
ISO 1600	×	×	✓	✓
ISO 2000	×	×	✓	✓
ISO 2500	×	×	✓	✓
ISO 3200	×	×	✓	✓
ISO 4000	×	×	✓	✓
ISO 5000	×	✓	✓ (初期値)	✓ (初期値)
ISO 6400	×	✓	✓	✓
ISO 8000	×	✓	✓	×
ISO 10000	×	✓	✓	×
ISO 12800	×	✓	✓	×
ISO 16000	✓	✓	✓	×
ISO 20000	✓	✓	✓ ¹⁾	×
ISO 25600	✓	✓ (初期値)	✓ ¹⁾	×
ISO 32000	✓	✓	×	×
ISO 40000	✓	✓	×	×
ISO 51200	✓	✓	×	×
ISO 64000	✓	✓	×	×
ISO 80000	✓ (初期値)	✓	×	×
ISO 102400	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 128000	✓	✓ ¹⁾	×	×
ISO 160000	✓	×	×	×
ISO 204800	✓	×	×	×
ISO 256000	✓	×	×	×
ISO 320000	✓ ¹⁾	×	×	×
ISO 409600	✓ ¹⁾	×	×	×

1) フルメニューの【Shooting】－【画像ブレ補正】－【手ブレ補正】が【ダイナミックアクティブ】に設定されている場合は設定できません。

TP1002215218

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

【ビデオフォーマット】 / 【画質】 / 【ビットレート】 の設定値

【Projectフレームレート】 / 【コーデック】 の設定によって、【ビデオフォーマット】 / 【画質】 / 【ビットレート】 メニューの設定範囲が異なります。

【Projectフレームレート】	【コーデック】	【ビデオフォーマット】	【画質】		
			【高】	【中】	【低】
119.88	XAVC HS-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	200	200	200
	XAVC S-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC S-L 420	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	100	60	60
100	XAVC HS-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	200	200	200
	XAVC S-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC S-L 420	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	100	60	60
59.94	XAVC HS-L 422	3840×2160P	200	100	100
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	150	75	45
	XAVC S-I	4096×2160P	600	600	600
		3840×2160P	600	600	600
		1920×1080P	222	222	222
	XAVC S-L 422	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	150	150	150
		1920×1080P	50	25	25

[Projectフレームレート]	[コーデック]	[ビデオフォーマット]	[画質]		
			[高]	[中]	[低]
50	XAVC HS-L 422	3840×2160P	200	100	100
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	150	75	45
	XAVC S-I	4096×2160P	500	500	500
		3840×2160P	500	500	500
		1920×1080P	185	185	185
	XAVC S-L 422	3840×2160P	200	200	200
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	150	150	150
		1920×1080P	50	25	25
29.97	XAVC S-I	4096×2160P	300	300	300
		3840×2160P	300	300	300
		1920×1080P	111	111	111
	XAVC S-L 422	3840×2160P	140	140	140
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
		1920×1080P	50	16	16
25	XAVC S-I	4096×2160P	250	250	250
		3840×2160P	250	250	250
		1920×1080P	93	93	93
	XAVC S-L 422	3840×2160P	140	140	140
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
		1920×1080P	50	16	16
24	XAVC S-I	4096×2160P	240	240	240
23.98	XAVC HS-L 422	3840×2160P	100	50	50
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	100	50	30
	XAVC S-I	4096×2160P	240	240	240
		3840×2160P	240	240	240
		1920×1080P	89	89	89
	XAVC S-L 422	3840×2160P	100	100	100
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
		1920×1080P	50	50	50

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

撮影モードごとの画質に関する設定状態の保存について

画質に関する設定項目は、以下の撮影モードごとに現在の設定状態が保持されます。撮影モードを切り替えると、切り替え後の撮影モードが保持する設定状態が適用されます。

- [カスタム] – [SDR(BT.709)]
- [カスタム] – [HDR(HLG)]
- [Flexible ISO]

画質に関する各設定状態は撮影モードごとに以下のように保存されます。

✓：保存されます

x：保存されません

設定項目			撮影モード				
			[カスタム]		[Flexible ISO]	[Cine EI Quick]	[Cine EI]
[Shooting] メニュー	[ISO/ゲイン]	[ISO/ゲイン選択]	✓ ¹⁾		✓	x	
	[Exposure Index]	[EI選択]	x		x	✓	✓
		[基準感度]	✓		No		
		[Base ISO]	No		✓ ⁴⁾	x ³⁾	✓ ⁴⁾
	[ホワイトバランス]		✓				
	[ホワイトバランス設定]		✓				
	[LUT On/Off]		x		✓		
	[ノイズサブレスジョン]	[設定(カスタム)]	✓	✓	x		
		[レベル(カスタム)]	✓	✓	x		
		[設定(Cine EI/Flex. ISO)]	x		✓		
		[レベル(Cine EI/Flex. ISO)]	x		✓		

設定項目			撮影モード				
			[カスタム]		[Flexible ISO]	[Cine EI Quick]	[Cine EI]
			[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]			
[Paint/Look]メニュー	[基本Look]	[選択]	✓	✓	✓		
		[入力] 2)	✓				
		[出力] 2)	✓				
		[AEレベル オフセット] 2)	✓				
	[ブラック]		✓	✓	x		
	[ニー]	[オートニー]	✓	x	x		
		上記以外	✓	✓	x		
	[ディテール]	－	✓	✓	x		
	[マトリクス]	－	✓	✓	x		
	[マルチマトリクス]	－	✓	✓	x		

1) ISO感度については、[カスタム]－[SDR(BT.709)] / [HDR(HLG)] で設定値が個別に保存される場合があります。

2) 設定値は[基本Look]ごとに保持されており、各撮影モードには依存しません。

3) [Exposure Index]に連動して、基準ISO感度が切り替わります。

4) [Flexible ISO]と[Cine EI]間で、共通の設定値となります。

TP1002215220

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

設定内容をファイルに保存する

フルメニューの設定内容を、本機のカードスロットBに挿入したメモリーカードに保存することができます。このデータを使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

全メニューの設定データ（Allファイル）を保存します。メモリーカードに64個まで保存することができます。

ご注意

- Allファイルに保存される内容について、詳細は下記をご覧ください。
[ファイルに保存される項目](#)

メモリーカードに保存する

Allファイルをメモリーカードに保存します。

1. メモリーカードをカードスロットBに差し込む。
2. フルメニューの【Project】－【Allファイル】－【メディア(B)に保存】で【実行】を選択する。
ファイルの保存先画面が表示されます。
3. 保存先画面の【No File】の行を選択する。
【ファイルID】が記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。
保存する際に付けられる【ファイルID】はメニューで変更できます。

4. 確認画面の【実行】を選択する。

メモリーカードから読み込む

Allファイルをメモリーカードから読み込みます。

1. ファイルを保存したメモリーカードをカードスロットBに差し込む。
2. フルメニューの【Project】－【Allファイル】－【メディア(B)から読出】で【実行】を選択する。
ファイルの一覧画面が表示されます。
3. 読み込むファイルを選択する。
確認画面が表示されます。
4. 【実行】を選択する。

ご注意

- 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。
- フルメニューの【Project】－【Allファイル】－【ネットワークデータ読出】を【Off】に設定している場合は、【Network】メニューの設定項目を除いたAllファイルを読み込みます。

ファイルIDを変更するには

AllファイルのファイルIDを変更します。

1. フルメニューの【Project】－【Allファイル】－【ファイルID】を選択する。
ファイルIDの編集画面が表示されます。
2. タッチ操作、またはマルチファンクションダイヤルやマルチセクターで文字タイプや文字を選択し、入力する。
詳しくは「[文字列を入力する](#)」をご覧ください。
3. 文字の入力が終了したら、【完了】を選択する。

関連項目

- [文字列を入力する](#)

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

HDMI出力の外部機器と接続する

メニューの [Monitoring] 画面で、出力のオン/オフや出力フォーマットを設定します。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

HDMI信号出力時は、フルメニューの [TC/Media] - [HDMI TC出力] - [設定] を [On] に設定して、以下のように設定すると、HDMI出力端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。
[Project] - [HDMI記録トリガー] - [設定] - [On]

ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。

TP1002215224

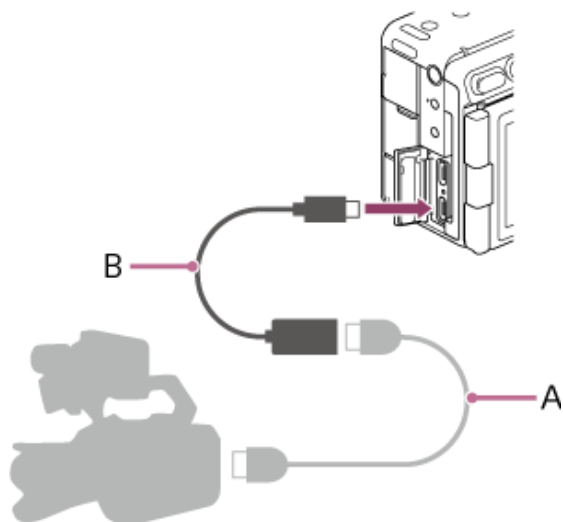
レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

タイムコードを外部機器と合わせる

本機のタイムコードを外部機器に合わせることができます。本機のUSB PORT 2端子と市販のBNCケーブルのBNC出力端子を接続するための専用アダプターケーブルVMC-BNCU1（別売）が必要です。

他機のタイムコードにロックさせる

1. タイムコード供給源となる外部機器をタイムコード出力が更新されるモードに設定する。
2. フルメニューの[TC/Media] - [タイムコード] を次のように設定する。
[モード] - [プリセット]
[Run] - [Free Run]
3. フルメニューの[TC/Media] - [タイムコード] - [USBタイムコード] を[On(PORT2)] に設定する。
4. [DURATION/TC/U-BIT] が割り当てられたアサインボタンを押して、画面にタイムコードを表示させる。
5. BNCケーブル (A) のBNC出力端子と本機のUSB Type-C端子 (USB PORT 2) をタイムコードアダプターケーブルVMC-BNCU1ケーブル (別売) (B) で接続する。



本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックされ、画面に「EXT-LK」と表示されます。
ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

ご注意

- タイムコードをロックすると、本機のタイムコードは瞬時に外部機器のタイムコードにロックし、外部機器のタイムコードの値と同じ値がタイムコード表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、撮影を開始しないでください。
- 基準タイムコードの周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- タイムコードを合わせる場合、1フレーム程度のずれが生じる場合があります。外部からの基準タイムコードの接続を外した状態で長時間ご使用になると、基準タイムコードとのずれが大きくなる場合があります。

タイムコードのロックを解除するには

フルメニューの[TC/Media] - [タイムコード] の設定を変更してください。
プロジェクトフレームレートを変更した場合や、フルメニューの[Shooting] - [FPS] - [固定/可変 選択] を[可変] にして撮影を開始した場合も、タイムコードのロックは解除されます。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

モバイル機器を使う

モバイル機器のアプリケーションを使って本機をリモート操作できます。

「Monitor & Control」アプリケーション

本機とモバイル機器との接続方法や「Monitor & Control」アプリケーションの操作については、「Monitor & Control」アプリケーションのヘルプガイドをご覧ください。

TP1002215226

5-076-802-01(1) Copyright 2026 Sony Corporation

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

Bluetoothリモコンを使う

Bluetoothリモコン（別売）を使って本機をリモート操作できます。本機対応のBluetoothリモコンについては専用サポートサイトでご確認ください。

<https://www.sony.jp/support/digitalcamera/connect/>

本機をBluetoothリモコンとペアリングする

1. フルメニューの [Network] - [Bluetooth] - [設定] を [On] に設定する。
2. フルメニューの [Network] - [Bluetooth] - [ペアリング] で [実行] を選択する。
ペアリング待機画面が表示されます。
3. Bluetoothリモコンでペアリング操作を行う。
詳しい操作方法は、Bluetoothリモコンの取扱説明書をご覧ください。
ペアリングが正常に完了すると、本機にペアリング完了画面が表示されます。
4. [OK] を選択する。
Bluetoothリモコンで本機を操作できます。2回目以降は [Bluetooth] - [設定] を [On] に設定するだけで、本機とBluetoothリモコンを接続できるようになります。

ヒント

- Bluetoothリモコンは、Bluetoothリモコンから本機を操作している間のみBluetooth接続されます。
- 正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
 - － 本機が他の機器とBluetooth接続中でないことを確認する。
 - － フルメニューの [Network] - [ネットワークリセット] - [リセット] を実行する。

ご注意

- 本機を初期化するとペアリング情報も削除されます。Bluetoothリモコンを使用する場合は、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、本機とBluetoothリモコンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- 無線LANの2.4GHz帯を使用してストリーミングなど大量の通信を行っている場合、Bluetoothリモコンの動作が不安定になることがあります。この場合は、有線LANの使用をご検討ください。
- Bluetooth接続を行う際は、信頼できるデバイスとのみペアリングしてください。身に覚えのないペアリング要求や不明なデバイスとの接続は避けてください。
- Bluetoothリモコンを使用しないときは、Bluetooth機能をオフにしてください。
- ペアリング済みのデバイスを定期的に確認し、不要なデバイスは削除してください。
- スマートフォンからカメラのペアリング情報を削除したときは、[ペアリング済み機器管理] からスマートフォンのペアリング情報を削除してください。

ペアリング済みのBluetoothリモコンを確認する

フルメニューの [Network] - [Bluetooth] - [ペアリング済み機器管理] を選択すると、ペアリング済みのBluetoothリモコンが表示されます。

ペアリング済みのBluetoothリモコンを削除する

1. フルメニューの [Network] - [Bluetooth] - [ペアリング済み機器管理] を選択する。
2. 削除するBluetoothリモコンを選択する。
3. [実行] を選択する。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

USB通信でリモートコントロールする

USB通信によるリモートコントロールに対応した機器やアプリケーションを使用する場合は以下のように設定します。

1. フルメニューの [Technical] - [USB] - [USB接続モード (PORT1)] または [USB接続モード(PORT2)] を [USBリモート] に設定する。
2. 設定したUSBのポートにUSBケーブルを挿し、対応機器と接続する。

ご注意

- 黒い画面に [USB接続中] と表示されている場合は、USBケーブルを抜いて撮影画面に戻り、フルメニューの [Technical] - [USB] - [USB接続モード (PORT1)] または [USB接続モード(PORT2)] を [USBリモート] に設定してからUSBケーブルを接続してください。
- USBハブ経由での動作は保証できません。
- 2つのポート両方で本機能を使用することはできません。
- 本機能でUSB通信中は、Monitor & ControlなどのIPネットワークを通じたリモートコントロールは使用できません。
- 記録中にUSBケーブルを挿した場合は動作しません。記録前にUSBケーブルを挿して、対応機器で動作を確認してください。

TP1002441879

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

コンピューターでクリップを管理/編集する

カードリーダー（別売）や本機のマストレージモードを使うと、コンピューターにクリップを取り込んで、コンピューター上でクリップを管理したり、ノンリニア編集システムを使ってクリップを編集したりすることができます。

カードリーダー（別売）を使う

コンピューターにCFexpress Type AカードリーダーまたはSDカードリーダーをUSBケーブルで接続すると、カードリーダーのスロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。なお、対応したコンピューターの場合、本機のマストレージモードを使用するよりも高速に、クリップを取り込むことができます。

マストレージモードを使う

本機とコンピューターを接続してマストレージモードを使うと、本機のカードスロットA/Bに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

1. USB Type-C端子（USB PORT 1）とコンピューターをUSBケーブルで接続する。

2. 本機の電源をオンにする。

フルメニューの [Technical] - [USB] - [USB接続モード (PORT1)] が [Off] の場合は、有効にするUSB機能を選択する画面が表示されます。ドロップダウンリストボックスで [マストレージ (MSC)] を選択します。

ご注意

- フルメニューの [Technical] - [USB] - [USB接続モード (PORT1)] および [USB接続モード (PORT2)] を [Off] 以外に設定している場合は、マストレージモードを使うことができません。設定を [Off] にしてください。
- メモリーカードの初期化や修復などのメッセージが表示されている間は、USB接続の確認メッセージは表示されません。初期化や修復などの実行が終了後に表示されます。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続の確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、クリップ一覧画面に戻ると表示されます。

3. マルチファンクションダイヤルを回して [実行] を選ぶ。

4. Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。

Macの場合、デスクトップに「NO NAME」または「Untitled」フォルダー（フォルダー名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

ご注意

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
 - 電源をオフにする
 - 電源コードを抜く
 - メモリーカードを抜く
 - USBケーブルを抜く
- すべてのコンピューターについて、動作を保証するものではありません。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

TP1002215228

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

HDMI出力端子の出力フォーマット

出力フォーマットの解像度は、メニューの [Project] - [Projectフレームレート] / [ビデオフォーマット]、またはフルメニューの [Project] - [記録フォーマット] - [Projectフレームレート] / [ビデオフォーマット] の設定によって制限されます。再生映像の解像度より大きな解像度が設定されている場合、映像は出力されません。

HDMI出力端子の出力フォーマットは以下のとおりです。

[Project] - [記録フォーマット]			[Monitoring] - [出力フォーマット]
[Projectフレームレート]	[コーデック]	[ビデオフォーマット] / [イメージャーモード]	[HDMI]
100/119.88Hz	XAVC HS-L 422	3840×2160 (16:9)	3840×2160/50Pまたは59.94P
	XAVC HS-L 420		1920×1080/50Pまたは59.94P (初期設定値)
	XAVC S-L 422		1920×1080/50iまたは59.94i
	XAVC S-L 420	1920×1080 (16:9)	1920×1080/50Pまたは59.94P (初期設定値)
	XAVC S-L 420		1920×1080/50iまたは59.94i

[Project] – [記録フォーマット]			[Monitoring] – [出力フォーマット]
[Projectフレームレート]	[コーデック]	[ビデオフォーマット] / [イメージャーモード]	[HDMI]
50/59.94Hz	X-OCN LT X-OCN C1 X-OCN C2	FF 5K 3:2	4096×2160/50Pまたは59.94P
			1920×1080/50Pまたは59.94P（初期設定値）
			1920×1080/50iまたは59.94i
		FF 5K 17:9	4096×2160/50Pまたは59.94P
			1920×1080/50Pまたは59.94P（初期設定値）
			1920×1080/50iまたは59.94i
		FF 5K 16:9	3840×2160/50Pまたは59.94P
			1920×1080/50Pまたは59.94P（初期設定値）
			1920×1080/50iまたは59.94i
		FFc 3.8K 16:9	3840×2160/50Pまたは59.94P ¹⁾
			1920×1080/50Pまたは59.94P（初期設定値）
			1920×1080/50iまたは59.94i
	XAVC S-I	4096×2160 (17:9)	4096×2160/50Pまたは59.94P
			1920×1080/50Pまたは59.94P（初期設定値）
			1920×1080/50iまたは59.94i
	XAVC HS-L 422 XAVC HS-L 420 XAVC S-L 422 XAVC S-L 420 XAVC S-I	3840×2160 (16:9)	3840×2160/50Pまたは59.94P
			1920×1080/50Pまたは59.94P（初期設定値）
			1920×1080/50iまたは59.94i
	XAVC S-L 422 XAVC S-L 420 XAVC S-I	1920×1080 (16:9)	1920×1080/50Pまたは59.94P（初期設定値）
			1920×1080/50iまたは59.94i
			720×576/50Pまたは720×480/59.94P

[Project] – [記録フォーマット]			[Monitoring] – [出力フォーマット]
[Projectフレームレート]	[コーデック]	[ビデオフォーマット] / [イメージャーモード]	[HDMI]
25/29.97Hz	X-OCN LT X-OCN C1 X-OCN C2	FF 5K 3:2	4096×2160/25Pまたは29.97P
			1920×1080/25Pまたは29.97P
			1920×1080/50iまたは59.94i（初期設定値）
		FF 5K 17:9	4096×2160/25Pまたは29.97P
			1920×1080/25Pまたは29.97P
			1920×1080/50iまたは59.94i（初期設定値）
		FF 5K 16:9	3840×2160/25Pまたは29.97P
			1920×1080/25Pまたは29.97P
			1920×1080/50iまたは59.94i（初期設定値）
		FFc 3.8K 16:9	3840×2160/25Pまたは29.97P ¹⁾
			1920×1080/25Pまたは29.97P
			1920×1080/50iまたは59.94i（初期設定値）
	XAVC S-I	4096×2160 (17:9)	4096×2160/25Pまたは29.97P
			1920×1080/25Pまたは29.97P
			1920×1080/50iまたは59.94i（初期設定値）
	XAVC S-L 422 XAVC S-L 420 XAVC S-I	3840×2160 (16:9)	3840×2160/25Pまたは29.97P
			1920×1080/25Pまたは29.97P
			1920×1080/50iまたは59.94i（初期設定値）
	XAVC S-L 422 XAVC S-L 420 XAVC S-I	1920×1080 (16:9)	1920×1080/25Pまたは29.97P
			1920×1080/50iまたは59.94i（初期設定値）

[Project] – [記録フォーマット]			[Monitoring] – [出力フォーマット]
[Projectフレームレート]	[コーデック]	[ビデオフォーマット] / [イメージモード]	[HDMI]
23.98Hz	X-OCN LT X-OCN C1 X-OCN C2	FF 5K 3:2	4096×2160/23.98P
			1920×1080/23.98P (初期設定値)
		FF 5K 17:9	4096×2160/23.98P
			1920×1080/23.98P (初期設定値)
		FF 5K 16:9	3840×2160/23.98P
			1920×1080/23.98P (初期設定値)
		FFc 3.8K 16:9	3840×2160/23.98P ¹⁾
			1920×1080/23.98P (初期設定値)
	XAVC S-I	4096×2160 (17:9)	4096×2160/23.98P
			1920×1080/23.98P (初期設定値)
	XAVC HS-L 422 XAVC HS-L 420 XAVC S-L 422 XAVC S-L 420 XAVC S-I	3840×2160 (16:9)	3840×2160/23.98P
			1920×1080/23.98P (初期設定値)
		1920×1080 (16:9)	1920×1080/23.98P (初期設定値)
24Hz	X-OCN LT X-OCN C1 X-OCN C2	FF 5K 3:2	4096×2160/24P
			1920×1080/24P (初期設定値)
		FF 5K 17:9	4096×2160/24P
			1920×1080/24P (初期設定値)
		FF 5K 16:9	3840×2160/24P
			1920×1080/24P (初期設定値)
		FFc 3.8K 16:9	3840×2160/24P ¹⁾
			1920×1080/24P (初期設定値)
	XAVC S-I	4096×2160 (17:9)	4096×2160/24P
			1920×1080/24P (初期設定値)

1) 撮像フレームレートの設定が120fpsを超える場合は選択できません。

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

トラブル時の対処

トラブルが発生したときは、以下の内容を確認して対処してください。

電源

症状	原因	対策
電源が入らない。	バッテリーパックが完全に消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不十分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す。 フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。 新しいバッテリーパックに交換してください。

記録/再生

症状	原因	対策
録画START/STOPボタンを押しても記録が始まらない。	メモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のあるメモリーカードに交換する。
音声記録できない。	〔音声記録フォーマット〕を〔48kHz/32bit float〕/〔96kHz/24bit〕/〔96kHz/32bit float〕に設定していて、〔CH1入力選択〕～〔CH4入力選択〕が適切でない。	XLRハンドルユニットなど、音声記録フォーマットに対応したマルチインターフェースシュー対応のオーディオアクセサリを接続し、〔CH1入力選択〕～〔CH4入力選択〕を〔シューCH1〕～〔シューCH4〕に設定する。
クリップを再生できない。	クリップが編集されている。	コンピューターでフォルダーやファイル名を変更したり、クリップを加工したりすると、再生できない場合があります。故障ではありません。
	クリップが他機で記録されている。	他機で記録したクリップは、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。

外部機器

症状	対策
本機がコンピューターに認識されない。	〔USBデザリング〕、〔USBタイムコード〕および〔USBリモート〕を〔Off〕にしてから本機とコンピューターをつなぎなおす。
	コンピューターからUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
	コンピューターからUSBケーブルを抜き、コンピューターを再起動してから正しい手順でもう一度コンピューターと本機をつなぐ。
	本機からUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。

症状	対策
クリップがコンピューターに取り込めない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
	クリップをコンピューターに取り込むにはアプリケーションソフトウェアのダウンロードが必要です。

無線LAN使用時

ご注意

- 本機と無線LANルーターまたはモバイル機器との間の障害物や電波状況、壁の材質など、周囲の環境によって通信可能距離が短くなったり、接続できなくなったりすることがあります。本機の場所を移動するなど、本機と無線ルーターまたはモバイル機器の距離を近づけて、接続/通信状態を確認してください。

症状	対策
モバイル機器から本機にアクセスできない	● 無線LANルーターの接続（IPアドレスなど）を確認してください。 ● アクセスポイントのクライアント間の通信設定が無効になっている可能性があります。詳しくは、無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。
ログインできない	登録したユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。

併せて「[「Monitor & Control」と接続する](#)」「[無線LANでインターネットに接続する](#)」をご覧ください。

インターネット接続

症状	対策
ファイル転送が失敗する	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている可能性があります。正しい値を入力してください。
ファイル転送ができない	電波状態が悪い可能性があります。移動して再度試してください。

併せて「[無線LANでインターネットに接続する](#)」「[USBデザリングでインターネットに接続する](#)」「[有線LANでインターネットに接続する](#)」をご覧ください。

関連項目

- [「Monitor & Control」と接続する](#)
- [無線LANでインターネットに接続する](#)
- [USBデザリングでインターネットに接続する](#)
- [有線LANでインターネットに接続する](#)

TP1002215231

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

エラー/警告表示

本機では警告/注意/動作確認などが必要な状況では、LCDモニター画面のメッセージ表示や記録/タリーランプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、ヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

エラー表示	警告音	記録/タリーランプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。画面に [● 記録] と表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メモリーカードに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (電源スイッチを  (オフ) にしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやACアダプターも外してください。) 本機の状況によっては、エラー表示や警告音が出ない可能性があります。

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

警告表示	警告音	記録/タリーランプ	原因と対策
[警告温度になりました]	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。一旦電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
[記録メディア温度異常]	断続音	点滅	CFexpressカードの温度が上昇しました。メモリーカードを交換するか、温度が下がるまでメモリーカードの使用を中止してください。
[メディア残量がわずかです]	断続音	点滅	メモリーカードの残量が少なくなっています。早い機会に交換してください。
[メディア残量がありません]	連続音	高速点滅	メモリーカードの残量がないため、記録、コピーはできません。交換してください。
[クリップ数上限近くです]	断続音	点滅	メモリーカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。早い機会に交換してください。
[クリップ数が上限です]	連続音	高速点滅	メモリーカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。これ以上記録やコピーはできません。交換してください。
[最終クリップ記録中]	断続音	点滅	記録中のクリップの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。新しいメモリーカードをご用意ください。
[メディア(A)寿命がわずか] ¹⁾	断続音	点滅	メモリーカードの寿命が僅かです。早めに交換してください。

警告表示	警告音	記録/タリールンプ	原因と対策
〔メディア(A)寿命なし〕 ¹⁾	連続音	高速点滅	メモリーカードの寿命がきました。交換してください。
〔Media(A)残量がわずかです〕 ¹⁾	断続音	点滅	同時記録機能使用時
〔Media(A)残量がありません〕 ¹⁾	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
〔Media(A) Clip数上限近く〕 ¹⁾	断続音	点滅	同時記録機能使用時
〔Media(A) クリップ数上限〕 ¹⁾	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
〔Media(A) 最終Clip記録中〕 ¹⁾	断続音	点滅	同時記録機能使用時
〔転送ジョブ数上限近くです〕	—	—	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が少なくなっています。
〔転送ジョブ数が上限です〕	—	—	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が上限に達しました。ジョブを追加したい場合は、不要なジョブを削除してください。 ²⁾

1) カードスロットBに入れたメモリーカードの場合は (B)

2) フルメニューの〔Network〕－〔ファイル転送〕－〔転送ジョブ一覧表示〕からジョブを選んで削除することができます。または、Monitor & Controlのジョブリストからジョブを削除することができます。

注意/動作確認表示

画面中央部分に次のような注意/動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
〔このバッテリーは使用できません 交換してください〕	バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
〔バッテリー残量が無くなりました 電源を切ります〕	バッテリーパックの残量がなくなりました。 バッテリーパックを交換するか、充電してください。
〔バッテリーが高温になりました 電源を切ります〕	バッテリーパックの温度が上昇しました。 バッテリーパックを交換するか、温度が下がるまで使用を中止してください。
〔メディア(A)は使用できません 交換してください〕 ¹⁾	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を 超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
〔メディア(A)は使用できません ファイルシステムが異なります〕 ¹⁾	ファイルシステムの異なるメモリーカードまたはフォーマットされていないメモ リーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
〔メディアエラーが発生しました メディア(A)は修復が必要です〕 ¹⁾	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
〔メディア(A)にエラーが発生しました 記録を停止しました〕 ¹⁾ 〔メディアエラーが発生しました〕 〔再生を停止しました〕	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
〔指定されたアドレスは無効です〕	指定したアドレスが間違っています。 正しく設定しているか確認してください。

表示内容	原因と対策
[指定されたポート番号は使用できません]	指定したポート番号が間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
[ファンが停止しました]	本体内のファンが停止しています。 高温下での使用を避け、電源を切ってソニーのサービス担当者に連絡してください。
[自動転送ジョブの追加に失敗しました]	転送ジョブの数が上限に達しています。 不要なジョブをクリアしてください。また、オリジナルファイルまたはプロキシファイルの自動転送先設定が間違っている可能性があります。正しく設定しているか確認してください。
[見つかりませんでした]	指定したSSIDのネットワーク（アクセスポイント）が見つかりません。 正しく設定しているか確認してください。
[認証に失敗しました]	指定したSSIDのネットワーク（アクセスポイント）の接続認証に失敗しました。 パスワードなどを正しく設定しているか確認してください。
[IPアドレスが競合しています。ネットワーク設定を確認してください]	無線LANまたは有線LANと、USBテザリングのネットワークアドレスが衝突しています。 アドレスを手動で変更するか、お使いのネットワークルーターの設定を変更してください。
[IPアドレスが競合したため、無線LAN アクセスポイントモードのIPアドレスを変更しました]	無線LANアクセスポイントモードまたは有線LANと、USBテザリングのネットワークアドレスが衝突したため、無線LANアクセスポイントモードのIPアドレスを変更しました。 新たなIPアドレスを確認してください。

1) カードスロットBに入れたメモリーカードの場合は (B)

TP1002215232

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ファイルに保存される項目

Allファイル/Sceneファイルに保存されるフルメニューの項目は以下のとおりです。

✓：ファイルに保存されます

×：ファイルに保存されません

—：ファイルに保存されません（一時的動作メニュー）

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
[Shooting]	[ISO/ゲイン]	[モード]	✓	×
		[ISO/ゲイン選択]	✓	×
		[ショックレスゲイン]	✓	×
		[基準感度]	✓	×
		[Base ISO]	✓	×
	[Exposure Index]	[EI選択]	✓	×
	[シャッター]	[モード]	✓	×
		[ステップ/連続 選択]	✓	×
		[角度（ステップ）]	✓	×
		[角度（連続）]	✓	×
		[シャッタースピード On/Off]	✓	×
		[スピード（ステップ）]	✓	×
		[スピード（連続）]	✓	×
	[自動露出]	[レベル]	✓	×
		[モード]	✓	×
		[スピード]	✓	×
		[AGC]	✓	×
		[AGCリミット]	✓	×
		[AGCポイント]	✓	×
		[オートシャッター]	✓	×
		[A.SHTリミット]	✓	×
		[A.SHTポイント]	✓	×
		[クリップハイライト]	✓	×
		[検出枠]	✓	×
		[検出枠表示]	✓	×
		[検出枠 幅]	✓	×
		[検出枠 高さ]	✓	×
		[検出枠 水平位置]	✓	×
		[検出枠 垂直位置]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
	[ホワイトバランス]	[ホワイトバランス選択]	✓	×
		[オートホワイトバランス]	—	—
		[ATW]	✓	×
		[色温度選択]	✓	×
		[ティント]	✓	×
		[Rゲイン]	✓	×
		[Bゲイン]	✓	×
		[Preset値から選択]	—	—
	[ホワイトバランス設定]	[ショックレスホワイト]	✓	×
		[ATWスピード]	✓	×
	[フォーカス]	[フォーカス運用]	✓	×
		[AFトランジション速度]	✓	×
		[AF乗り移り感度]	✓	×
		[フォーカスエリア]	✓	×
		[被写体認識AF]	✓	×
		[認識対象切換設定]	✓	×
		[MF時のタッチ機能]	✓	×
		[マルチセクターの機能]	✓	×
		[ポインターのカラー]	✓	×
		[ポインターの縁取り]	✓	×
		[AFアシスト]	✓	×
		[AF測距不能時のサーチ動作]	✓	×
	[FPS]	[固定/可変 選択]	✓	×
		[FPS選択]	✓	×
	[LUT On/Off]	[1 HDMI]	✓	×
		[2 Proxy/リモートLV]	✓	×
		[3 LCDモニター/VF]	✓	×
	[ノイズサプレッション]	[設定(カスタム)]	✓	×
		[レベル(カスタム)]	✓	×
		[設定(Cine EI/Flex. ISO)]	✓	×
		[レベル(Cine EI/Flex. ISO)]	✓	×
	[フリッカー低減]	[モード]	✓	×
		[周波数]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	【Allファイル】	【Sceneファイル】
	[画像ブレ補正]	[手ブレ補正]	✓	×
		[補正調整]	✓	×
		[焦点距離]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
[Project]	[基本設定]	[撮影モード]	✓	—
		[映像規格]	✓	—
		[Cine EI/Flexible ISO設定]		
		[入力カラスペース]	✓	—
		[LUTファイルの埋め込み]	✓	×
	[記録フォーマット]	[Projectフレームレート]	✓	×
		[イメージャーモード]	✓	×
		[内蔵記録 / RAW出力設定]	✓	×
		[コーデック]	✓	×
		[ビデオフォーマット]	✓	×
		[画質]	✓	×
		[ビットレート]	—	—
	[アナモデスクイーズ]	[レシオ]	✓	×
	[HDR設定]	[LCD/VF SDRプレビュー]	✓	×
		[SDRゲイン]	✓	×
	[同時記録]	[設定]	✓	×
	[Proxy記録]	[設定]	✓	×
		[Proxyフォーマット]	✓	×
		[オーディオチャンネル]	✓	×
	[インターバルレック]	[設定]	×	×
		[インターバルタイム]	✓	×
		[フレーム数]	✓	×
	[HDMI記録トリガー]	[設定]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
	[アサインブルボタン]	<1>	✓	×
		<2>	✓	×
		<3>	✓	×
		<4>	✓	×
		<5>	✓	×
		<6>	✓	×
		[<VF/LCD>]	✓	×
		[フォーカスホールドボタン]	✓	×
		[グラブボタン]	✓	×
		[グラブボタン(半押し)]	✓	×
		[<User 1>]	✓	×
		[<User 2>]	✓	×
		[<User 3>]	✓	×
		[<User 4>]	✓	×
		[<User 5>]	✓	×
		[<User 6>]	✓	×
	[アサインブルダイヤル]	[アサインブルダイヤル]	✓	×
		[ダイヤル回転方向]	✓	×
	[マルチFnダイヤル]	[デフォルト機能]	✓	×
	[Allファイル]	[メディア(B)から読出]	—	—
		[メディア(B)に保存]	—	—
		[ファイルID]	✓	×
		[ネットワークデータ読出]	×	×

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
[Paint/Look]	[Sceneファイル]	[内蔵メモリーから呼出]	—	—
		[内蔵メモリーに登録]	—	—
		[削除]	—	—
		[プリセット呼出]	—	—
		[メディア(B)から読出]	—	—
		[メディア(B)に保存]	—	—
		[ファイル名]	—	—
	[基本Look]	[選択]	✓	✓
		[削除]	—	—
		[全削除]	—	—
		[メディア(B)からインポート]	—	—
		[入力]	✓	✓
		[出力]	✓	✓
		[AEレベルオフセット]	✓	✓
	[Paint設定の初期化]	[基本Look以外初期化]	—	—
	[ブラック]	[マスターブラック]	✓	✓
		[Rブラック]	✓	✓
		[Bブラック]	✓	✓
	[ブラックガンマ]	[設定]	✓	✓
		[レンジ]	✓	✓
		[マスターブラックガンマ]	✓	✓
	[ニー]	[設定]	✓	✓
		[オートニー]	✓	✓
		[ポイント]	✓	✓
		[スロープ]	✓	✓
	[ディテール]	[設定]	✓	✓
		[レベル]	✓	✓
		[マニュアル設定]	✓	✓
		[H/V比]	✓	✓
		[B/Wバランス]	✓	✓
		[リミット]	✓	✓
		[クリスプニング]	✓	✓
		[ハイライトディテール]	✓	✓

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
	[マトリクス]	[ユーザーマトリクス]	✓	✓
		[ユーザーマトリクス レベル]	✓	✓
		[ユーザーマトリクス 色合い]	✓	✓
		[ユーザーマトリクスR-G]	✓	✓
		[ユーザーマトリクスR-B]	✓	✓
		[ユーザーマトリクスG-R]	✓	✓
		[ユーザーマトリクスG-B]	✓	✓
		[ユーザーマトリクスB-R]	✓	✓
		[ユーザーマトリクスB-G]	✓	✓
	[マルチマトリクス]	[設定]	✓	✓
		[エリア表示]	x	x
		[リセット]	—	—
		[16軸モード]	x	x
		[色相]	✓	✓
		[彩度]	✓	✓

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
[TC/Media]	[タイムコード]	[モード]	✓	×
		[Run]	✓	×
		[マニュアル設定]	×	×
		[リセット]	—	—
		[TCフォーマット]	✓	×
		[USBタイムコード]	✓	×
	[TCディスプレイ]	[タイムデータ表示]	✓	×
	[ユーザービット]	[モード]	✓	×
		[マニュアル設定]	×	×
	[HDMI TC出力]	[設定]	✓	×
	[クリップ名設定]	[オートネーミング]	✓	×
		[カメラID]	×	×
		[リールナンバー]	×	×
		[カメラポジション]	×	×
		[クリップ番号]	✓	×
		[連番カウンターリセット]	—	—
		[タイトル名設定]	✓	×
	[メディア更新]	[メディア(A)]	—	—
		[メディア(B)]	—	—
	[メディア初期化]	[メディア(A)]	—	—
		[メディア(B)]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	【Allファイル】	【Sceneファイル】
[Monitoring]	[出力On/Off]	[HDMI]	✓	×
	[出力フォーマット]	[HDMI]	✓	×
	[画面表示出力]	[HDMI]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
	[画面表示On/Off設定]	[カメラID]	✓	×
		[フレームレート]	✓	×
		[シャッター]	✓	×
		[アイリス]	✓	×
		[ISO/ゲイン/EI]	✓	×
		[自動露出モード]	✓	×
		[AEレベル]	✓	×
		[ホワイトバランス]	✓	×
		[バッテリー残量]	✓	×
		[GPS]	✓	×
		[イメージャーモード]	✓	×
		[アナモデスクイーズ]	✓	×
		[Base ISO/感度]	✓	×
		[記録フォーマット]	✓	×
		[記録Look]	✓	×
		[水準器]	✓	×
		[ズーム位置]	✓	×
		[フォーカスモード]	✓	×
		[フォーカス位置]	✓	×
		[フォーカスエリア表示]	✓	×
		[被写体認識枠表示]	✓	×
		[トラッキングAF ポインター]	✓	×
		[合焦表示]	✓	×
		[被写界深度情報]	✓	×
		[映像レベル警告]	✓	×
		[ガンマ表示アシスト]	✓	×
		[映像信号モニター]	✓	×
		[TC状態]	✓	×
		[出力Look]	✓	×
		[HDMI記録制御]	✓	×
		[Network状態]	✓	×
		[ファイル転送状態]	✓	×
		[ストリーミング状態]	✓	×
		[画像ブレ補正]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
		[UWP RFレベル]	✓	×
		[オーディオレベルメーター]	✓	×
		[タイムコード]	✓	×
		[Look名]	✓	×
		[記録/再生状態]	✓	×
		[記録赤枠表示]	✓	×
		[タリー表示]	✓	×
		[クリップネーム]	✓	×
		[メディア状態]	✓	×
		[クリップ番号]	✓	×
		[注意表示]	✓	×
	[フレームライン]	[設定]	✓	×
		[カラー]	✓	×
		[センターマーカー]	✓	×
		[セーフティゾーン]	✓	×
		[セーフティエリア]	✓	×
		[アスペクトマーカー]	✓	×
		[アスペクトマスク]	✓	×
		[アスペクトセーフティゾーン]	✓	×
		[アスペクトセーフティエリア]	✓	×
		[アスペクトセレクト]	✓	×
		[カスタムアスペクト比]	✓	×
		[ガイドフレーム]	✓	×
		[100%マーカー]	✓	×
		[ユーザーボックス]	✓	×
		[ユーザーボックス幅]	✓	×
		[ユーザーボックス高さ]	✓	×
		[ユーザーボックス水平位置]	✓	×
		[ユーザーボックス垂直位置]	✓	×
	[LCDモニター表示設定]	[LCDモニター明るさ]	✓	×
		[LCDモニターカラー表示]	✓	×
		[VF明るさ]	✓	×
		[LCDモニター反転表示]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
	[VF表示設定]	[LCDモニター/VF選択]	✓	×
		[VF明るさ]	✓	×
		[VFカラー表示]	✓	×
		[VF倍率]	✓	×
		[HDR時のVF映像]	✓	×
	[ガンマ表示アシスト]	[設定]	✓	×
	[フォーカスマップ]	[設定]	✓	×
	[ピーキング]	[設定]	✓	×
		[ピーキングレベル]	✓	×
		[カラー]	✓	×
	[ゼブラ]	[設定]	✓	×
		[ゼブラ1レベル]	✓	×
		[ゼブラ1アパーチャーレベル]	✓	×
		[ゼブラ2レベル]	✓	×
	[ピント拡大]	[ピント拡大ボタン操作対象]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
[Audio]	[音声記録フォーマット]	[音声記録フォーマット]	✓	—
	[32bit float WAV記録]	[設定]	✓	—

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
	[音声入力]	[CH1入力選択]	✓	×
		[CH2入力選択]	✓	×
		[CH3入力選択]	✓	×
		[CH4入力選択]	✓	×
		[基準信号レベル]	✓	×
		[CH1 フィルター]		
		[風音低減]	✓	×
		[ノイズカットフィルター]	✓	×
		[ズームノイズ (内蔵マイク)]	✓	×
		[CH2 フィルター]		
		[風音低減]	✓	×
		[ノイズカットフィルター]	✓	×
		[ズームノイズ (内蔵マイク)]	✓	×
		[CH3 フィルター]		
		[風音低減]	✓	×
		[ノイズカットフィルター]	✓	×
		[ズームノイズ (内蔵マイク)]	✓	×
		[CH4 フィルター]		
		[風音低減]	✓	×
		[ノイズカットフィルター]	✓	×
		[ズームノイズ (内蔵マイク)]	✓	×
		[CH1レベル調整]	✓	×
		[CH2レベル調整]	✓	×
		[CH3レベル調整]	✓	×
		[CH4レベル調整]	✓	×
		[CH1入力レベル]	✓	×
		[CH2入力レベル]	✓	×
		[CH3入力レベル]	✓	×
		[CH4入力レベル]	✓	×
		[音声入力レベル]	✓	×
		[リミッターモード]	✓	×
		[CH1&2音量自動調整モード]	✓	×
		[CH3&4音量自動調整モード]	✓	×
		[AGCスペック]	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
		[1kHzトーン（カラーバー）]	✓	×
		[CH1レベル]	✓	×
		[CH2レベル]	✓	×
		[CH3レベル]	✓	×
		[CH4レベル]	✓	×
	[音声出力]	[モニターチャンネル]	✓	×
		[音量]	×	×
		[ヘッドホン音声]	✓	×
		[ヘッドホンMono/ST]	✓	×
		[アラームレベル]	✓	×
		[HDMI出力CH]	✓	×
[Clip Operations]	[クリップ詳細表示]		—	—
	[クリップフラグ設定]	[OKフラグ追加]	—	—
		[NGフラグ追加]	—	—
		[KEEPフラグ追加]	—	—
		[クリップフラグ削除]	—	—
	[クリップ保護/解除]	[クリップセレクト]	—	—
		[全クリップ保護]	—	—
		[全クリップ保護解除]	—	—
	[クリップ削除]	[クリップセレクト]	—	—
		[全クリップ]	—	—
	[クリップ転送]	[クリップセレクト]	—	—
		[全クリップ]	—	—
	[クリップ転送(Proxy)]	[クリップセレクト]	—	—
		[全クリップ]	—	—
	[クリップフィルター]	[OK]	—	—
		[NG]	—	—
		[KEEP]	—	—
		[無し]	—	—
		[全て]	—	—
	[カスタマイズビュー]	[クリップキャプション]	✓	—

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
[Technical]	[露出アシスト]	[フォルスカラー]	✓	×
		[出力先]	✓	×
		[カラースケール]	✓	×
	[テスト信号]	[カラーバー]	✓	×
		[カラーバータイプ]	✓	×
	[警告&タリー]	[フロントタリーランプ]	✓	×
		[リアタリーランプ]	✓	×
		[タリー制御]	✓	×
		[記録開始/停止音]	✓	×
	[キーロック]	[設定]	✓	×
		[Rec含む]	✓	×
	[タッチ操作]	[設定]	✓	×
	[レックレビュー]	[設定]	✓	×
	[ズーム]	[ズームタイプ]	✓	×
		[全画素超解像ズームタイプ]	✓	×
	[ズームレバースピード]	[1段目ズーム(待機中)]	✓	×
		[2段目ズーム(待機中)]	✓	×
		[1段目ズーム(記録中)]	✓	×
		[2段目ズーム(記録中)]	✓	×
	[Bluetooth ズーム]	[ズームスピードタイプ]	✓	×
		[固定スピード(待機中)]	✓	×
		[固定スピード(記録中)]	✓	×
	[GPS]	[モバイルアプリから位置情報]	✓	×
	[メニュー設定]	[情報表示モードの操作]	✓	×
	[USB]	[USB接続モード (PORT1)]	✓	×
		[USB接続モード(PORT2)]	✓	×
	[ファン制御]	[設定]	✓	×
	[レンズ]	[ズームリング操作方向]	✓	×
		[周辺光量補正]	✓	×
		[倍率色収差補正]	✓	×
		[歪曲収差補正]	✓	×
		[ブリージング補正]	✓	×
		[フォーカス距離単位]	✓	×
	[自動欠陥補正]	[自動欠陥補正]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	【Allファイル】	【Sceneファイル】
	【センサークリーニング】	【センサークリーニング】	－	－
	【電源設定】	【パワーセーブ】	✓	×
		【自動電源Off温度】	✓	×
		【USB給電】	✓	×

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
[Network]	[ネットワーク設定]	[モバイルアプリ設定]	—	—
		[LAN種別選択]	✓	×
		[認証設定表示]	—	—
		[認証設定編集]		
		[ユーザーネーム]	×	×
		[パスワード設定]	×	×
		[パスワード生成]	×	×
	[無線LAN]	[設定]	✓	×
		[チャンネル]	—	—
		[カメラSSID & パスワード]	—	—
		[パスワード再生成]	—	—
		[カメラリモート操作]	—	—
		[接続ネットワーク]	—	—
		[ネットワーク検出]	—	—
		[WPS]	—	—
		[手動登録]		
		[SSID]	—	—
		[セキュリティ]	—	—
		[パスワード]	—	—
		[DHCP]	—	—
		[IPアドレス]	—	—
		[サブネットマスク]	—	—
		[ゲートウェイ]	—	—
		[DNS自動設定]	—	—
		[プライマリDNSサーバー]	—	—
		[セカンダリDNSサーバー]	—	—
		[IPアドレス]	—	—
		[サブネットマスク]	—	—
		[MACアドレス]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
	[有線LAN]	[設定]	✓	×
		[カメラリモート操作]	✓	×
		[詳細設定]		
		[DHCP]	✓	×
		[IPアドレス]	✓	×
		[サブネットマスク]	✓	×
		[ゲートウェイ]	✓	×
		[DNS自動設定]	✓	×
		[プライマリDNSサーバー]	✓	×
		[セカンダリDNSサーバー]	✓	×
		[IPアドレス]	—	—
		[サブネットマスク]	—	—
		[MACアドレス]	—	—
	[USBデザリング]	[設定]	✓	×
		[カメラリモート操作]	✓	×
		[IPアドレス]	—	—
		[サブネットマスク]	—	—
	[Bluetooth]	[設定]	✓	×
		[ペアリング]	—	—
		[ペアリング済み機器管理]	×	×
		[機器アドレス]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
	[ファイル転送]	[自動転送]	✓	×
		[自動転送(Proxy)]	✓	×
		[デフォルト転送先サーバー]	✓	×
		[完了ジョブクリア]	—	—
		[全ジョブクリア]	—	—
		[転送ジョブ一覧表示]	—	—
		[転送先サーバー設定1] / [転送先サーバー設定2] / [転送先サーバー設定3]		
		[表示名]	✓	×
		[サービス]	✓	×
		[ホスト名]	✓	×
		[ポート]	✓	×
		[ユーザーネーム]	×	×
		[パスワード]	×	×
		[パッシブモード]	✓	×
		[転送先ディレクトリ]	✓	×
		[セキュア転送設定]	✓	×
		[ルート証明書]	—	—
		[ルート証明書状態]	—	—
		[リセット]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
	[ストリーミング]	[設定]	×	×
		[送信先選択]	✓	×
		[RTMP/RTMPS 1] / [RTMP/RTMPS 2] / [RTMP/RTMPS 3]		
		[表示名]	✓	×
		[コーデック]	—	—
		[解像度]	✓	×
		[ビットレート]	✓	×
		[送信先URL]	×	×
		[ストリームキー]	×	×
		[RTMPS証明書]	—	—
		[RTMPS証明書状態]	—	—
		[リセット]	—	—
		[RTMPS既定証明書群]		
		[置き換え]	—	—
		[リセット]	—	—
		[状態]	—	—
		[SRT-Caller 1] / [SRT-Caller 2 コーデック] / [SRT-Caller 3]		
		[表示名]	✓	×
		[コーデック]	✓	×
		[解像度]	✓	×
		[ビットレート]	✓	×
		[送信先URL]	×	×
		[ポート]	✓	×
		[レイテンシー]	✓	×
		[TTL]	✓	×
		[暗号化]	×	×
		[パスフレーズ]	×	×
		[ARC]	✓	×
		[リセット]	—	—
	[ネットワークリセット]	[リセット]	—	—

レベル1	レベル2	レベル3	[Allファイル]	[Sceneファイル]
[Maintenance]	[🗿 アクセシビリティ]	[音声読み上げ]		
		[設定]	✓	×
		[スピード]	✓	×
		[音量]	✓	×
		[電源On時に音声読み上げOn]	✓	×
		[画面拡大]		
		[設定]	✓	×
		[拡大倍率]	✓	×
		[画面拡大ボタン]	✓	×
	[日時あわせ]	[タイムゾーン]	✓	×
		[日付モード]	✓	×
		[12h/24h]	✓	×
		[日付]	×	×
		[時刻]	×	×
		[自動日時補正]	✓	×
		[自動タイムゾーン補正]	✓	×
	[オールリセット]	[リセット]	—	—
		[ネットワークなしリセット]	—	—
		[工場出荷状態に戻す]	—	—
	[アワーズメーター]	[アワーズ(システム)]	—	—
		[アワーズ(リセット)]	—	—
		[リセット]	—	—
	[機器情報]	[認証マーク表示]	—	—
	[ファームウェア]	[バージョン番号]	—	—
		[ファームアップデート]	—	—
		[レンズバージョン]	—	—

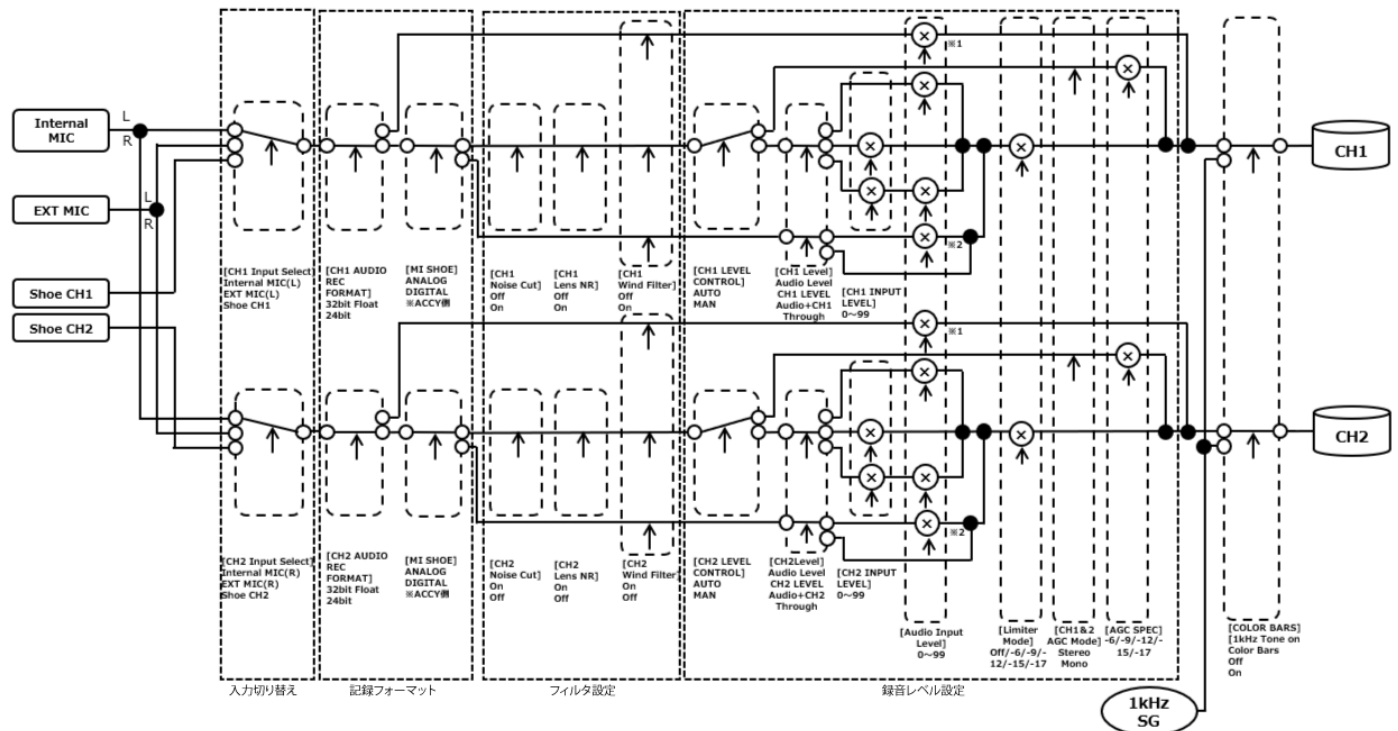
TP1002215233

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ブロックダイアグラム

音声や [Audio] メニューに関連するブロックダイアグラムです。

【音声入力】 (CH1&CH2)

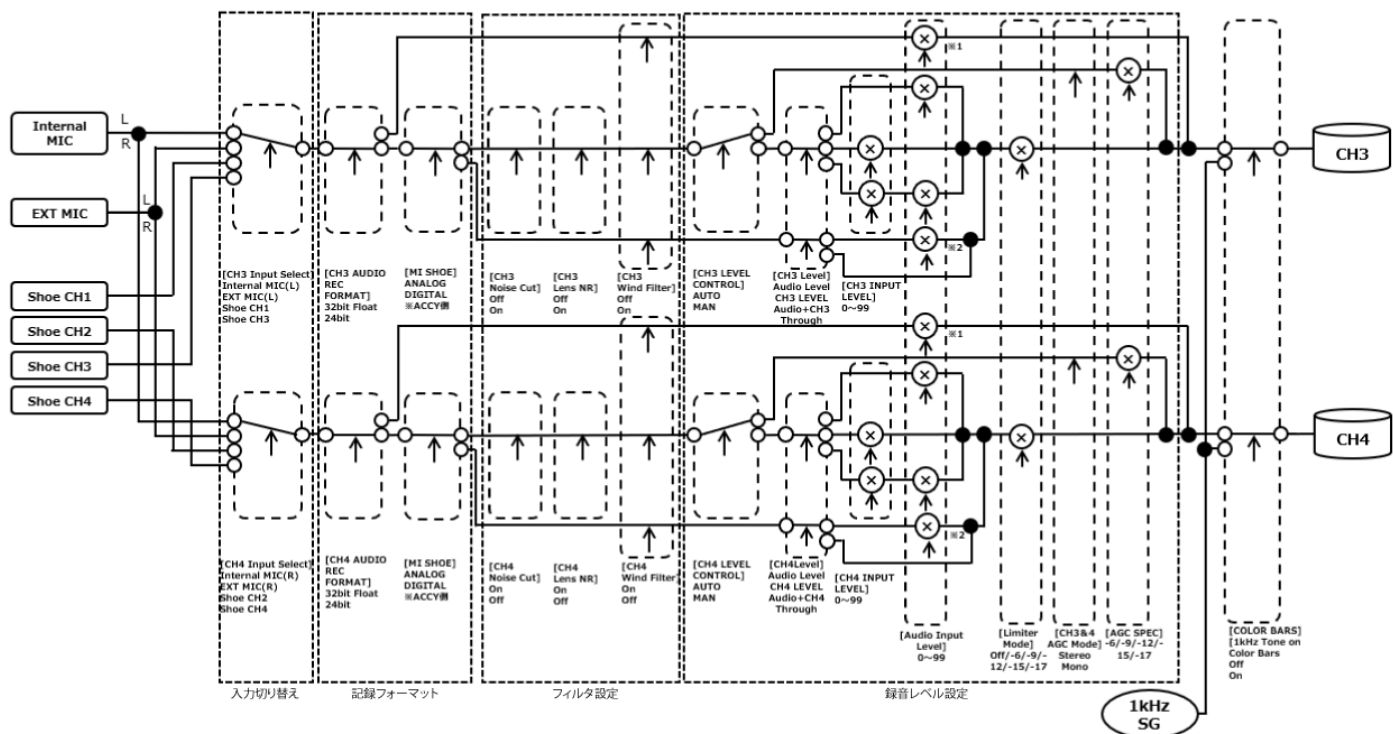


※1 : XLRアダプターがAUTO時は無効

※2 : XLR-H2およびXLR-A4がAUTO時は無効

* XLRアダプターからの音声入力があるときはメニューの [Audio] - [音声入力] - [CH1レベル調整] ~ [CH2レベル調整] の設定項目となります。

【音声入力】 (CH3&CH4)

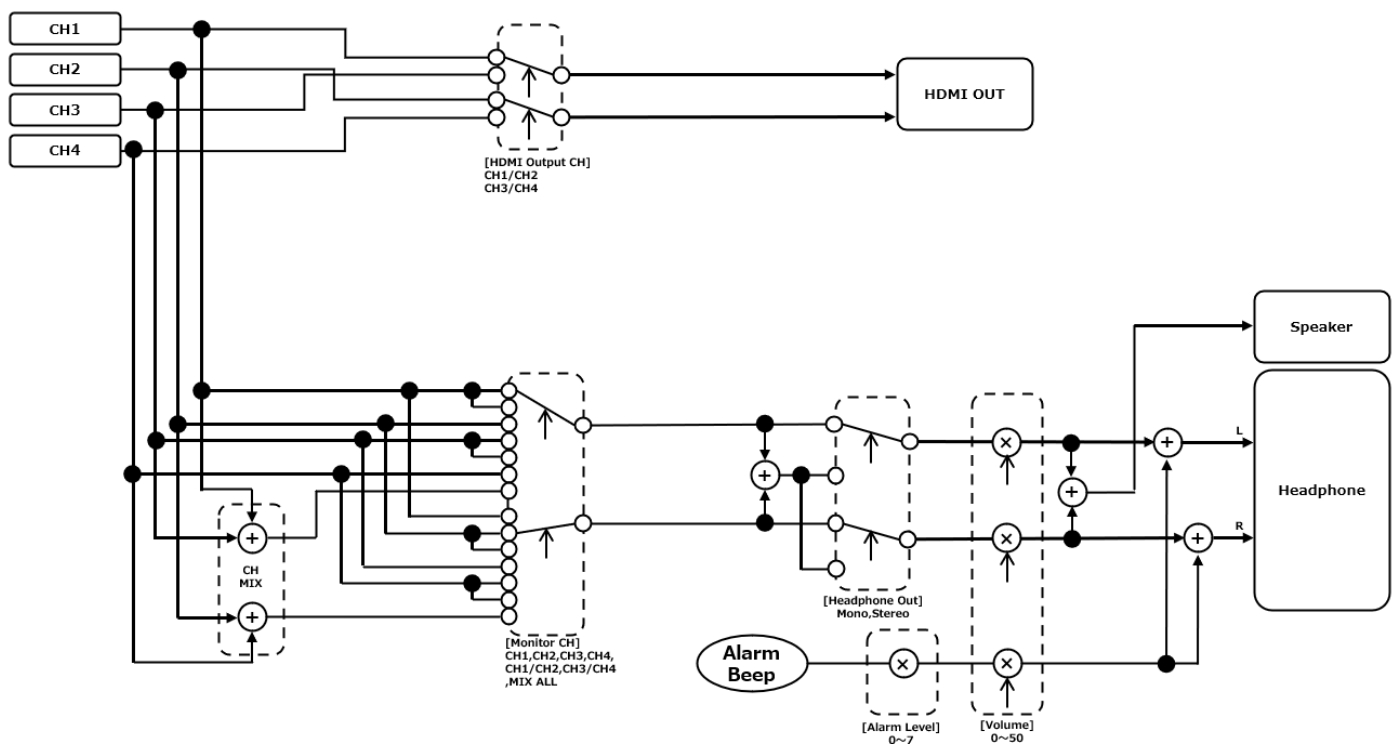


※1：XLRアダプターがAUTO時は無効

※2：XLR-H2およびXLR-A4がAUTO時は無効

* XLRアダプターからの音声入力があるときはメニューの [Audio] - [音声入力] - [CH1レベル調整] ~ [CH3レベル調整] の設定項目となります。

ブロックダイアグラム（出力側）



TP1002215234

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

Eマウントレンズのソフトウェアをアップデートする

本機でEマウントレンズ本体のソフトウェアをアップデートできます。
アップデートできるレンズ本体とそのソフトウェアは、レンズのWebサイトをご覧ください。

バージョンを確認する

1. Eマウントレンズを本機に取り付ける。

ご注意

- レンズの装着は電源を切った状態で行ってください。

2. フルメニューの [Maintenance] - [ファームウェア] を選ぶ。

Eマウントレンズ・レンズアダプターのバージョン番号が表示されます。

ソフトウェアをアップデートする

本機をマスメージモードにします。
レンズのソフトウェアに添付された手順書に従ってソフトウェアをアップデートしてください。

ご注意

- バッテリー残量が51%以上でないと、アップデートは行えません。十分に充電したバッテリーをお使いください。

関連項目

- [コンピューターでクリップを管理/編集する](#)

TP1002321101

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

ライセンスについて

MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的または他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的または他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。

<https://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。

本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

END USER LICENSE AGREEMENT

お客様による本製品の使用開始をもって、お客様がソフトウェア使用許諾契約書の内容にご同意いただけたとさせていただきます。お客様と弊社との間のソフトウェア使用許諾契約書は、弊社ウェブサイト (https://rd1.sony.net/help/di/el23/h_zz/) でご覧いただけます。

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。

当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。

本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

Apple iAP2のライセンスについて

本製品には、弊社がApple Inc.とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。

当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。

本機とパソコンをマストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

TP1002215235

レンズ交換式デジタルカメラ
ILME-FX5/ILME-FX5B

主な仕様

本体

【形式】

カメラタイプ

レンズ交換式デジタルカメラ

使用レンズ

ソニーEマウントレンズ

【撮像部】

撮像素子

35 mmフルサイズ (35.9 mm×24.0 mm)、CMOSイメージセンサー

カメラ有効画素数

約16 600 000画素

総画素数

約18 200 000画素

ラチチュード

15+ ストップ (S-Log3)

ホワイトバランス色温度設定範囲

2000 K～15000 K

【手ブレ補正】

形式

イメージセンサーシフト方式 (内蔵)

【アンチダスト】

システム

帯電防止コートおよび超音波振動によるアンチダスト機能

【オートフォーカス】

検出方式

位相差検出方式/コントラスト検出方式

【モニター】

液晶モニター

8.8 cm (3.5型) TFT駆動、タッチパネル

ドット数

2 764 800ドット

【記録メディア】

CFexpress Type Aメモリーカード、SDカード

【スロット】

SLOT A/SLOT B

CFexpress Type Aメモリーカード、SD (UHS-I、UHS-II対応) カード用スロット

【入/出力端子】

USB Type-C端子 (USB PORT 1)

USB通信 SuperSpeed USB 10 Gbps (USB 3.2)

USB Power Delivery対応

USB Type-C端子 (USB PORT 2)

USB通信 Hi-Speed USB 480 Mbps (USB 2.0)

USB Power Delivery対応

HDMI端子

HDMIタイプA端子

LAN端子

2.5GBASE-T、1000BASE-T、100BASE-TX

マイク端子

Ø3.5 mmステレオミニジャック

ヘッドホン端子

Ø3.5 mmステレオミニジャック

【電源・その他】

定格入力

7.82 V 

消費電力

FE 28-70mm F3.5-5.6 OSS IIレンズ使用時

約7.4 W

動作温度

0 °C～40 °C

保存温度

–20 °C～+55 °C

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) (約)

132.2 mm × 79.0 mm × 87.0 mm

質量

約734 g (バッテリー、SDカードを含む)

マイクロホン

ステレオ

スピーカー

モノラル

【エコ/省エネルギー】

消費電力 (オフモード)

非該当

消費電力 (スタンバイモード/低電力モード)

0.5 W

消費電力 (ネットワークスタンバイモード)

2.0 W (Bluetooth) / 2.0 W (LAN) / 2.0 W (すべての端子接続時およびネットワーク接続時)

省電力モード有効

20分以内 (デフォルト)

ネットワークスタンバイモード有効

20分以内 (デフォルト)

【ワイヤレスLAN】

WW789166 (カメラ底面の機銘板参照)

対応規格

IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax

使用周波数帯

2.4 GHz帯/5 GHz帯/6 GHz帯

セキュリティ

WPA2-PSK (AES) / WPA3-SAE

接続方式

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) /マニュアル

アクセス方式

インフラストラクチャーモード

【Bluetooth通信】

Bluetooth標準規格Ver. 5.3

使用周波数帯

2.4 GHz帯

XLRハンドルのユニット XLR-H2 (ILME-FX5のみ)

INPUT1端子/INPUT2端子 (XLR/TRS*¹型3ピン、凹型、+48 Vファンタム電源対応)

MIC

基準入力レベル: -50 dBu (ATT=10)

基準記録レベル: -20 dBFS

LINE

基準入力レベル: +4 dBu

基準記録レベル: -20 dBFS

INPUT3端子 (ステレオミニジャック、プラグインパワー対応)

基準入力レベル: -66 dBu (ATT=10)

基準記録レベル: -20 dBFS

(0 dBu=0.775 Vrms)

質量

約312 g

*1 3極ジャック (TIP: HOT、RING: COLD、SLEEVE: GND)

バッテリーチャージャー BC-SAD1

定格入力

15 V 、3 A

定格出力

8.9 V 、2.7 A × 1

8.9 V 、1.9 A × 2

リチャージャブルバッテリーパック NP-SA100

定格

7.82 V 

推奨のUSB PD対応ACアダプター

入力

100 V ~ 240 V 、50/60 Hz

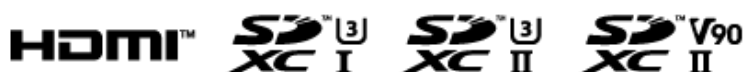
出力

9 V  /3 A以上

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標・ライセンスについて

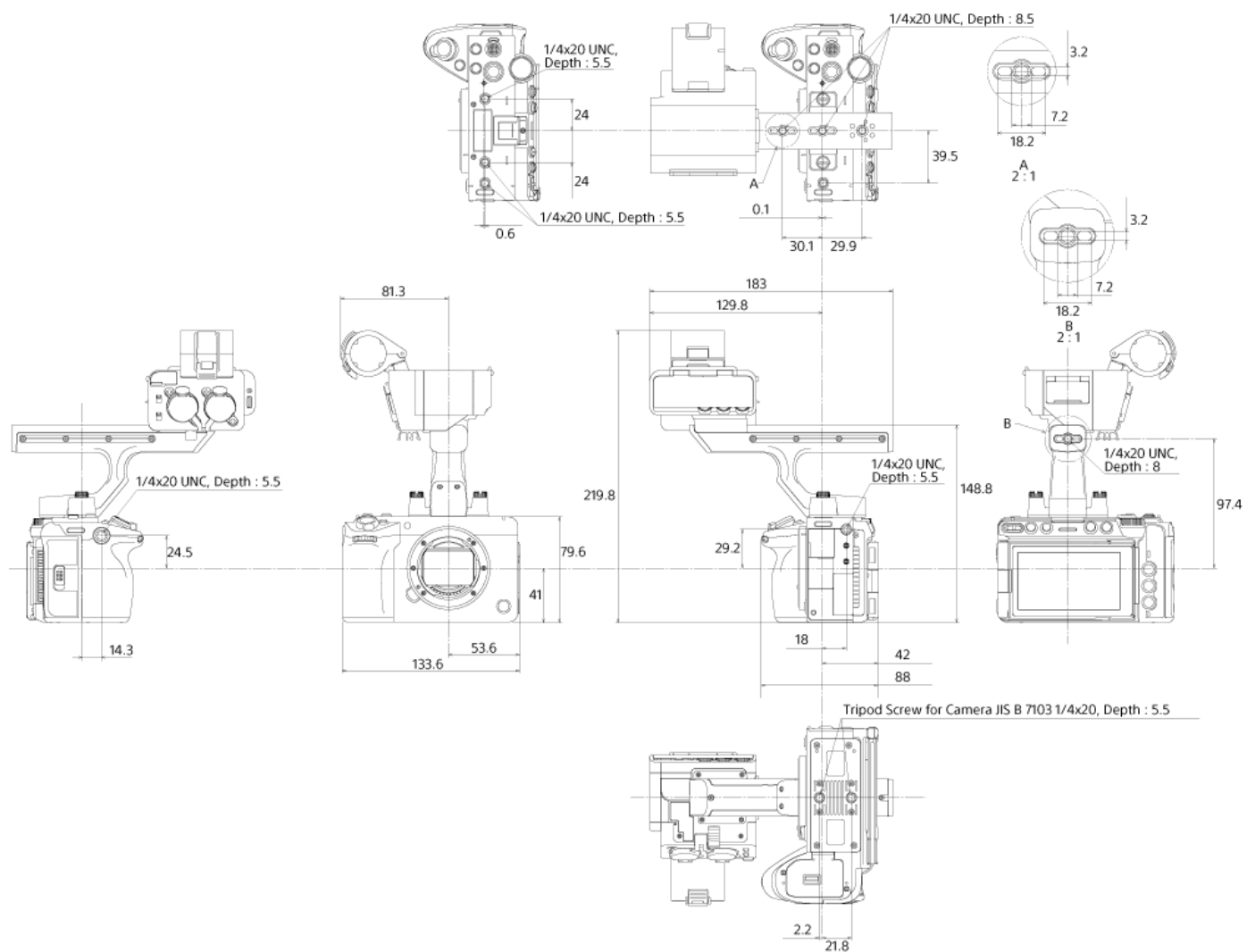
- “α”、または“”はソニーグループ株式会社の商標です。
- XAVC Sおよびはソニーグループ株式会社の商標です。
- XAVC HSおよびはソニーグループ株式会社の商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。
- USB Type-C™およびUSB-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- HDMI™、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- CFexpress™はCompactFlash Associationの商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。



最大外形寸法

突起部などを含む最大外形寸法（最大外形寸法は概算値）

単位：mm



TP1002215237